

ココマII LIXIL 乾式腰壁タイプ オープンテラス 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<電気配線工事について>



警告

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実にこなしてください。
- 垂木LED照明には、専用のACアダプターまたはトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。
垂木LED照明は、AC100Vと直接接続しないでください。
- 電線の接続は有資格者が行ってください。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 屋根材へ接触する部品へシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、壁面に排水路ヒーター等を取付けるか、排水位置を高い位置に変更してください。
- 入隅の場合は、「φ4.5×63丸木ネジ」を現場で手配してください。
- 本製品は躯体に設置してください。ただし躯体に設置せず独立して設置する場合は「施工補助部材」を使用してください。

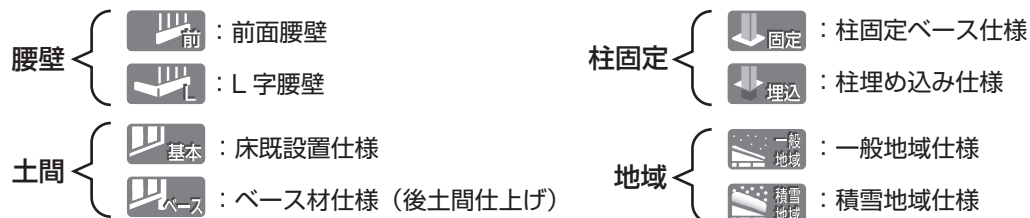
シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

<施工の前に つづき>

ポイント

- スプレー式シリコン系潤滑剤は部品箱に同梱のもの、または現場手配してください。またアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- 必要に応じて、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。
- 垂木LED照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
- 垂木LED照明を取付ける際に電源スイッチが必要な場合は現場で手配してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- ココマⅡはタイプ（仕様）によって専用の手順が存在します。
本書では、タイプ（仕様）専用の手順を下記の記号で記載していますので施工を行なう前に必ず確認してください。

《記号の意味》



《手順内記載例》

例 1 :

腰壁	土間	柱固定	地域
			

※上記は、『L字腰壁タイプでベース材仕様（後土間仕上げ）』専用の施工手順を示しています。

例 2 :

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

※上記は、全タイプで施工が必要な場合に記載しています。

<施工上のご注意>

注意

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）
 - ・φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）

<施工上のご注意 つづき>

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<仕上げ材（タイル）施工のご注意>

警告

- モルタルにてタイル張りする「モルタル張り工法」は絶対に行なわないでください。はく離や脱落してケガに至るおそれがあります。またヒビ割れが発生することにより、躯体内部に雨水が浸入して躯体を劣化させるおそれがあります。

注意

- 本工事は、専用乾式下地に専用タイルを専用接着剤で張付ける「接着剤張り工法」を採用しています。この工法以外では仕上げ材施工を行なわないでください。
- 取付説明書の順序通りに施工してください。所定の性能が得られないだけでなく、はく離や脱落してケガに至る場合があります。

ポイント

- 正しく施工していただくため、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工にあたっては、必ず使用する材料に付属する注意書きや取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

1	施工工程一覧	5	11.	妻垂木・垂木の取付け	68
2	各部の名称	9	12.	中骨の取付け	69
	1. フレーム部	9	13.	屋根材の取付け	70
	2. 前面腰壁部	10	14.	垂木カバーの取付け	71
	3. L字腰壁部(側面)	11	15.	垂木化粧材の取付け	76
3	施工前の重要確認事項	12	16.	垂木フタの取付け	81
	1. 本製品の施工について	12	17.	垂木掛けカバーの取付け	82
4	梱包明細表	16	18.	垂木掛けキャップの取付け	83
5	基本寸法	28	19.	妻梁上部FIXの取付け	84
	1. 前面腰壁仕様	28	20.	雪下ろし指示シールの貼付け	88
	2. L字腰壁仕様	30	21.	コンクリートの流し込み	89
6	断面納まり図	32	22.	雨樋の取付け	89
	1. 間口断面納まり図	32	13	腰壁部の施工を行なう前に	90
	2. 出幅断面納まり図	34		1. 前面腰壁の場合	90
7	柱の位置出し	36		2. L字腰壁の場合	91
	1. 基本仕様	36		3. シーリング処理	92
	2. 連棟仕様	36	14	前面腰壁の施工	93
8	施工前の準備	37		1. 柱スペーサー(中間用)の取付け	93
	1. 水盛遣方・水糸張り	37		2. 柱スペーサー(端部用)の取付け	94
	2. 配線工事 オプション	38		3. 腰壁ベース材の取付け	95
9	位置決め施工	40		4. 下地ボード(前面用)の取付け	96
	1. ベース材とベース材束柱の取付け	40		5. 笠木受けの取付け	97
	2. 躯体方立の取付け	42		6. 笠木カバーと水切りの取付け	98
10	部材の組立て	44		7. 笠木端部キャップの取付け	100
	1. 垂木掛けの組立て	44		8. 笠木の取付け	101
	2. 桁の組立て	46		9. 柱カバー、テラス用上枠の取付け	102
11	柱の建込み	48	15	L字腰壁の施工	103
	1. 施工手順の確認	48		1. 柱スペーサー(中間用)の取付け	103
	2. 柱の加工	49		2. 柱スペーサー、コーナー柱の取付け	105
	3. 雨樋の取付け	52		3. 腰壁ベース材の取付け	108
	4. 柱取付金具の取付け	54		4. 下地ボードの取付け	111
	5. 柱の建込み	55		5. 笠木受けの取付け	112
	6. 入隅の場合	57		6. 笠木カバーと水切りの取付け	114
12	フレーム施工	58		7. キャップ類の取付け	116
	1. 前面ベース受けの取付け	58		8. 笠木の取付け	118
	2. 前面ベースの取付け	59		9. 柱カバー、テラス用上枠の取付け	120
	3. 見切り材の取付け	59	16	タイルの張付け	121
	4. 側面ベース受けの取付け	60		1. 梱包明細表	121
	5. 側面ベースの取付け	61		2. 施工面の確認	123
	6. 中間柱スリーブの取付け	62		3. ジョイントテープの貼付け	124
	7. 中間柱の建込み	62		4. はるかベタイルの施工	125
	8. 間柱の建込み	63		5. 点検・仕上げ	133
	9. 垂木掛けの取付け	64		6. タイル切断寸法一覧	134
	10. 桁の取付け	67			

1 施工工程一覧

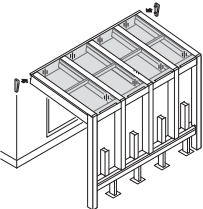
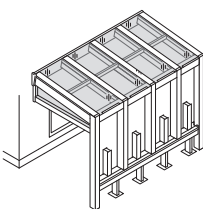
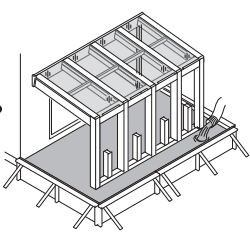
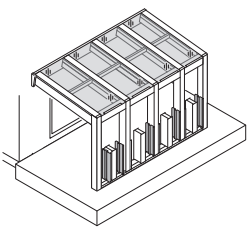
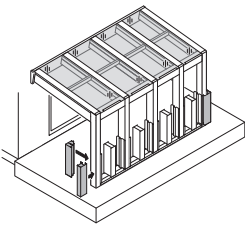
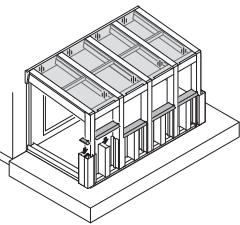
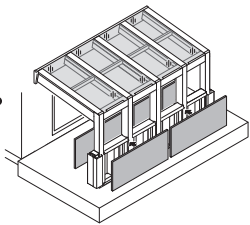
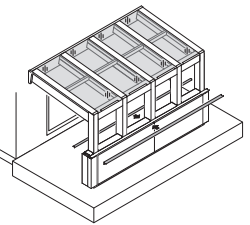
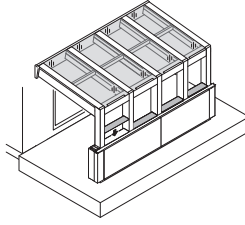
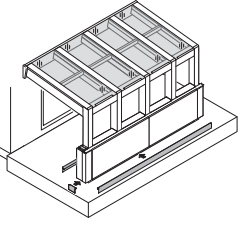
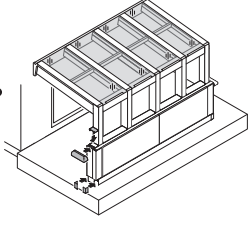
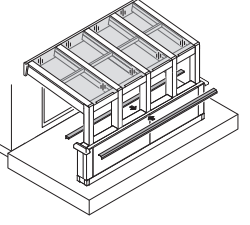
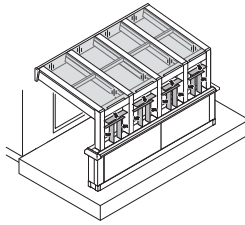
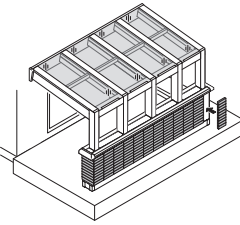
前面腰壁仕様



1 ベース材とベース材束柱の取付け 	2 躯体方立の取付け ※妻梁上部FIXの場合	3 垂木掛けの組立て 	4 桁の組立て
5 柱の加工 	6 雨樋の取付け 	7 柱の建込み 	8 前面ベース受けの取付け
9 前面ベースの取付け 	10 中間柱スリーブと中間柱の取付け 	11 間柱の取付け 	12 垂木掛けの取付け
13 桁の取付け 	14 妻垂木・垂木の取付け 	15 中骨の取付け 	16 屋根材の取付け
17 垂木カバーの取付け 	18 垂木化粧材の取付け 	19 垂木フタの取付け 	20 垂木掛けカバーの取付け



次のページ
21へ続く

21 垂木掛けキャップの取付け 	22 妻梁上部FIXの取付け  ※妻梁上部FIX取付けの場合	23 コンクリートの流しこみ 	24 柱スペーサー (中間用) の取付け 
25 柱スペーサー (端部用) の取付け 	26 腰壁ベース材の取付け 	27 下地ボードの取付け 	28 笠木受けの取付け 
29 笠木カバーの取付け 	30 水切りの取付け 	31 笠木端部キャップの取付け 	32 笠木の取付け 
33 柱カバー・上枠の取付け 	34 タイルの張付け 		



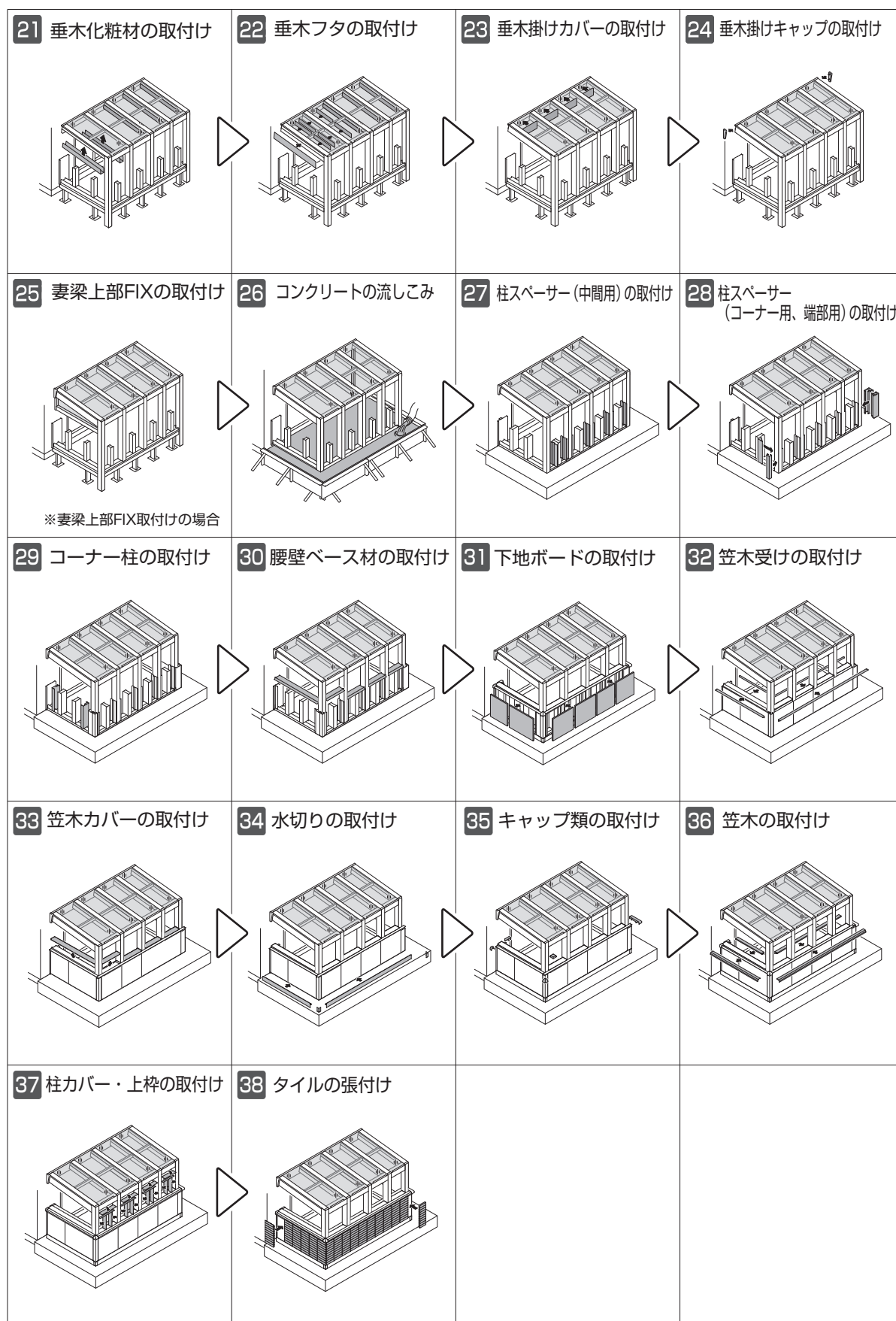
L字腰壁仕様



1 ベース材とベース材束柱の取付け 	2 躯体方立の取付け ※サイドスルーで妻梁上部FIXの場合 	3 垂木掛けの組立て 	4 桁の組立て
5 柱の加工 	6 雨樋の取付け 	7 柱の建込み 	8 前面ベース受けの取付け
9 前面ベースの取付け 	10 見切り材の取付け 	11 側面ベース受けの取付け 	12 側面ベースの取付け
13 中間柱スリーブと中間柱の取付け 	14 間柱の取付け 	15 垂木掛けの取付け 	16 桁の取付け
17 妻垂木・垂木の取付け 	18 中骨の取付け 	19 屋根材の取付け 	20 垂木カバーの取付け

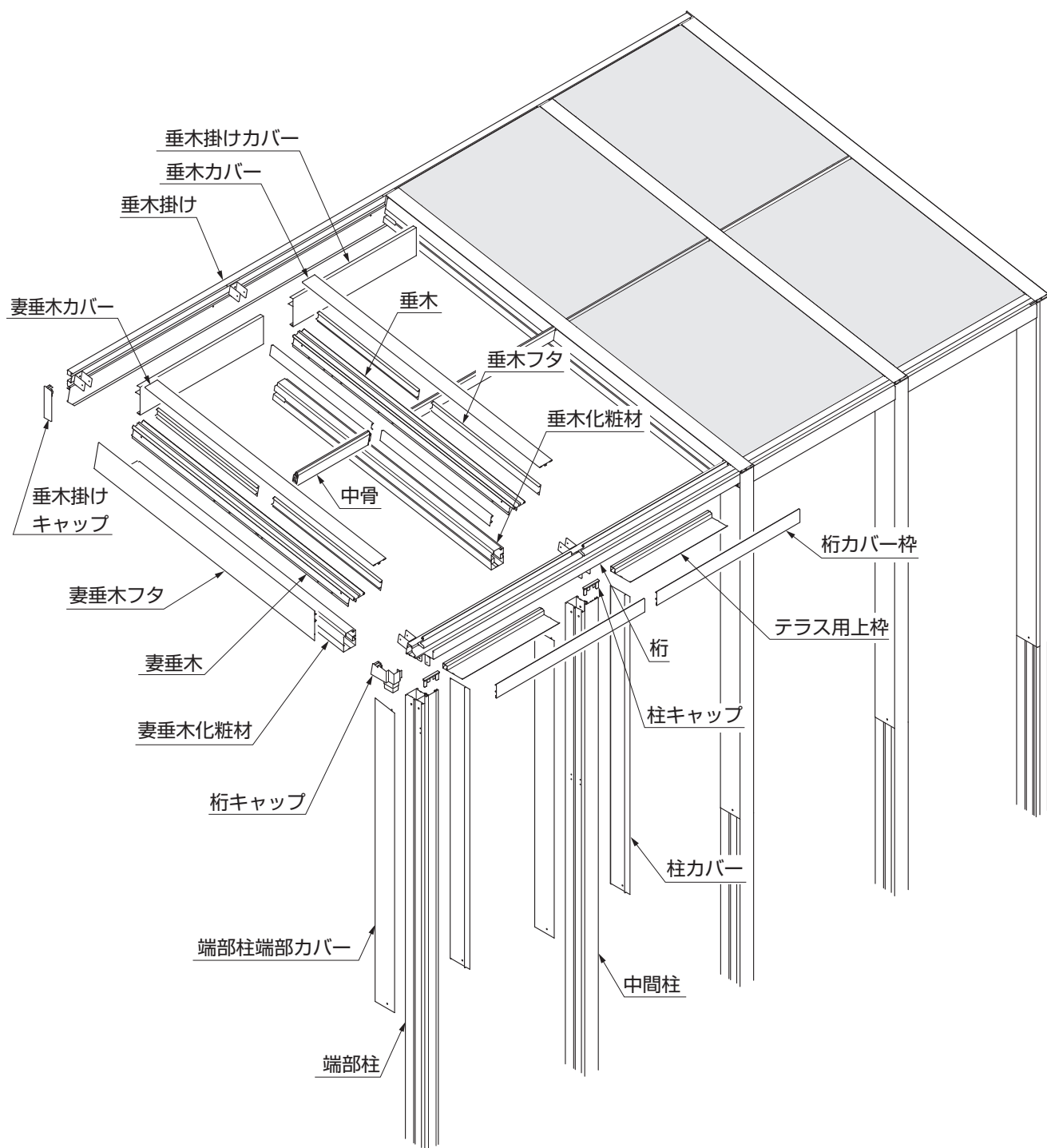


次のページ
21へ続く

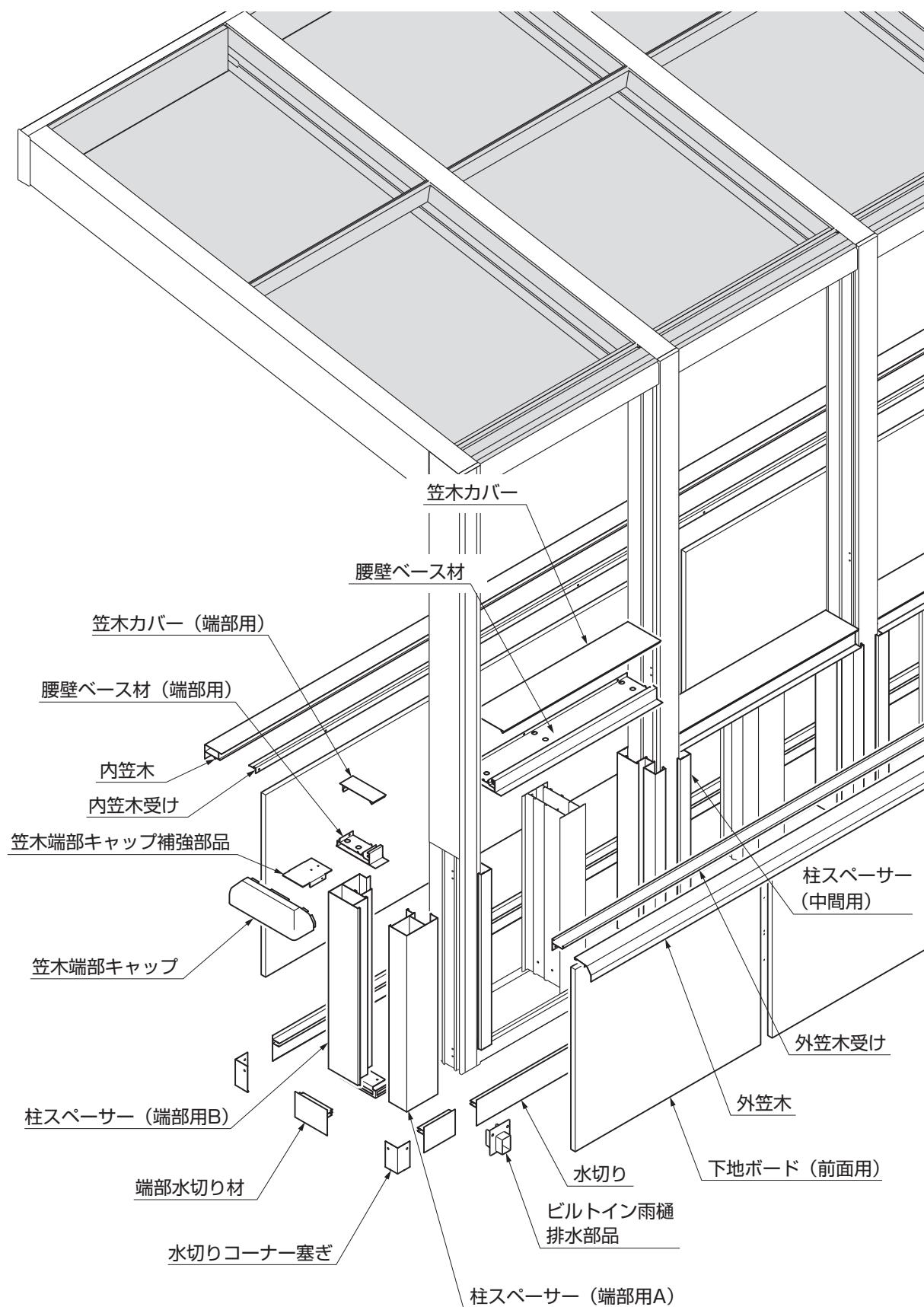


2 各部の名称

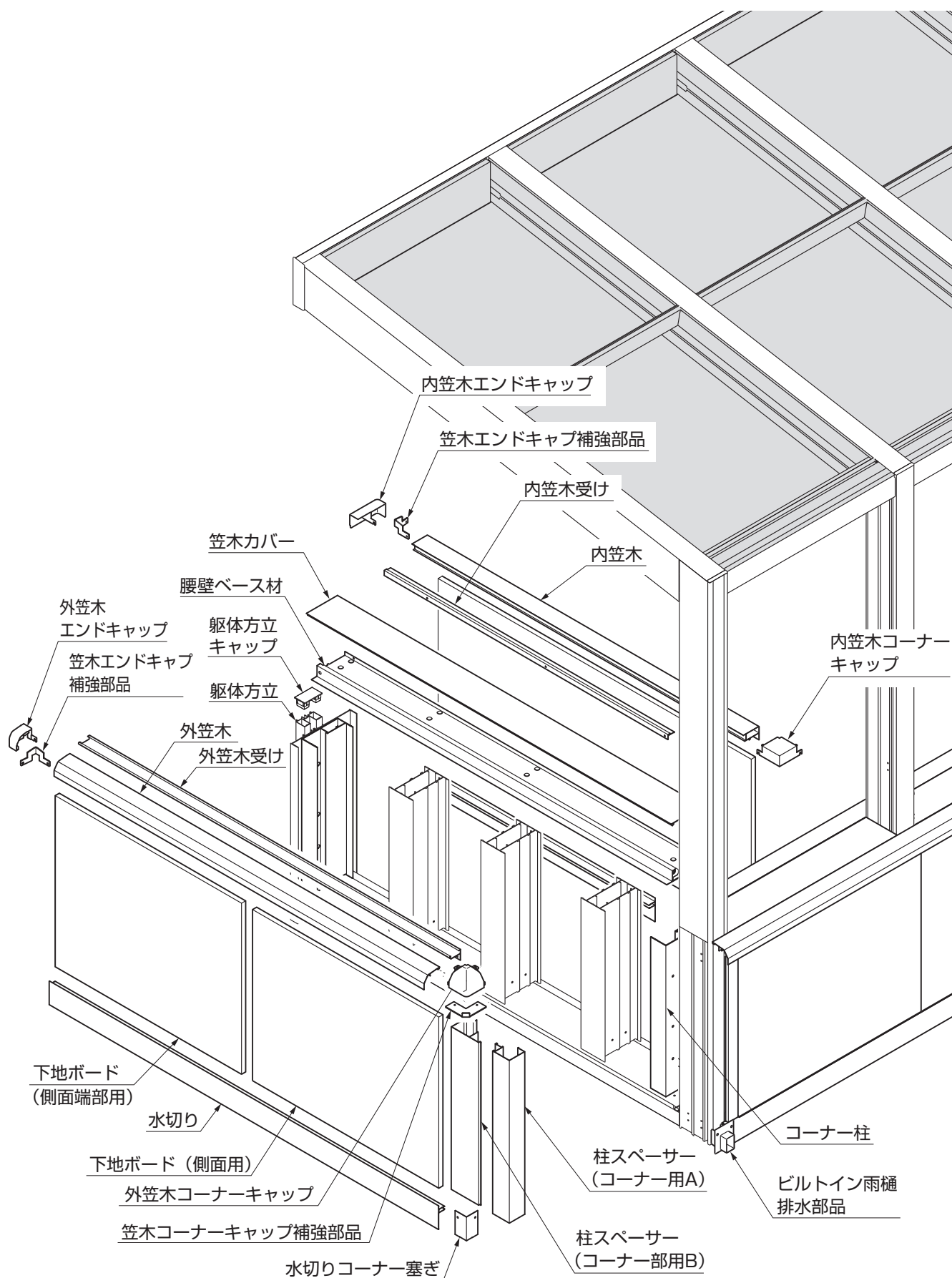
1. フレーム部



2. 前面腰壁部



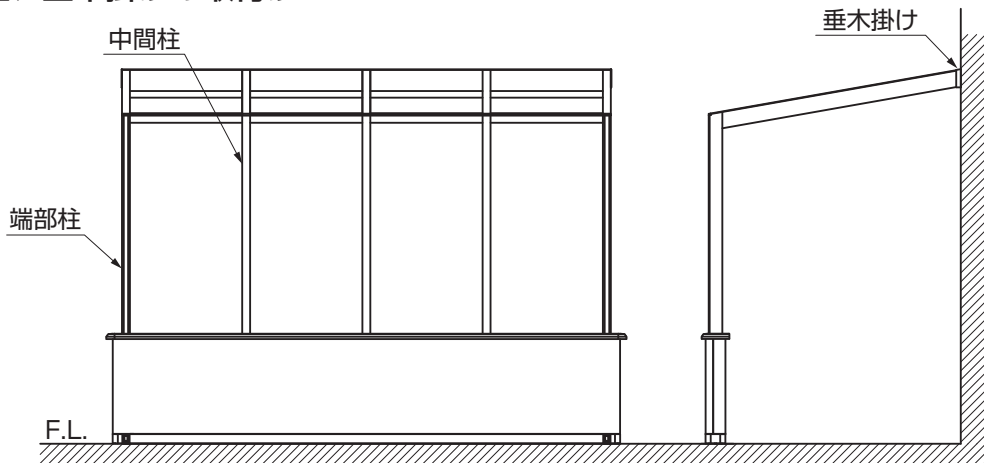
3. L字腰壁部（側面）



3 施工前の重要確認事項

1. 本製品の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

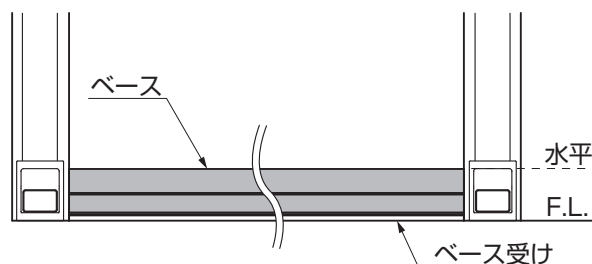
1-1 柱、垂木掛けの取付け



ポイント

- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。

1-2 ベースの取付け

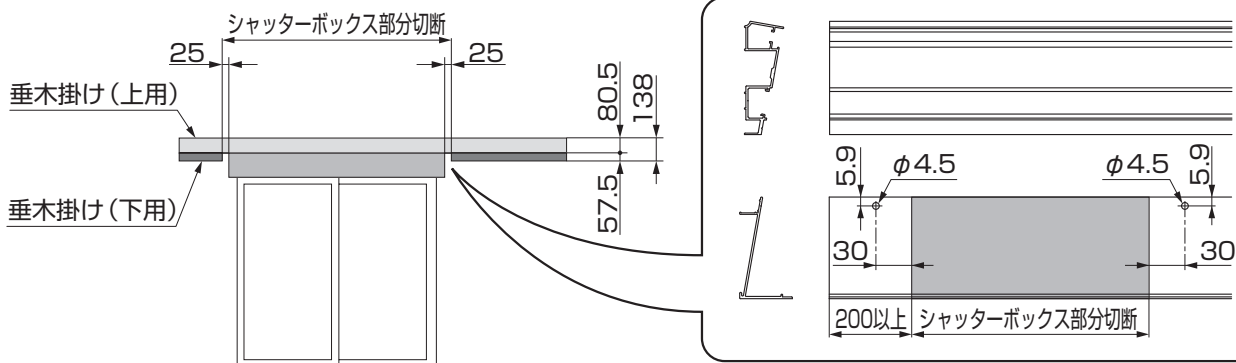


ポイント

- ベースは水平になるように取付けてください。

1-3 垂木掛けの分割利用について

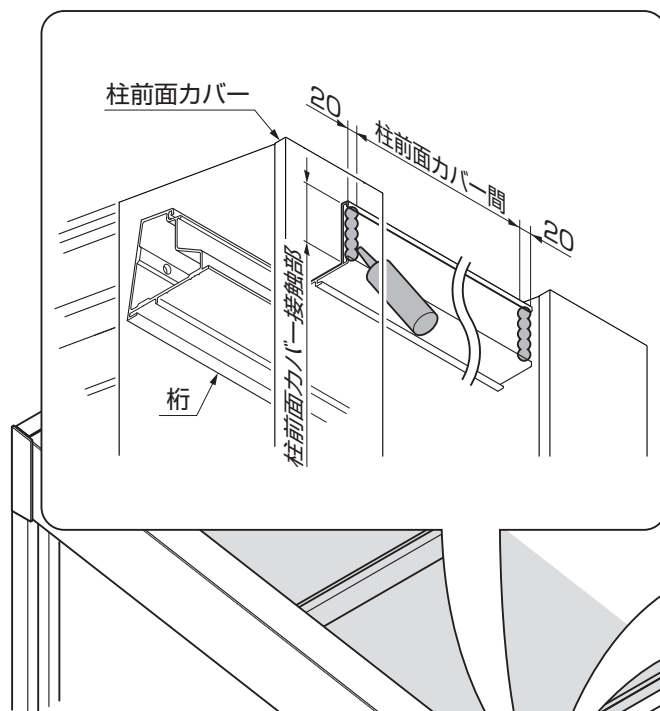
※垂木掛け打付け面の障害物（シャッターボックスなど）を避けて設置する方法です。



ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け(下用)は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け(下用)が必要です。

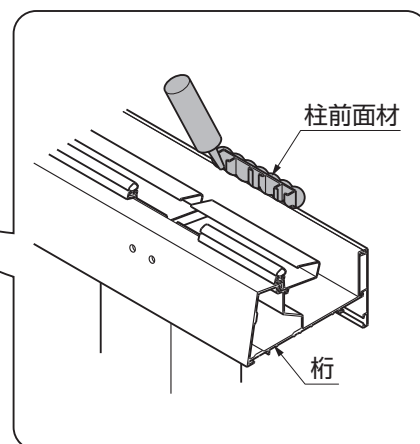
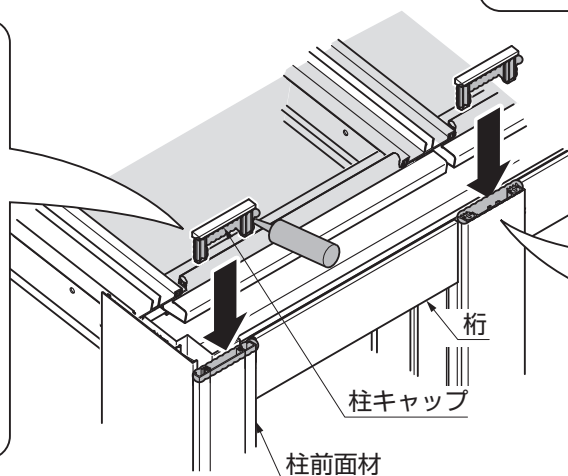
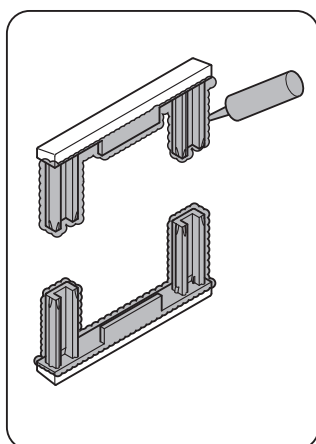
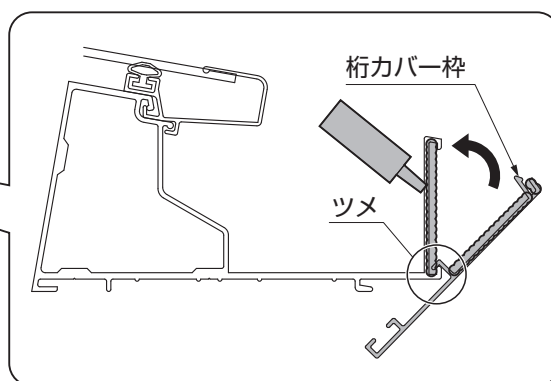
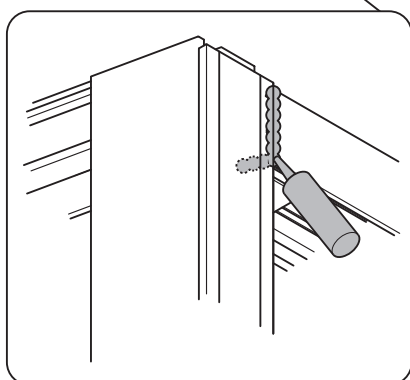
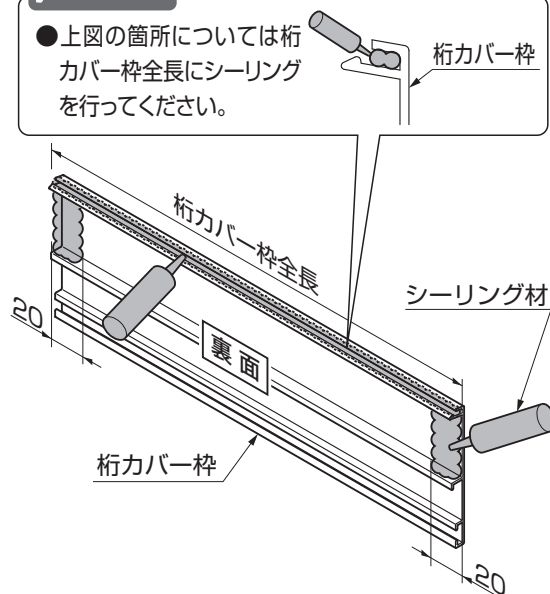
1-4 シーリング処理



【桁カバー枠裏側シーリング箇所】

ポイント

- 上図の箇所については桁カバー枠全長にシーリングを行ってください。



ポイント

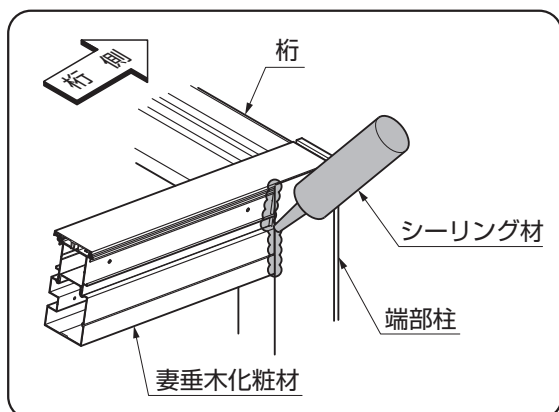
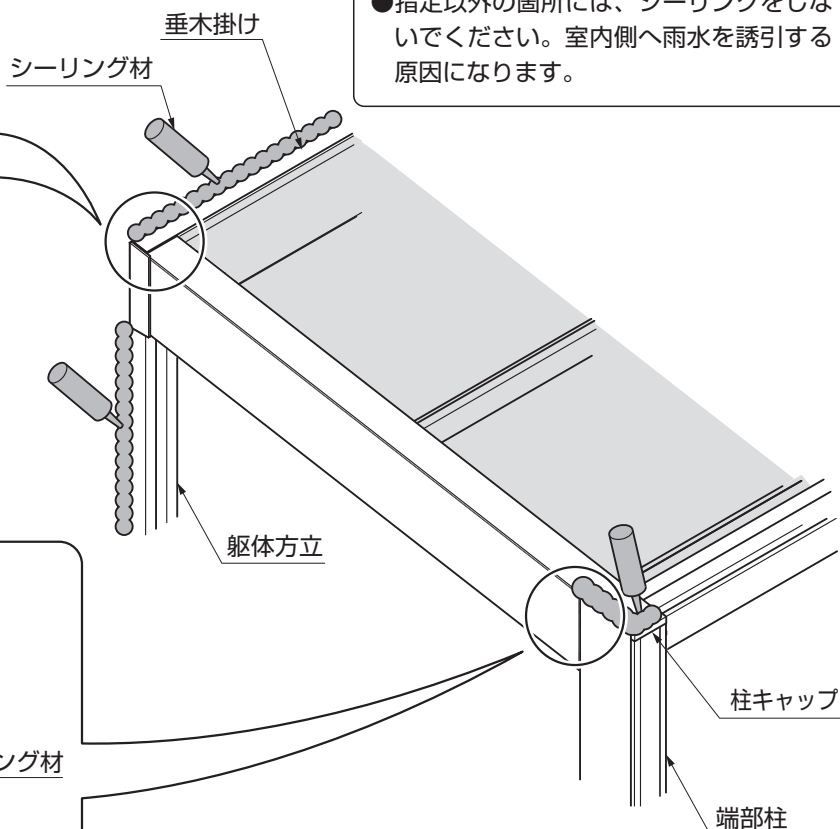
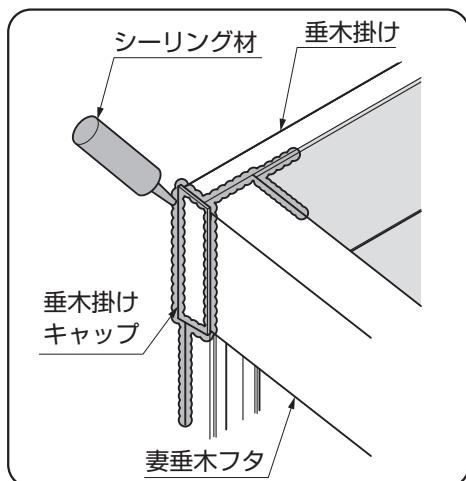
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1-4 (つづき)

ポイント

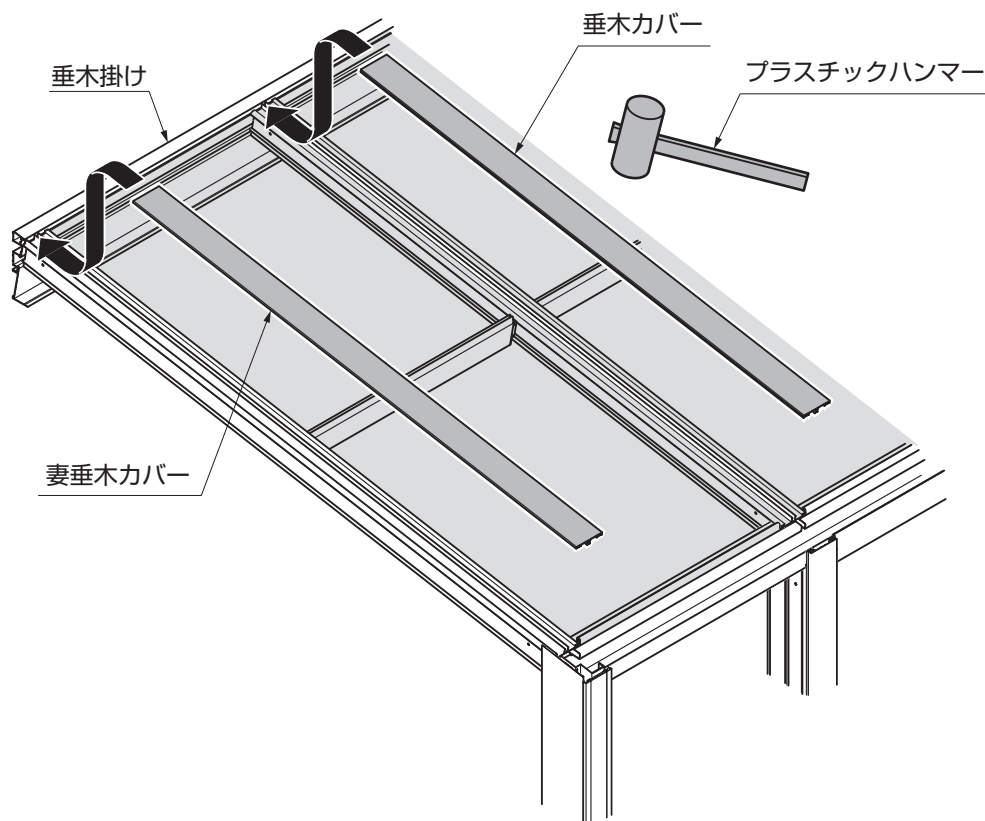
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。



1-5 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	シーリング箇所
P.43	2-2 躯体方立の取付け	φ5躯体穴、外壁と躯体方立
P.46	2. 桁の組立て	桁キャップ端部
P.47	2-2 連棟の場合 (2) 桁の連結	連結用桁キャップ
P.57	6. 入隅の場合	外壁と端部柱
P.58	1. 前面ベース受けの取付け	前面ベース受け端部
P.64	9-1 垂木掛けの取付け	φ5躯体穴、垂木掛け・躯体接触部、パネル飲み込み部
P.66	9-2 連棟、垂木LED照明、入隅の場合 (1) 連棟の場合	垂木掛け連結部
P.67	10. 桁の取付け	桁キャップの縁
P.75	(3) 垂木カバーのシーリング	垂木カバーと垂木掛け、躯体の接触部
P.88	19-4 シーリング処理	妻梁上部FIX部
P.92	3. シーリング処理	ベース受け
P.93	1. 柱スペーサー (中間用) の取付け	入隅縦枠、躯体の取合い部
P.108	3-1 腰壁ベース材の取付け	腰壁ベース材と躯体枠、取合せ部

1-6 垂木カバーの取付け



ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。
- 垂木カバー、妻垂木カバーは垂木掛けに突当てて取付けてください。

1-7 オプションを取付ける場合

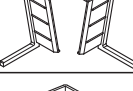
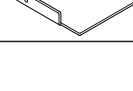
ポイント

- ココマII本体と合わせてオプション品を取付ける場合、本体のカバー材などを取付ける前にオプション品を取付けた方が良い場合があります。
本取付説明書において、オプション品取付けに影響するページを下表に挙げていますので、該当するオプションの取付説明書も併せて確認し、取付けてください。

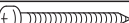
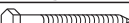
対象オプション	本取付説明書内に影響する手順	
	ページ	手 順
E377 ロールスクリーン	P.81	16. 垂木フタの取付け
E376 ローマンシェード	P.81	16. 垂木フタの取付け
E269 内部日除け	P.82	17. 垂木掛けカバーの取付け
E389 前面スクリーン	P.102またはP.120	9. 柱カバー、テラス用上枠フタの取付け
E378 カウンターテーブル	P.121	16. タイルの張付け

4 梱包明細表

【1】 部品箱セット（乾式腰壁-オープンテラスタイプ用）

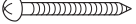
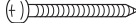
名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
中間柱スリーブ		3	5	7	9	11
ビルトイン雨樋排水部品		2	2	2	2	2
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
水切りコーナー塞ぎ		4	4	4	4	4
端部水切り固定金具		2	2	2	2	2
端部水切り材		2	2	2	2	2
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱取付金具		4	6	8	10	12
アンカー棒		2	2	2	2	2
接着剤		1	1	1	1	1
笠木端部キャップ補強部品		2	2	2	2	2

【1】 部品箱セット（乾式腰壁-オープンテラスタイプ用） つづき

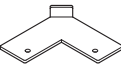
名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
【1-1】 30 フィッシャープラグ S6 小袋入		5	7	9	12	15
【1-2】 M6平座金		20	23	25	27	29
【1-3】 φ4.1×63丸木ネジ		5	7	9	12	15
【1-4】 φ4×12トラスタッピンネジ1種		2	2	2	2	2
【1-5】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 座金組込PW+樹脂パッキン		59	79	99	118	138
【1-6】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		17	21	26	30	34
【1-7】 φ4×13ナベドリルネジ（※）		145 (12)	198 (12)	252 (12)	305 (12)	356 (12)
【1-8】 φ4×19ナベドリルネジ		5	7	9	12	15
【1-9】 φ4×25サラドリルネジ		39	59	79	99	118
【1-10】 φ4×25ナベタッピンネジ2種 G=5		21	28	34	41	48
【1-11】 φ4×30ナベタッピンネジ1種		5	7	9	12	15
【1-12】 φ4×75ナベタッピンネジ1種		6	10	14	18	22
【1-13】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		28	41	55	67	80
【1-14】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2
【1-15】 φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
シーリング箇所一覧 ココマⅡ 乾式腰壁タイプ編<E391>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ 乾式腰壁タイプ オープンテラス 取付説明書<E415>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ 取扱説明書<UE091>	—	1	1	1	1	1

※（ ）内本数については、シャイングレー：生地色、アイボリーホワイト：ホワイト色

【1】 部品箱（乾式腰壁 横延長用）

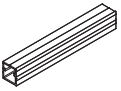
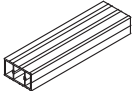
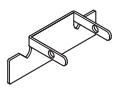
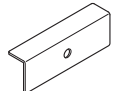
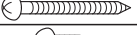
名 称	略 図	員 数
中間柱スリーブ		3
【1-1】 30 フィッシャープラグ S6 小袋入		5
【1-3】 φ4.1×63丸木ネジ		5
【1-7】 φ4×13ナベドリルネジ		44
【1-8】 φ4×19ナベドリルネジ		5
【1-9】 φ4×25サラドリルネジ		39
【1-10】 φ4×25ナベタッピンネジ2種 G=5		8
【1-11】 φ4×30ナベタッピンネジ1種		5
【1-12】 φ4×75ナベタッピンネジ1種		6
【1-16】 腰壁ベース材 取付ボルト		4

【2】 部品箱セット (L字乾式腰壁タイプ用)

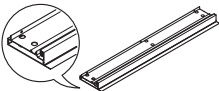
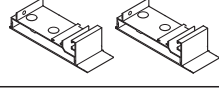
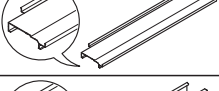
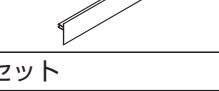
名 称	略 図	員 数				名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺			4尺	6尺	8尺	10尺
中間柱スリーブ		3	5	7	9	【2-2】 φ4×25ナベ タッピンネジ2種 G=5		10	15	19	24
内面ふさぎ材B		1	1	1	1	【2-3】 30 フィッシャー プラグ S6		3	5	6	8
躯体方立キャップ		1	1	1	1	【2-4】 φ4×30 ナベタッピンネジ1種		3	5	6	8
笠木コーナーキャップ 補強部品		1	1	1	1	【2-5】 φ4×25 サラドリルネジ		39	59	79	99
笠木エンドキャップ 補強部品		2	2	2	2	【2-6】 φ4×75ナベ タッピンネジ1種		6	10	15	19
【2-1】 φ4×13 ナベドリルネジ		58	80	93	115	【2-7】 φ4.1×63丸木ネジ		4	6	6	8
						【2-8】 φ4×19 ナベドリルネジ		3	5	6	8
						【2-9】 φ5×12トラス タッピンネジ3種 (※)		1	1	1	1
						【2-10】 φ4×12トラス タッピンネジ3種		3	3	3	3

※シャイングレー：生地色、アイボリーホワイト：ホワイト色

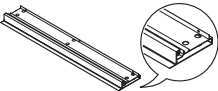
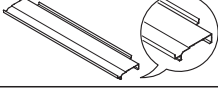
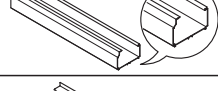
【3】 部品箱セット (オープンテラス-3000用 積雪タイプ)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
サブ垂木化粧材端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木取付金具		4	6	8	10	12
垂木掛けカバー (サブ垂木化粧材下)		2	3	4	5	6
【3-1】 φ4×13ナベドリルネジ		52	78	104	132	158
【3-2】 φ4×12トラス タッピンネジ3種		14	22	29	38	45
【3-3】 φ4×12トラス タッピンネジ2種 座金組込PW+樹脂パッキン		33	49	66	82	99
【3-4】 φ4×8トラス タッピンネジ3種		2	3	4	5	6
【3-5】 φ5×75ナベ タッピンネジ1種		5	7	9	11	13
【3-6】 φ5×12トラス タッピンネジ3種		8	13	17	22	26

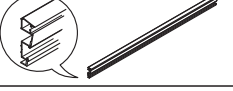
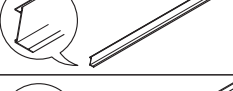
【4】 前面ベース材セット（乾式腰壁-オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁ベース材 （中間用）		2	3	4	5	6
腰壁ベース材 （端部用）		左右 各1	左右 各1	左右 各1	左右 各1	左右 各1
前面ベース		1	1	1	1	1
前面ベース受け		1	1	1	1	1
水切り		2	2	2	2	2

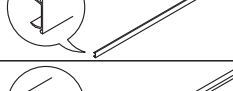
【5】 側面ベース材セット（乾式腰壁-オープンテラスタイプ用）（右用または左用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
腰壁ベース材		1	1	1	1
側面ベース		1	1	1	1
側面ベース受け		1	1	1	1
水切り（内用）		1	1	1	1
水切り（外用）		1	1	1	1

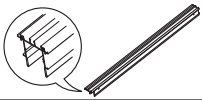
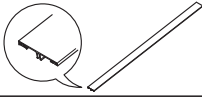
【6】 桁垂木掛けセット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		2	3	4	5	6

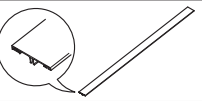
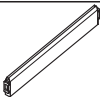
【7】 桁垂木掛けセット（3000タイプ）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		4	6	8	10	12

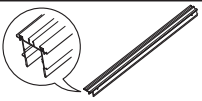
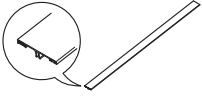
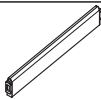
【8】妻垂木セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
中骨		—	1	1	2
雪下ろし指示シール		1	1	1	1

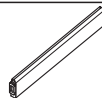
【9】垂木セット

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	1	3	3	3	3
中骨		—	1	1	2	—	3	3	6

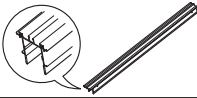
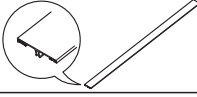
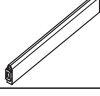
【10】積雪用妻垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1
中骨		1	2	3
雪下ろし指示シール		1	1	1

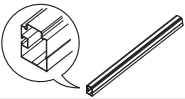
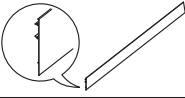
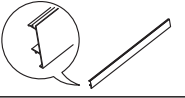
【11】積雪用垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
中骨		1	2	3	3	6	9

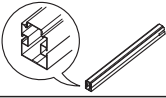
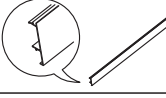
【12】 サブ垂木セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
サブ垂木化粧材		1	1	1
中骨		1	2	3
垂木フタ		4	6	8

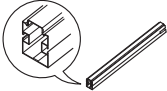
【13】 妻垂木化粧材セット

名 称	略 図	員 数						
		600タイプ				1500・3000タイプ		
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		2	4	4	6	4	6	8

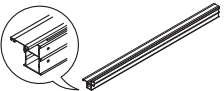
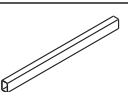
【14】 垂木化粧材セット (600タイプ)

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木化粧材		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木フタ		2	4	4	6	6	12	12	18
垂木化粧材キャップ		1	1	1	1	3	3	3	3

【15】垂木化粧材セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		4	6	8	12	18	24
垂木化粧材キャップ		1	1	1	3	3	3

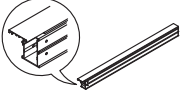
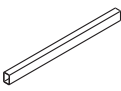
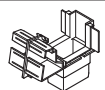
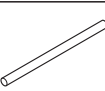
【16】端部柱セット（オープンテラスタイプ 標準・ロング用）

名 称	略 図	員 数
端部柱		左右各1
端部柱端部カバー		左右各1
雨樋受け取付部品		2
雨樋受け部品（下排水用）		2
雨樋受け部品（前排水用）		2
角横エルボ		2
角樋		2

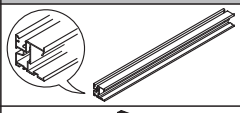
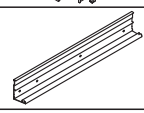
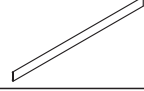
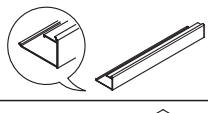
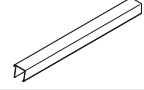
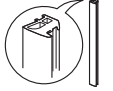
【17】中間柱セット（オープンテラスタイプ 標準・ロング用）

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3

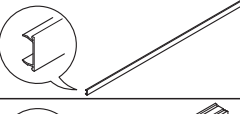
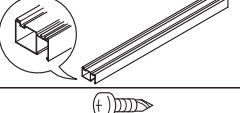
【18】連棟柱セット（オープンテラスタイプ 標準・ロング用）

名 称	略 図	員 数
連棟柱		1
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
雨樋受け部品（前排水用）		1
角横エルボ		1
角樋		1
柱キャップ		1
柱取付金具		2
連結用桁キャップ		1
アンカー棒		1
【18-1】φ4×13ナベドリルネジ		2
【18-2】φ5×12トラスタッピンネジ3種		6
【18-3】φ5×8トラスタッピンネジ3種		2

【19】 妻梁セット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻梁		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立		—	—	—	1
妻梁上部FIX枠（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠（桁側）		1	1	1	1
妻梁カバー		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立カバー		—	—	—	1
妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠押縁（桁側）		1	1	1	1
後付けビード材		1	1	1	2
妻梁取付金具		2	2	2	2
妻梁上部FIX取付金具		—	—	—	2
セッティングブロック（H10）		4	4	4	4
【19-1】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
【19-2】 φ4×13ナベドリルネジ		5	6	7	17

【20】 妻梁フタセット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
ネジ隠しフタ		1	1	1	1
妻梁下フタ		1	1	1	1
【20-1】 φ4×16ナベドリルネジ		5	6	7	8

【21】 躯体方立セット

名 称	略 図	員 数
躯体方立		1
躯体方立キャップ		1
【21-1】 φ4×12トラス タッピンネジ3種		1

【22】 乾式腰壁間柱セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
乾式腰壁 間柱		2	3

【23】 垂木掛けカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

【24】 垂木掛けカバーセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
垂木掛けカバー		4	6

【25】 桁カバー枠セット

名 称	略 図	員 数
桁カバー枠		1

【26】 前面テラス縦枠セット (基本タイプ用)

名 称	略 図	員 数
柱カバー		左右各1

【27】 前面テラス縦枠セット (腰壁タイプ用)

名 称	略 図	員 数
柱カバー (オープンテラス用)		2

【28】 前面横枠 オープンテラス用

名 称	略 図	員 数
テラス用上枠		1
ネジ隠しフタ		1

【29】 端部柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
端部柱外固定ベース		1
【29-1】 φ5×35セルフタッパアンカー		6
【29-2】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【29-3】 φ4×13ナベドリルネジ		2

【30】 端部柱内固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
端部柱内固定ベース		1
【30-1】 φ5×35セルフタッパアンカー		6
【30-2】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【30-3】 φ4×13ナベドリルネジ		2

【31】 躯体見切り材セット (乾式腰壁タイプ用)

名 称	略 図	員 数
コーナー柱		2
見切り材		1

【32】 前面デッキベース材セット

名 称	略 図	員 数
前面ベース材		1
ベース材固定金具		2
【32-1】 φ4×16ナベドリルネジ		4

【33】 側面デッキベース材セット (乾式腰壁タイプ用)

名 称	略 図	員 数
腰壁用側面ベース材		1

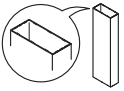
【34】 屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

【35】 屋根材セット (3000)

名 称	略 図	員 数	
		4枚入	6枚入
屋根材積雪用		4	6

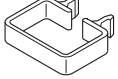
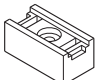
【36】 ベース材束柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
ベース材束柱		1	3
束柱固定金具		2	6
【36-1】 φ4×16ナベドリルネジ		6	18
【36-2】 φ5×35セルフタッパンカー		3	8

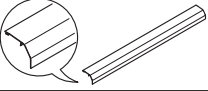
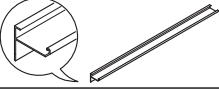
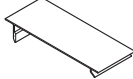
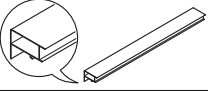
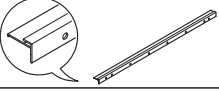
【38】 妻梁上部FIXパネル（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
妻梁上部FIXパネル	 10尺用	1

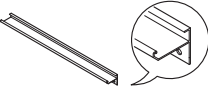
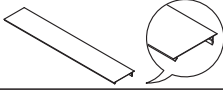
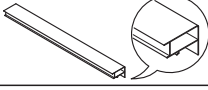
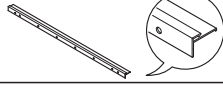
【37】 角樋セット

名 称	略 図	員 数
サドル		2
サドル受け		2
角エルボ		1
角樋		1

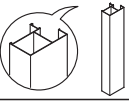
【39】 前面笠木セット（乾式腰壁-オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
外笠木		1	1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1	1
笠木カバー（端部用）		2	2	2	2	2
笠木カバー		2	3	4	5	6
内笠木		1	1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1	1

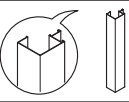
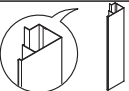
【40】 側面笠木セット（オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
外笠木		1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1
笠木カバー		1	1	1	1
内笠木		1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1

【41】 乾式腰壁柱スパーサーセット（端部用）

名 称	略 図	員 数
柱スパーサー（端部用A）		1
柱スパーサー（端部用B）		1

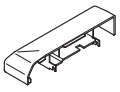
【42】 乾式腰壁柱スパーサーセット（コーナー用）

名 称	略 図	員 数
柱スパーサー（コーナー用A）		1
柱スパーサー（コーナー用B）		1

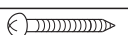
【43】 乾式腰壁下地ボードセット（側面用）

名 称	略 図	員 数
下地ボード（側面用）		1

【44】 腰壁前面笠木キャップセット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		1

【45】 入隅用縦枠セット

名 称	略 図	員 数
入隅用縦枠		1
縦枠キャップ		1
【45-1】 $\phi 4.1 \times 45$ 丸木ネジ		2

【46】 乾式腰壁柱スパーサーセット（中間用）

名 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
柱スパーサー（中間用）		4	6

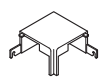
【47】 乾式腰壁下地ボードセット（前面用）

名 称	略 図	員 数
下地ボード（前面用）		1

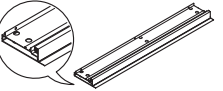
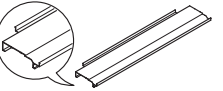
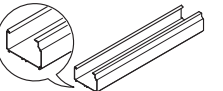
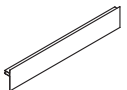
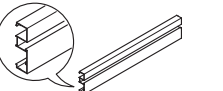
【48】 乾式腰壁下地ボードセット（側面端部用）

名 称	略 図	員 数
下地ボード（側面端部用）		1

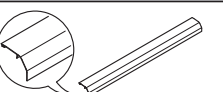
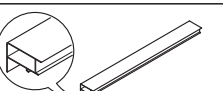
【49】 腰壁側面笠木キャップセット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
外笠木エンドキャップ		1
内笠木エンドキャップ		1
外笠木コーナーキャップ		1
内笠木コーナーキャップ		1

【50】 前面ベース材セット（乾式腰壁-屋根なし腰壁タイプ用）

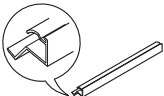
名 称	略 図	員 数
		1.0間延長
腰壁ベース材（延長用）		1
前面ベース		1
前面ベース受け		1
水切り		2
柱スパーサー（中間用）		2

【51】 前面笠木セット（乾式腰壁-屋根なし腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
		1.0間延長
外笠木		1
外笠木受け		1
笠木カバー		1
内笠木		1
内笠木受け		1

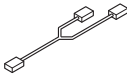
【52】 妻垂木化粧材溝カバーセット

オプション

名 称	略 図	員 数
妻垂木化粧材溝カバー		1

【53】 渡り配線セット

オプション

名 称	略 図	員 数
渡り配線ケーブル		1

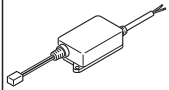
【54】 LEDスクエアライトセット

オプション

名 称	略 図	員 数
LED照明		1

【55】 ACアダプターセット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター		1

【56】 ACアダプター固定部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター固定部品		1
【56-1】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種		2

【57】 トランス電源ユニット35W 屋外用

オプション

名 称	略 図	員 数
トランス電源ユニット35W (屋外用) 本体		1
【57-1】 $\phi 4 \times 50$ 十字穴付 フランジ付タッピンネジ		2 (※)
【57-2】 フィッシャープラグ 呼び径30		2 (※)
【57-3】 スペーサー		1 (※)
【57-4】 結束バンド		2 (※)
取付説明書<Z546>	—	1
取扱説明書<UZ278>	—	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

5 基本寸法

1. 前面腰壁仕様

1-1 単体仕様

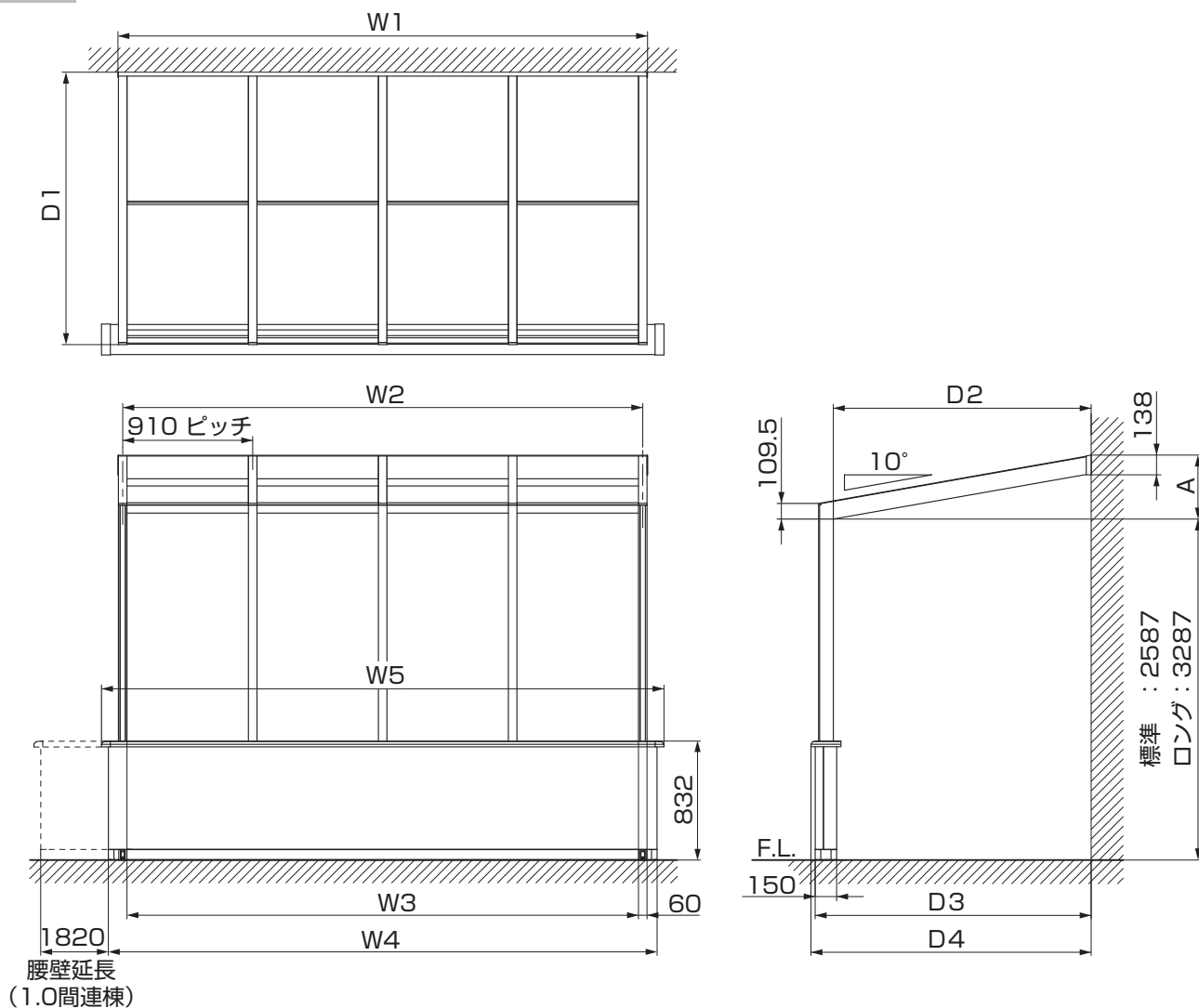


表1-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2020	2087	2
1.5間	2797	2730	2670	2930	2997	3
2.0間	3707	3640	3580	3840	3907	4
2.5間	4617	4550	4490	4750	4817	5
3.0間	5527	5460	5400	5660	5727	6

表1-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

1-2 連棟仕様

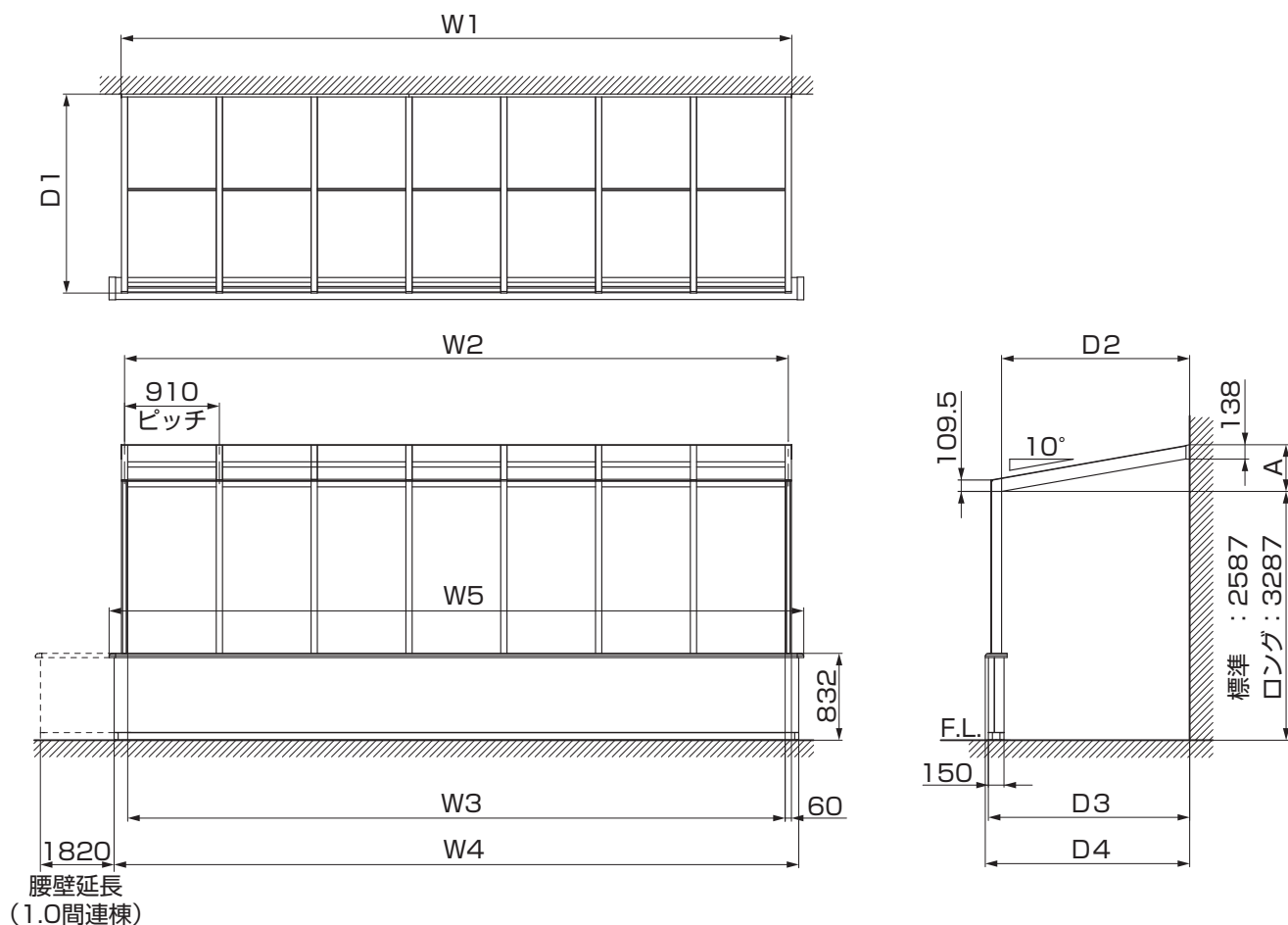


表1-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6570	6637	7
4.0間	7347	7280	7220	7480	7547	8
4.5間	8257	8190	8130	8390	8457	9
5.0間	9167	9100	9040	9300	9367	10
5.5間	10077	10010	9950	10210	10277	11
6.0間	10987	10920	10860	11120	11187	12

表1-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

2. L字腰壁仕様

2-1 単体仕様

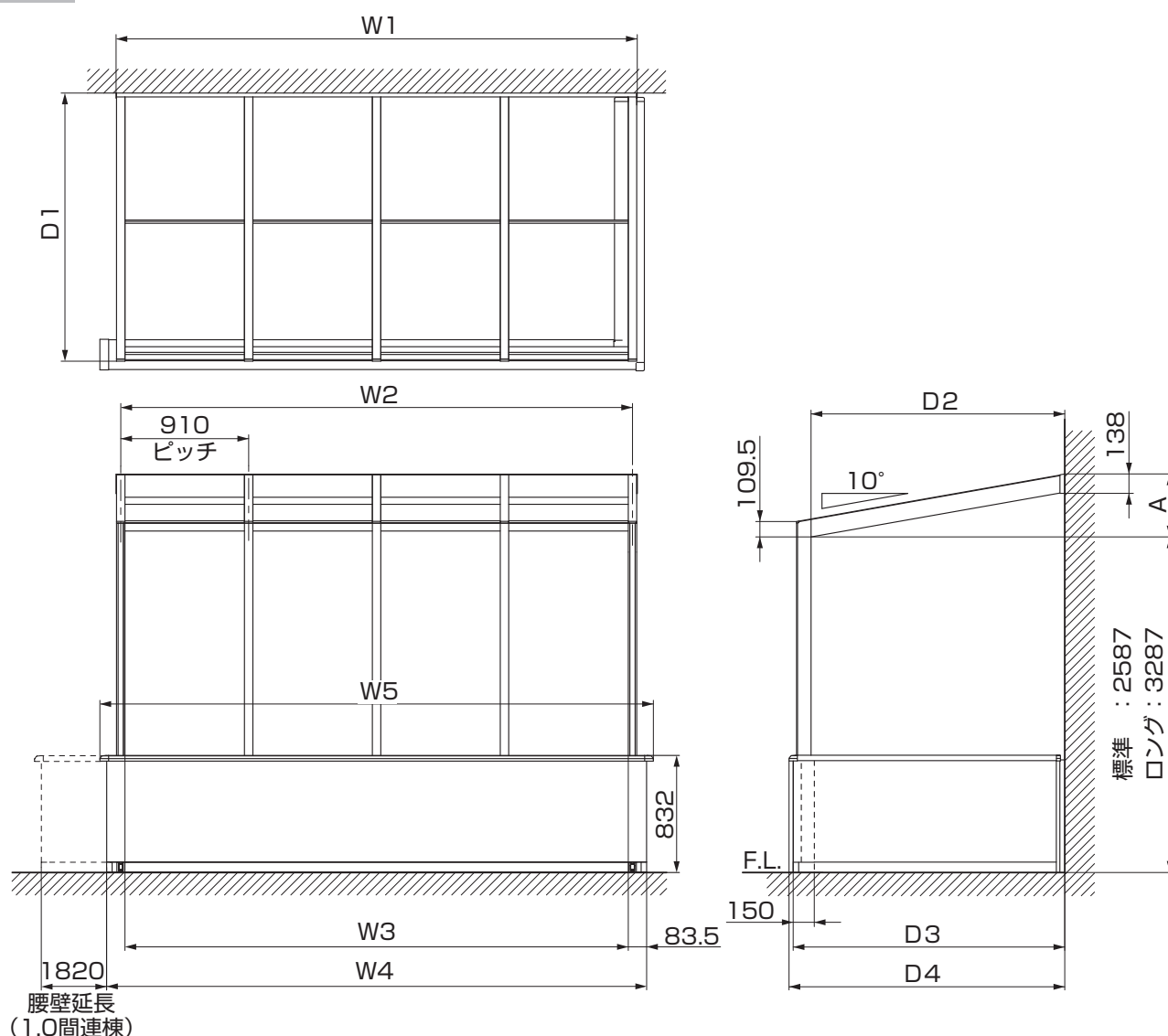


表2-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	1973.5	2037.5	2	
1.5間	2797	2730	2670	2883.5	2947.5	3	
2.0間	3707	3640	3580	3793.5	3857.5	4	
2.5間	4617	4550	4490	4703.5	4767.5	5	
3.0間	5527	5460	5400	5613.5	5677.5	6	

表2-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

2-2 連棟仕様

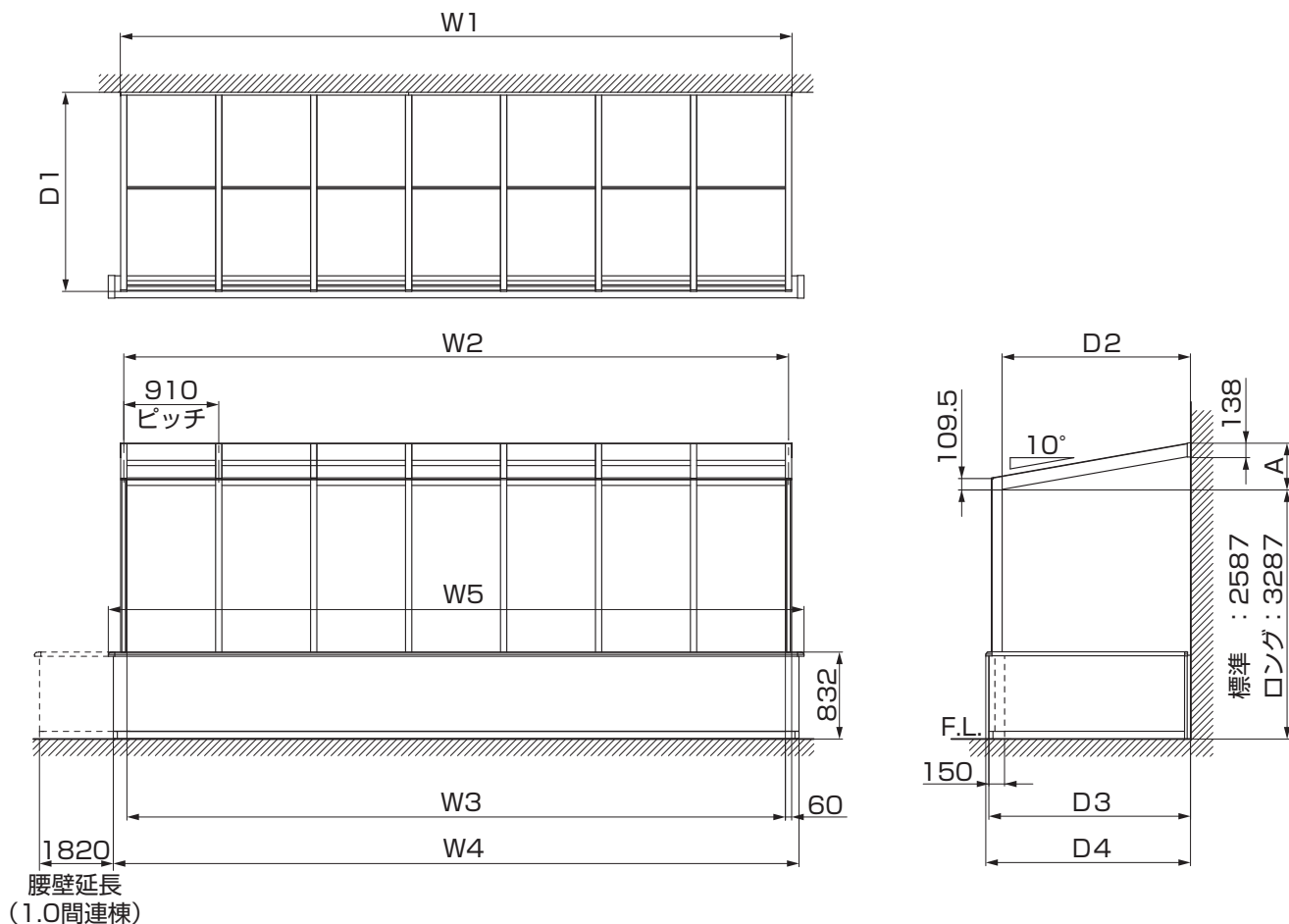


表2-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6523.5	6587.5	7
4.0間	7347	7280	7220	7433.5	7497.5	8
4.5間	8257	8190	8130	8343.5	8407.5	9
5.0間	9167	9100	9040	9253.5	9317.5	10
5.5間	10077	10010	9950	10163.5	10227.5	11
6.0間	10987	10920	10860	11073.5	11137.5	12

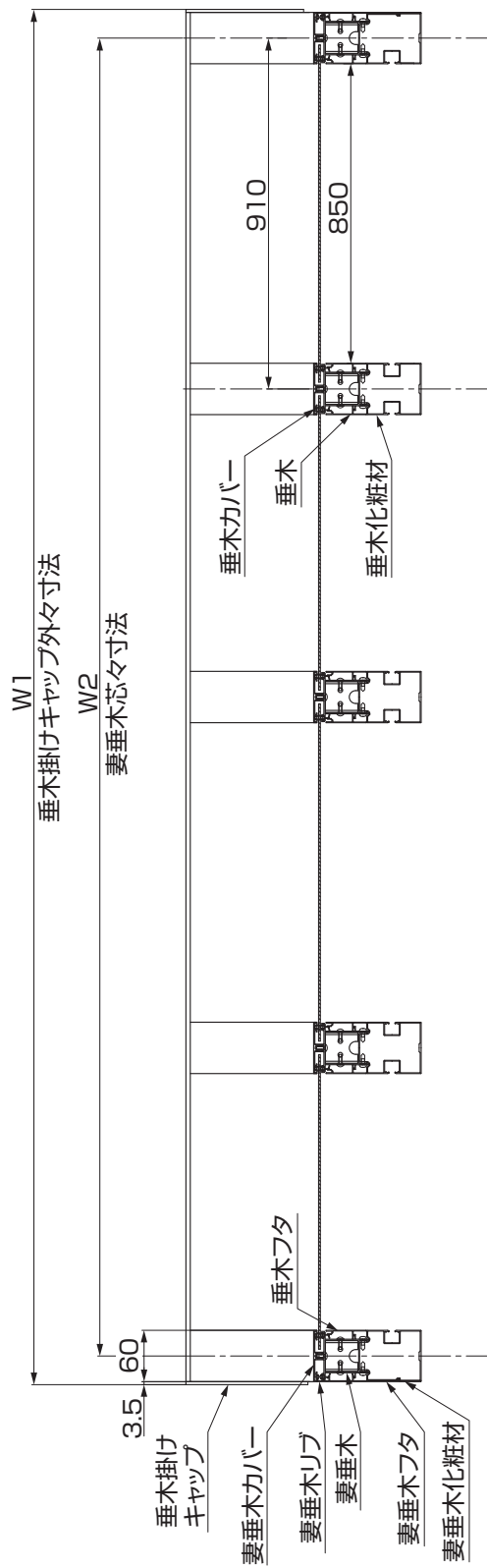
表2-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

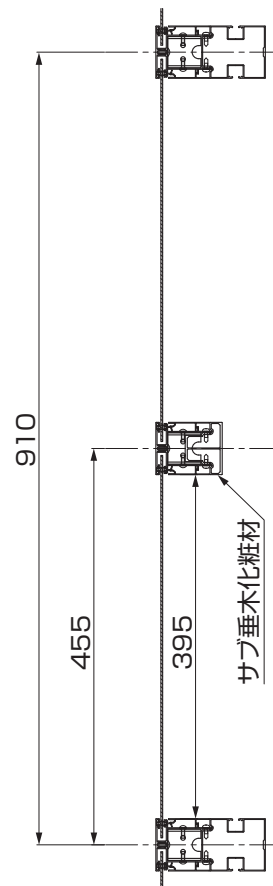
6 断面納まり図

1. 間口断面納まり図

●L字乾式腰壁仕様の場合



●積雪3000タイプの場合



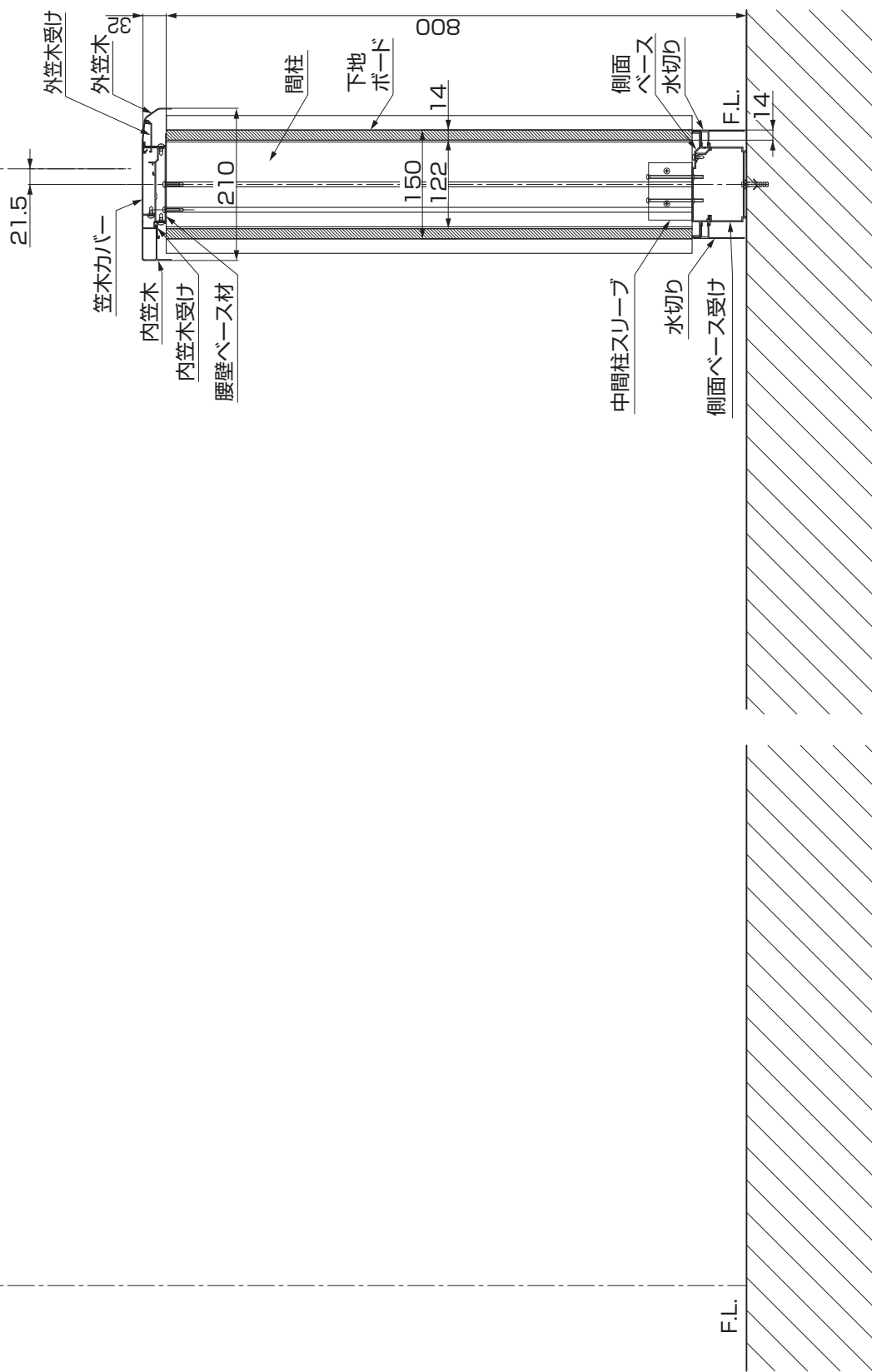
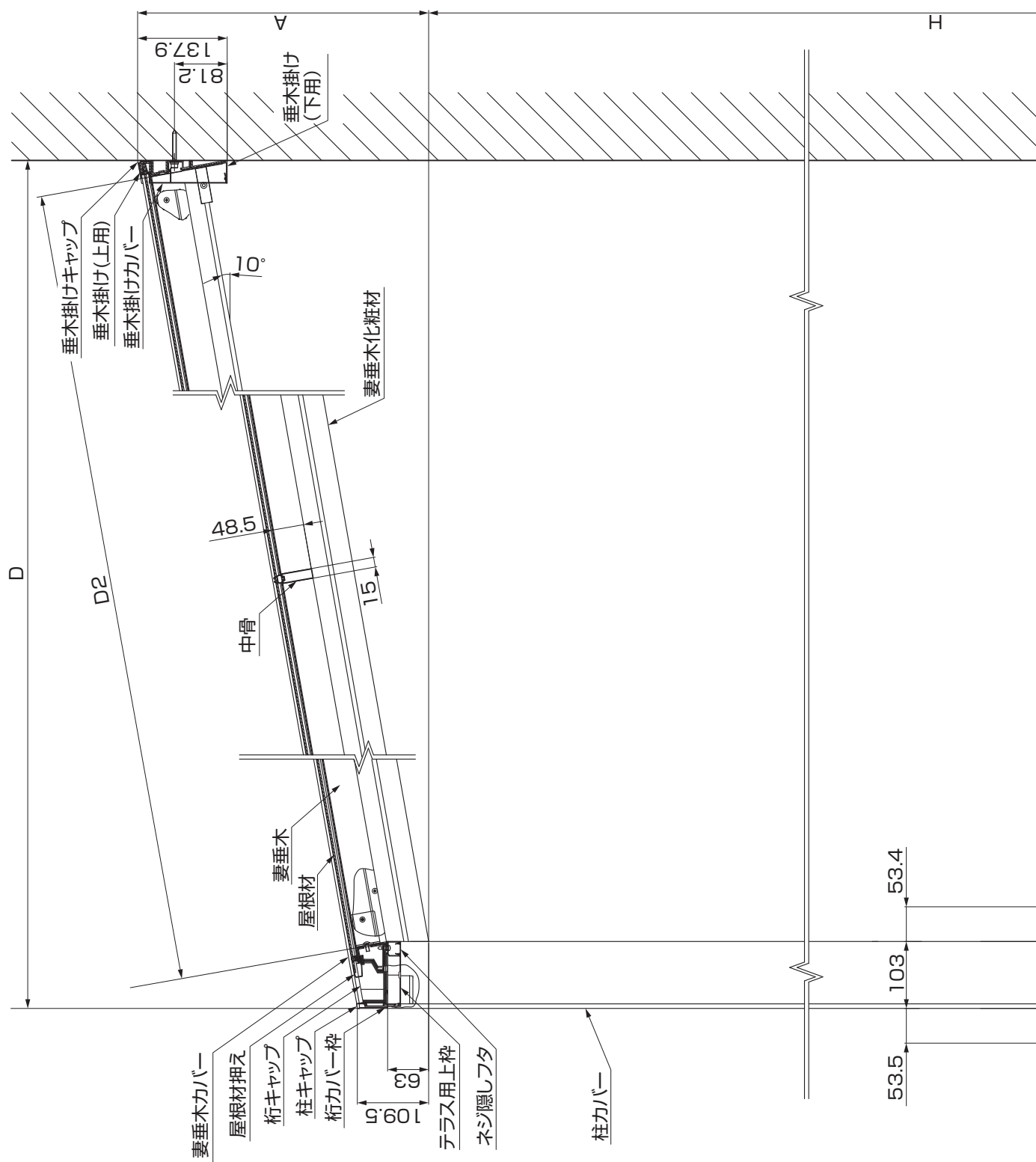


表 1-1

間口 間口寸法	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

2. 出幅断面納まり図



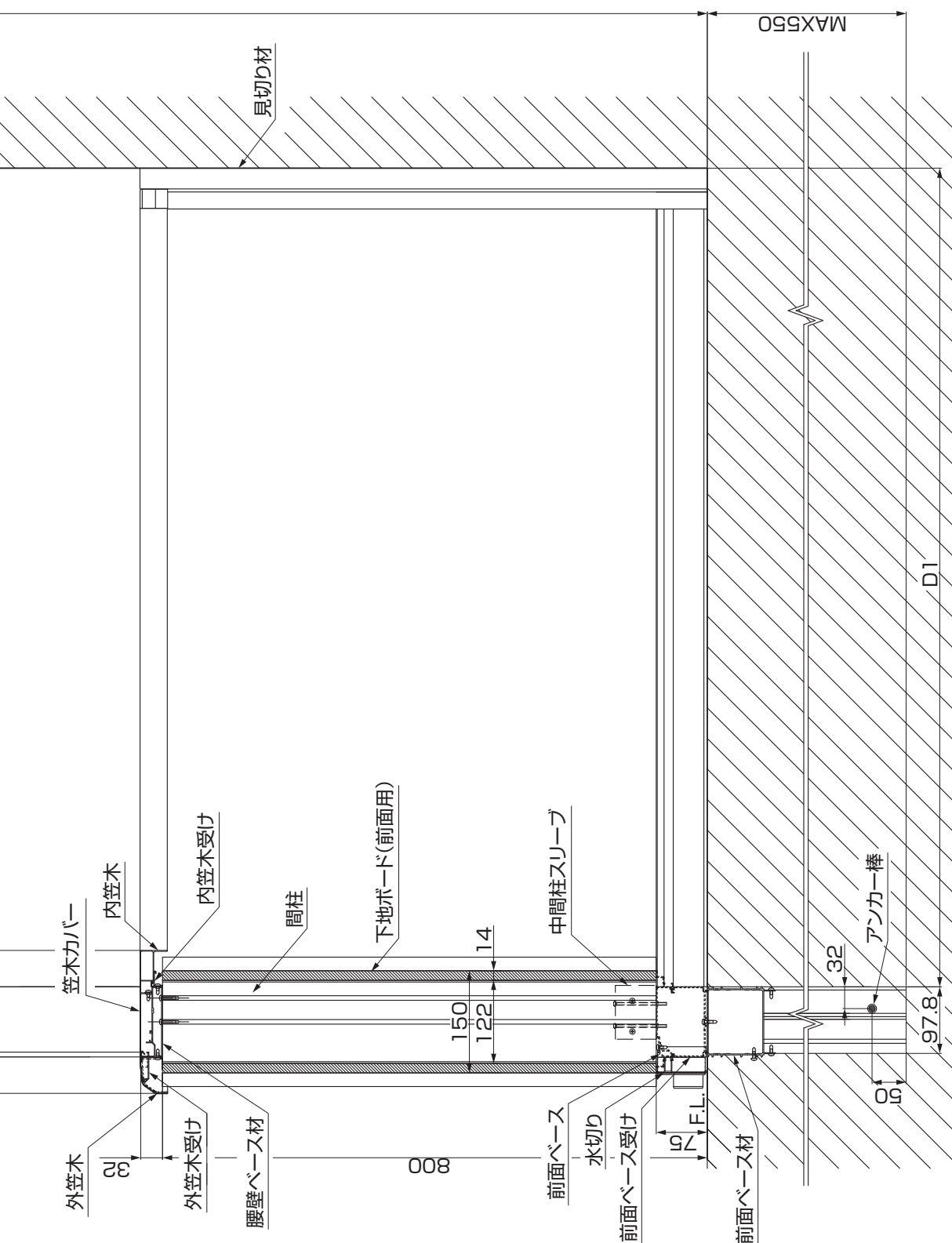


表2-3

出幅寸法	間口				
	4尺	6尺	8尺	10尺	
	D	1308	1908	2508	3108
	D1	1205	1805	2405	3005
D2	1207.5	1816.5	2426	3035	

表2-2

高さ寸法	出幅				
	A	4尺	6尺	8尺	10尺
		342	448	554	659

表2-1

高さ呼称	H
標準	2587
ロング	3287

7 柱の位置出し

1. 基本仕様

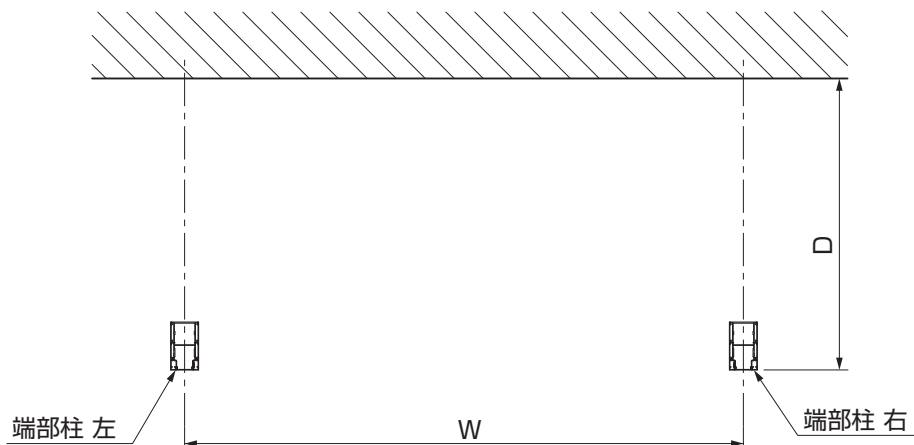


表1-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1820	2730	3640	4550	5460

2. 連棟仕様

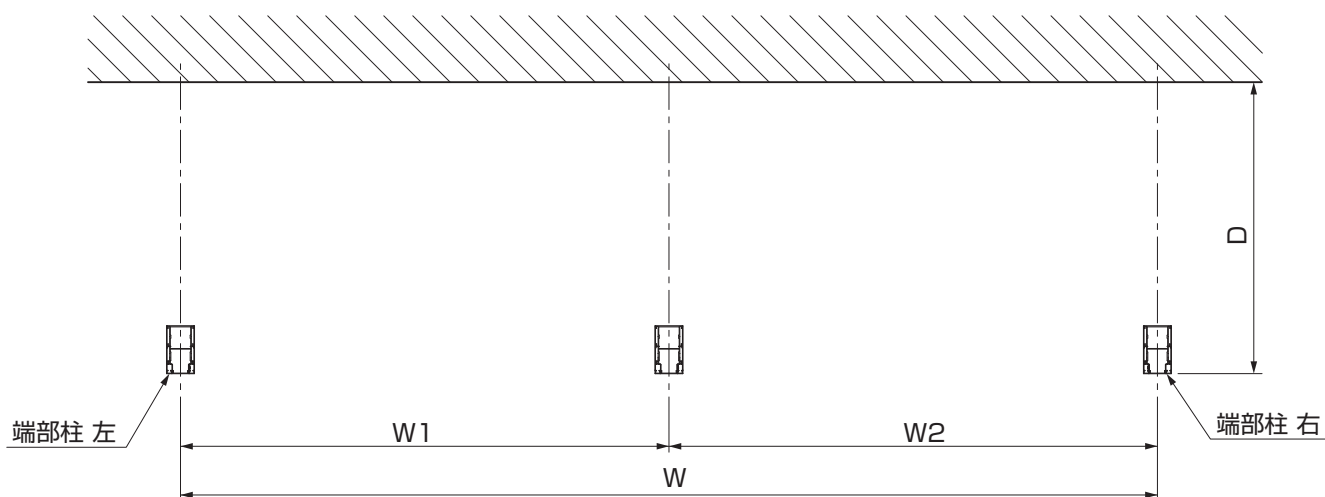


表2-1 出幅寸法

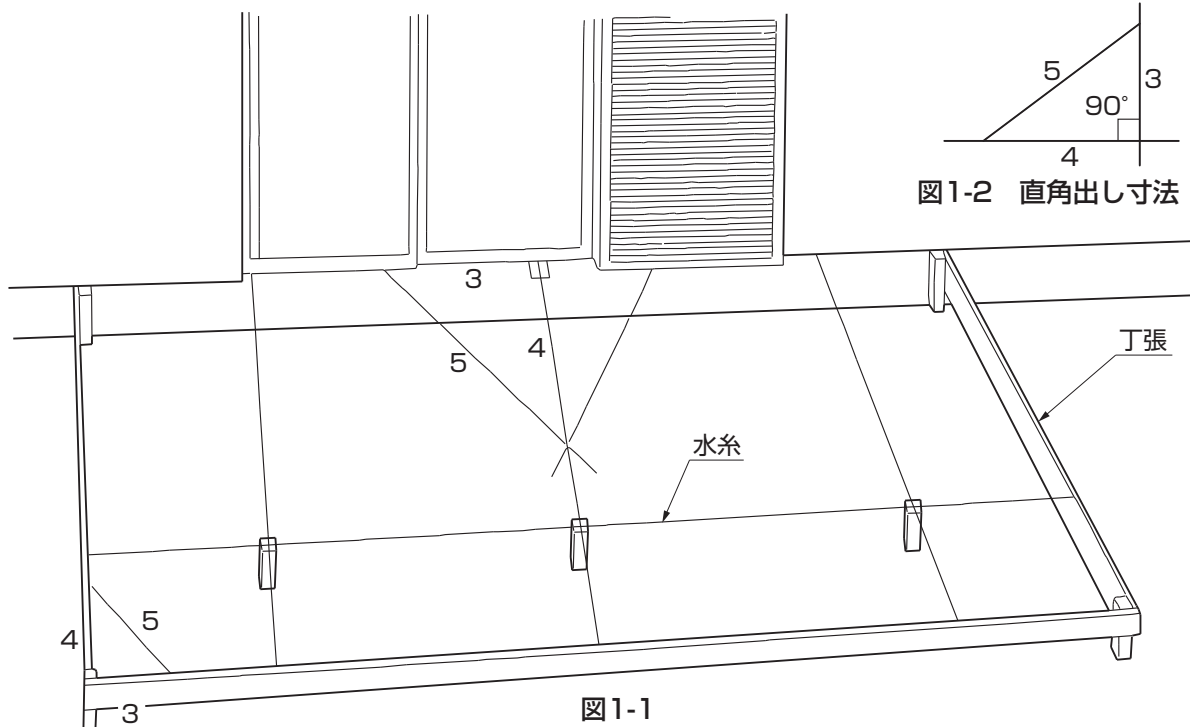
出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表2-2 間口寸法

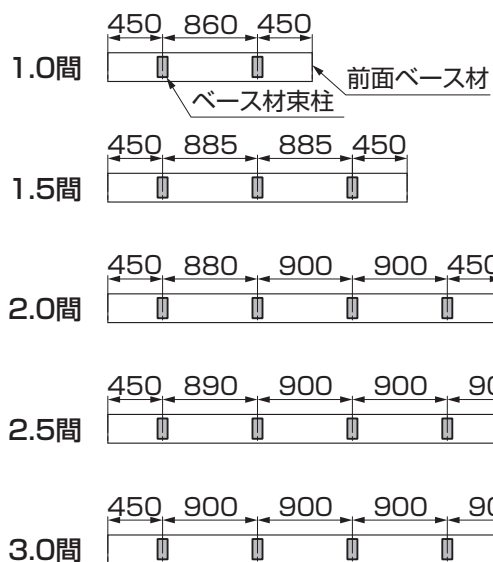
間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	
W1、W2	1820	2730	3640	4550	5460	
間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
W	6370	7280	8190	9100	10010	10920

8 施工前の準備

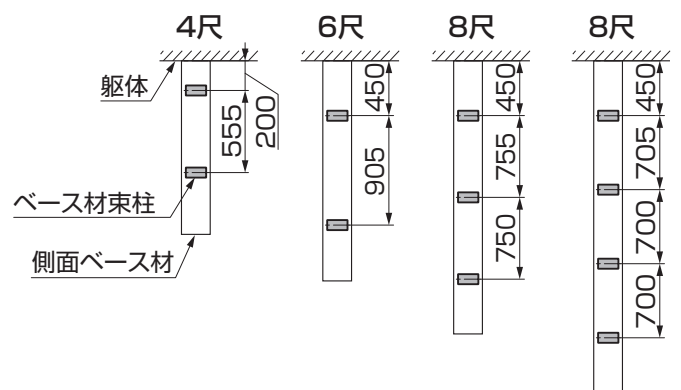
1. 水盛遣方・水系張り



【前面ベース材束柱位置（間口方向）】



【側面ベース材束柱位置（出幅方向）】



- ①「5 基本寸法」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ②前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-2の方法で直角をだし、ベース材束柱の位置を出してください。
- ④ベース材束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

ポイント

- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図1-2の方法等で割り出して下さい。

2. 配線工事 **オプション** ※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

2-1 LED照明配線のとりまわし

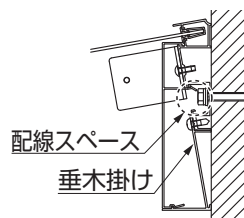
⚠ 注意

●AC100Vの電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）

🔑 ポイント

【垂木掛けの溝を配線に利用する場合】

- 部材・部品にあけた穴は、止水のためシーリングを塗布してください。
- 外側にあけた穴は、配線保護のためグロメットなどで小口の保護をしてください。



(1) ACアダプターを使用する場合

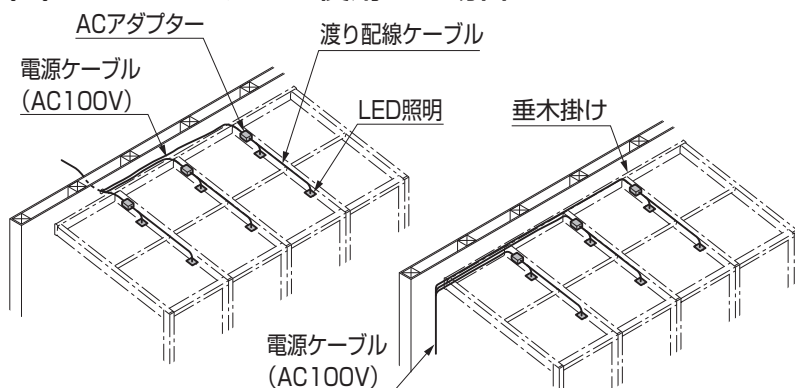


図2-1

躯体に穴をあけて配線する場合

図2-2

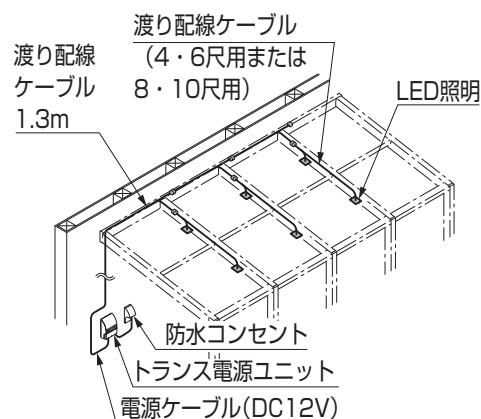
垂木掛けの溝を利用して配線する場合

①LED照明の配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

●LED照明は、渡り配線ケーブルを介して2セットまで連続接続が可能です。

(2) トランス電源ユニット 35Wを使用する場合

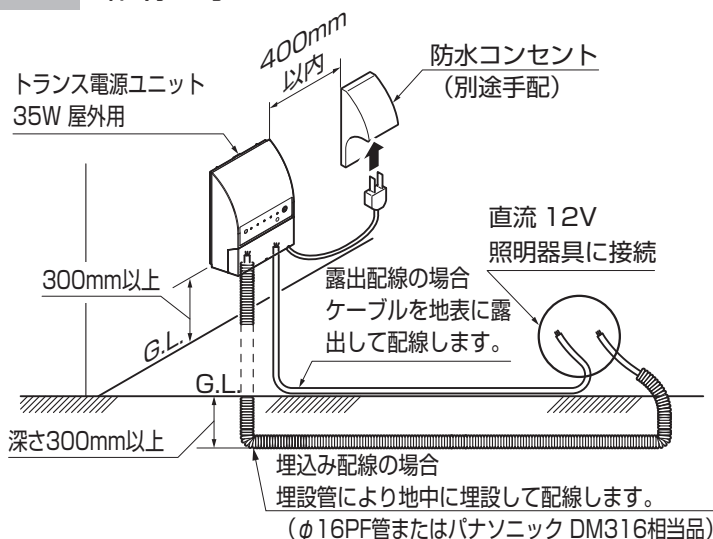


①LED照明の配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

●LED照明は、渡り配線ケーブルを介して10セットまで連続接続が可能です。

2-2 配線工事



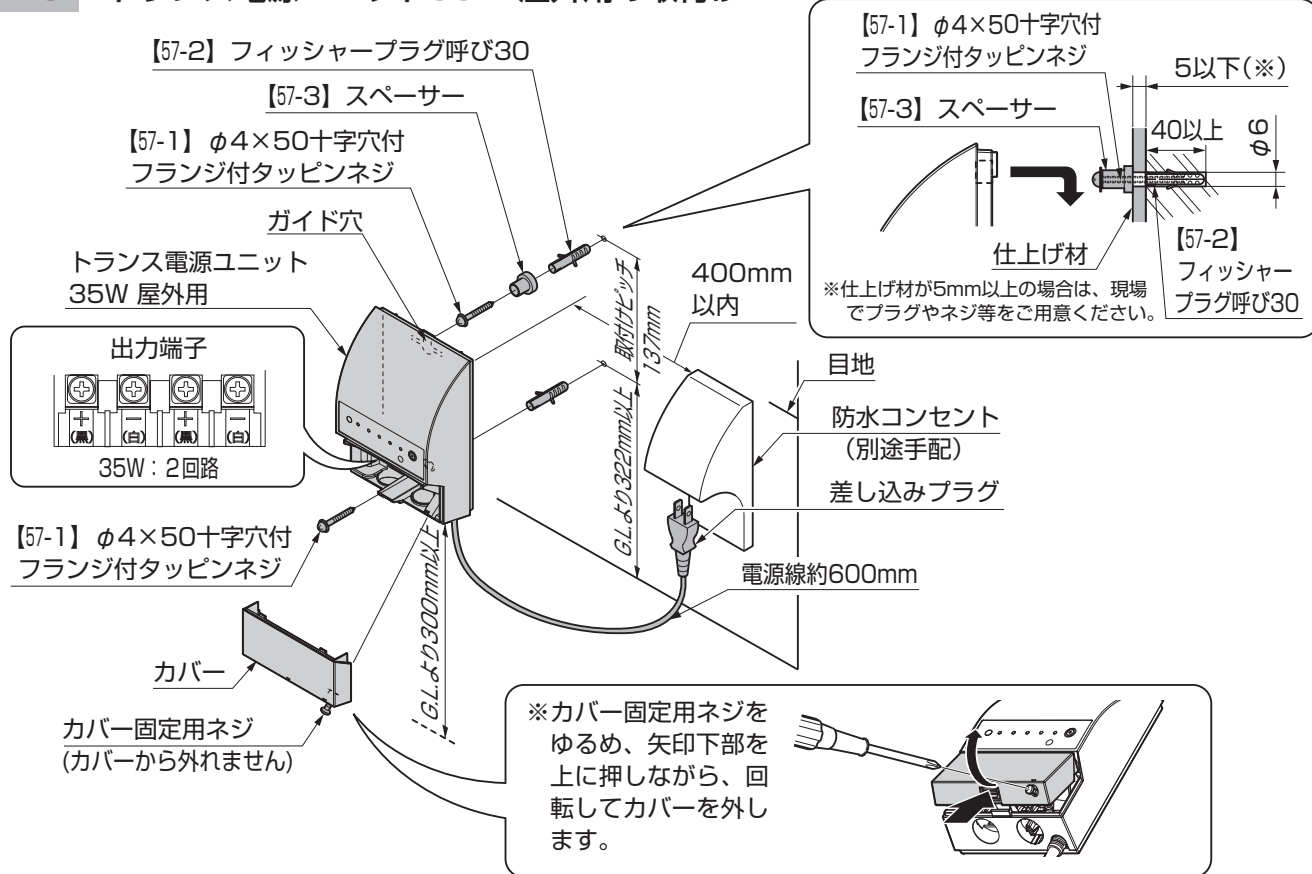
✎ 補足

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。

🔑 ポイント

- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W/60W 屋外用 取付説明書 (Z546)」を併せて参照してください。
- 防水コンセントは別途手配してください。
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

2-3 トランス電源ユニット35W 屋外用の取付け



警告

- トランス電源ユニット35W 屋外用は壁面取付専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気が多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- トランス電源ユニット35W 屋外用は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

注意

- 取付けは、安全のため差し込みプラグを抜いた状態で行ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。
- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。
- 壁に有効深さ40mmの下穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが5mm以下(※)の場合としてください。5mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- トランス電源ユニット35W 屋外用と防水コンセントの間は400mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

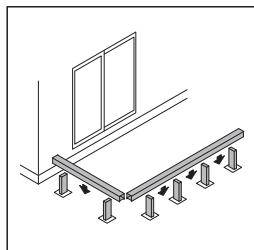
- ①カバー固定用ネジをゆるめ、カバー下部を上へ押しながらカバーを外してください。
- ②トランス電源ユニット35W 屋外用を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置に穴径φ6、有効深さ40mm以上の下穴をあけてください。
- ③【57-2】を下穴に埋め込んでください。
- ④【57-1】で【57-3】を壁に固定してください。
- ⑤トランス電源ユニット35W 裏面上部のガイド穴に【57-3】をはめ込み、【57-1】で壁に固定してください。

9 位置決め施工

1. ベース材とベース材束柱の取付け

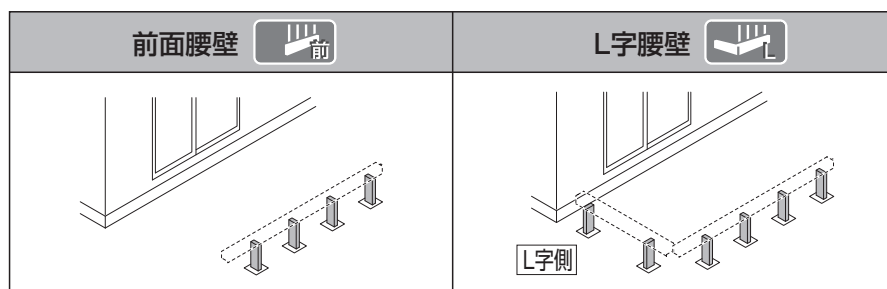
※ベース材仕様の場合の作業です。

腰壁	土間	柱固定	地域
	ベース		



ポイント

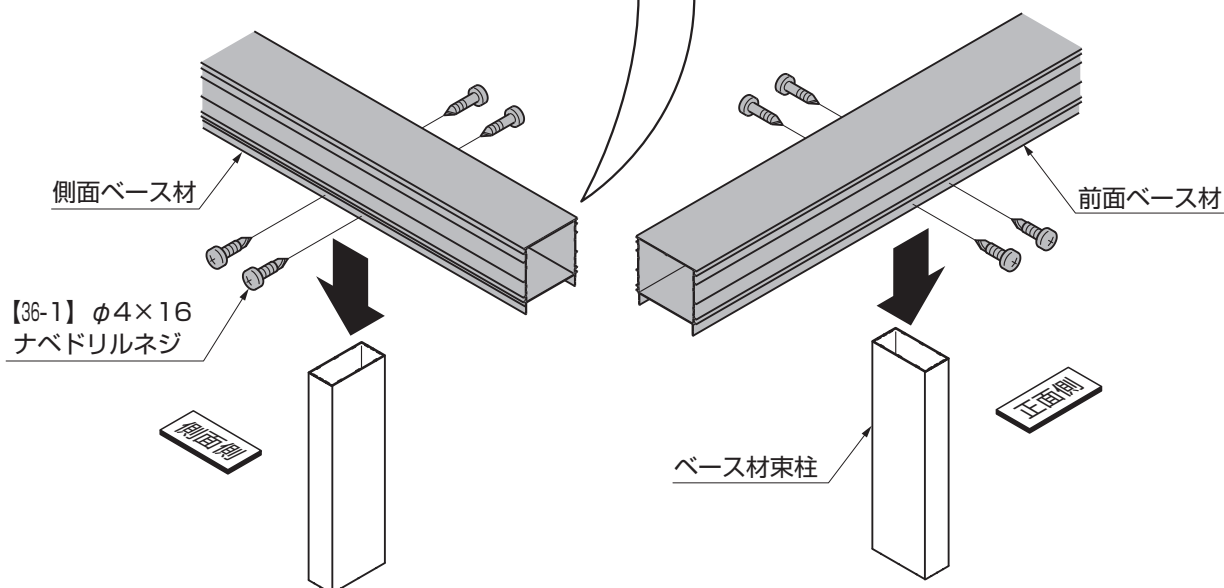
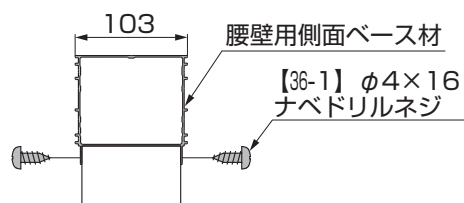
●ベース材とベース材束柱は施工するタイプにより設置箇所が異なります。



1-1 ベース材束柱の取付け

【L字腰壁の場合】

●腰壁用側面ベース材を使用してください。



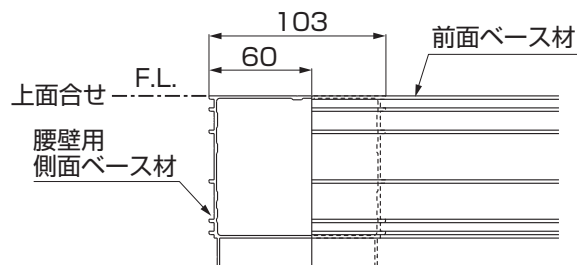
①前面ベース材、側面ベース材をベース材束柱に【36-1】で取付けてください。

1-2 ベース材の取付け

ポイント

【L字腰壁の場合】

- 腰壁用側面ベース材と前面ベース材は上面をF.L.面に合わせて取付けてください。
- 腰壁用側面ベース材は前面ベース材と同じ断面形状のものです。



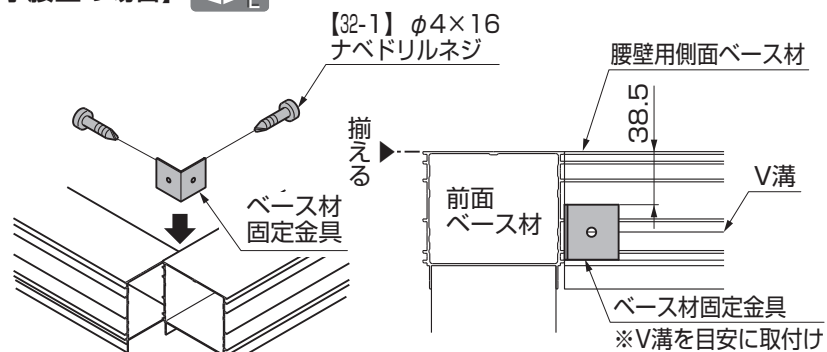
ポイント

- 側面ベース材は躯体に接して取付けてください。

側面ベース材

躯体

【L字腰壁の場合】



ポイント

【固定の前に】

- 水準器などで水平を確認してください。

水準器

側面ベース材

【36-1】φ4×16
ナベドリルネジ【36-2】φ5×35
セルフタッパンアンカー

ベース材束柱

束柱固定金具

φ4.3下穴

束石

ベース材束柱

前面ベース材

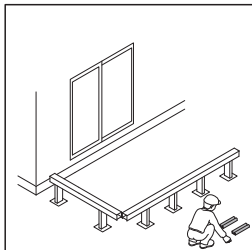
- ①束柱固定金具を取付ける箇所にφ4.3の下穴をあけてください。
- ②ベース材束柱を土間もしくは束石の上に束柱固定金具と【36-1】、【36-2】で取付けてください。
- ③L字腰壁の場合、前面ベース材と側面ベース材の上面が揃うようベース材固定金具を【32-1】で取付けてください。

2. 躯体方立の取付け

※L字腰壁または妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

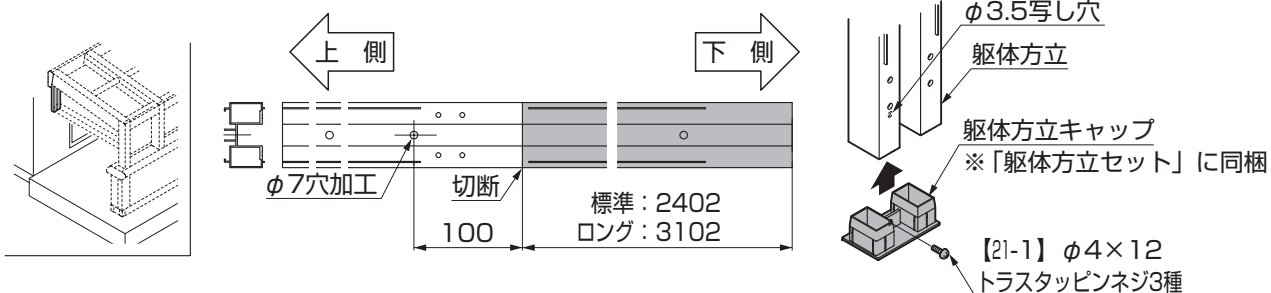
2-1 躯体方立の加工



補足

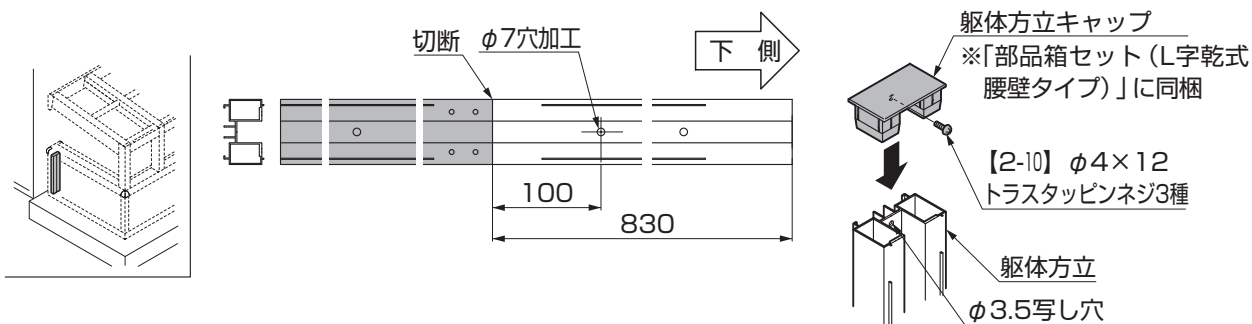
●加工する前の躯体方立で垂木掛けの位置出しをすることができます。

(1) 妻梁上部FIXがある場合



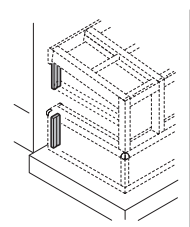
- ①躯体方立を下側から切断してください。
- ②切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③躯体方立の下側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【2-1】で取付けてください。

(2) L字腰壁の場合



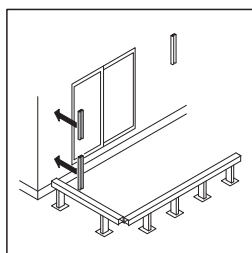
- ①躯体方立を下側から830mmで切断してください。
- ②切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③躯体方立の上側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【2-10】で取付けてください。

(3) L字腰壁で妻梁上部FIXがある場合



- ①L字腰壁で妻梁上部FIXがある場合、(1)・(2)の両方の手順を行なってください。

2-2 躯体方立の取付け



ポイント

- 躯体方立が垂直になるようにしてください。

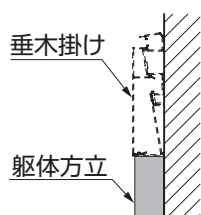


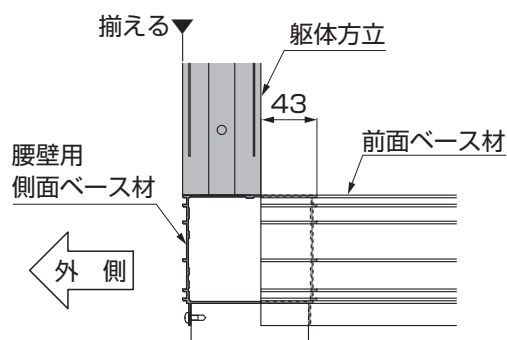
表2-1

高さ呼称	出幅	A
標準	4尺	2791
	6尺	2897
	8尺	3003
	10尺	3108
ロング	4尺	3491
	6尺	3597
	8尺	3703
	10尺	3808

ポイント

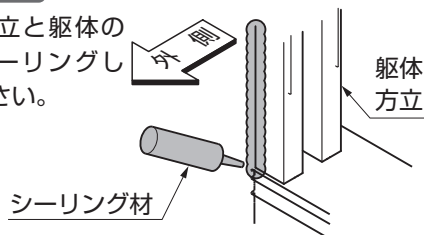
【L字腰壁の場合】

- 躯体方立は腰壁用側面ベース材と外面を揃えて取付けてください。



ポイント

- 躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。



シーリング材

φ5

A (F.L.~躯体方立上面寸法)

シーリング材

φ5

【1-2】 M6平座金

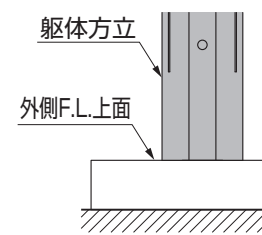
【1-15】 φ6×70
六角コーチスクリュー妻梁上部FIX
がある場合

【1-2】 M6平座金

【1-15】 φ6×70
六角コーチスクリュー

L字腰壁の場合

【ベース材を使用しない場合】



- ① 躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。
- ③ 躯体方立を躯体に【1-2】、【1-15】で取付けてください。

ポイント

- 入隅側には不要です。
- 躯体方立は必ず躯体構造材に取付けてください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

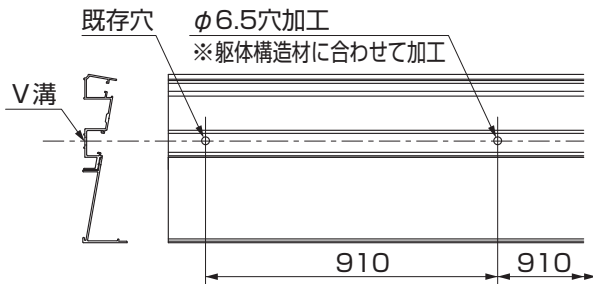
10 部材の組立て

1. 垂木掛けの組立て

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

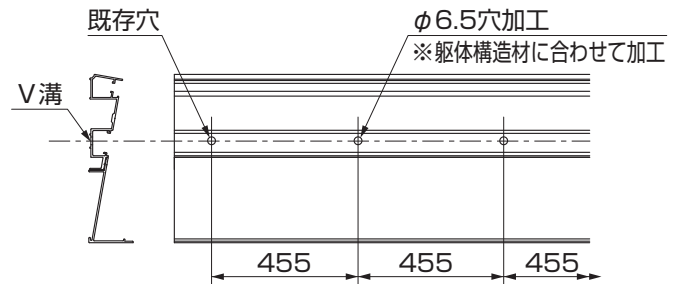
1-1 垂木掛けの加工

(1) 一般地域の場合



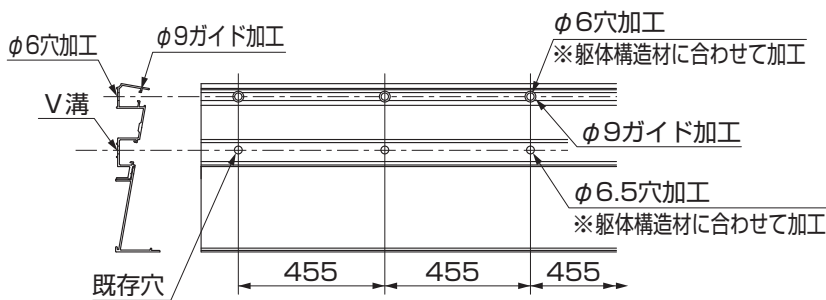
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(2) 積雪地域（積雪地域1500N（50cm相当）の場合）



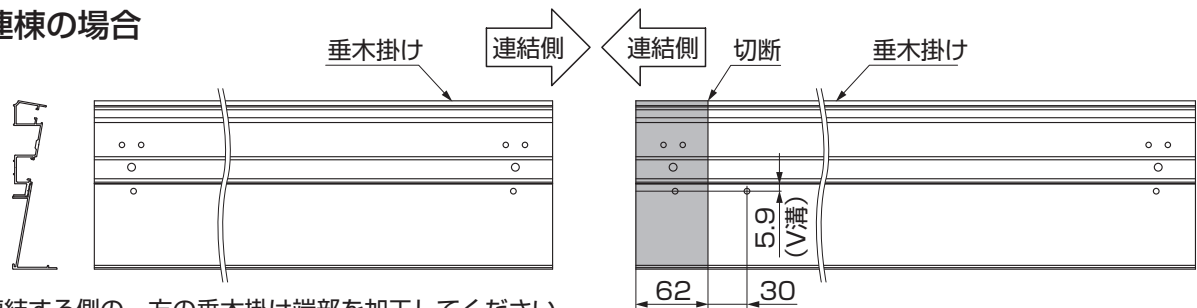
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(3) 積雪地域（積雪地域3000N（100cm相当）の場合）



①垂木掛けに穴加工をしてください。

(4) 連棟の場合

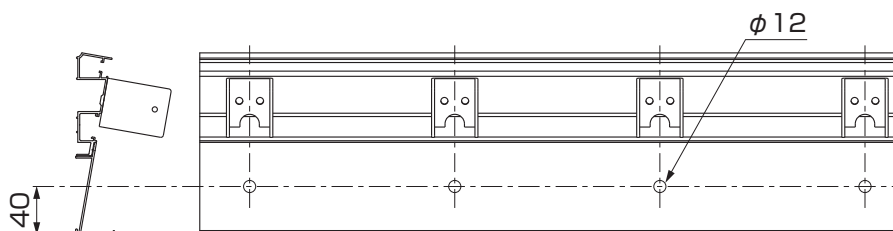


①連結する側の一方の垂木掛け端部を加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

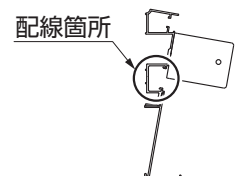
(5) 垂木LED照明 **オプション** を取付ける場合 ※配線の都合により垂木掛けに穴をあける作業です。



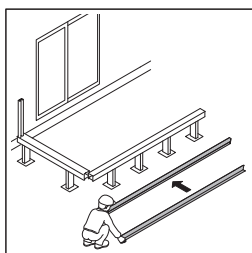
①垂木掛けに穴加工をしてください。

補足

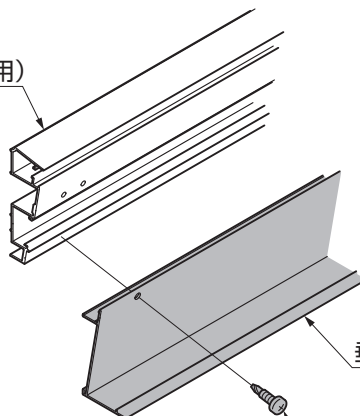
●配線は垂木掛けの溝を使うこともできます。



1-2 垂木掛けの組立て



垂木掛け(上用)

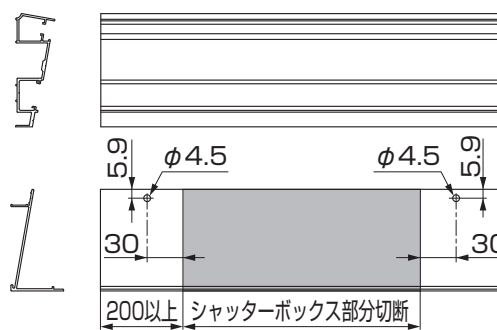
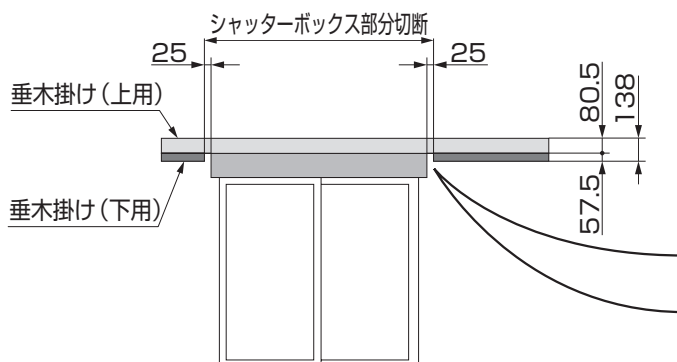


垂木掛け(下用)

【1-7】φ4×13ナベドリルネジ

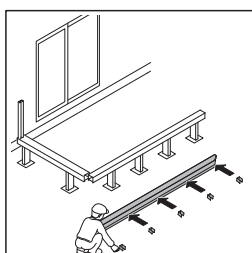
ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け(下用)は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け(下用)が必要です。

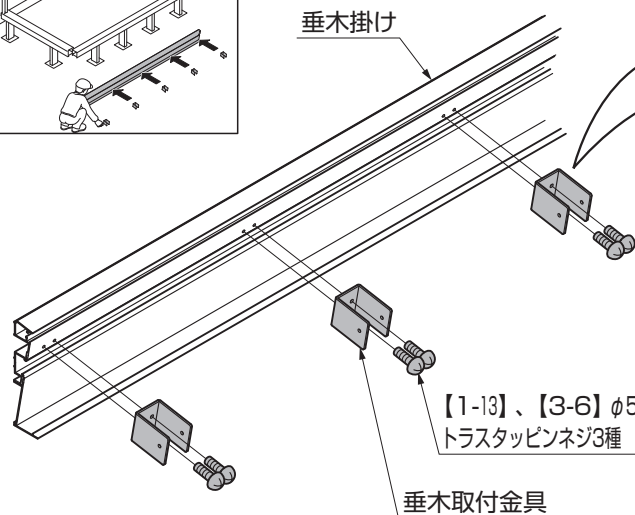


- ①垂木掛け(下用)を垂木掛け(上用)に【1-7】で取付けてください。

1-3 垂木取付金具の取付け



垂木掛け



【連棟の場合】

垂木掛け

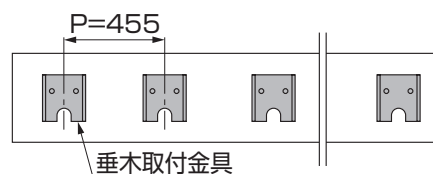
垂木取付金具

【1-13】、【3-6】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

ポイント

【積雪地域】 (積雪地域3000N(100cm相当)仕様の場合)

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。

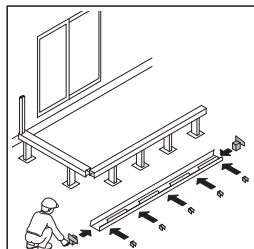


- ①垂木取付金具を垂木掛けに【1-13】、【3-6】で取付けてください。

2. 桁の組立て

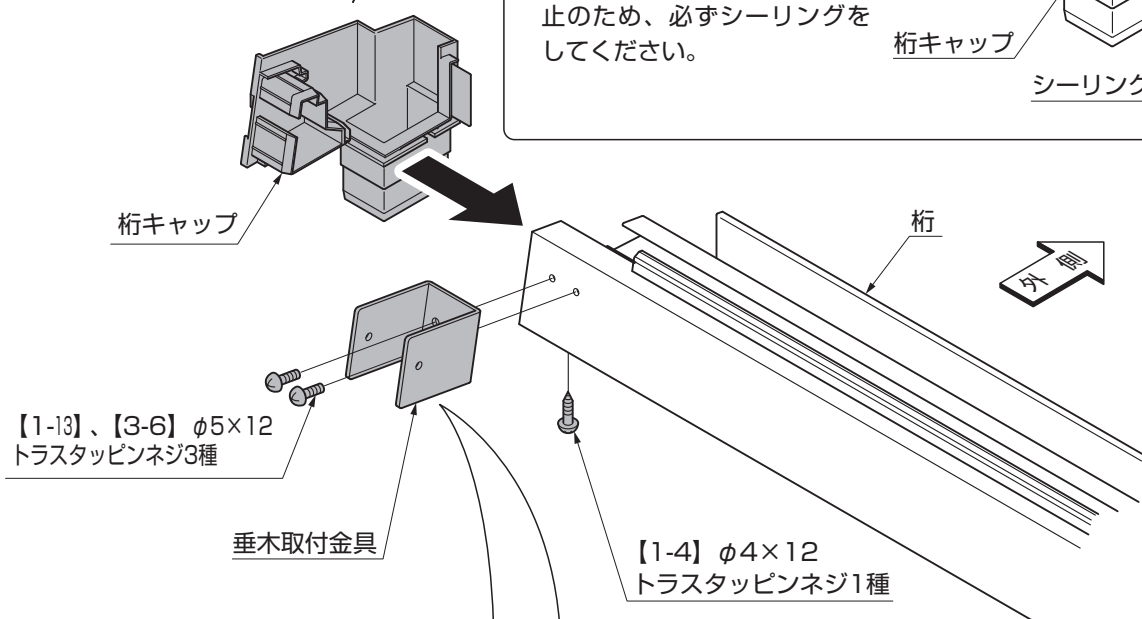
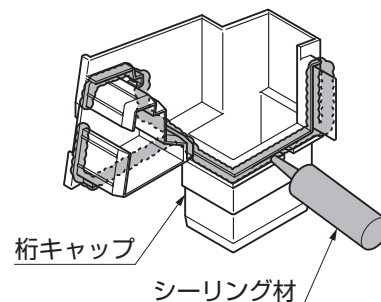
腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

2-1 桁の組立て



ポイント

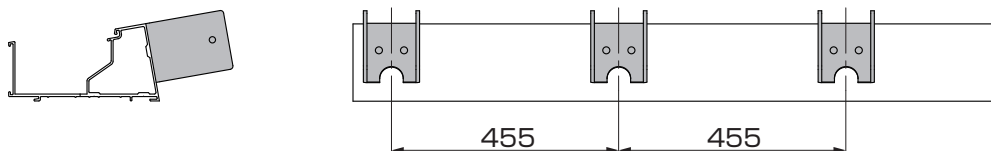
- 図は右側を示します。左側も同様に取付けてください。
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。



ポイント

【積雪地域】  (積雪地域3000N (100cm相当) 仕様の場合)

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。



- ①垂木取付金具を桁に【1-13】、【3-6】で取付けてください。
- ②桁キャップをシーリングしてください。

ポイント

- 桁キャップと桁を組付けた後にシーリングが桁と桁キャップの両方に十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど塗布が不十分な場合は追加してください。

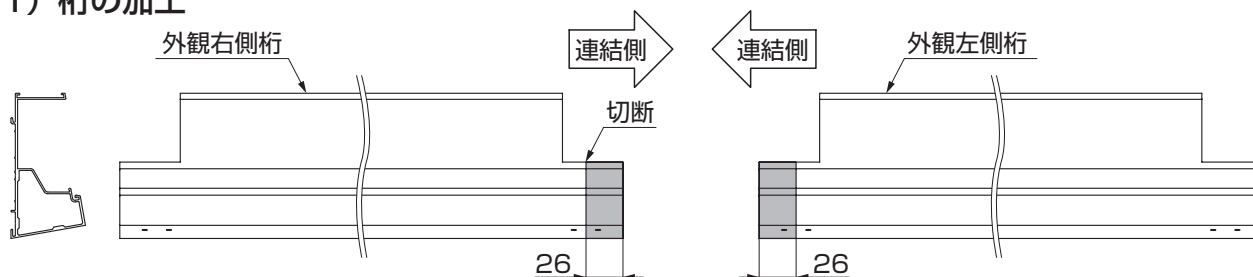
- ③桁キャップを桁に【1-4】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

2-2 連棟の場合

(1) 桁の加工



①左右の桁を均等に切断してください。

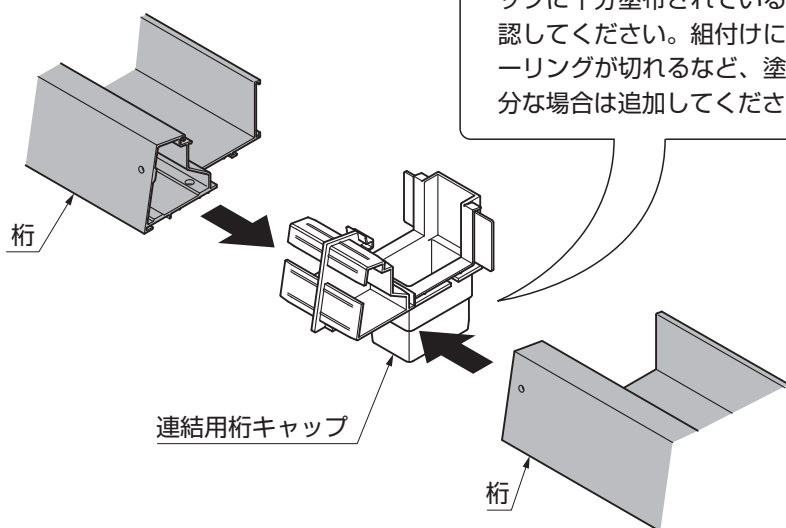
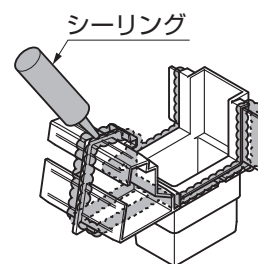
ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

(2) 桁の連結

ポイント

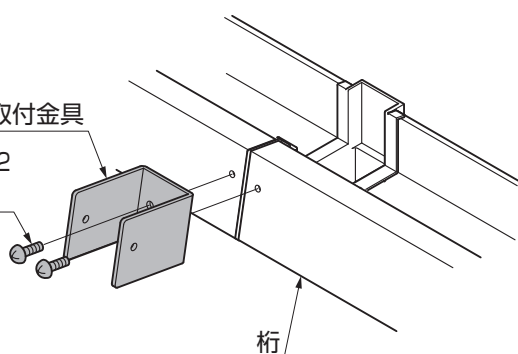
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 指定以外の箇所にはシーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。
- 組付け後はシーリングが桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど、塗布が不十分な場合は追加してください。



①連結用桁キャップにシーリングしてください。

②左右の桁を連結用桁キャップにはめ込んでください。

垂木取付金具
【1-13】、【3-6】 $\phi 5 \times 12$
トラスタッピンネジ3種



③垂木取付金具を、連結した桁に【1-13】、【3-6】で取付けてください。

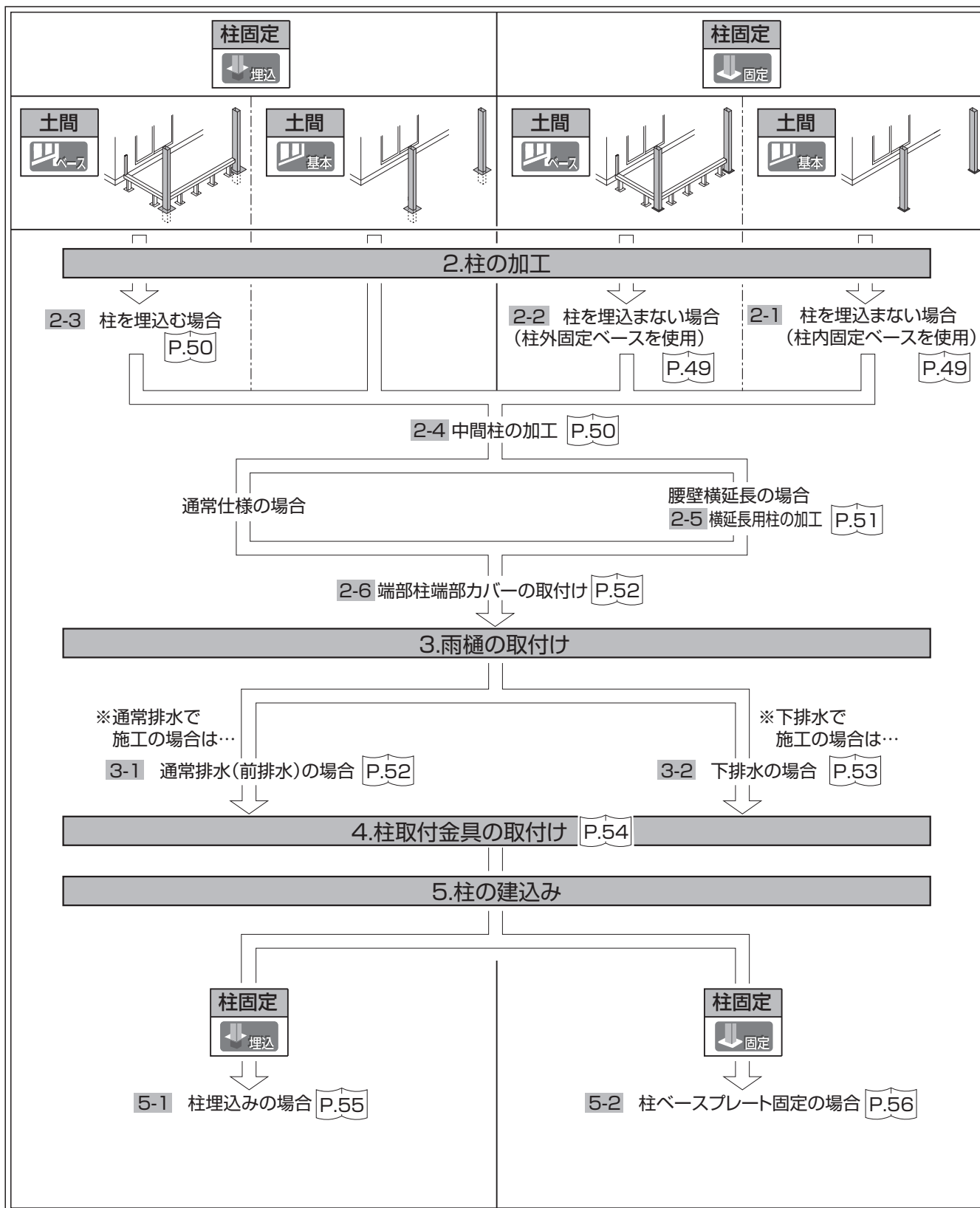
11 柱の建込み

1. 施工手順の確認

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

ポイント

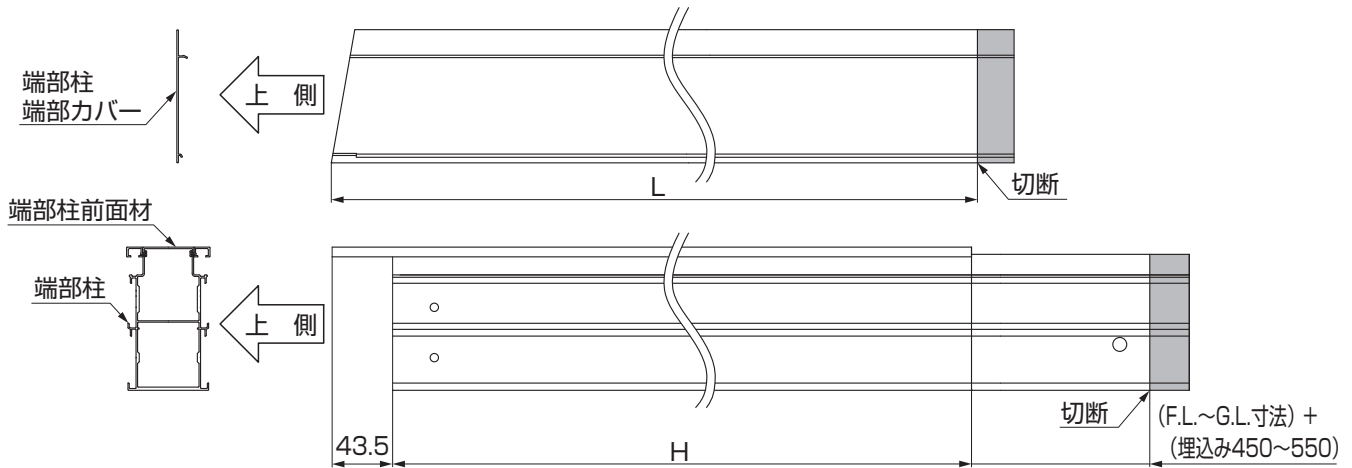
●柱の建込み方法は下記の方法があります。必ず施工方法を確認の上、説明ページを参照してください。



2. (つづき)

2-3 柱を埋込む場合

(1) 柱の加工



(参考) F.L. ~ 上部分柱寸法H

サイズ	H
標準	2650
ロング	3350

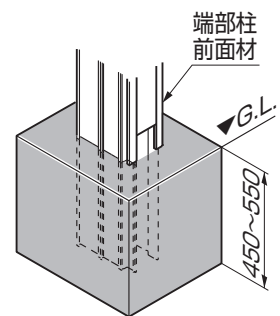
※柱前面材 ~ 柱上部43.5mmは除く

端部柱端部カバー
切断寸法

サイズ	L
標準	1878
ロング	2578

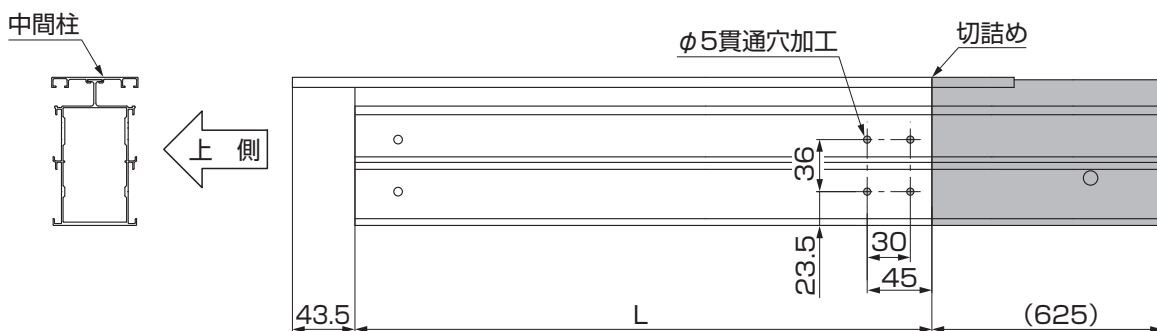
ポイント

- 端部柱前面材のみ上から切断してください。
- 現場状況(施工状況)に合わせて切断寸法を計算してください。
- 端部柱前面材はG.L.までとなります。
- 端部柱端部カバーはここでは取付けないでください。



- ①角樋を端部柱から引抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③角樋を端部柱に差込んでください。

2-4 中間柱の加工



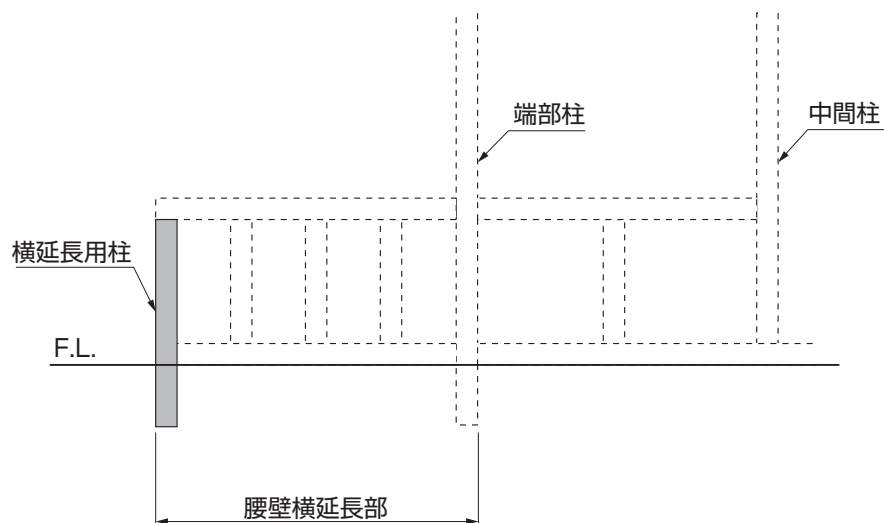
サイズ	L
標準	2575
ロング	3275

- ①中間柱を加工してください。

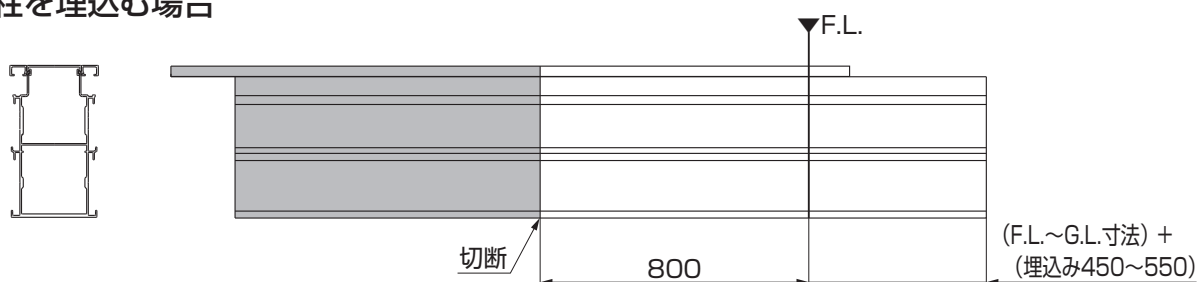
2-5 横延長用柱の加工

※腰壁横延長する場合の作業です。

※横延長用柱は「連棟柱セット」の連棟柱を加工してください。

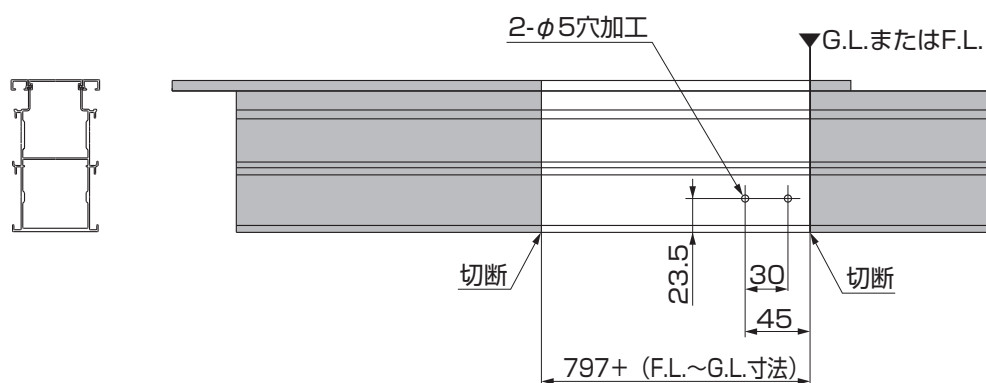


(1) 柱を埋込む場合



①横延長用柱を切断加工してください。

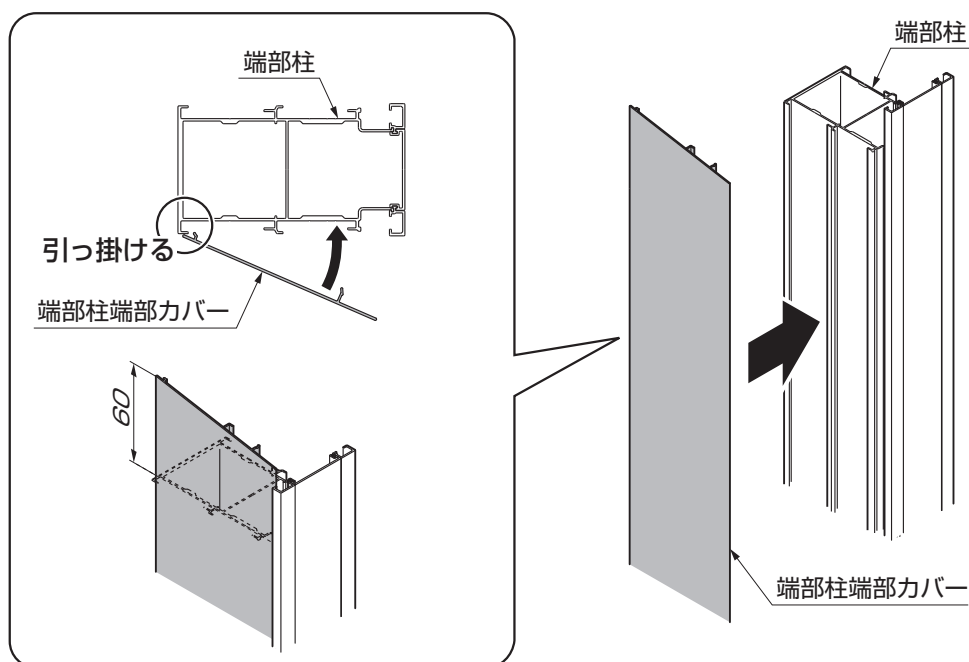
(2) 柱を埋込まない場合（ベースプレートを使用）



①横延長用柱を切断加工してください。

2. (つづき)

2-6 端部柱端部カバーの取付け

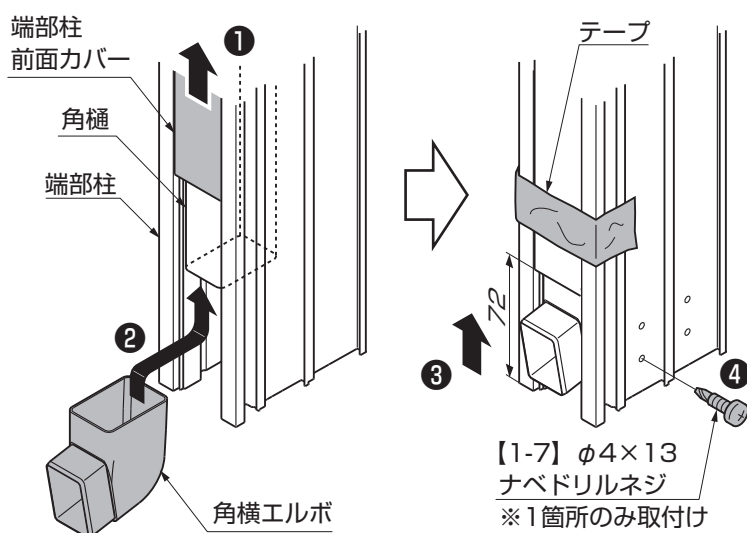


①端部柱端部カバーを端部柱に取付けてください。

3. 雨樋の取付け

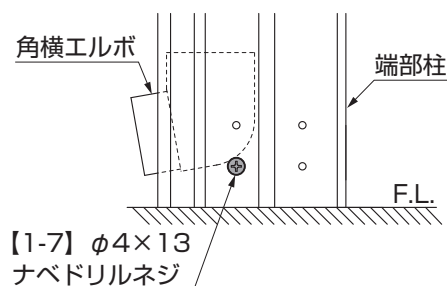
腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

3-1 通常排水（前排水）の場合



ポイント

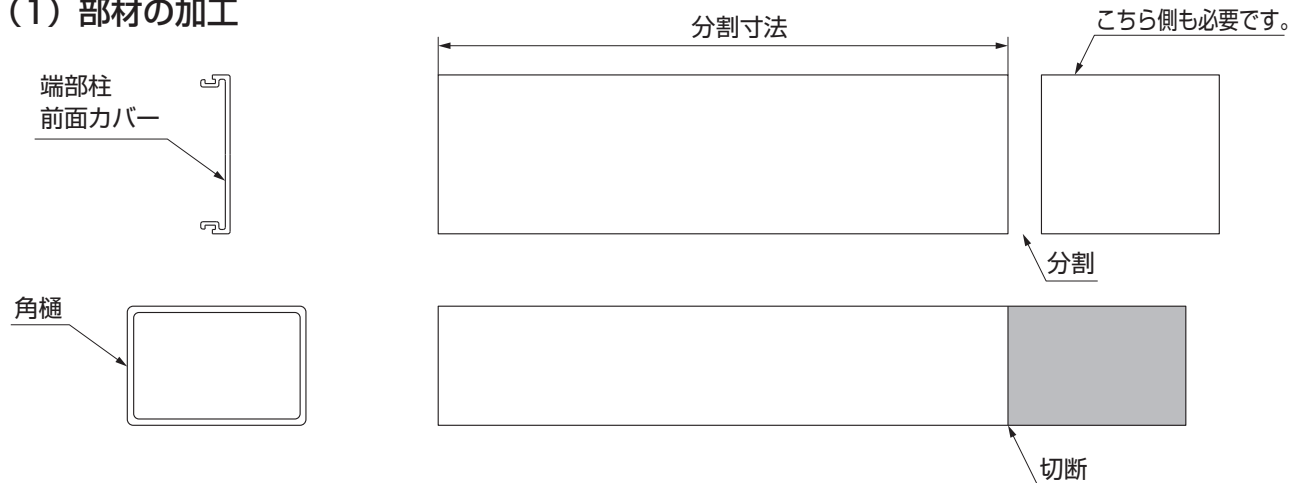
- 建込みまでの間、端部柱前面カバーがズレないようにテープなどで仮固定してください。
- 【1-7】は下図の1箇所のみ取付けてください。
- 【1-7】を固定する際は、角横エルボが破損しないように取付けてください。



- ①端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ②角横エルボを持ち上げながら、【1-7】を端部柱に取付けてください。

3-2 下排水の場合 ※積雪対応や障害物を避けるため排水位置を上方に変更する方法です。

(1) 部材の加工

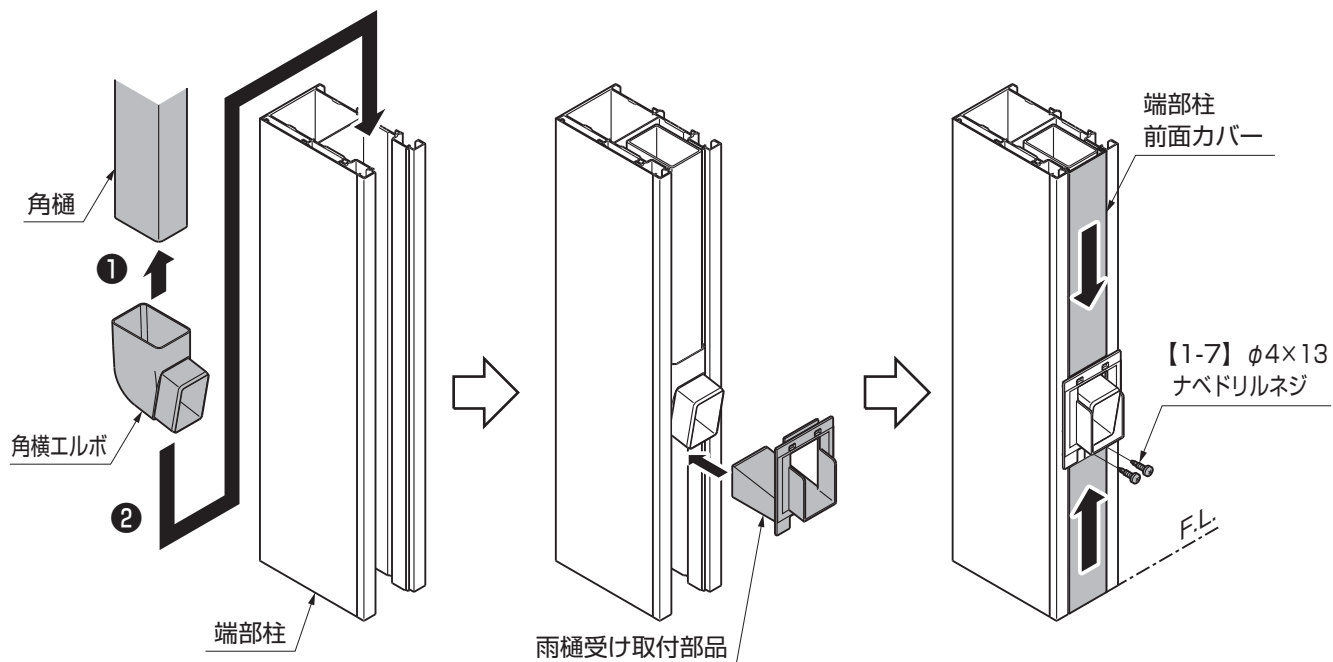


①端部柱から端部柱前面カバー、角樋を引抜き切断・分割してください。

ポイント

- 排水位置の上限は雨樋受け部品上部の端部柱前面カバーが100mm未満にならない位置までです。
- 排水位置の下限は腰壁（F.L.から832mm）より上の位置までです。
- 端部柱内角樋のL寸は、「（切断前の角樋長さ）－（端部柱前面カバー分割寸法）」より求められます。

(2) 排水口の高さ調整



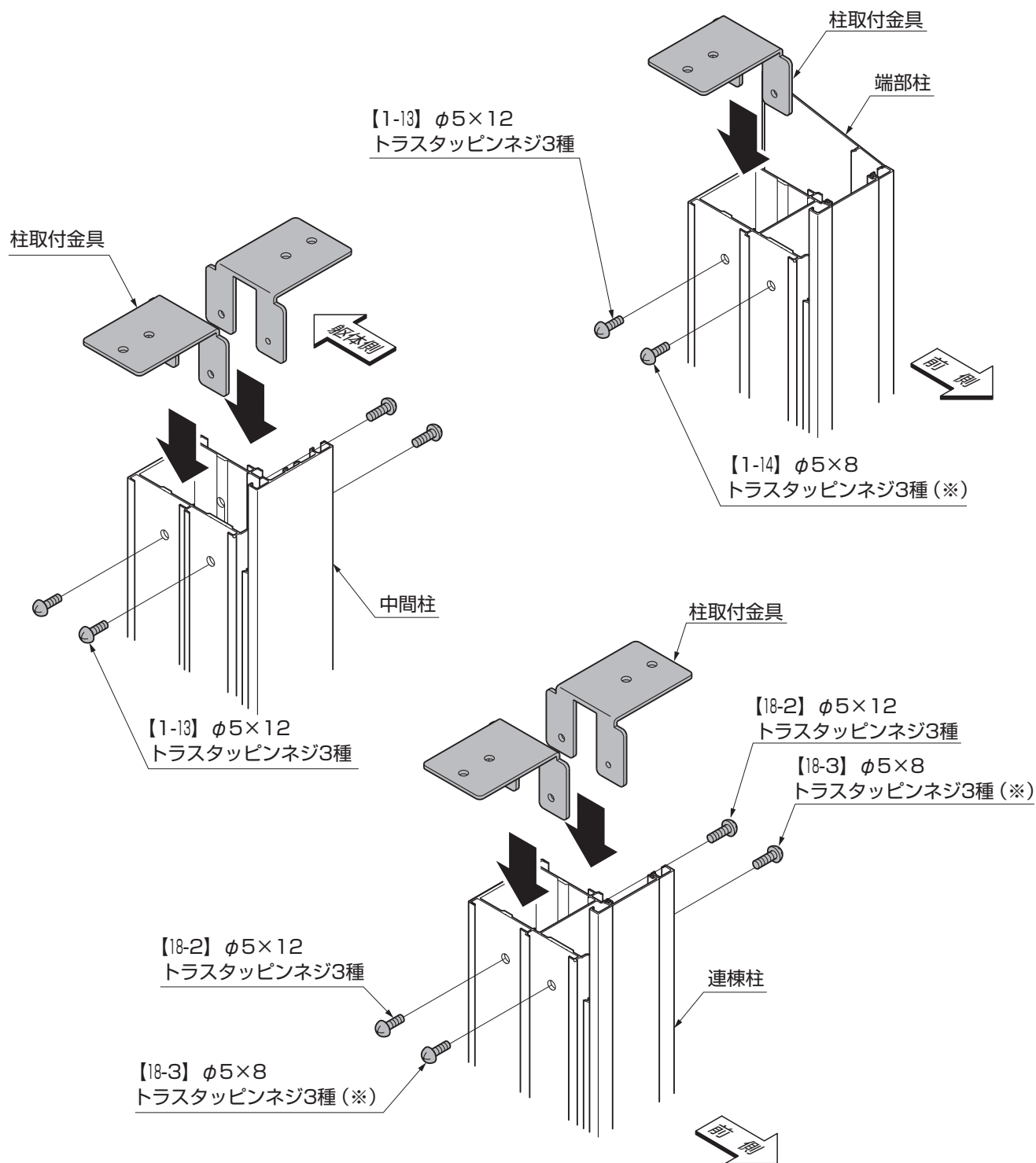
- ①角横エルボを角樋に取付け、端部柱にセットしてください。
- ②雨樋受け取付部品を端部柱にセットしてください。（ネジ固定はしないでください。）
- ③上下の端部柱前面カバーで雨樋受け取付部品をはさみ、下側のカバー下端がF.L.ラインになるようにしてください。
- ④この位置で雨樋受け取付部品を端部柱に【1-7】で固定してください。

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

4. 柱取付金具の取付け

ポイント

●図は右側を示しています。左側は左右対称です。



①柱取付金具を柱に、【1-13】、【1-14】、【18-2】、【18-3】で取付けてください。

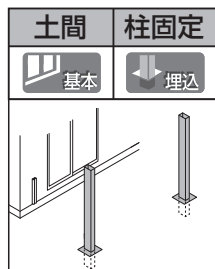
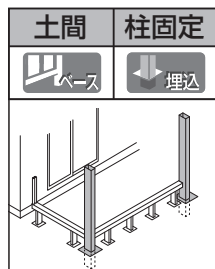
ポイント

●端部柱と連棟柱の前側は、雨樋と干渉しないよう【1-14】、【18-3】を使用してください。（※）

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

5. 柱の建込み

5-1 柱埋込みの場合

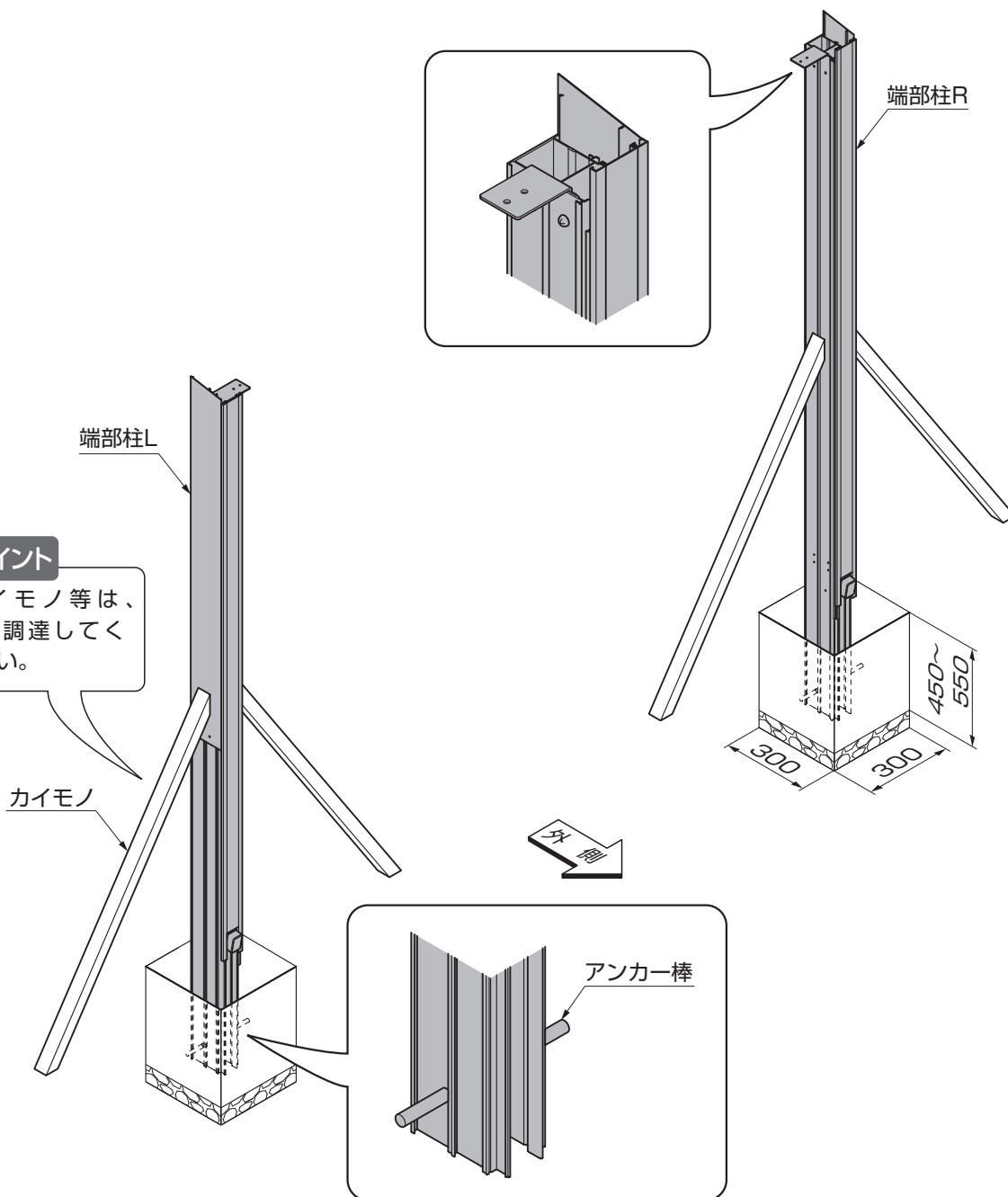


ポイント

●柱の基本埋込み寸法は550mmです。それ以下の寸法で埋込む場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあけ直してください。埋込み寸法は450mm以上にしてください。

ポイント

●カイモノ等は、現場調達してください。



- ①端部柱にアンカー棒を差込み、「7 柱の位置出し」を参照して建込んでください。
- ②端部柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

5. (つづき)

5-2 柱ベースプレート固定の場合

(1) 端部柱固定ベースの取付け

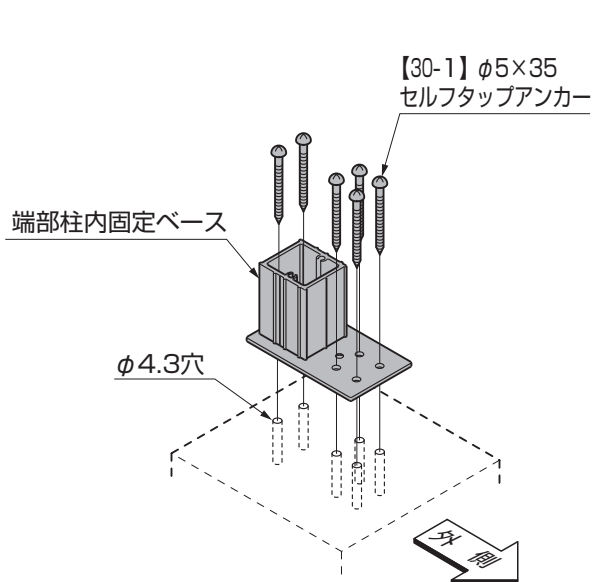


図5-1 端部柱内固定ベース

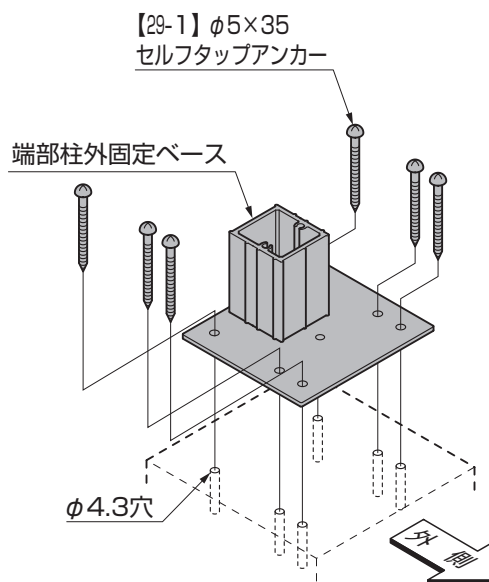
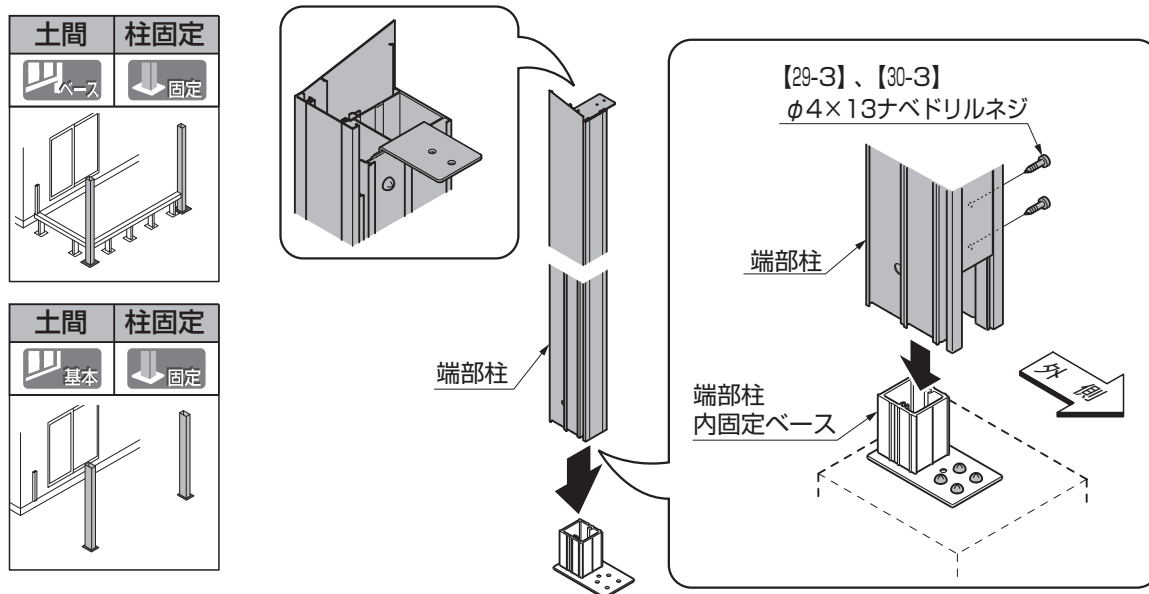


図5-2 端部柱外固定ベース

- ①端部柱固定ベースを取付ける箇所にφ4.3の穴をあけてください。
- ②端部柱固定ベースを【30-1】、【29-1】で取付けてください。

(2) 柱の建込み ※柱固定ベース仕様の場合の作業です。



- ①端部柱を端部柱固定ベースに【29-3】、【30-3】で取付けてください。

6. 入隅の場合

※図は右入隅のケースを示します。左入隅のケースは対称です。

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

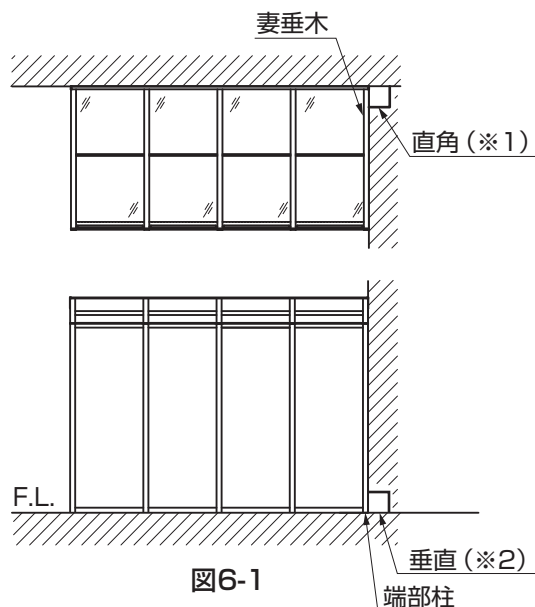


図6-1

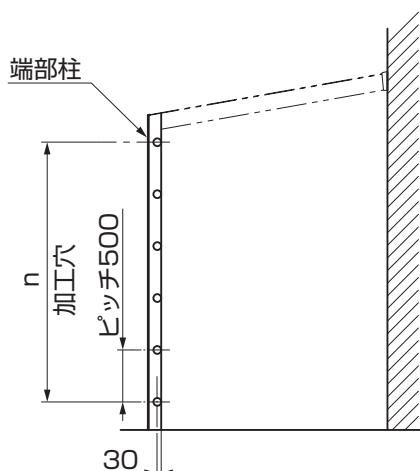


図6-2

表6-1

	加工穴n
標準	6
ロング	7

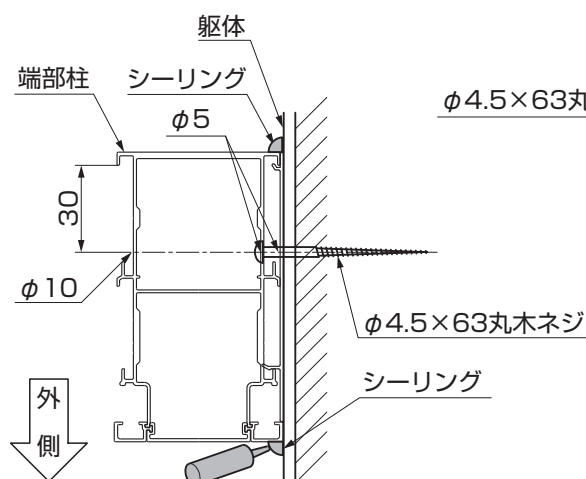


図6-3

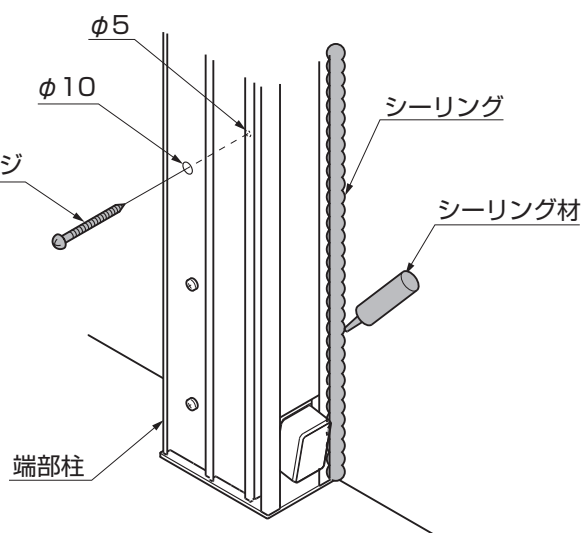


図6-4

ポイント

●躯体外壁の直角度（※1）、垂直度（※2）に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。（図6-1参照）

- ①入隅側の端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。（図6-2、図6-3、表6-1参照）
- ②端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。（図6-3、図6-4参照）

ポイント

●「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

- ③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。（図6-4参照）

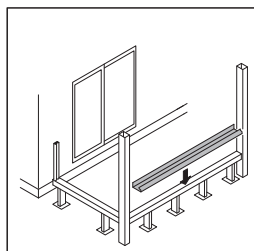
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。

12 フレーム施工

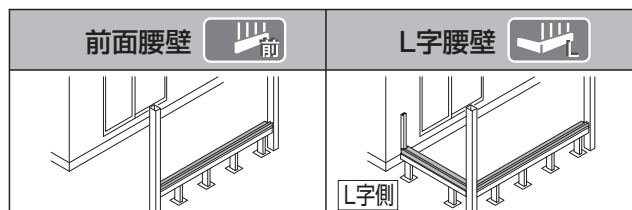
1. 前面ベース受けの取付け

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			



ポイント

- 前面ベース受けは施工するタイプにより取付け箇所が異なります。



ポイント

- 前面ベース受けは図の位置に合わせて取付けてください。

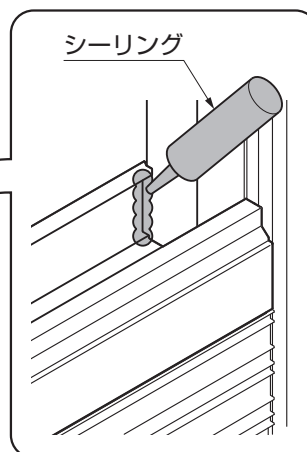
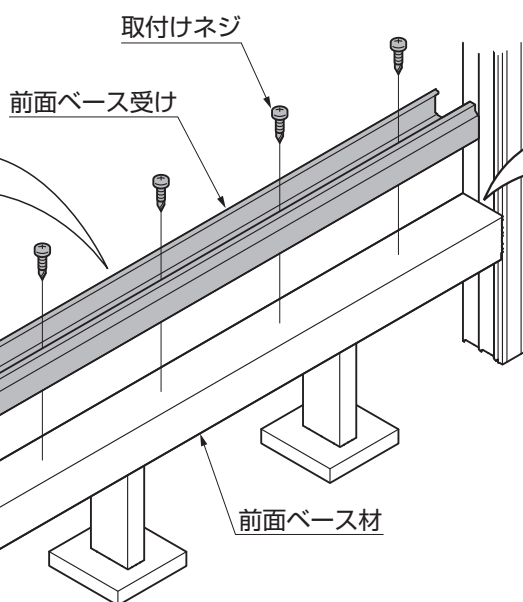
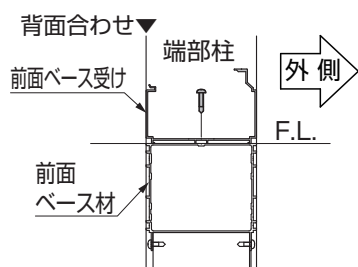


表1-1 前面ベース受け取付けネジ一覧

取付け面	取付けネジ
ベース	【1-8】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルネジ
土間	【1-11】 $\phi 4 \times 30$ ナベタッピンネジ1種 【1-1】 フィッシャープラグS6

- ①前面ベース受けを床に【1-8】、【1-11】で取付けてください。

ポイント

- 前面ベース受けの背面を端部柱の背面に揃えて取付けてください。
- 前面ベース受け取付けネジは取付面（床）に合ったネジを使用してください。
- フラットデッキには施工できません。

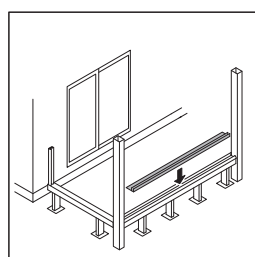
- ②端部柱と前面ベース受けにシーリングをしてください。

ポイント

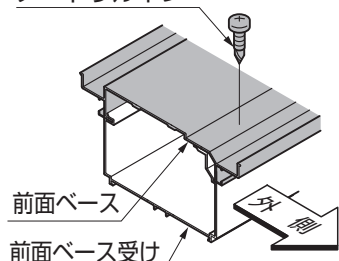
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

腰壁	土間	柱固定	地域

2. 前面ベースの取付け ※図はL字腰壁仕様を示します。



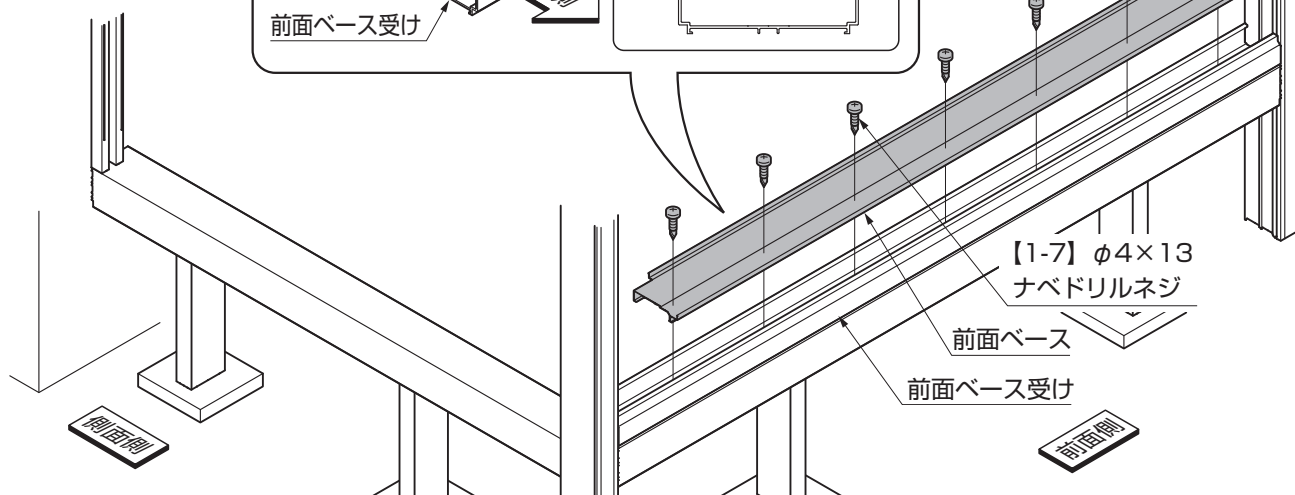
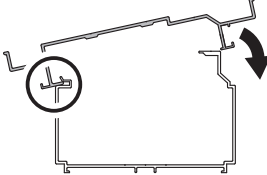
【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ



前面ベース
前面ベース受け

ポイント

- 前面ベース受けに引っ掛けて回転させるようにはめ込んでください。



【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ

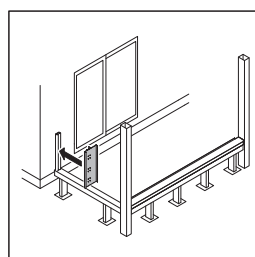
前面ベース
前面ベース受け

①前面ベースを前面ベース受けに【1-7】で取付けてください。

12
フレーム施工

腰壁	土間	柱固定	地域

3. 見切り材の取付け ※L字腰壁タイプの場合の作業です。



躯体方立

見切り材

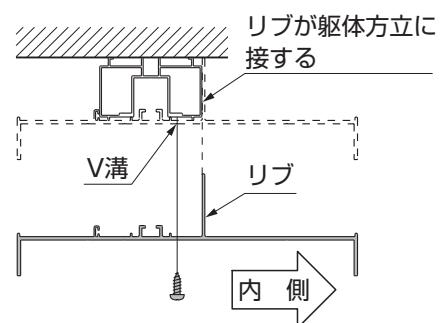
【2-1】φ4×13
ナベドリルネジ

側面ベース材

L字側
外側

ポイント

- 見切り材は、L字腰壁部のみに取付けてください。



ポイント

- 見切り材の取付けは、リブに近い方の穴で取付けてください。

①見切り材を躯体方立に【2-1】で取付けてください。

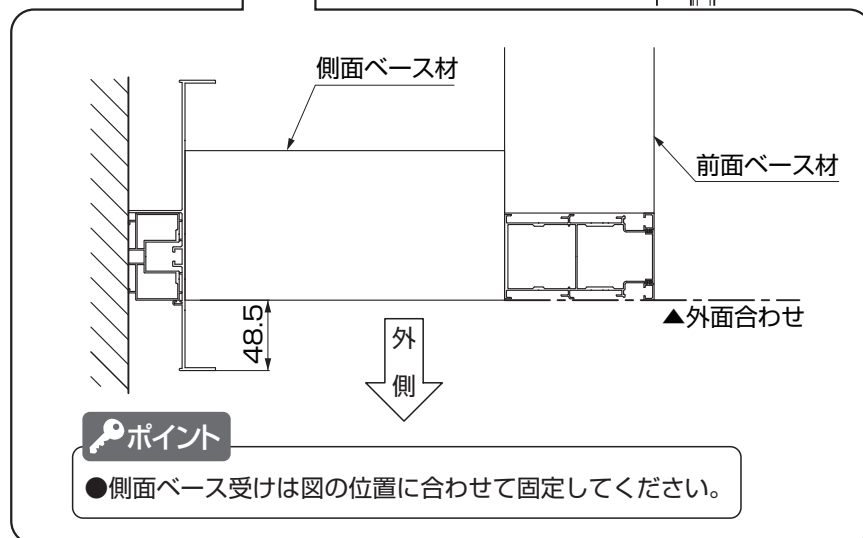
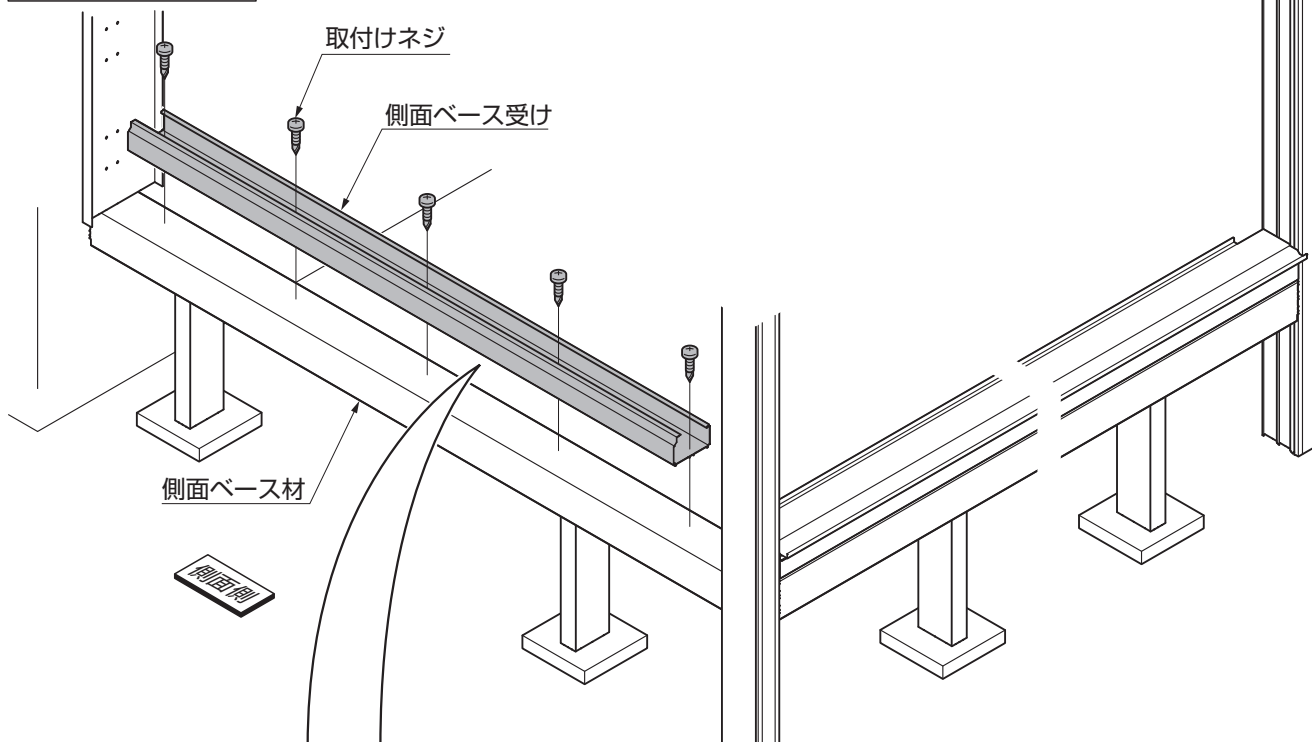
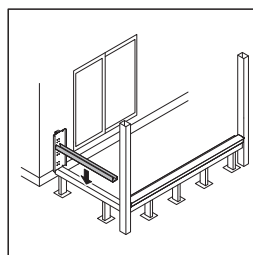
4. 側面ベース受けの取付け

※L字腰壁の場合の作業です。

腰壁	土間	柱固定	地域

表4-1 側面ベース受け取付けネジ一覧

取付け面	取付けネジ
ベース	【2-8】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルネジ
土間	【2-4】 $\phi 4 \times 30$ ナベタッピンネジ1種 【2-3】 フィッシャープラグS6



①側面ベース受けを床に【2-8】、【2-4】で取付けてください。

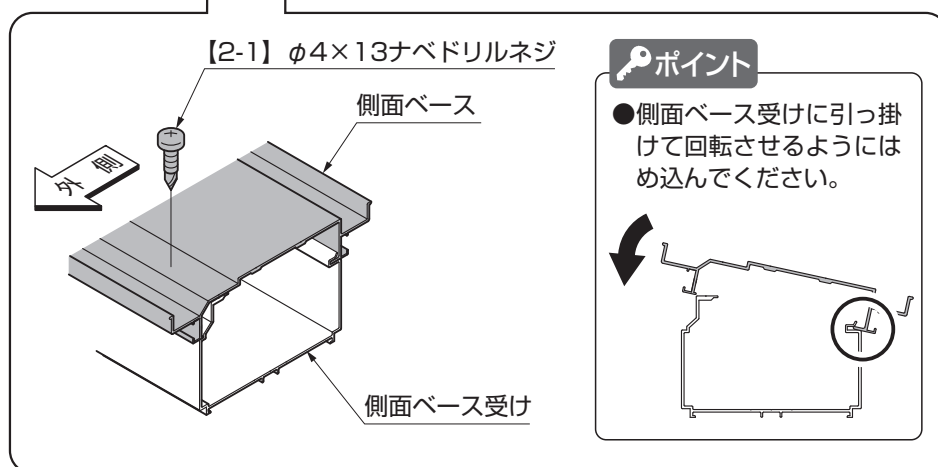
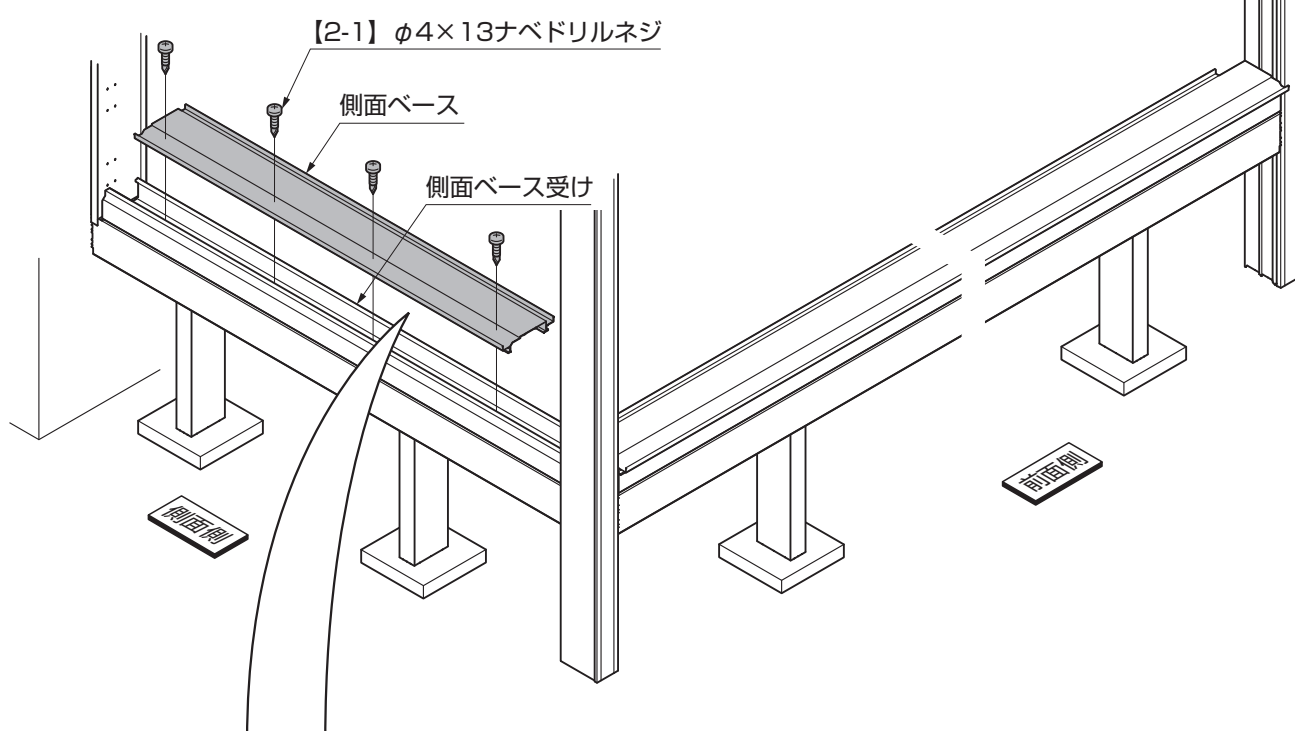
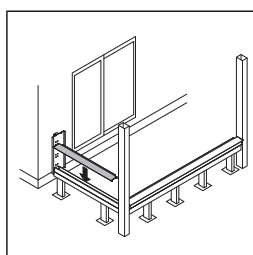
●ポイント

- 側面ベース受け取付けネジは取付面（床）に合ったネジを使用してください。
- フラットデッキには施工できません。

5. 側面ベースの取付け

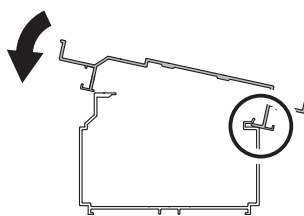
※L字腰壁の場合の作業です。

腰壁	土間	柱固定	地域
			



ポイント

- 側面ベース受けに引っ掛けて回転させるようにはめ込んでください。



①側面ベースを側面ベース受けに【2-1】で取付けてください。

6. 中間柱スリーブの取付け

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

ポイント

【L字腰壁の場合】
●側面側にも中間柱スリーブを取付けてください。

【1-12】 $\phi 4 \times 75$ ナベタッピンネジ

中間柱スリーブ

【2-6】 $\phi 4 \times 75$ ナベタッピンネジ

前面ベース

455

前面側

側面側

ポイント

●中間柱スリーブは「中間柱」「間柱」の箇所に取付けてください。

中間柱位置 前面ベース材

間柱位置

●下図の向きで中間柱スリーブを取付けてください。

中間柱スリーブ

出っぱり 外側 前面ベース

①中間柱スリーブを前面ベースに【1-12】、【2-6】で取付けてください。

7. 中間柱の建込み

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

中間柱

【1-7】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ

中間柱スリーブ

ポイント

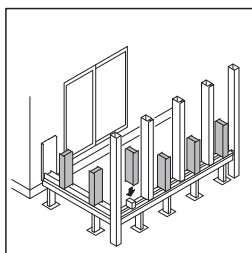
●前面カバーが施工時にすり落ちないようにテープなどで仮固定してください。

前面カバー

テープ

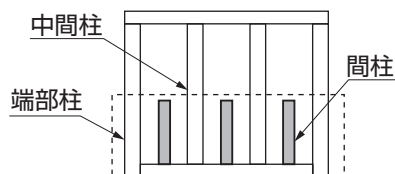
①中間柱を中間柱スリーブに【1-7】で取付けてください。

8. 間柱の建込み

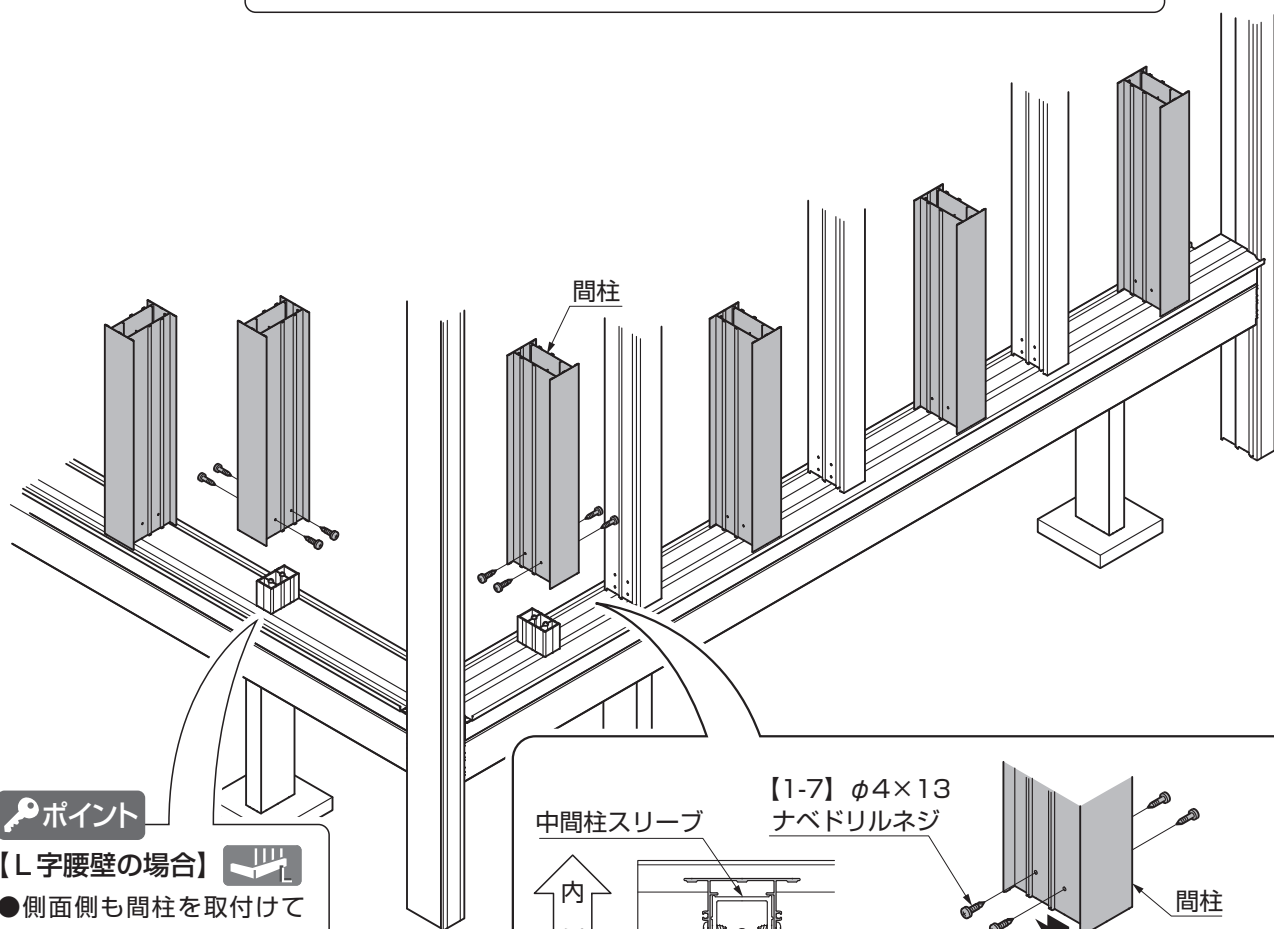
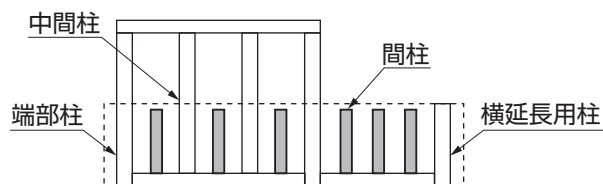


補足

●間柱は、腰壁を施工するための補強材です。他の柱とは長さが異なります。



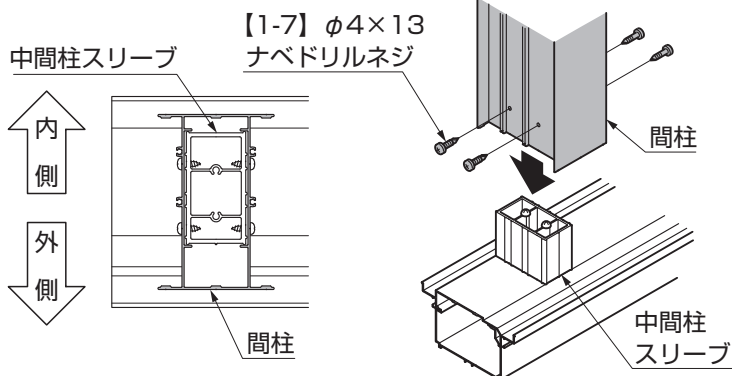
●腰壁横延長の場合、横延長部分は間柱のみ取付きます。



ポイント

【L字腰壁の場合】

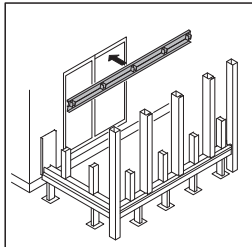
●側面側も間柱を取付けてください。



①間柱を中間柱スリーブに【1-7】で取付けてください。

9. 垂木掛けの取付け

9-1 垂木掛けの取付け



補足

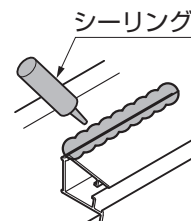
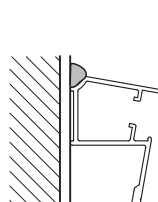
- 躯体方立を取付けている場合は垂木掛けを躯体方立に乗せて取付けてください。
- 垂木掛けの取付け位置は「5 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

ポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。



【積雪地域】



(積雪地域3000N(100cm相当)仕様の場合)

シーリング

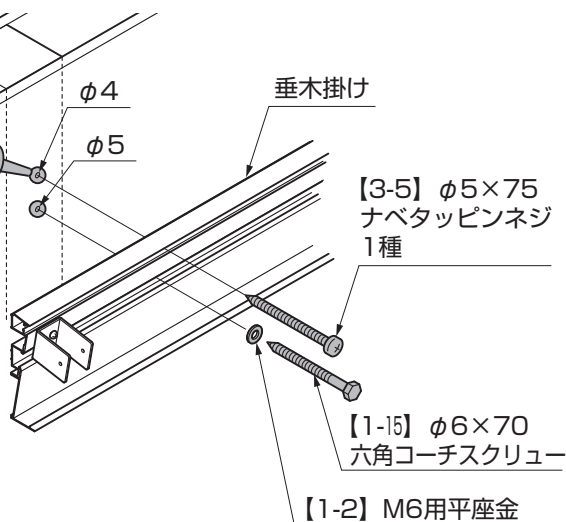
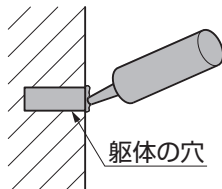
φ4

φ5

垂木掛け

ポイント

- 躯体にあけた穴には必ず、シーリングを充て込んでください。

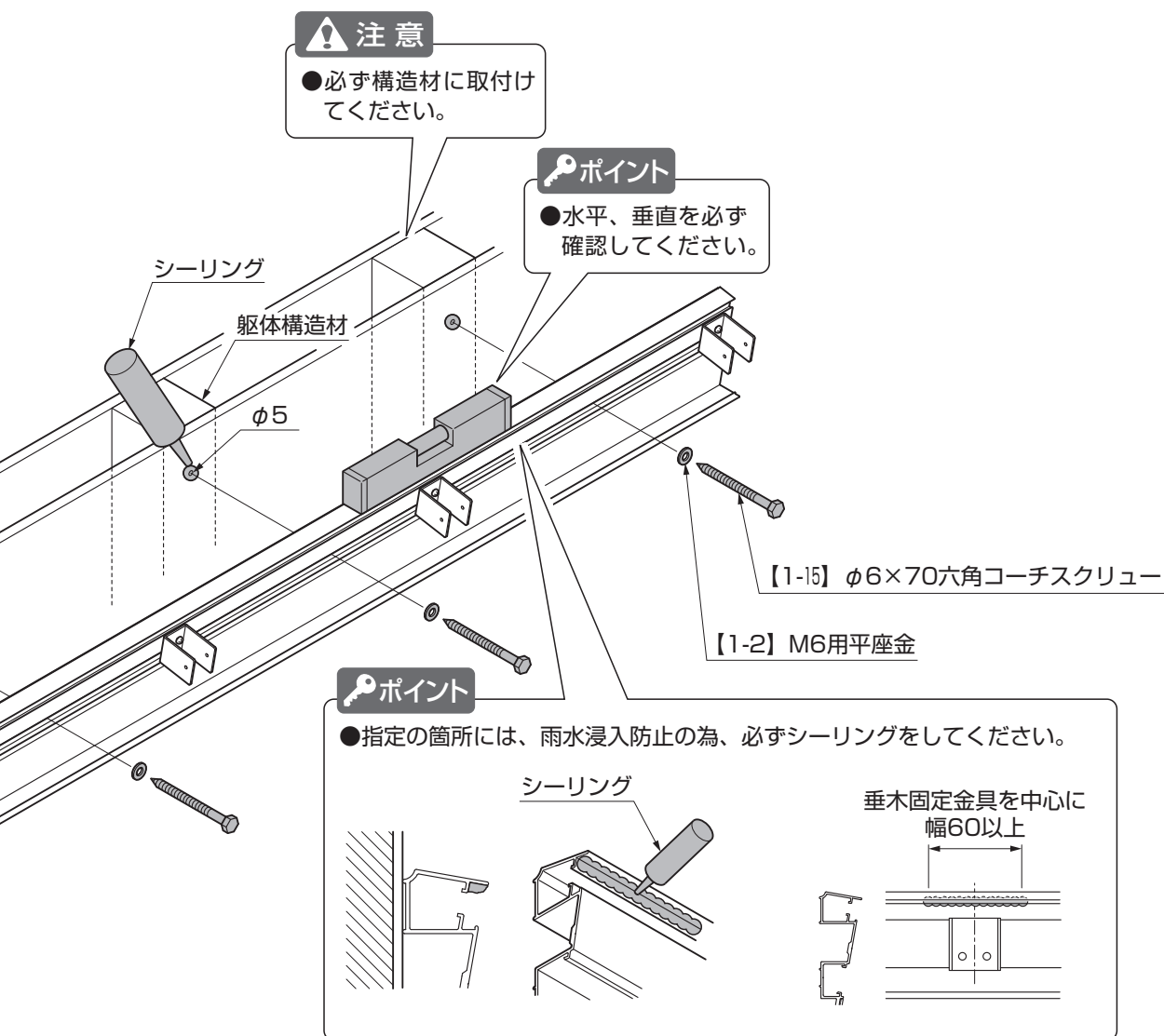


【一般地域】



- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-2】、【1-15】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			



【積雪地域】 (積雪地域1500N (50cm相当)仕様の場合)

- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ4とφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-2】、【1-15】で取付けてください。

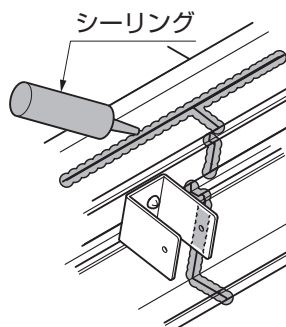
【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当)仕様の場合)

- ① 躯体に垂木取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-2】、【1-15】と【3-5】で取付けてください。

9. (つづき)

9-2 連棟、垂木LED照明 **オプション**、入隅仕様の場合

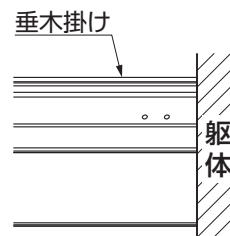
(1) 連棟の場合



ポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。

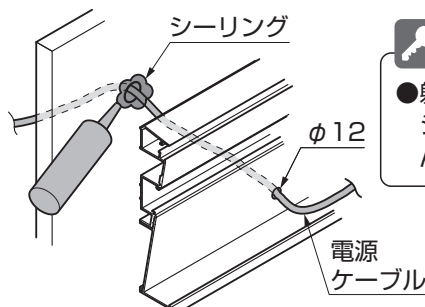
(3) 入隅仕様の場合



ポイント

- 垂木掛け側面を躯体に突き当てて取付けてください。

(2) 垂木LED照明 **オプション**



ポイント

- 躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。

図9-1 躯体に穴をあけて配線する場合

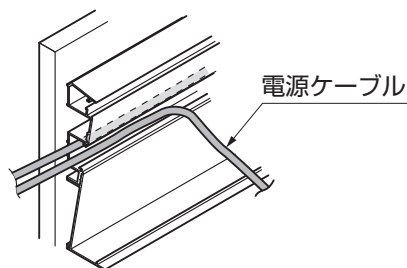


図9-2 垂木掛けの溝を利用する場合

(1) 連棟の場合

- ① 垂木掛けの連結箇所にシーリングをしてください。

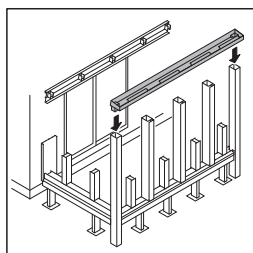
(2) 垂木LED照明 **オプション**

- ① 躯体に穴をあけて配線する場合は、「**8 施工前の準備** 2.配線工事」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ12の穴をあけ、躯体から配線してください。

(3) 入隅仕様の場合

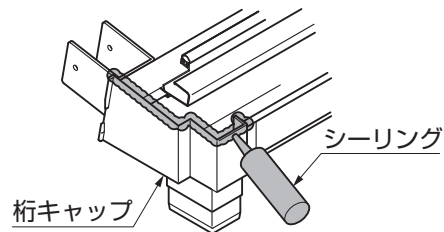
- ① 垂木掛けを躯体にあてがい取付けてください。

10. 桁の取付け



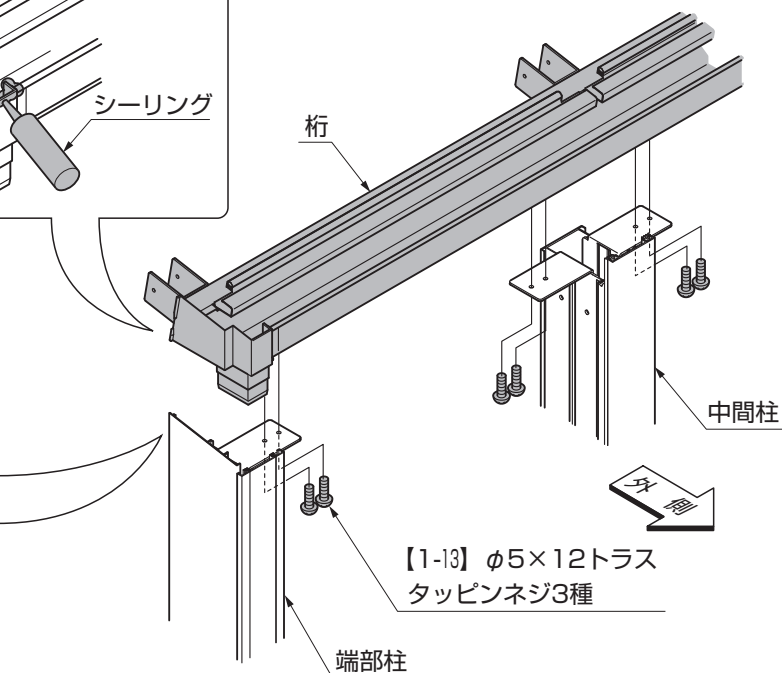
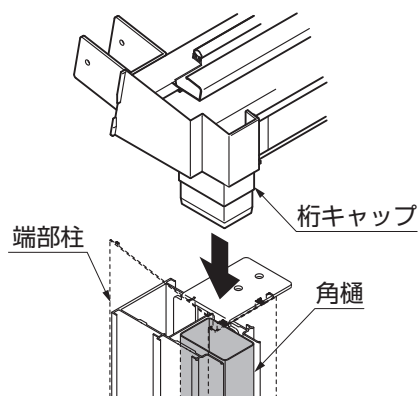
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。

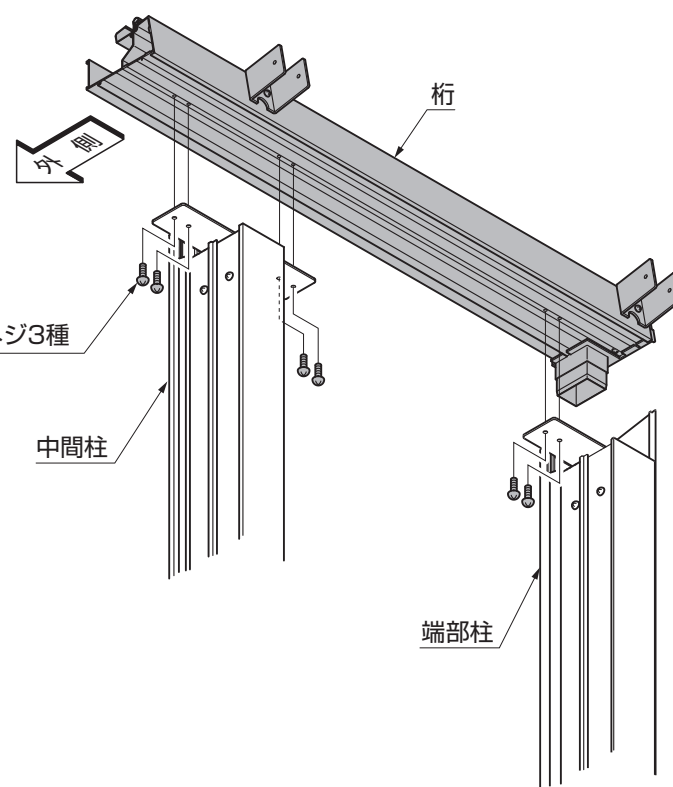


ポイント

- 桁キャップを角樋に挿入してください。



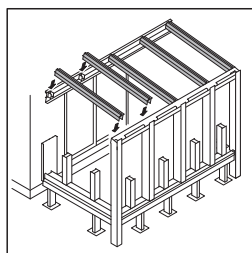
【1-13】φ5×12トラスタッピンネジ3種



- ①桁キャップをシーリングしてください。
- ②桁を端部柱、中間柱に【1-13】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

11. 妻垂木・垂木の取付け



ポイント

- 妻垂木には左右の向きがあります。ビード材が付いている側を内側にして取付けてください。

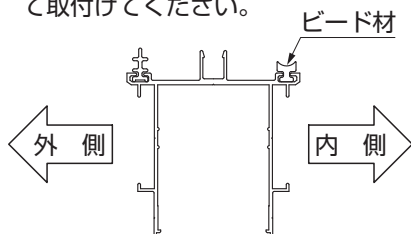
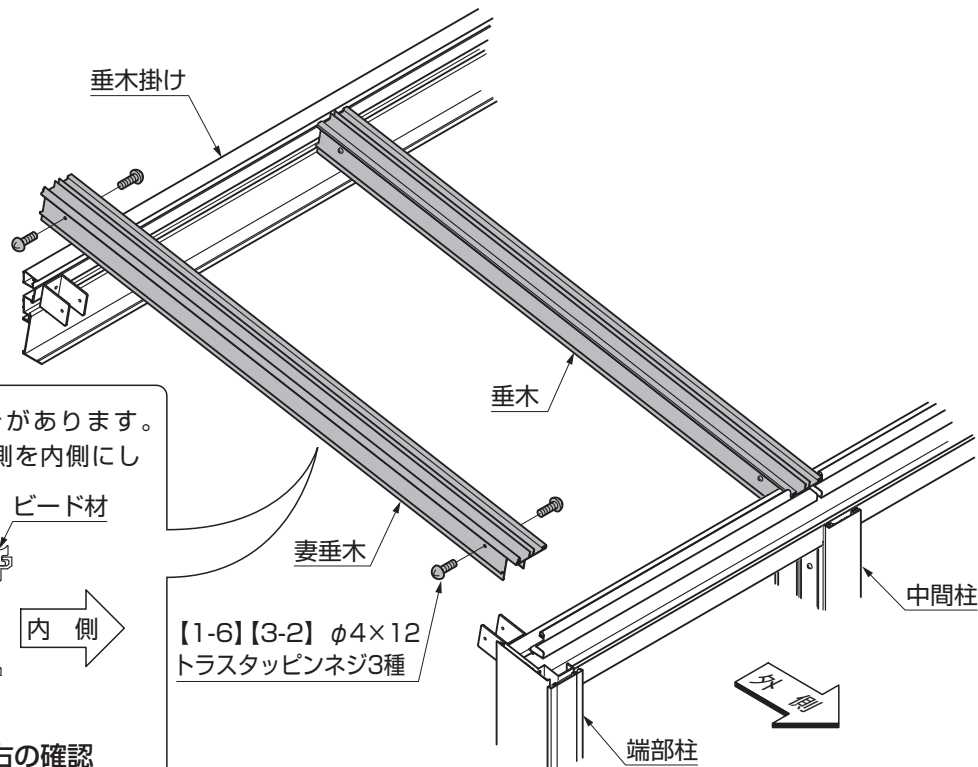
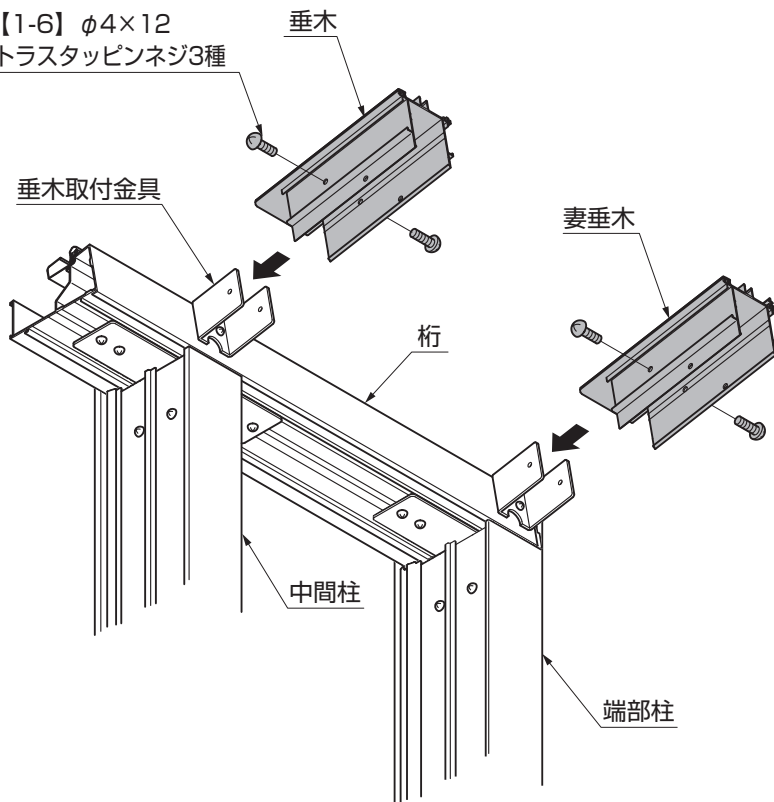


図11-1 妻垂木左右の確認



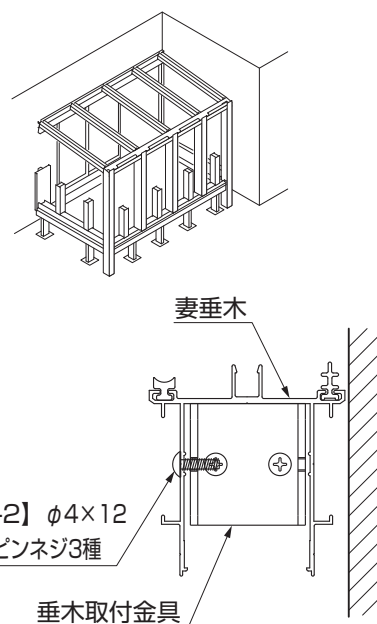
【1-6】φ4×12
トラスタッピンネジ3種



ポイント

【入隅仕様の場合】

- 【1-6】を片側だけ取付けてください。



①妻垂木、垂木を垂木取付金具に【1-6】、【3-2】で取付けてください。

12. 中骨の取付け

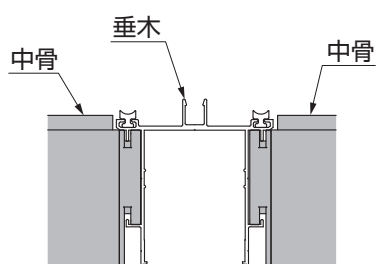
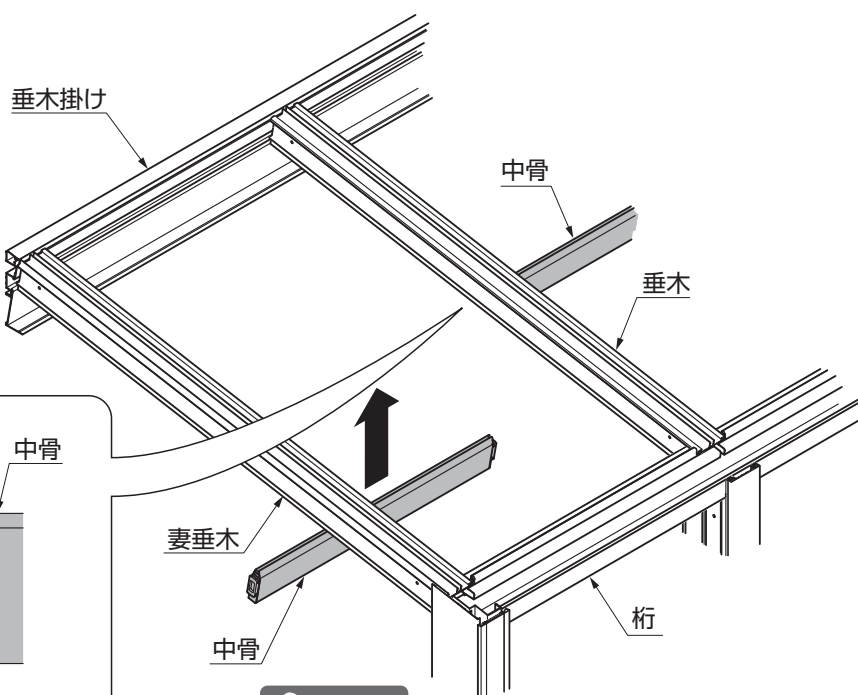
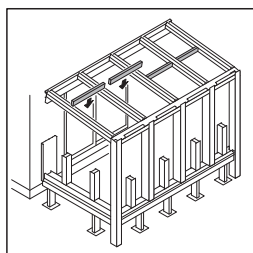


図12-1 中骨取付け位置

ポイント

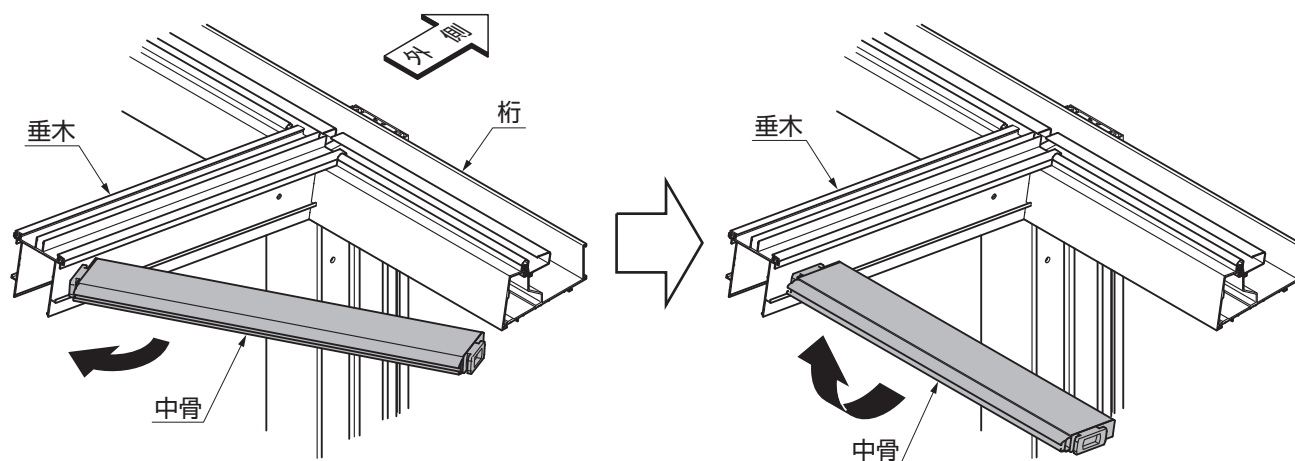
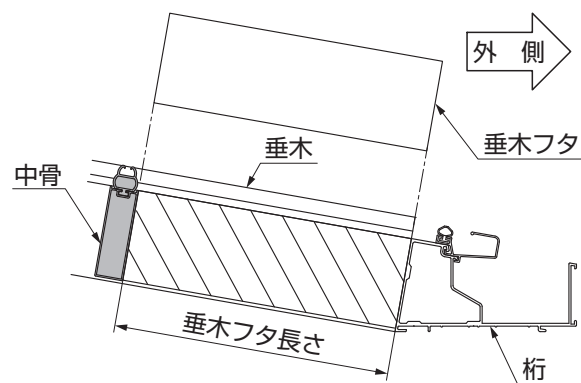
- 仕様によって中骨の本数が異なります。

表12-1 1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺	10尺
600N	—	1	1	2
1500N・3000N	1	2	3	—

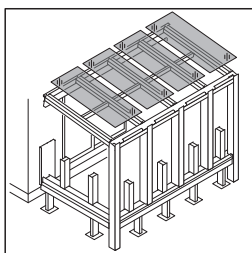
ポイント

- 垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。



- ①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。

13. 屋根材の取付け

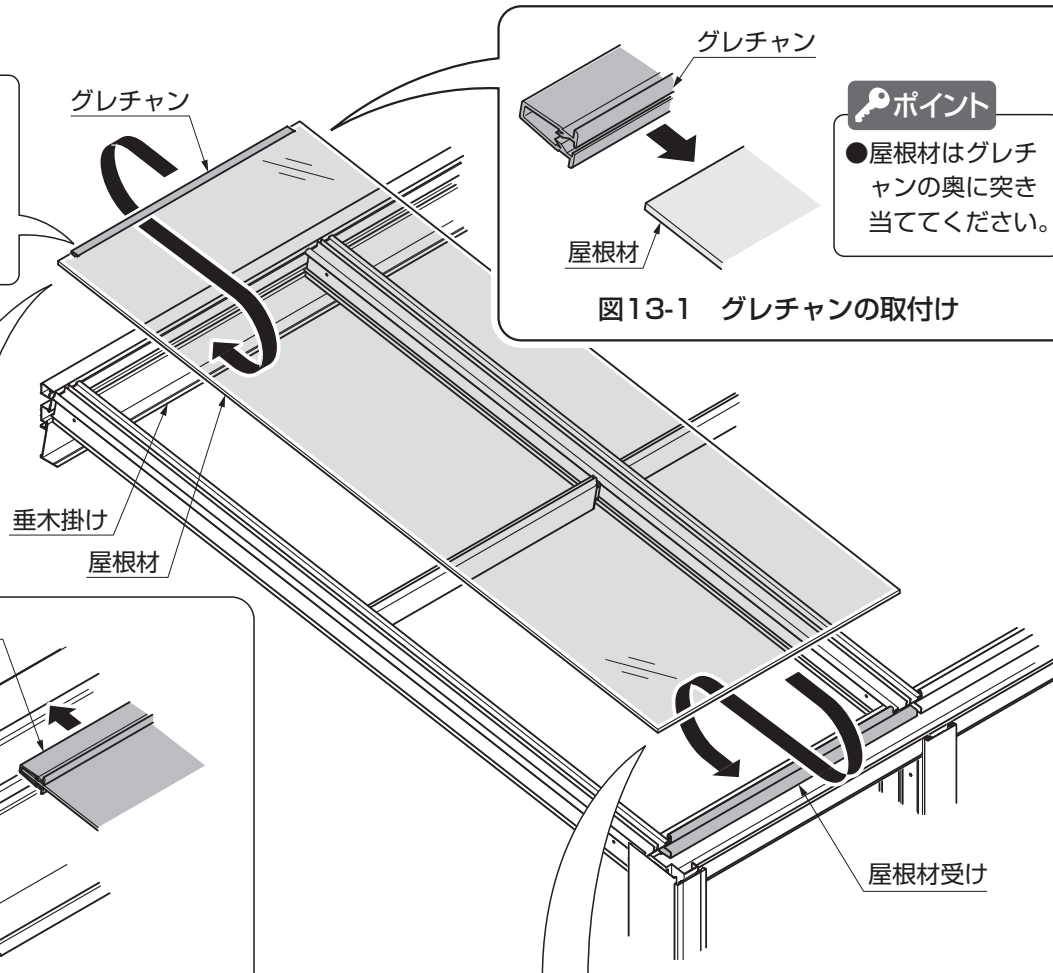


ポイント

- 左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに取付けてください。
- 垂木掛けにしっかり差し込んでください。
- 屋根材には耐候面（裏表）があります。ラベルの貼付け面を確認の上、取付け間違いのないように注意してください。

ポイント

- グレチャンからの屋根材のはみ出し幅が左右均等になるようにしてください。



ポイント

- 屋根材はグレチャンの奥に突き当ててください。

図13-1 グレチャンの取付け

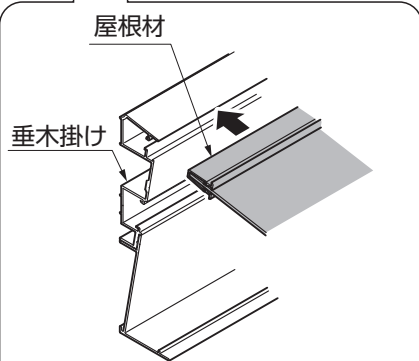
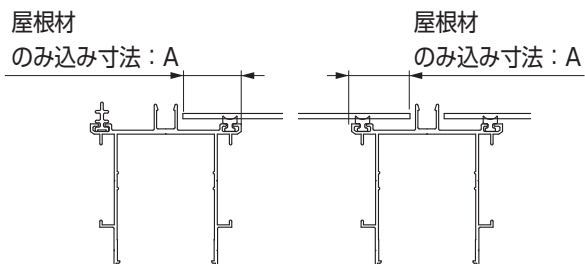


図13-2 屋根材の取付け

ポイント

- 屋根材ののみ込みが左右均等になるようにしてください。



ポイント

- 屋根材のはみ出しが左右均等になるように屋根材受けをスライドしてください。

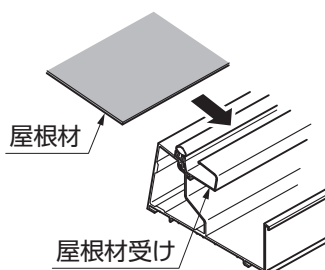
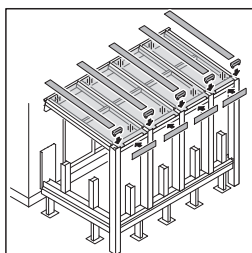


図13-3 屋根材の取付け

- ①グレチャンを屋根材に取付けてください。（図13-1参照）
- ②屋根材を垂木掛けに差し込んでください。（図13-2参照）
- ③屋根材を屋根材受けに、差し込んでください。（図13-3参照）

14. 垂木カバーの取付け

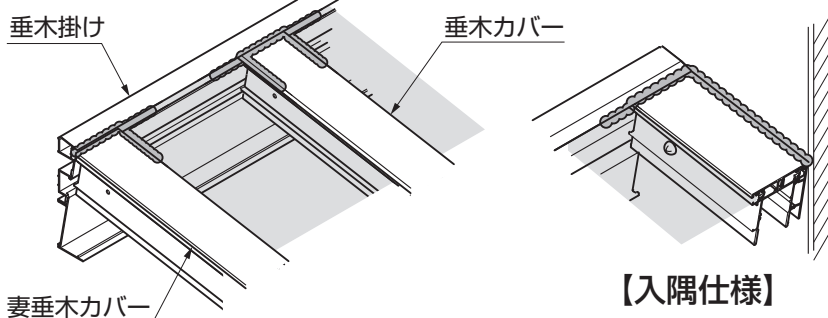


14-1 シーリング箇所一覧

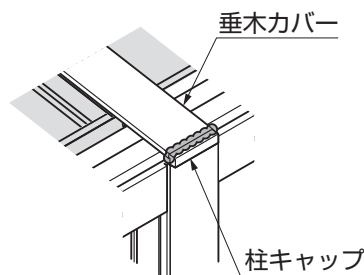
ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

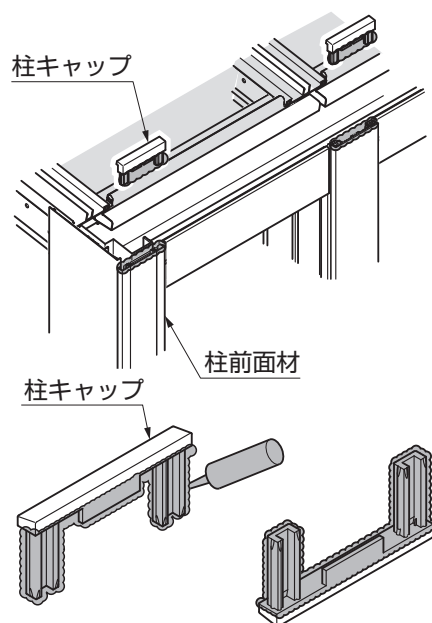
14-5 垂木カバーの取付け…(P.75)



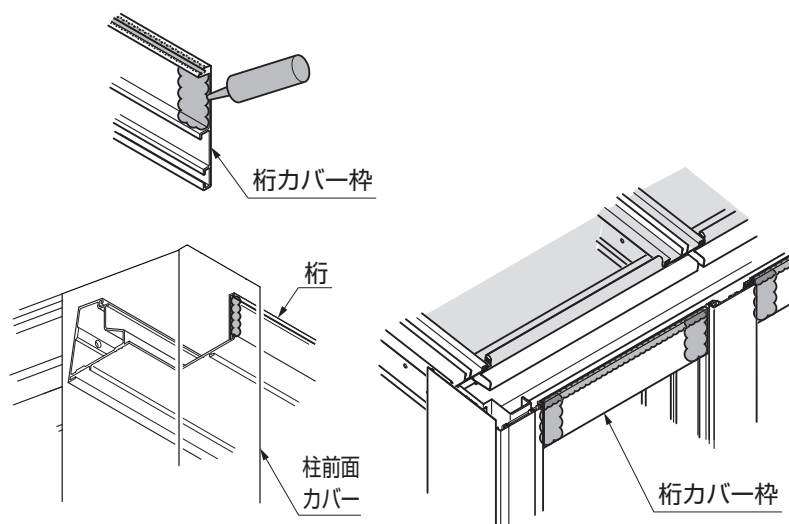
14-5 垂木カバーの取付け…(P.75)



14-3 柱キャップの取付け…(P.73)



14-2 桁カバー枠の取付け…(P.72)

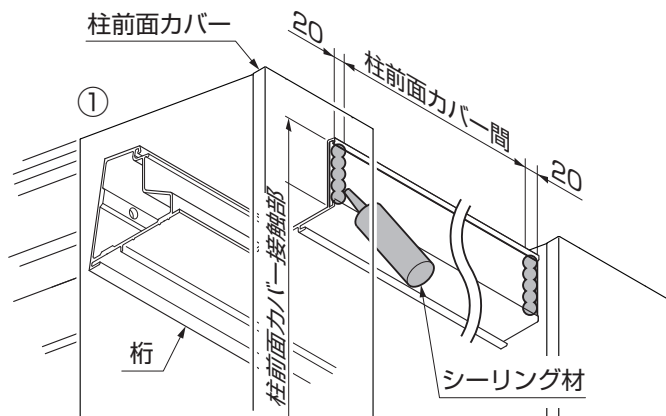


14. (つづき)

14-2 桁カバー枠の取付け

ポイント

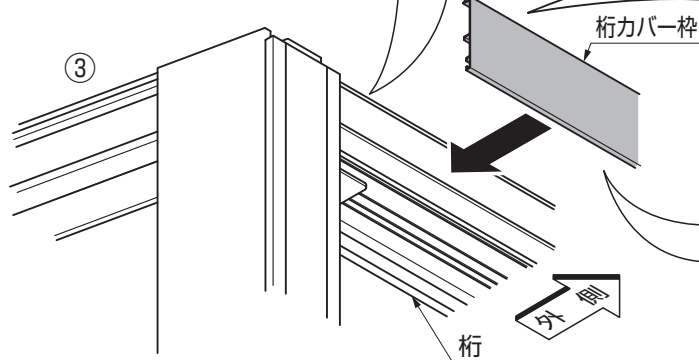
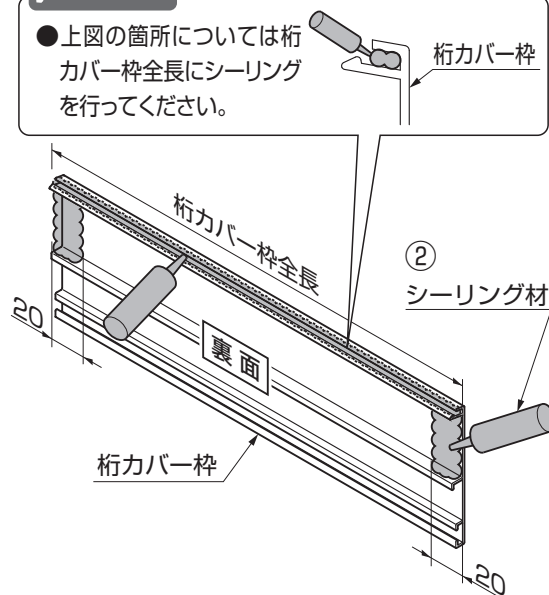
- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。



【桁カバー枠裏側シーリング箇所】

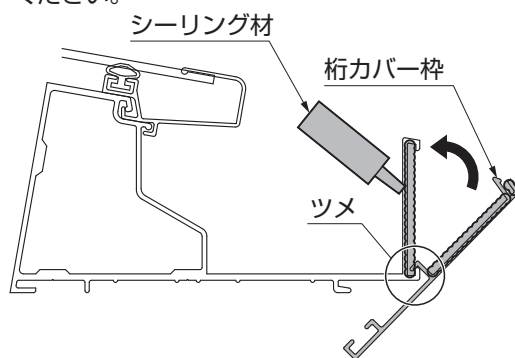
ポイント

- 上図の箇所については桁カバー枠全長にシーリングを行ってください。



ポイント

- 桁カバー枠を桁のツメに引っ掛けてはめ込んでください。



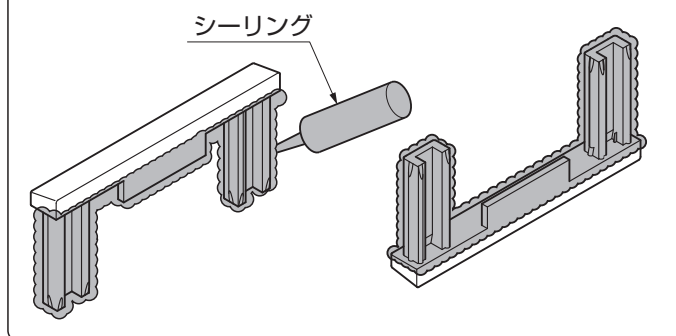
- ①桁の柱前面カバー接触部に幅20mm程度の幅でシーリングをしてください。
- ②桁カバー枠の裏側にシーリングをしてください。(参照【桁カバー枠裏側シーリング箇所】)
- ③桁カバー枠を桁にはめこんでください。
- ④桁カバー枠の両端部にシーリング材をしてください。

ポイント

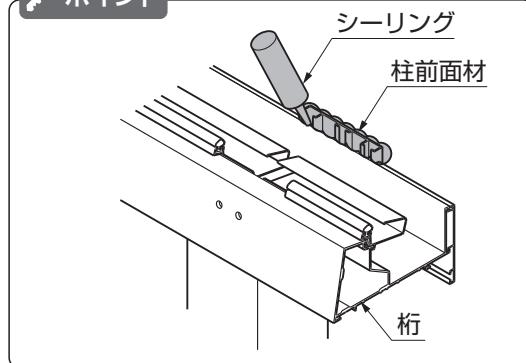
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

14-3 柱キャップの取付け

ポイント

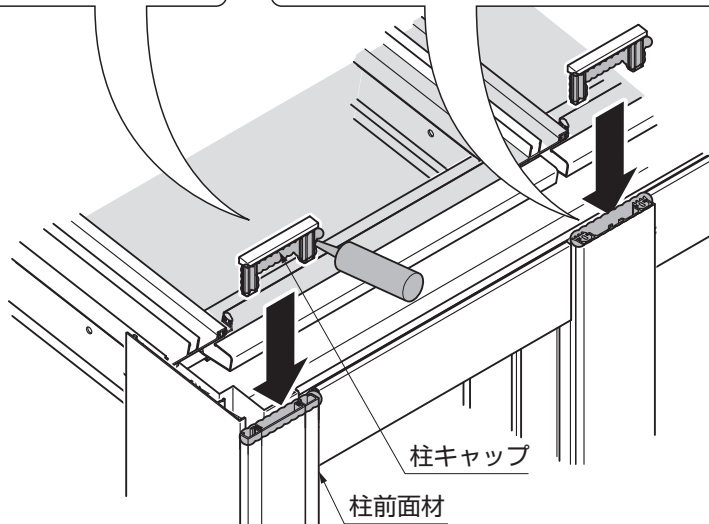


ポイント



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。



- ①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
- ②柱キャップにシーリングをしてください。
- ③柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

14-4 垂木カバー端部キャップの取付け

※積雪地域3000N仕様の場合の作業です。

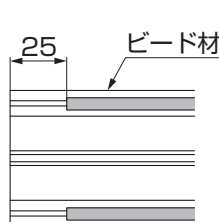
地域



ポイント

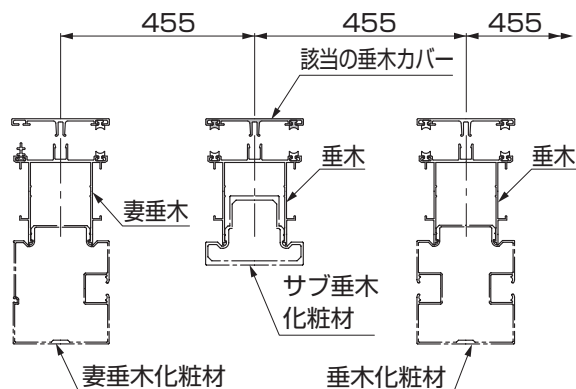
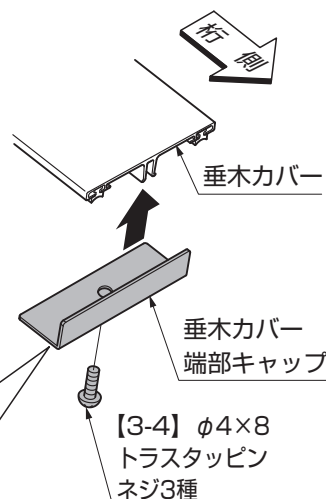
- 垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。

桁側



ポイント

- 垂木カバー端部キャップは垂木カバーを垂木に取付ける前に行ってください。



- ①サブ垂木に取付ける垂木カバーの桁側に垂木カバー端部キャップを【3-4】で取付けてください。

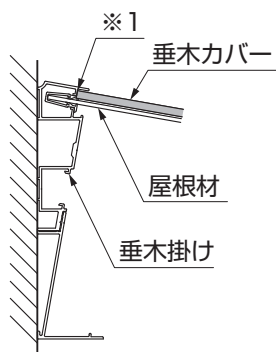
14. (つづき)

14-5 垂木カバーの取付け

(1) 垂木カバーのはめ込み

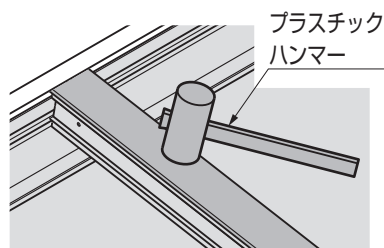
ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、(※1)取付けてください。



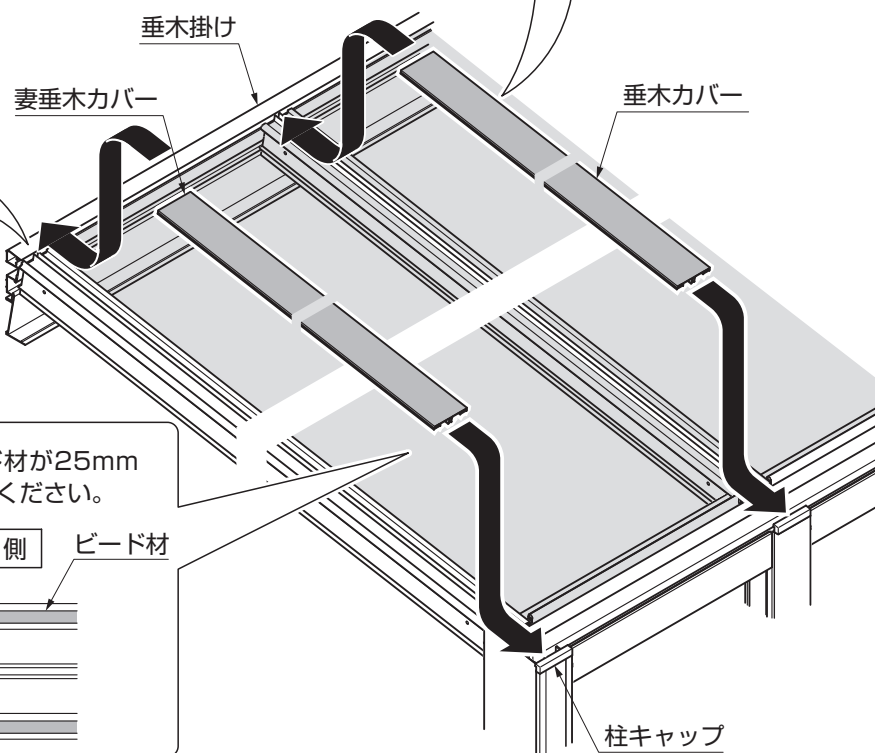
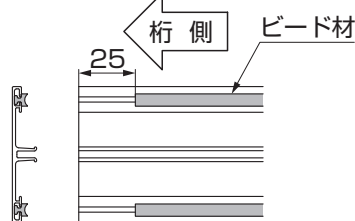
ポイント

- 部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。



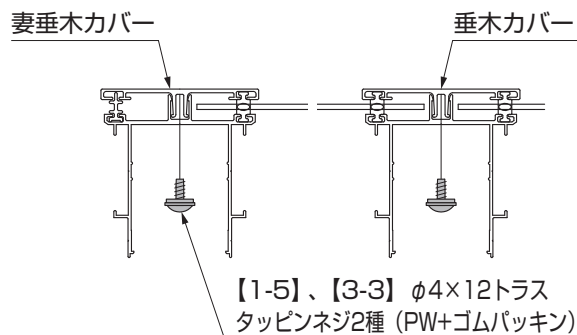
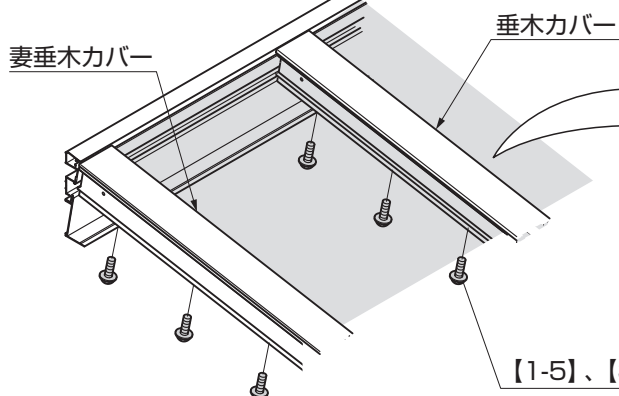
ポイント

- 垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。



- ①垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。

(2) 垂木カバーの固定



【1-5】、【3-3】φ4×12トラスタッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

- ①妻垂木カバーを妻垂木に、【1-5】、【3-3】で固定してください。
- ②垂木カバーを垂木に、【1-5】、【3-3】で固定してください。

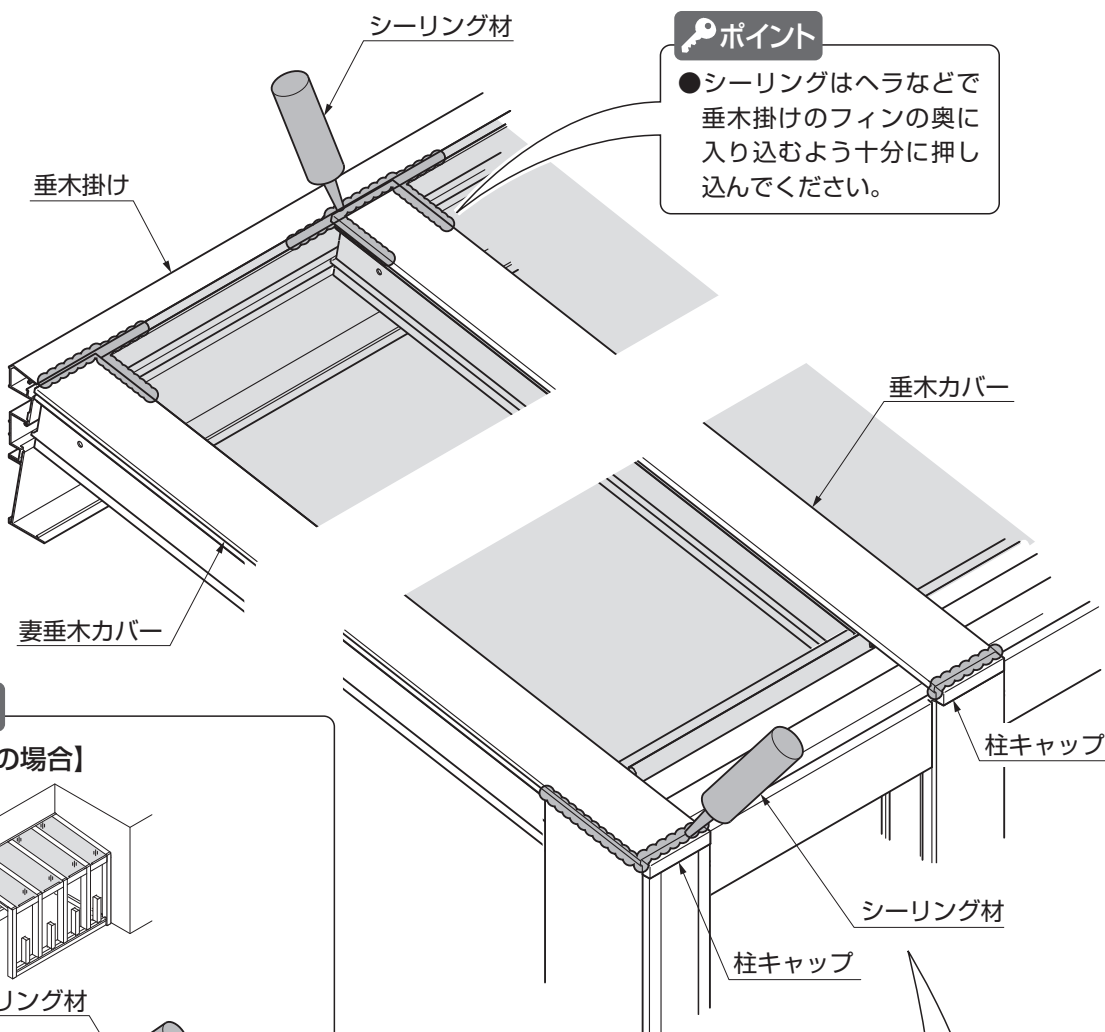
(3) 垂木カバーのシーリング

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

表14-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

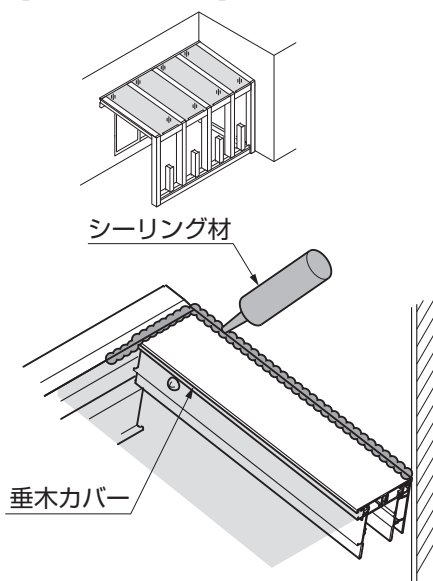


ポイント

- シーリングはヘラなどで垂木掛けのフィンの奥に入り込むよう十分に押し込んでください。

ポイント

【入隅仕様の場合】



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

①妻垂木カバー・垂木カバーに、シーリングをしてください。

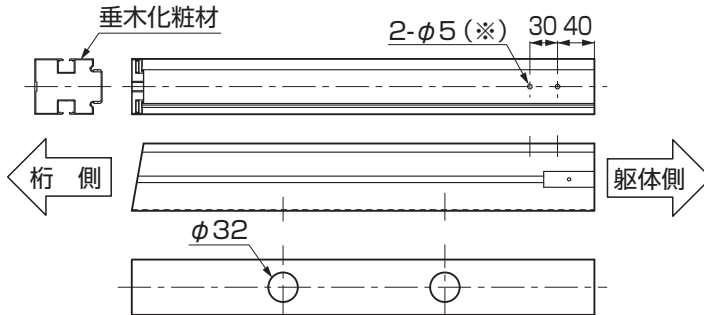
腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

15. 垂木化粧材の取付け

15-1 垂木LED照明の取付け

※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

※以下の（※）印は、トランス電源ユニット35W 屋外用での配線の場合は不要です。



図はLED照明2個使いの場合を示します。

警告

- 電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）
- 取付けの際は安全のため、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因になります。
- 電源線と口出し線はスリーブなどで確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。（内線規定1335-7～9に準ずる）不備があると火災・感電の原因になります。

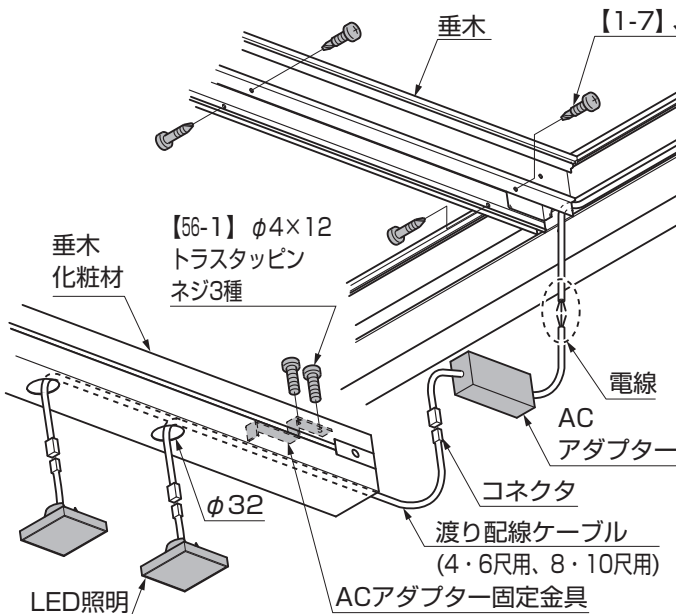


図15-1 ACアダプターで配線する場合

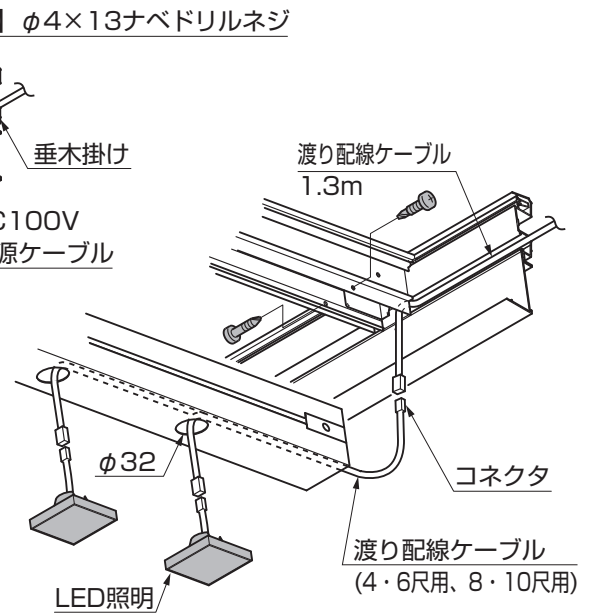
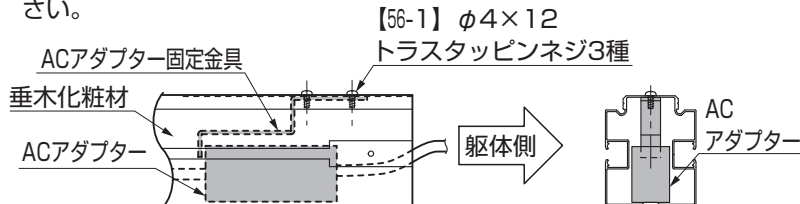


図15-2 トランス電源ユニットで配線する場合

ポイント

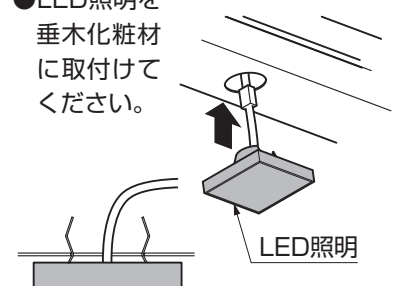
【ACアダプターで配線する場合】

- ACアダプターを下図の位置に収納してください。
- ACアダプター固定金具はACアダプターのズレ防止のため必ず取付けてください。



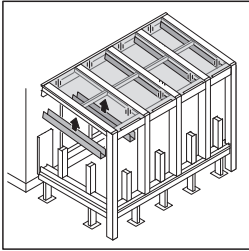
ポイント

- LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



- ①垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。（※）
- ②ACアダプター固定金具を垂木化粧材に【56-1】で取付けてください。（※）
- ③渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）を垂木化粧材に配置してください。
- ④ACアダプターと渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）をコネクタ接続しながら、垂木化粧材を垂木に【1-7】、【3-1】で取付けてください。（※）
- ⑤渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）と渡り配線ケーブル1.3mを接続してください。
- ⑥渡り配線とLED照明をコネクタ接続してください。
- ⑦LED照明を垂木化粧材に取付けてください。

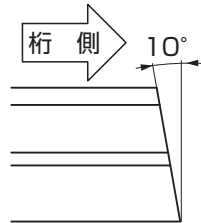
15-2 垂木化粧材の取付け



ポイント

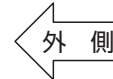
【垂木化粧材の向き】

- 垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。



妻垂木化粧材

垂木化粧材

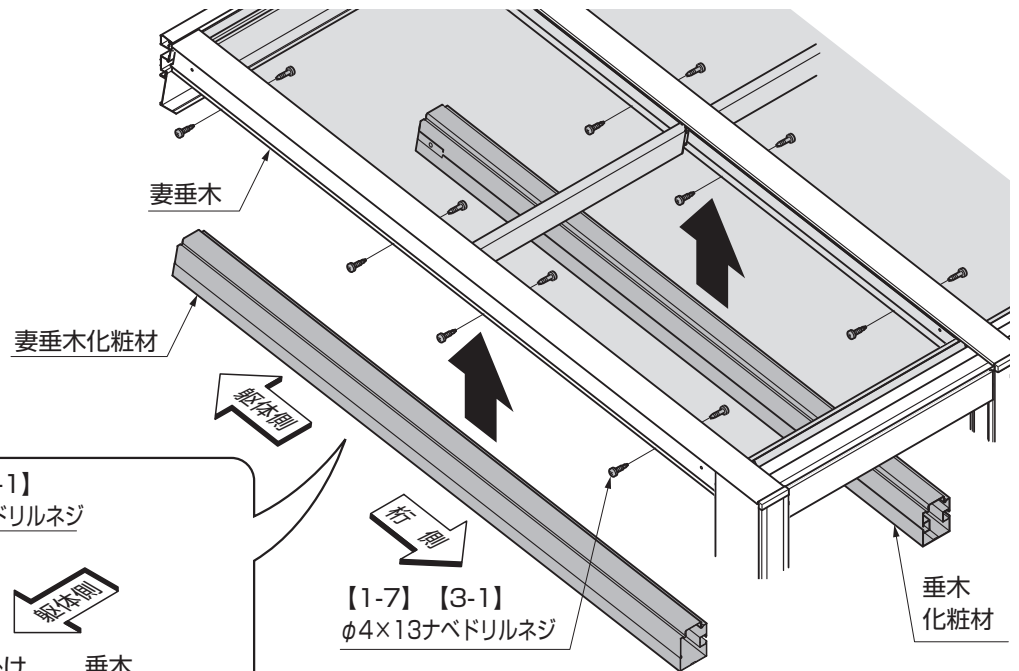


【積雪地域】



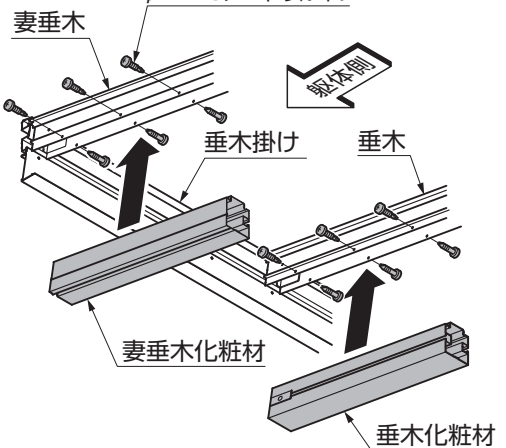
(積雪地域3000N(100cm相当)仕様の場合)

- 「15-3 サブ垂木化粧材の取付け」もあわせてご確認ください。



【1-7】 【3-1】

φ4×13ナベドリルネジ

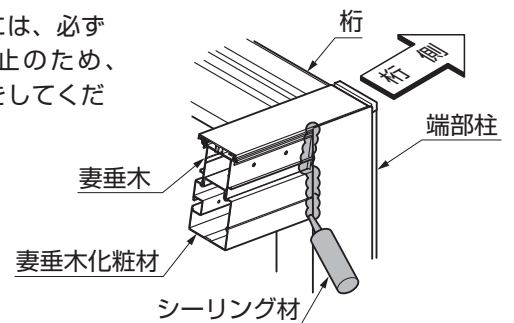


【1-7】 【3-1】

φ4×13ナベドリルネジ

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

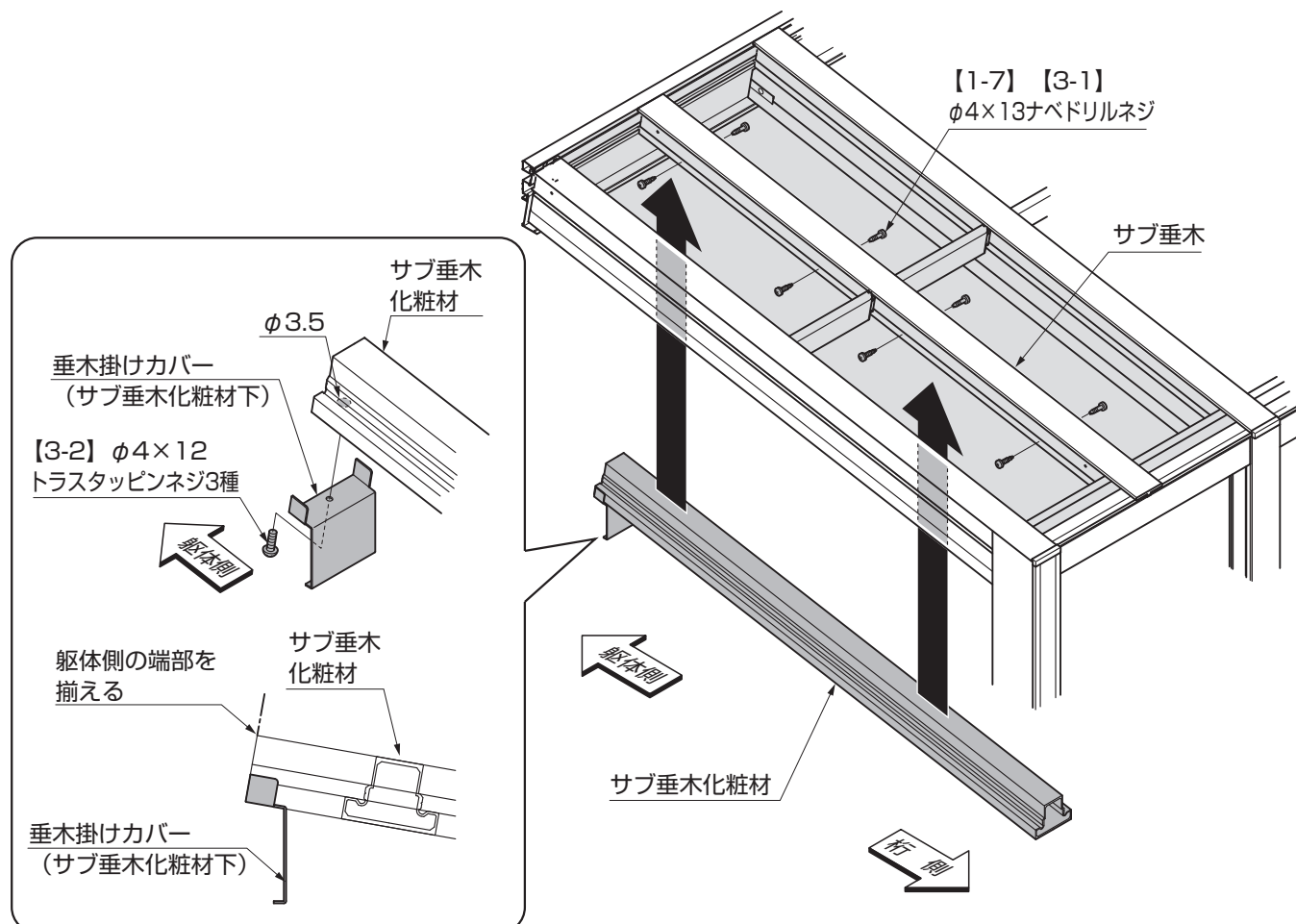


- ① 垂木化粧材キャップを垂木化粧材から取外してください。
- ② 垂木化粧材を垂木、妻垂木に【1-7】、【3-1】で取付けてください。
- ③ 妻垂木、妻垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。

15. (つづき)

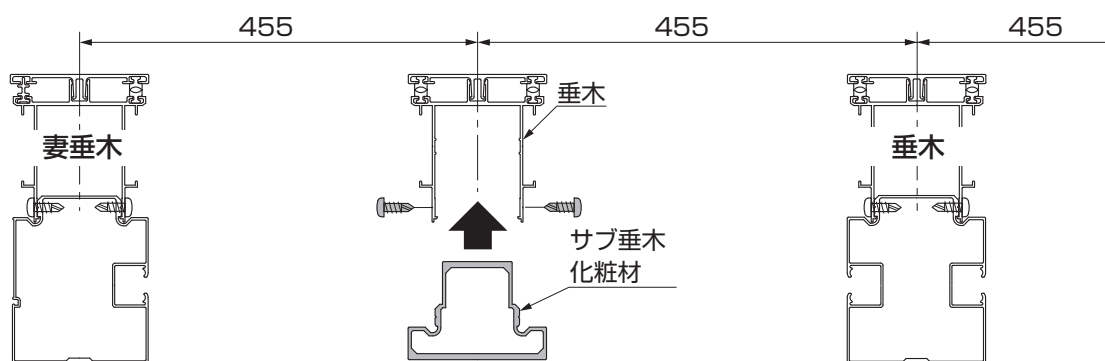
15-3 サブ垂木化粧材の取付け ※積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合の作業です。

地域



ポイント

- サブ垂木化粧材は妻垂木化粧材および垂木化粧材の間になるように取付けてください。

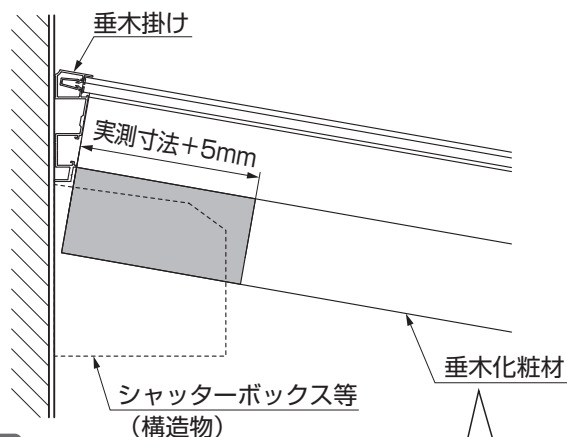


- ①サブ垂木化粧材の躯体側に垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）を合わせてφ3.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）をサブ垂木化粧材に【3-2】で取付けてください。
- ③サブ垂木化粧材をサブ垂木に【1-7】、【3-1】で取付けてください。

15-4 垂木化粧材が躯体側の障害物に干渉する場合

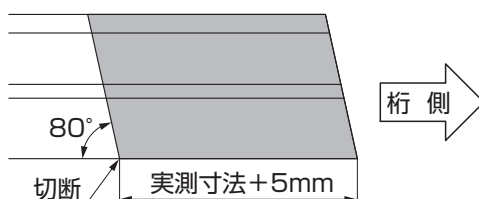
※躯体側の障害物を避けるため、垂木掛け下部を使用しない場合の内容を示します。

(1) 部材の加工



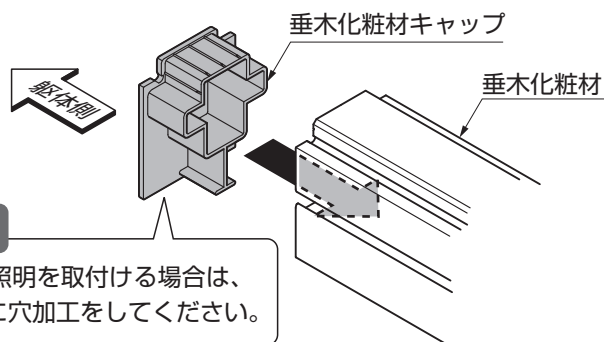
ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の構造物がある場合は、構造物を避けるように垂木化粧材の加工を行ってください。



- ①垂木化粧材が干渉する寸法を採寸し、加工してください。

(2) キャップの取付け



補足

- 垂木LED照明を取付ける場合は、キャップに穴加工をしてください。

【垂木の場合】

- ①垂木化粧材キャップを垂木化粧材に取付けてください。

補足

- 垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）の取付けは不要です。

図15-3 垂木化粧材への取付け

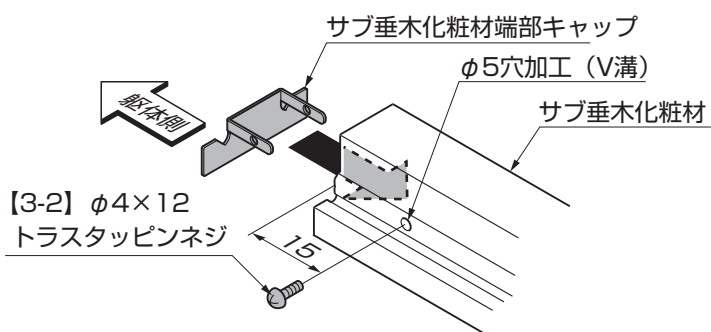


図15-4 サブ垂木化粧材への取付け

【サブ垂木の場合】

- ①サブ垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。
- ②サブ垂木化粧材端部キャップをサブ垂木化粧材に【3-2】で取付けてください。

15. (つづき)

15-5 入隅の場合

(1) 妻垂木の加工

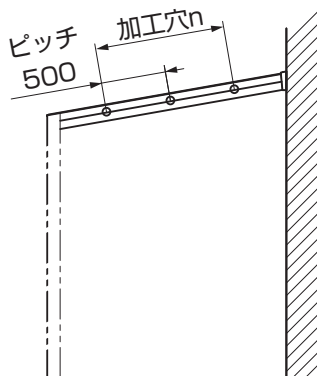
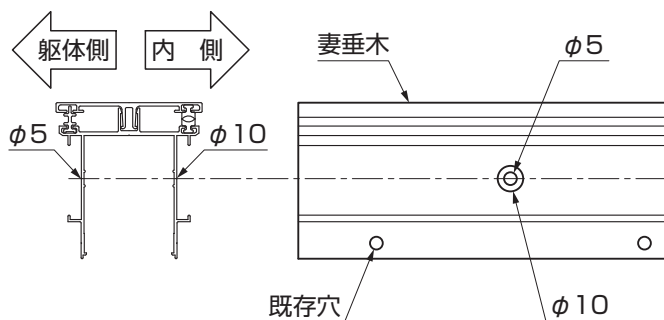


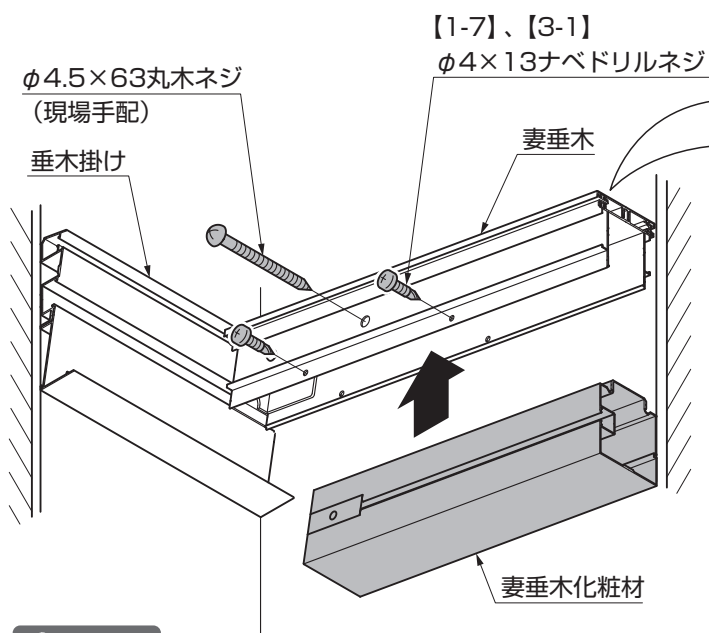
表15-1

	加工穴n
4尺	2
6尺	3
8尺	4
10尺	5



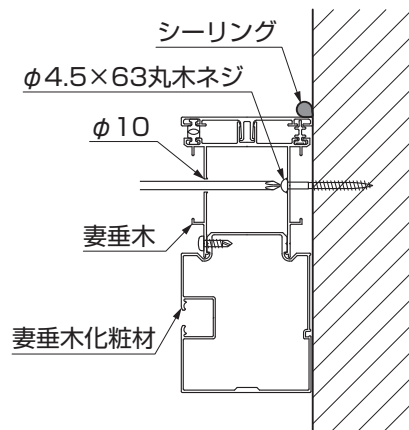
①妻垂木にφ10、φ5の穴をあけてください。

(2) 妻垂木化粧材の取付け



ポイント

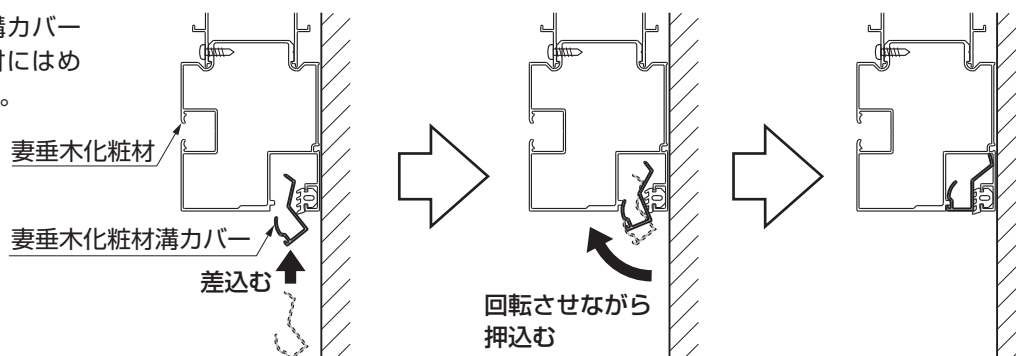
- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 妻垂木を躯体に固定する際は、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差し込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

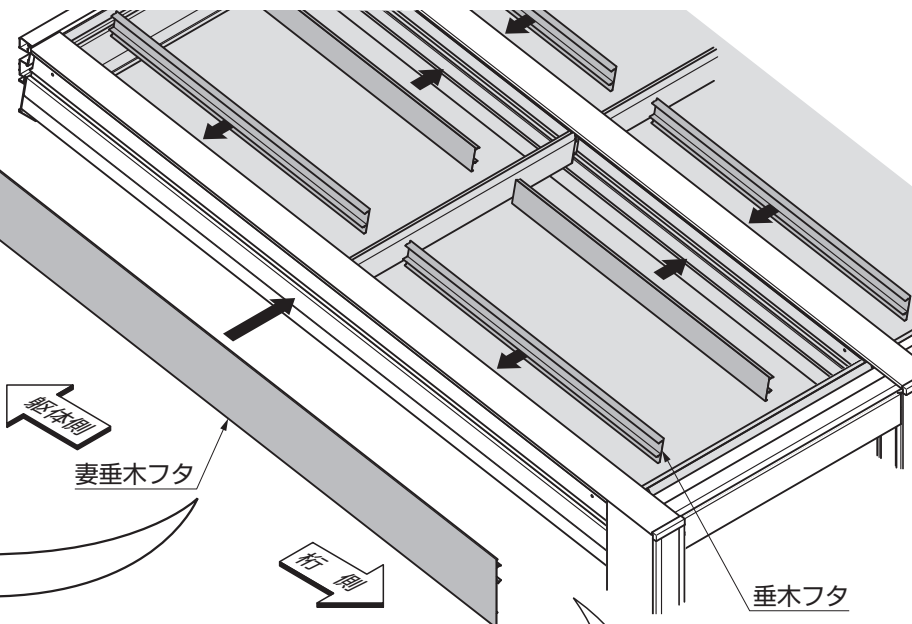
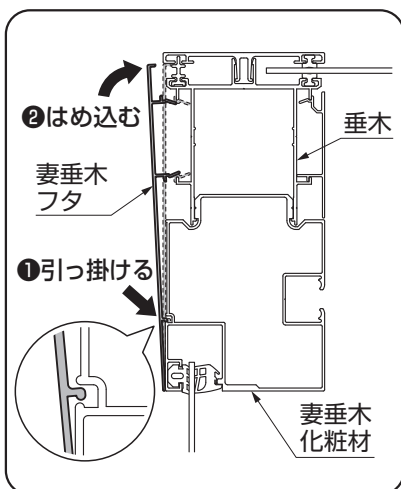
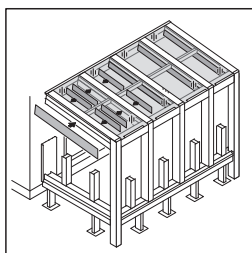
【妻梁上部FIXがある場合】

- 妻垂木化粧材溝カバーを妻垂木化粧材にはめ込んでください。



- ①妻垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-7】、【3-1】で取付けてください。
- ②妻垂木を躯体に「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

16. 垂木フタの取付け

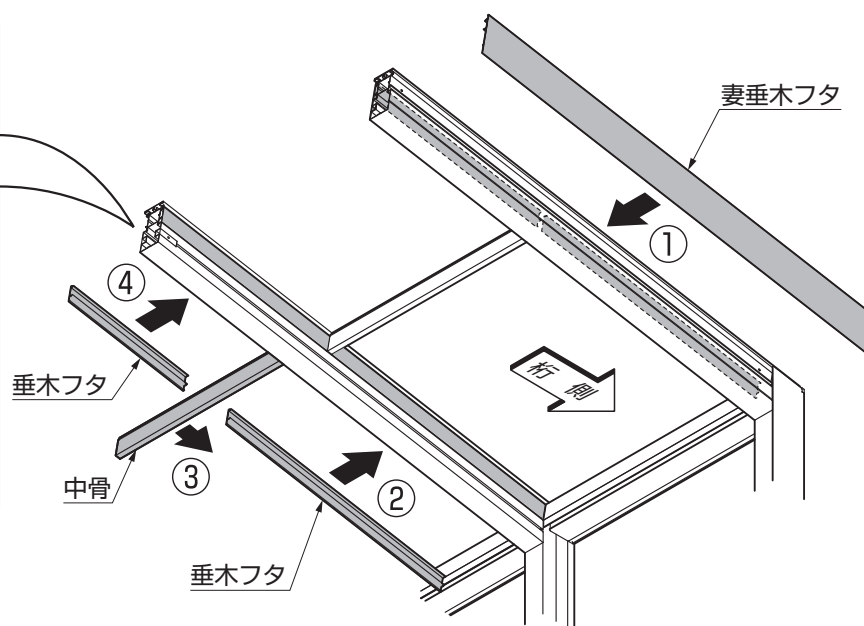
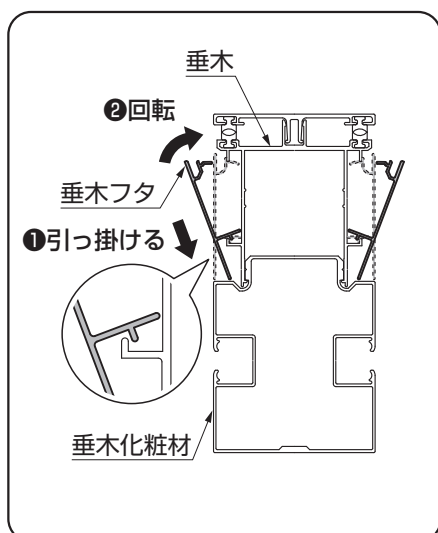


ポイント

- 妻垂木フタは端部柱端部力バーに突きあててはめ込んでください。
- はめ込みは端部から行なってください。

【ロールスクリーン、ローマンシェードを取付ける場合】

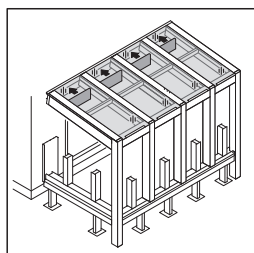
「E377 ロールスクリーン取付説明書」「E376 ローマンシェード取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。



- ①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
- ②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
- ③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
- ④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

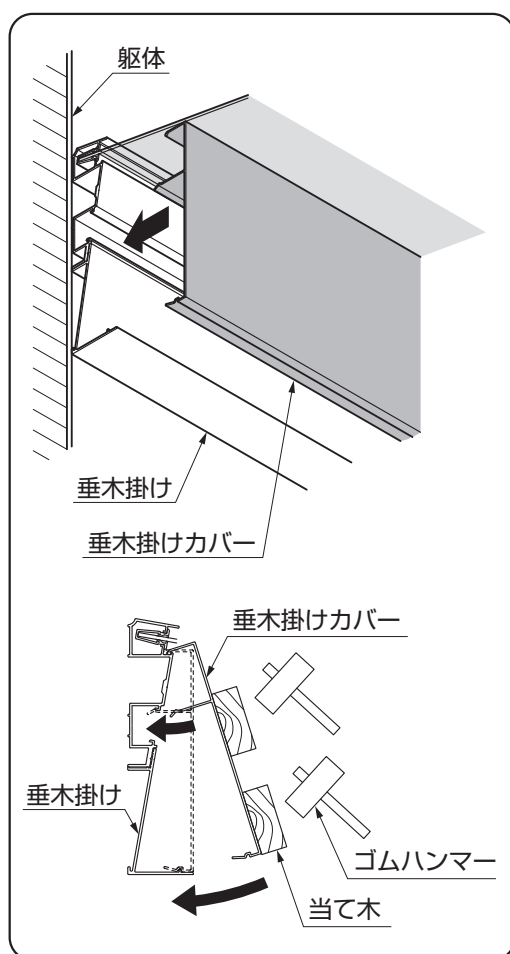
腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

17. 垂木掛けカバーの取付け



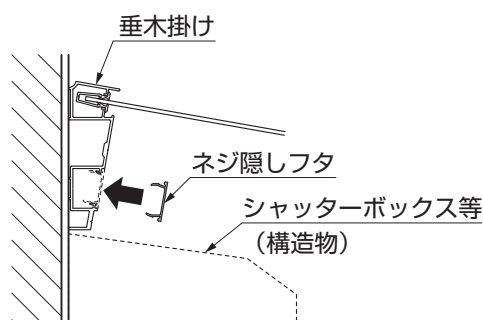
垂木掛け

垂木掛けカバー



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、ネジ隠しフタを使用してください。



ポイント

【内部日除けを取付ける場合】

- 内部日除けを先に取付けてください。

E269

・内部日除けの取付け
(E269 内部日除け取付説明書 参照)



E415

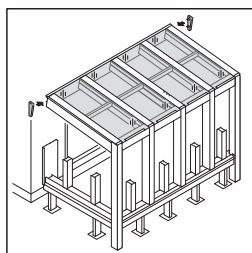
17. 垂木掛けカバーの取付け（本手順）

- ① 垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

ポイント

- 確実にはめ込むように、当て木とゴムハンマーなどで叩いてはめ込んでください。
- 垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

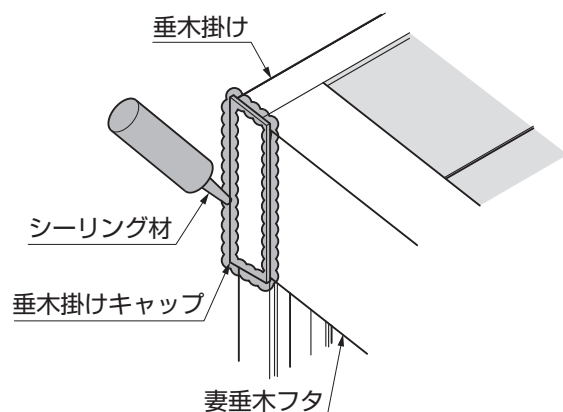
18. 垂木掛けキャップの取付け



垂木掛けキャップ

ポイント

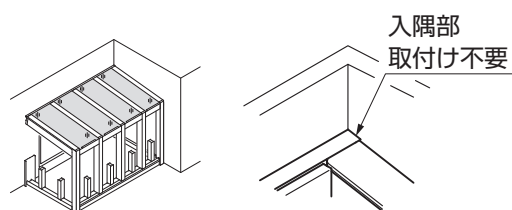
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

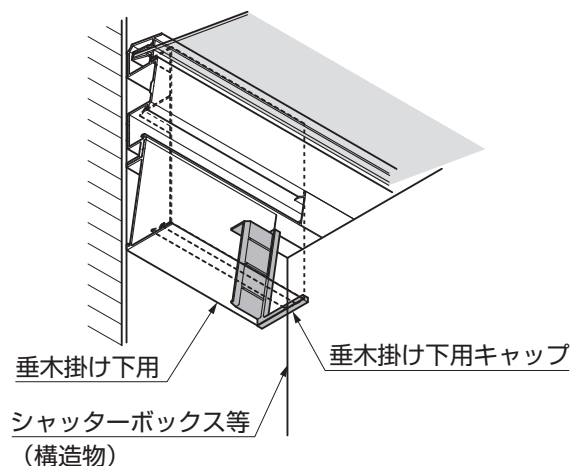
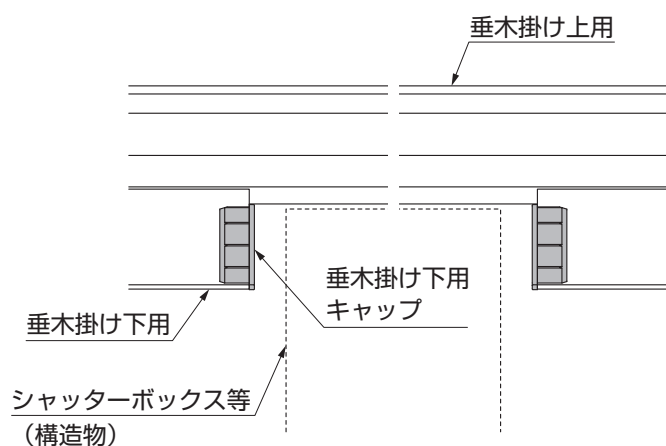
【入隅仕様の場合】

- 入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛け下用に垂木掛け下用キャップを取付けてください。



- ①垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。
- ②垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。

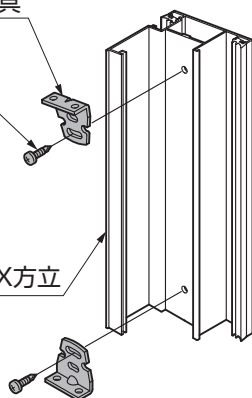
(2) 妻梁上部FIX方立の取付け

※出幅10尺の場合の作業になります。

妻梁上部FIX取付金具

【19-2】φ4×13
ナベドリルネジ

妻梁上部FIX方立

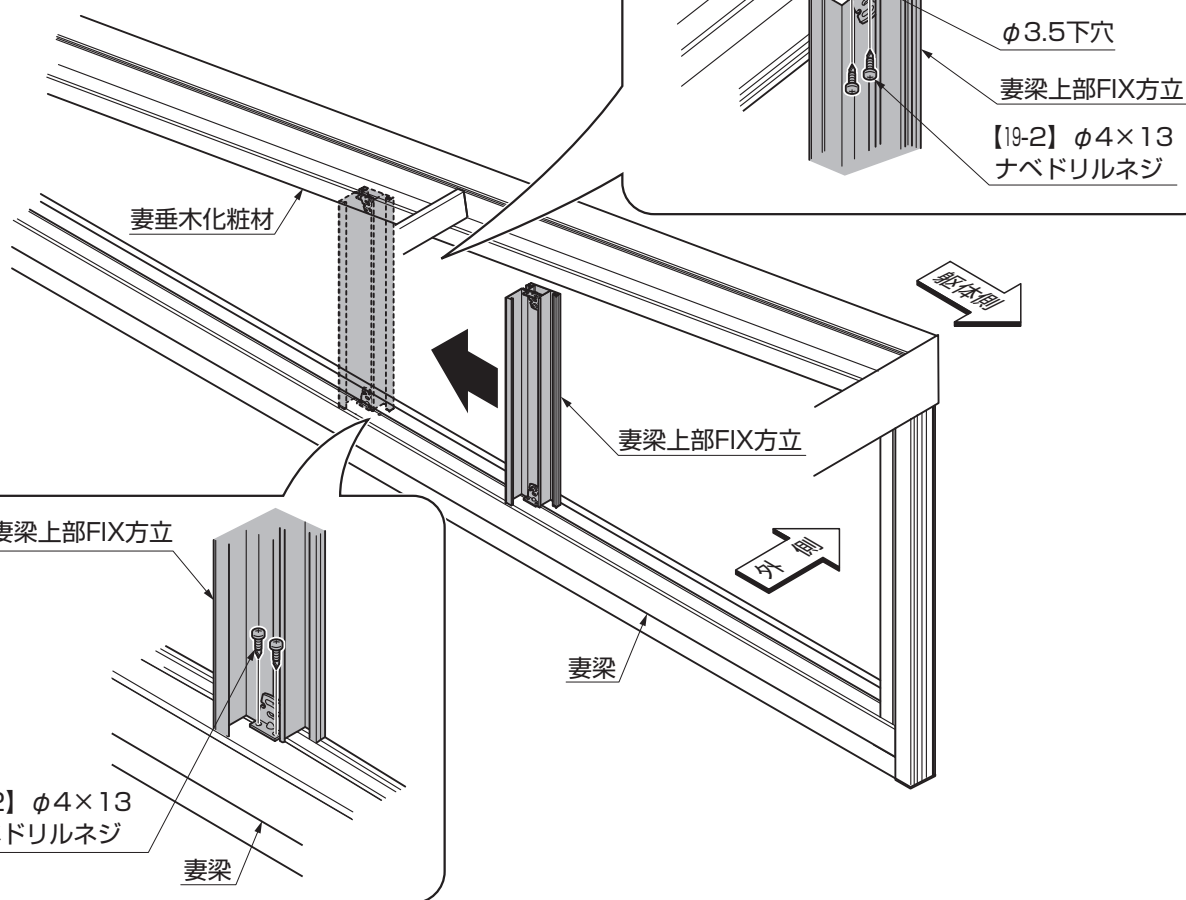
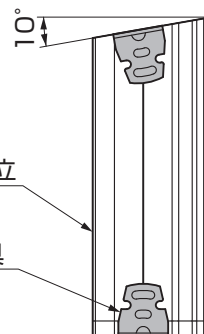


ポイント

- 妻梁上部FIX取付金具は妻梁上部FIX方立の切断角度に合わせて取付けてください。

妻梁上部FIX方立

妻梁上部FIX取付金具



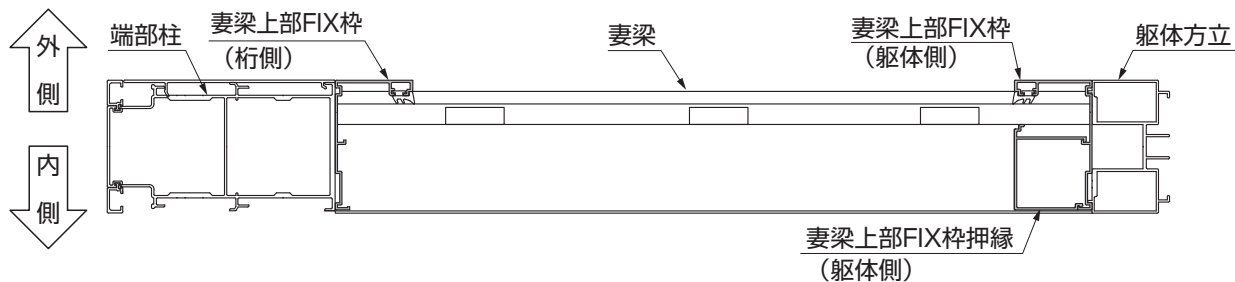
- ①妻梁上部FIX取付金具を妻梁上部FIX方立上下に【19-2】で取付けてください。
- ②躯体側から妻梁上部FIX方立を挿入し、下部の妻梁上部FIX取付金具を妻梁に【19-2】で取付けてください。
- ③上部の妻梁上部FIX取付金具を妻垂木化粧材にφ3.5の穴加工を行って【19-2】で取付けてください。

19. (つづき)

19-2 妻梁上部FIX枠の取付け

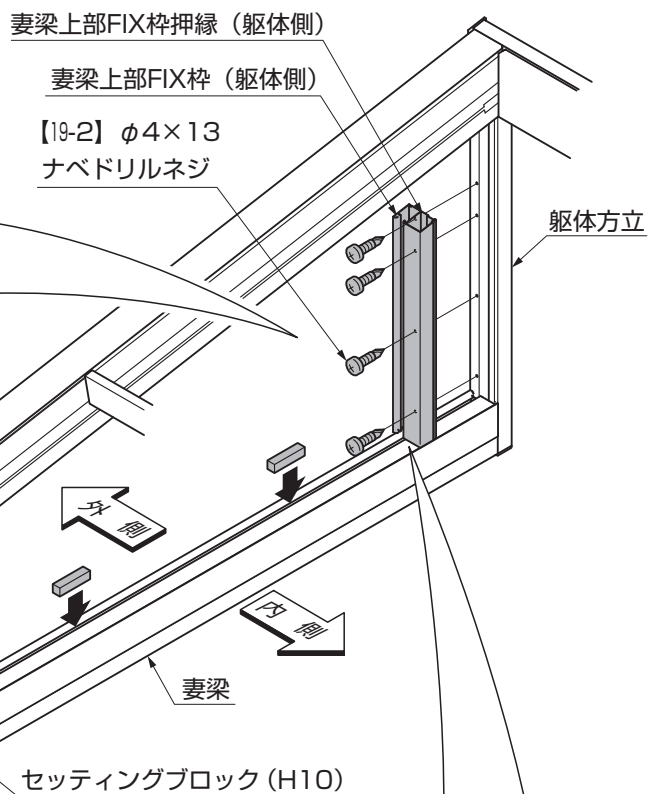
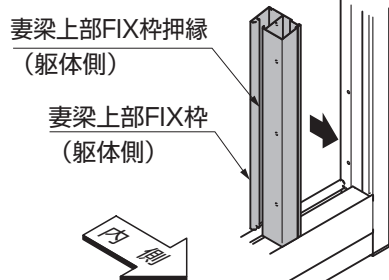
ポイント

- 妻梁上部FIX枠の向きには注意してください。



ポイント

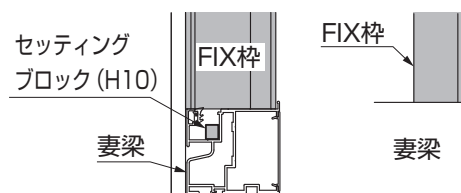
- 躯体側の妻梁上部FIX枠は妻梁上部FIX枠押縁と一緒にスライド挿入の上、取付けてください。



【19-2】φ4×13ナベドリルネジ

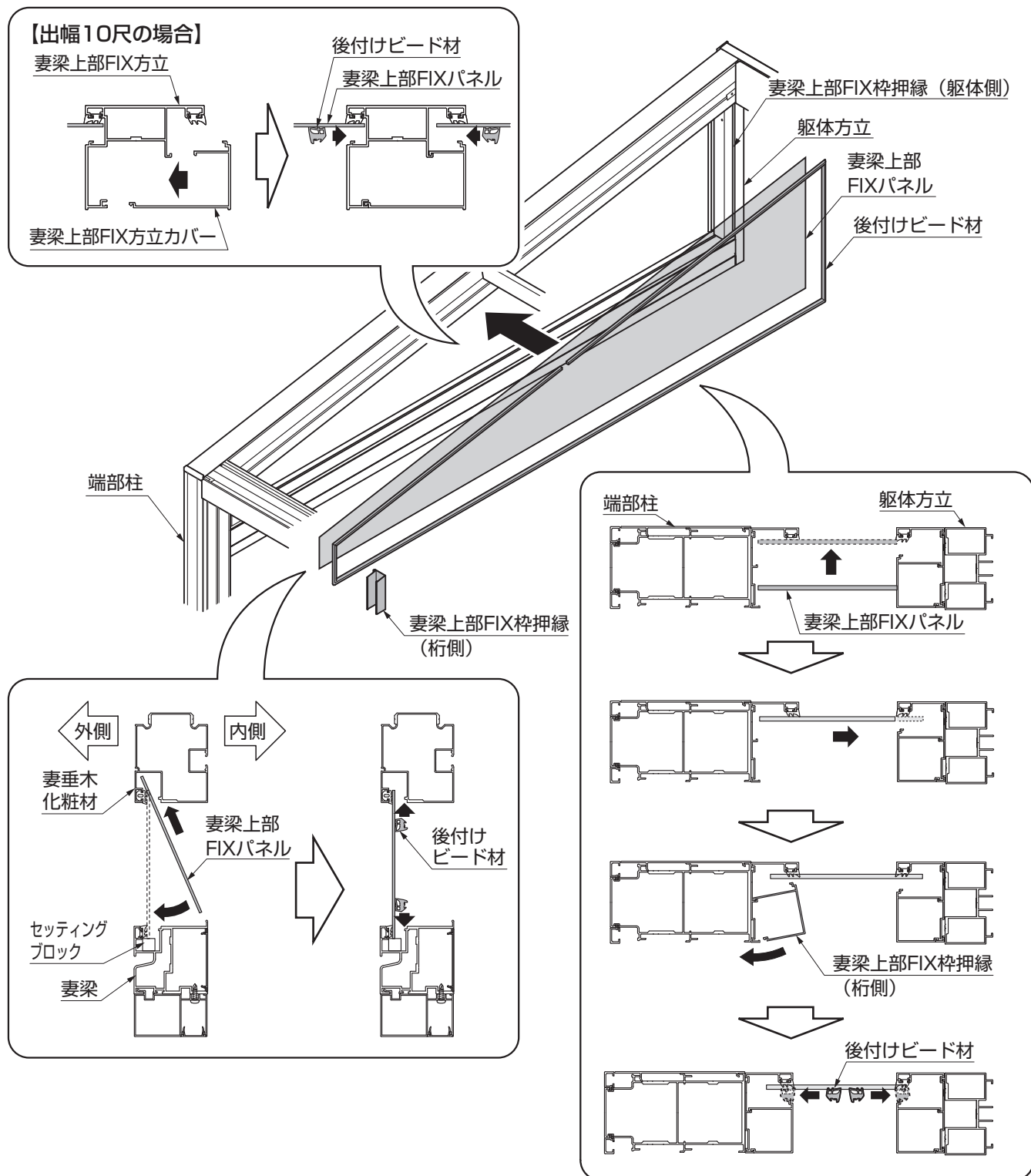
ポイント

- 妻梁に乗せるようにして取付けてください。



- ①妻梁上部FIX枠 (桁側、躯体側ともに)、妻梁上部FIX枠押縁 (躯体側) を端部柱、躯体方立に【19-2】で取付けてください。
- ②妻梁にセッティングブロック (H10) を取付けてください。

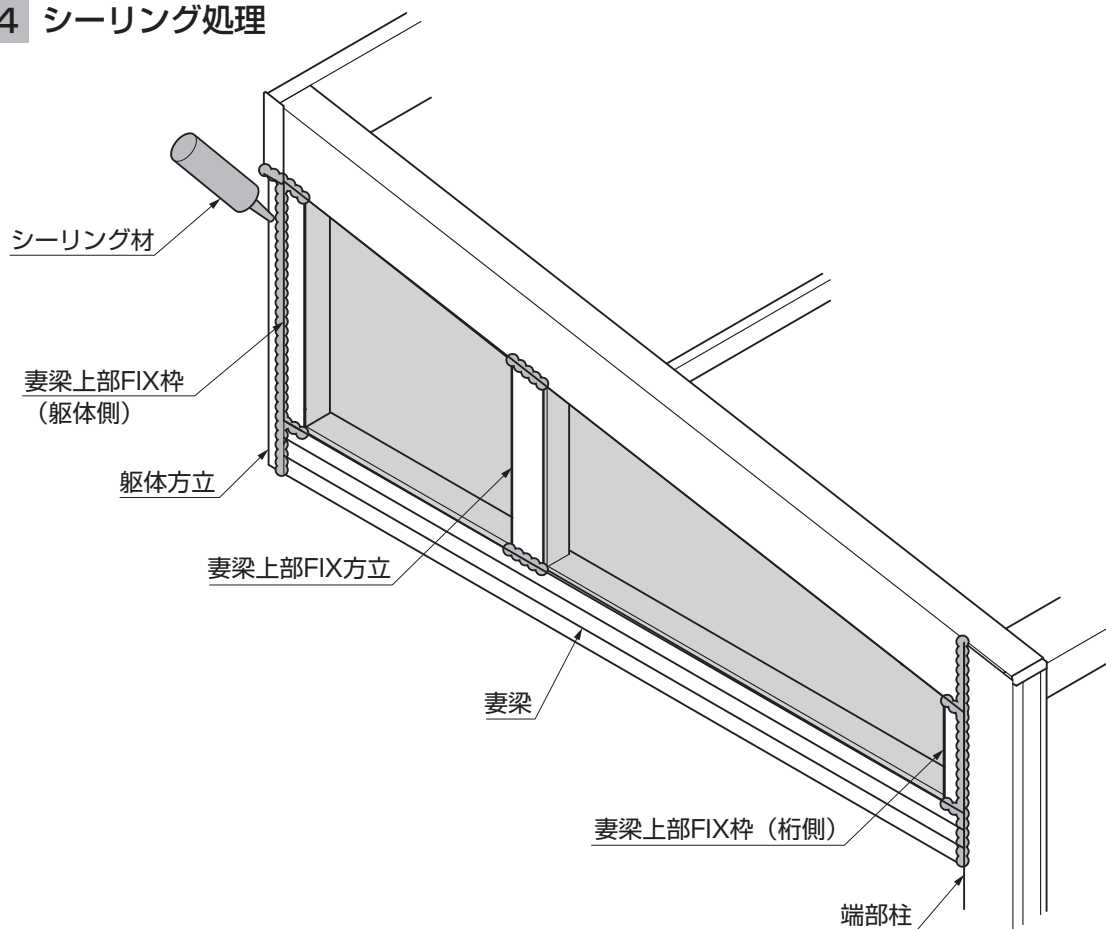
19-3 妻梁上部FIXパネルの取付け



- ① 妻梁上部FIXパネルをけんどんし妻垂木化粧材と妻梁の溝部に入れ、桁側、躯体側の妻梁上部FIX枠に均等に掛かるようパネル位置を調整してください。
- ② 妻梁上部FIX枠押縁を妻梁上部FIX枠に取付けてください。
- ③ 後付けビード材をはめ込んでください。

19. (つづき)

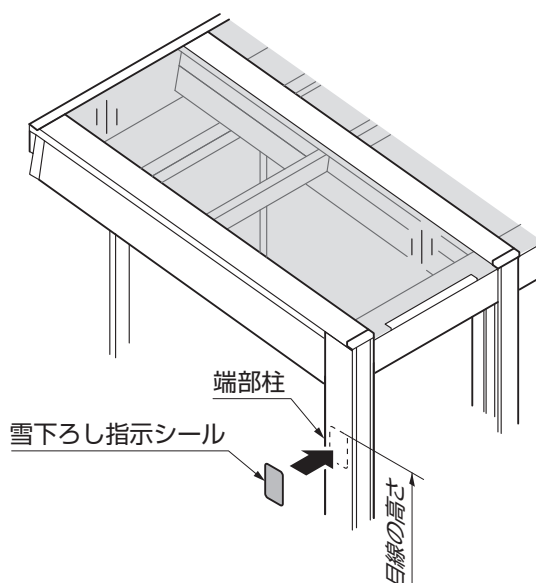
19-4 シーリング処理



① 指定の箇所にシーリングをしてください。

20. 雪下ろし指示シールの貼付け

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

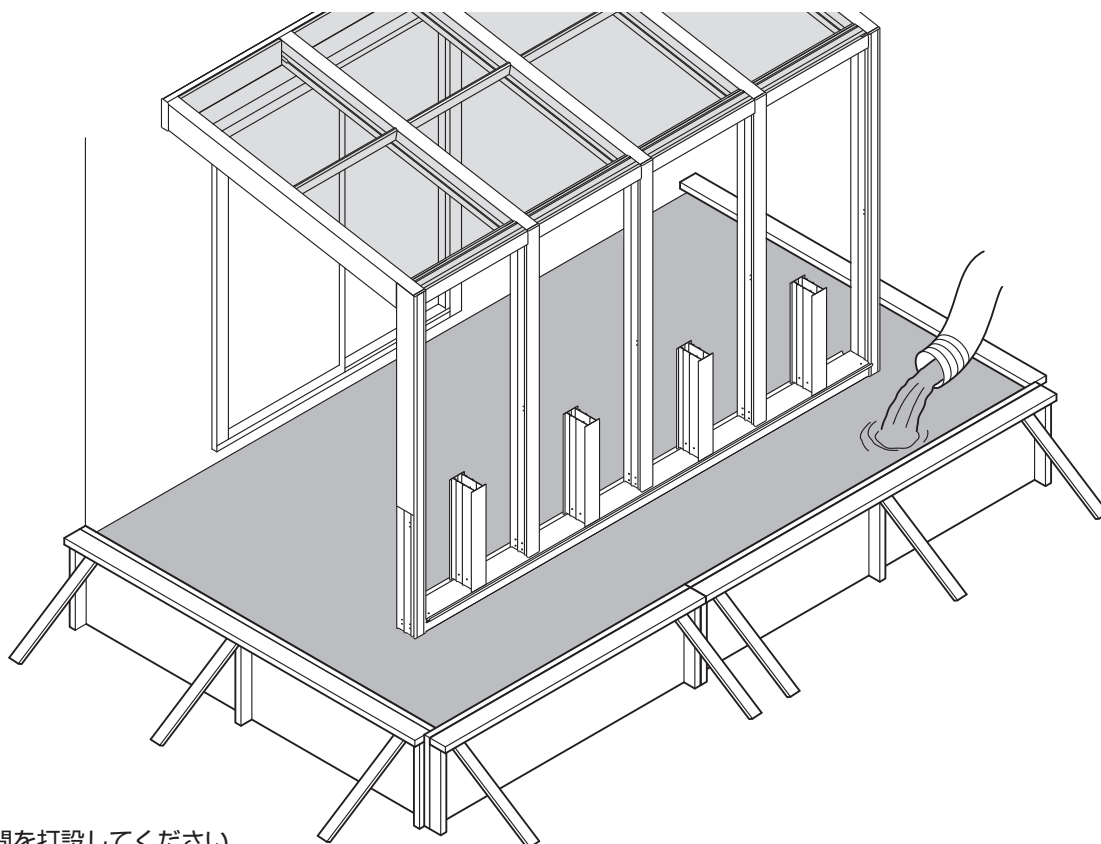


① 雪下ろし指示シールを端部柱の側面（目線高さ位置）に貼付けてください。

21. コンクリートの流し込み

※ベース材仕様の場合の作業です。

腰壁	土間	柱固定	地域
			

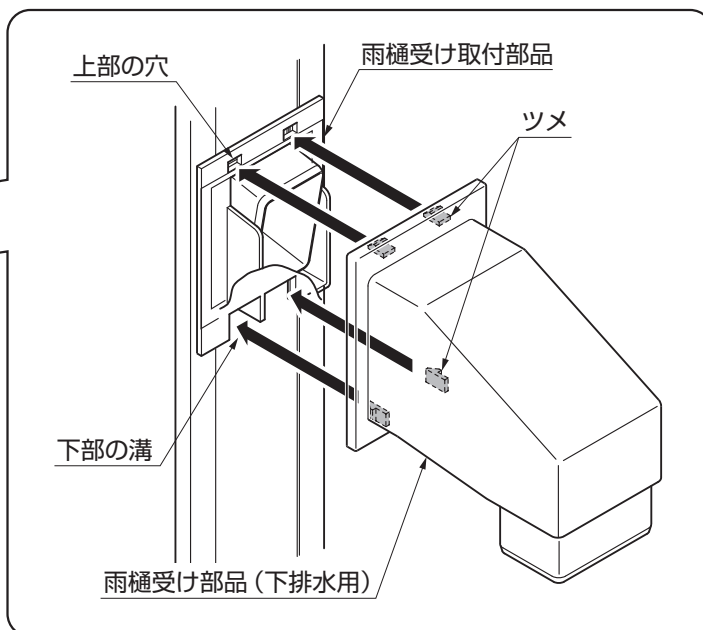
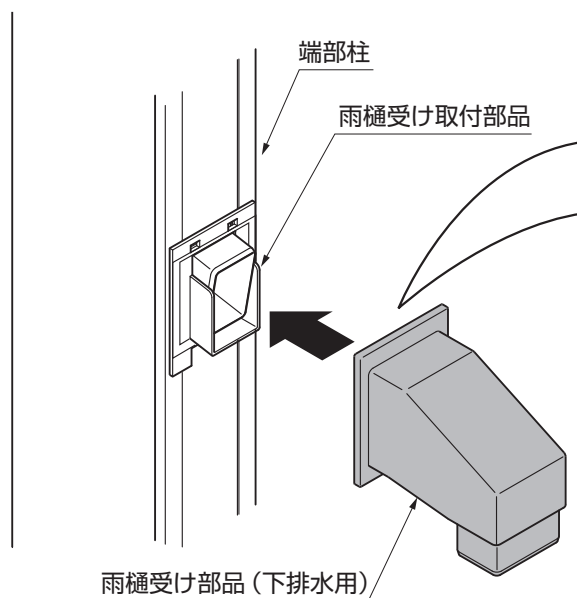


①土間を打設してください。

12
フレーム施工

22. 雨樋の取付け

※排水位置を変更した場合の作業です。

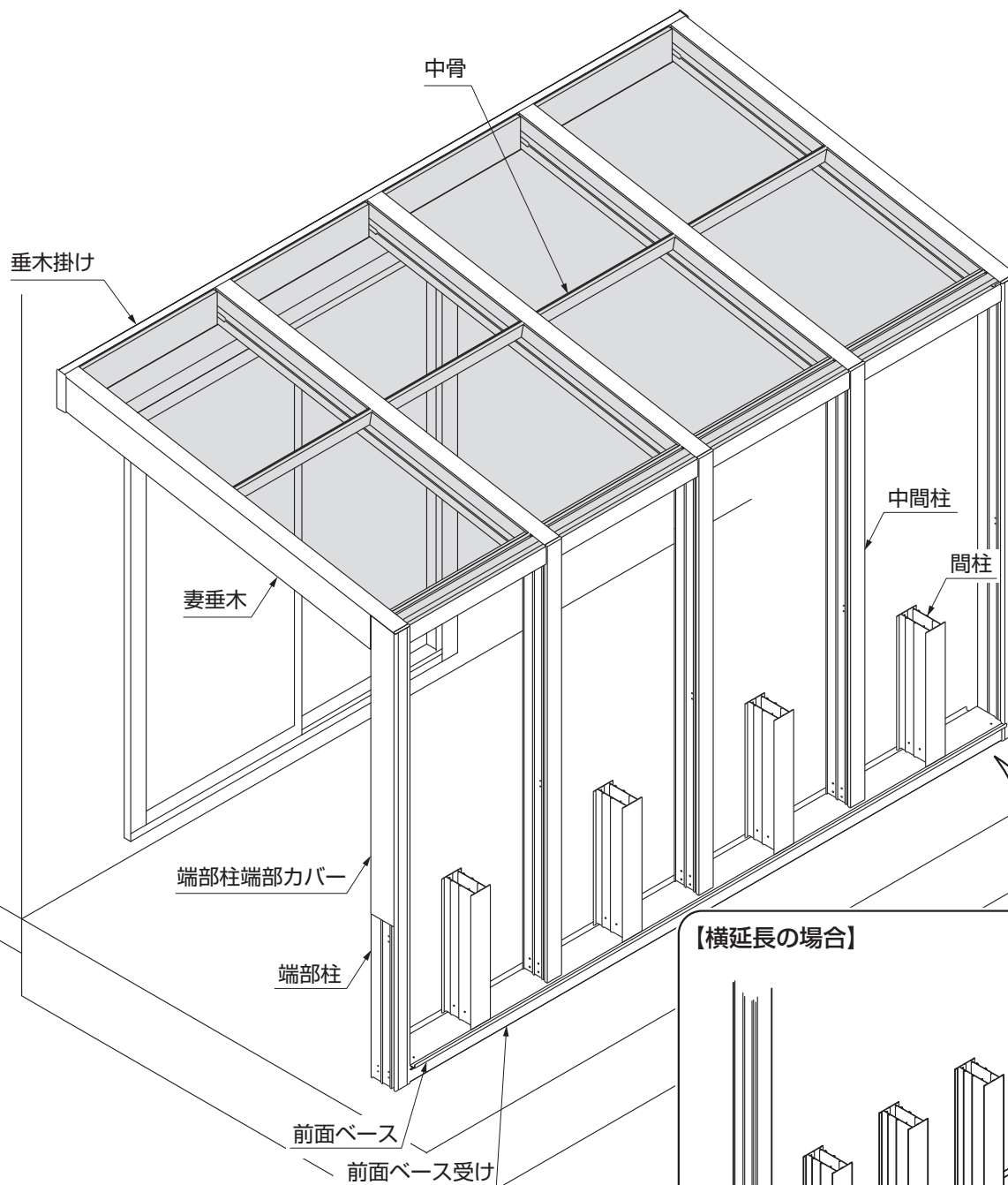


①雨樋受け部品（下排水用）のツメを雨樋受け取付部品の上部の穴、下部の溝に入れて取付けてください。

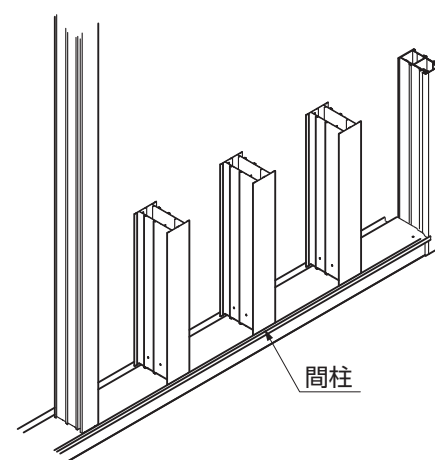
13 腰壁部の施工を行なう前に

1. 前面腰壁の場合

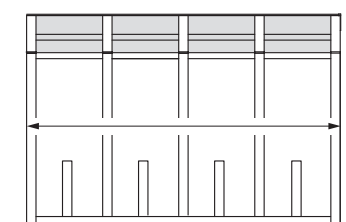
腰壁	土間	柱固定	地域
 前			



【横延長の場合】



ポイント

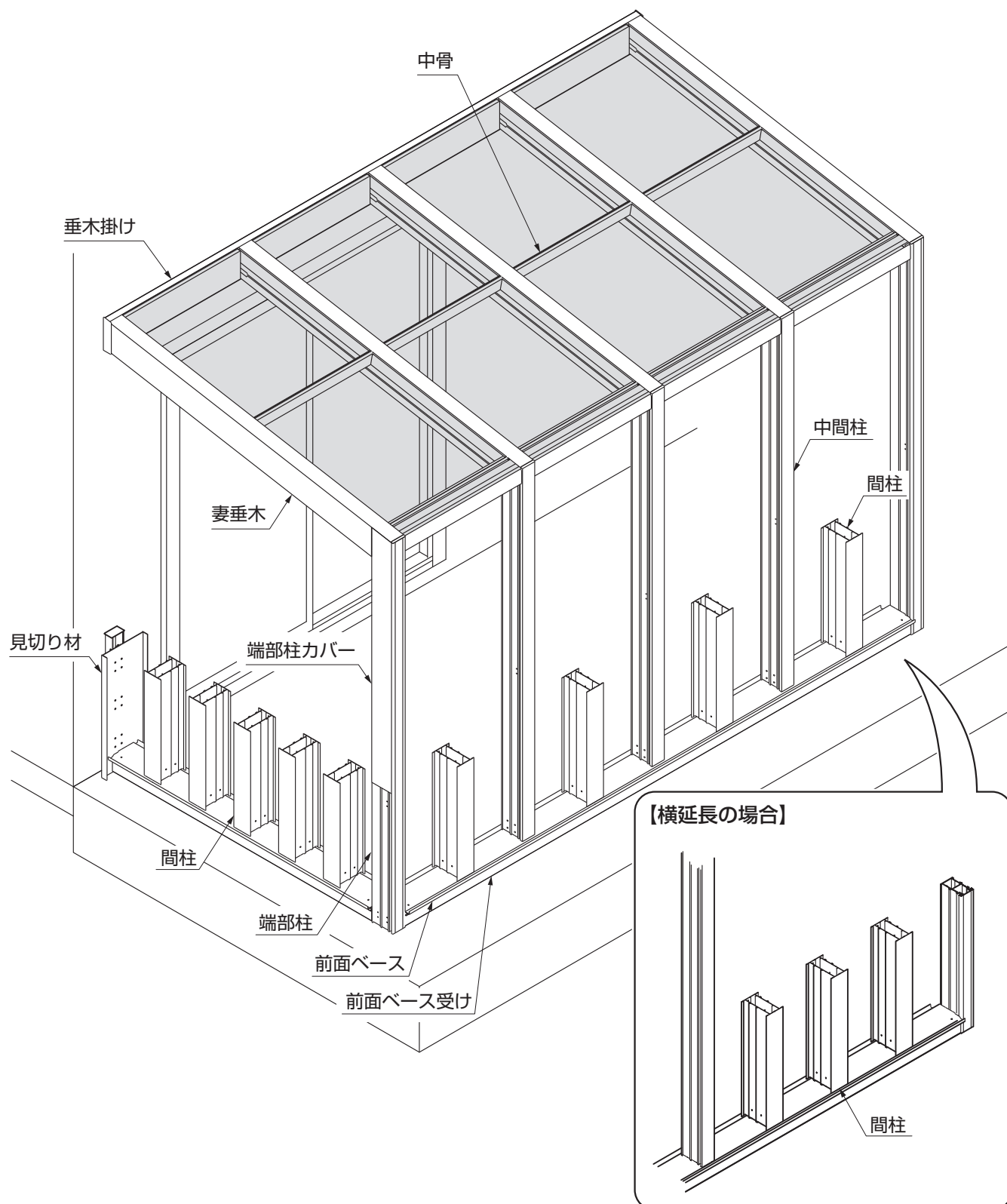


● 「5 基本寸法」を参照して製品の柱位置を確認してください。柱位置が広がっていると笠木を取付けた際に笠木の端部にすき間が生じるおそれがあります。

● 腰壁部の施工を行なう前にフレーム部の施工が確実に完了しているか確認してください。

腰壁	土間	柱固定	地域
			

2. L字腰壁の場合



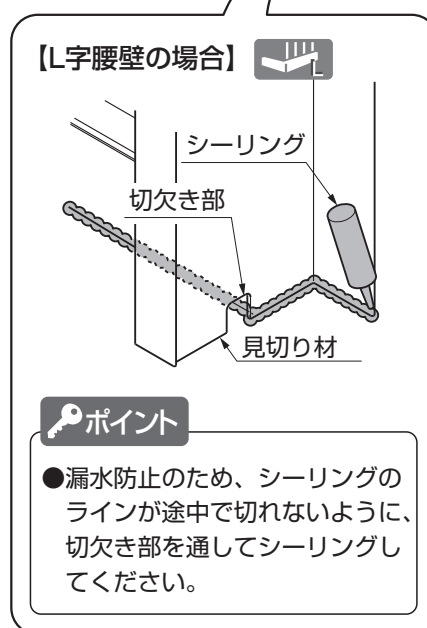
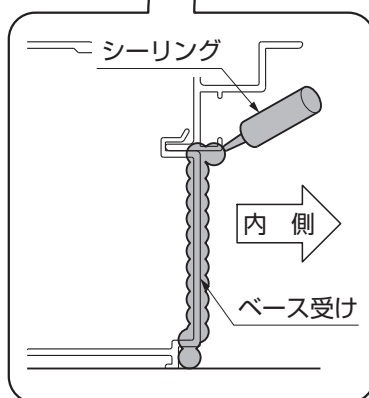
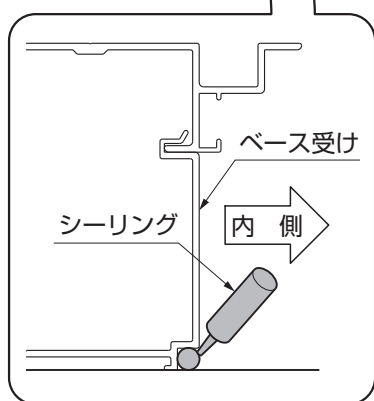
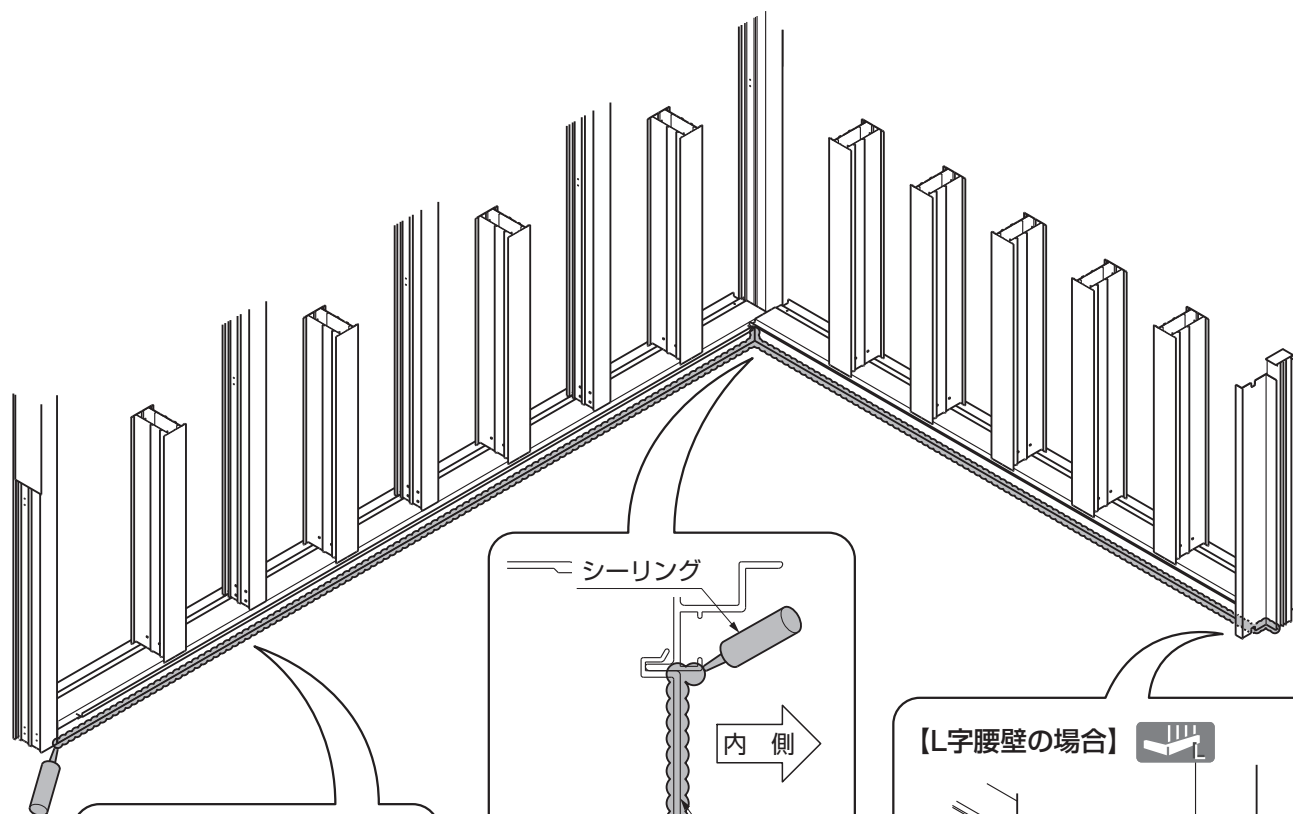
13 腰壁部の施工
を行なう前に

ポイント

- 腰壁部の施工を行なう前にフレーム部の施工が確実に完了しているか確認してください。

腰壁	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

3. シーリング処理



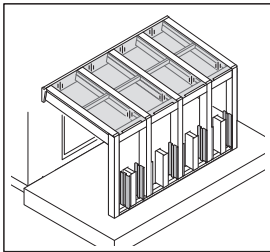
①指定の箇所にシーリングをしてください。

14 前面腰壁の施工

※L字腰壁の場合は、103ページ以降をご覧ください。

1. 柱スパーサー（中間用）の取付け

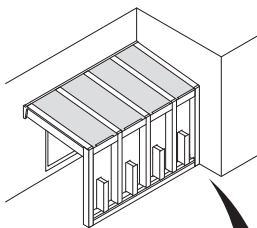
腰壁	土間	柱固定	地域
 前			



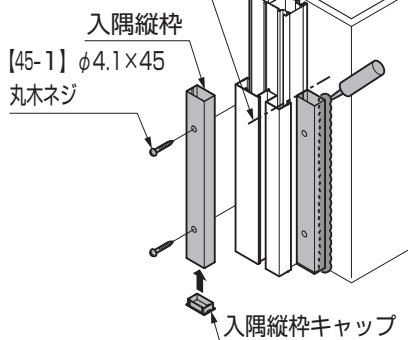
ポイント

【入隅仕様の場合】

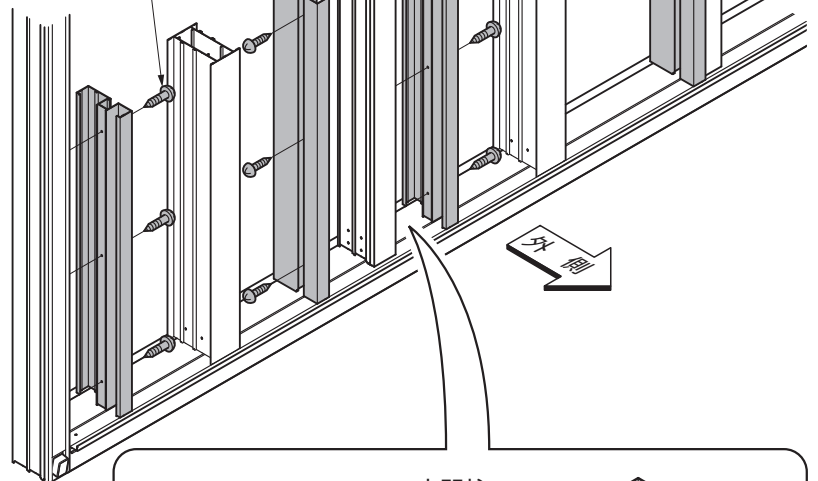
- 入隅縦枠を取付け、躯体との取合い部をシーリングしてください。



柱スパーサー（中間用）
の高さに合わせる

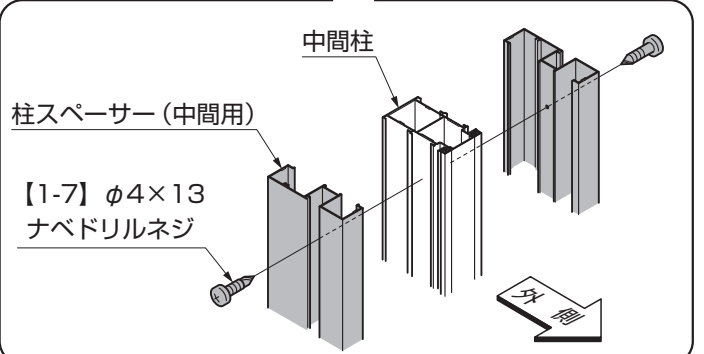


【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ



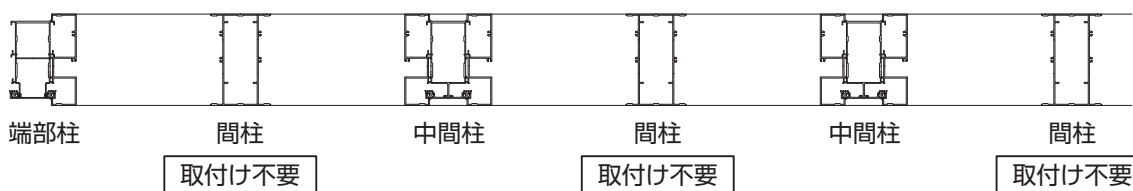
柱スパーサー（中間用）

【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ



ポイント

- 柱スパーサーは端部柱の内側、中間柱の両側に取付けてください。（間柱には不要です。）

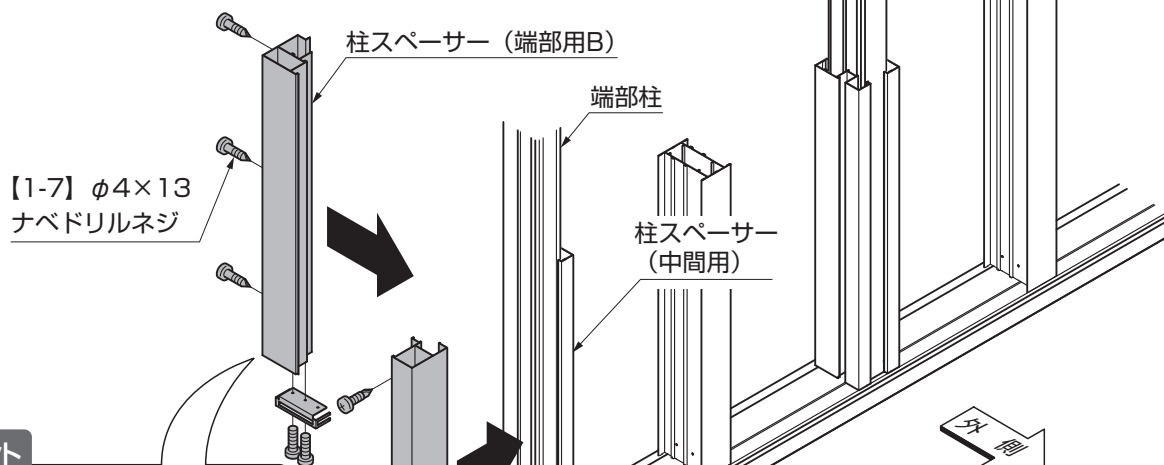
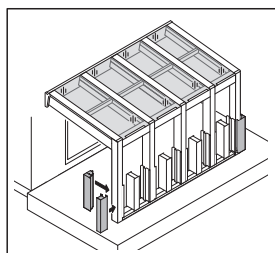


①柱スパーサー（中間用）を端部柱、中間柱に【1-7】で取付けてください。

2. 柱スペーサー（端部用）の取付け

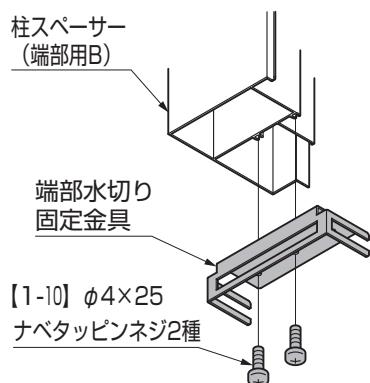
※入隅仕様の場合、入隅側は取付け不要です。

腰壁	土間	柱固定	地域
			



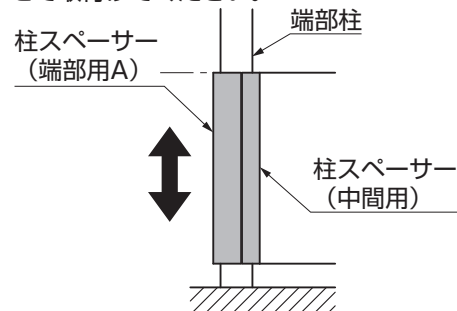
ポイント

- 端部水切り固定金具を先に取付けて下さい。



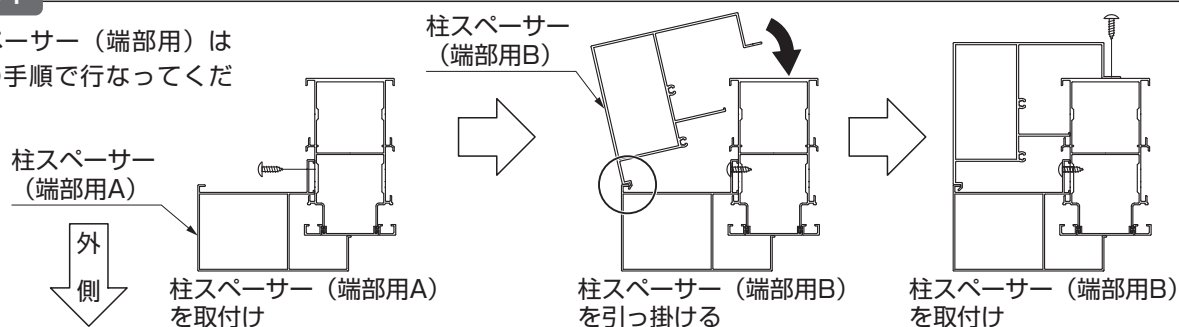
ポイント

- 柱スペーサー（中間用）の高さ位置に合わせて取付けてください。



ポイント

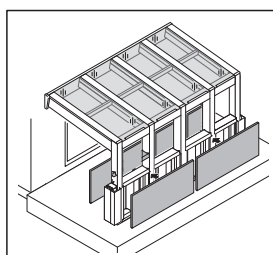
- 柱スペーサー（端部用）は右記の手順で行なってください。



- ①柱スペーサー（端部用A）を端部柱に【1-7】で取付けてください。
- ②端部水切り固定金具を柱スペーサー（端部用B）に【1-10】で取付けてください。
- ③柱スペーサー（端部用B）を端部柱に【1-7】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
			

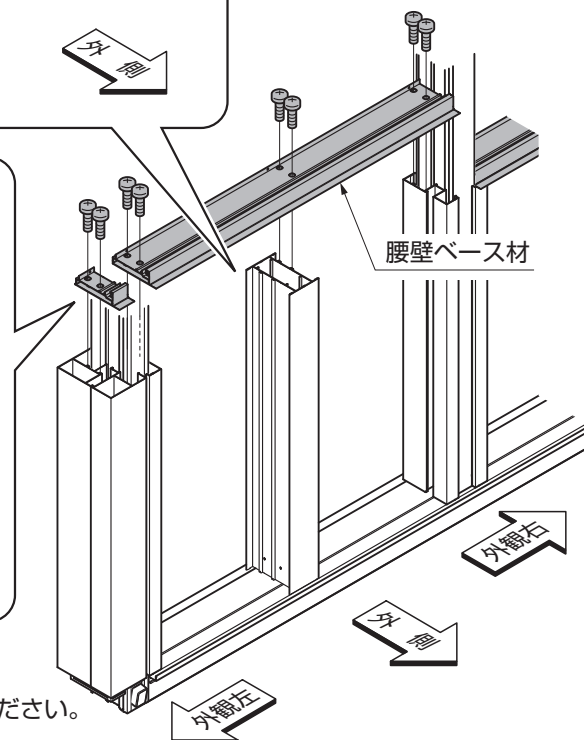
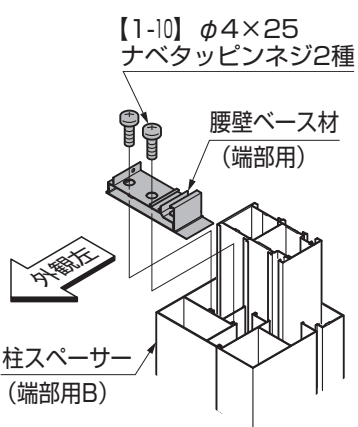
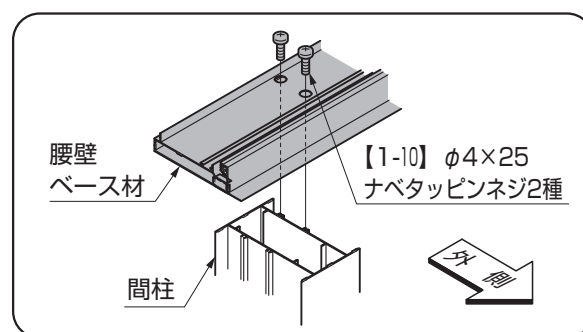
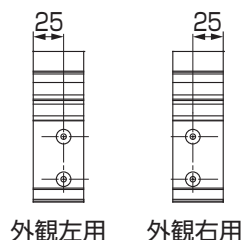
3. 腰壁ベース材の取付け



3-1 標準仕様

ポイント

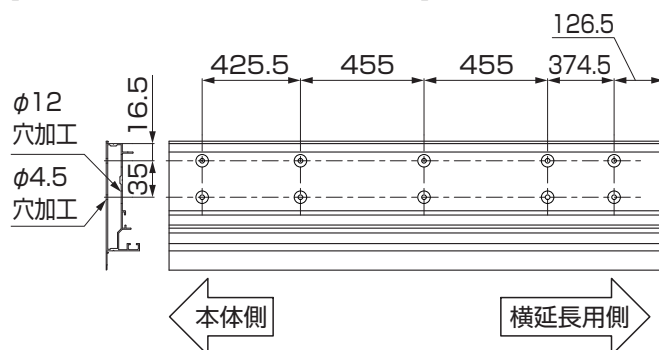
- 端部用の腰壁ベース材は左右があります。



① 腰壁ベース材を柱スペーサー、間柱に【1-10】で取付けてください。

3-2 横延長

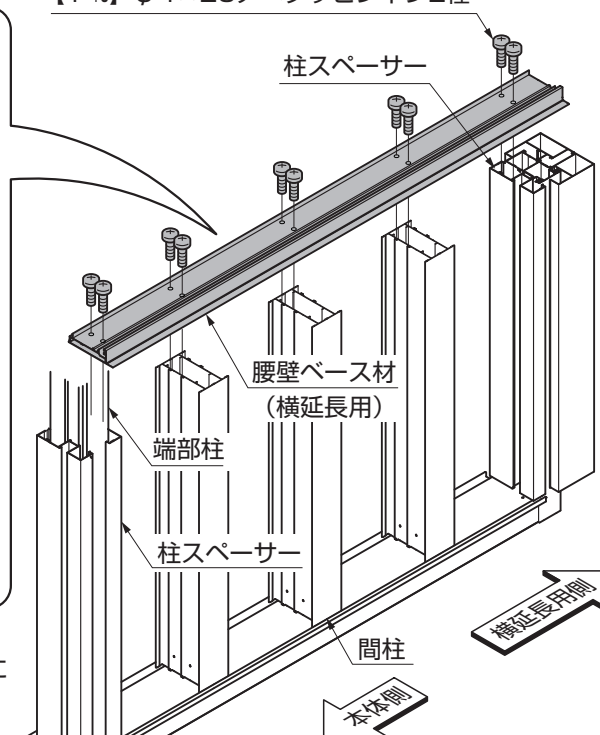
【腰壁ベース材（横延長用）の加工】



ポイント

- 本図（外観右側に横延長）と反対側に延長する場合は、対称の穴加工をしてください。

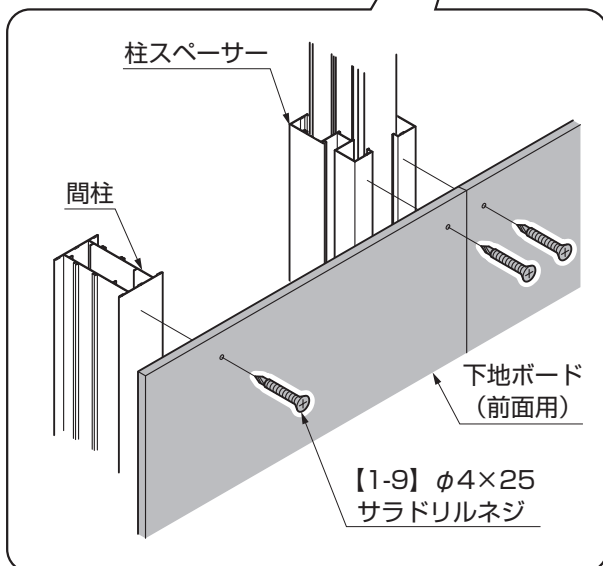
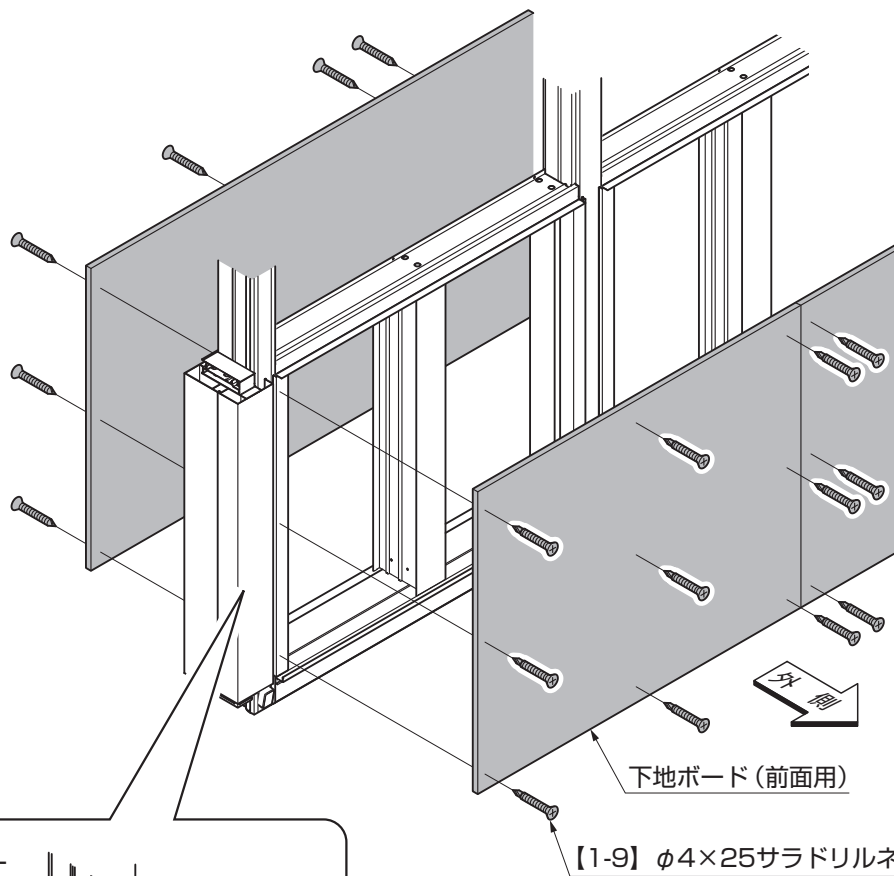
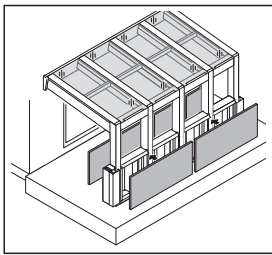
【1-10】φ4×25ナベタッピンネジ2種



① 腰壁ベース材（横延長用）を柱スペーサー、間柱に【1-10】で取付けてください。

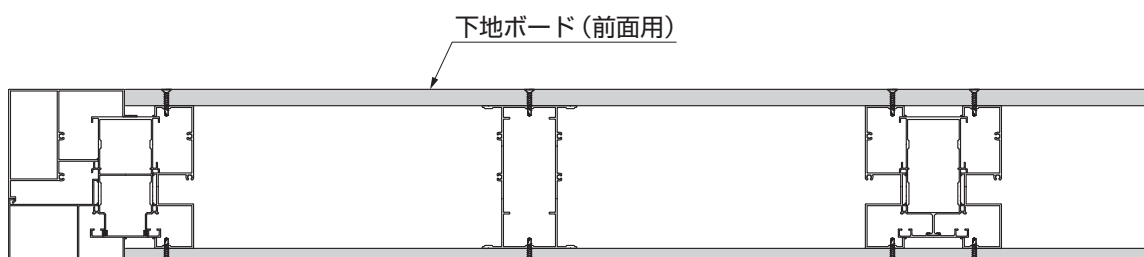
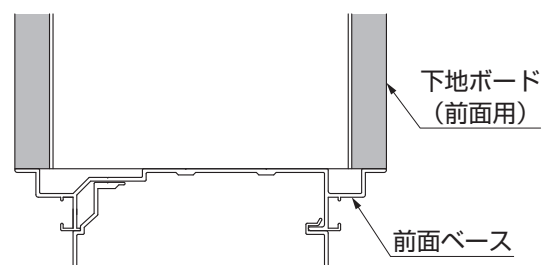
腰壁	土間	柱固定	地域

4. 下地ボード（前面用）の取付け



ポイント

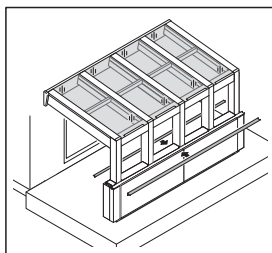
- 下地ボード（前面用）は前面ベースの上に乘せて高さ位置を合わせてください。



① 下地ボード（前面用）を柱スペーサー、間柱に【1-9】で取付けてください。

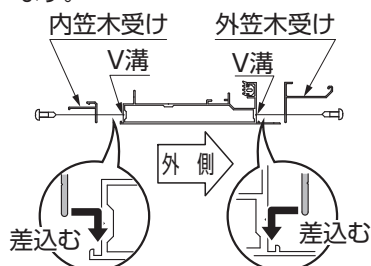
腰壁	土間	柱固定	地域
			

5. 笠木受けの取付け

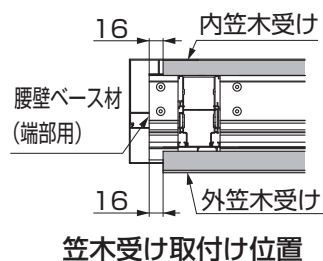


ポイント

- 笠木受けは内外で部材が異なります。
- 笠木受けは腰壁ベース材のV溝に合わせて取付けてください。笠木受けが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に段差が生じるおそれがあります。

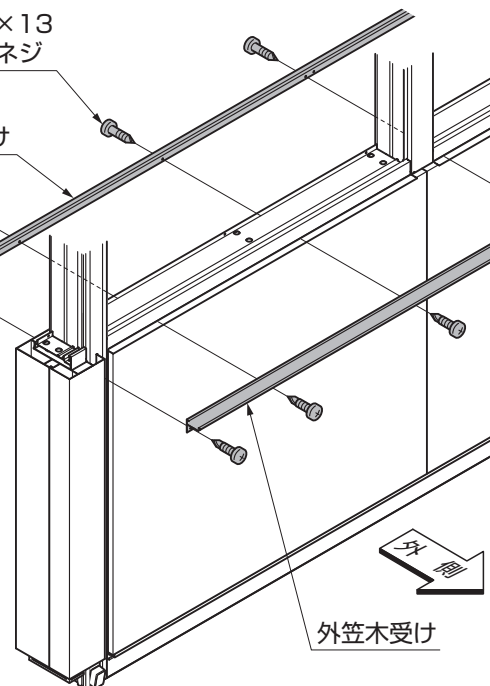


- 笠木受け取付け位置を確認してください。



【1-7】 $\phi 4 \times 13$
ナベドリルネジ

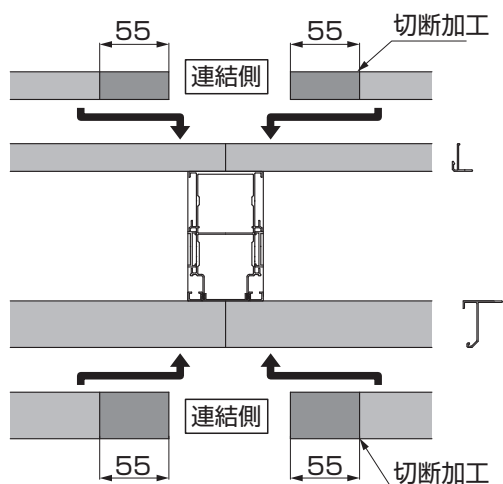
内笠木受け



外笠木受け

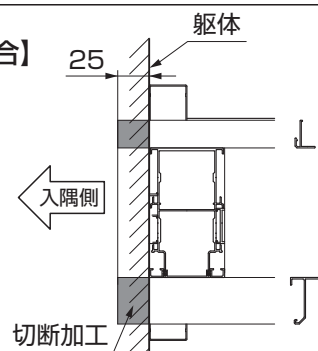
ポイント

【連棟の場合】



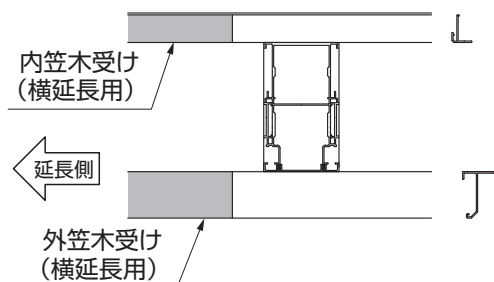
- 内笠木受け、外笠木受けを55mmずつ切断して取付けます。

【入隅の場合】



- 内笠木受け、外笠木受けを25mmずつ切断して取付けます。

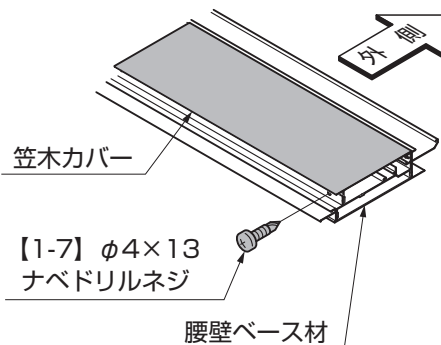
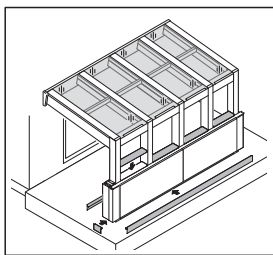
【横延長の場合】



- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

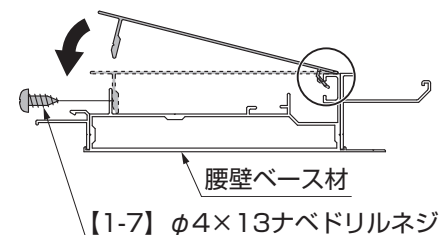
① 笠木受けを腰壁ベース材に【1-7】で取付けてください。

6. 笠木カバーと水切りの取付け



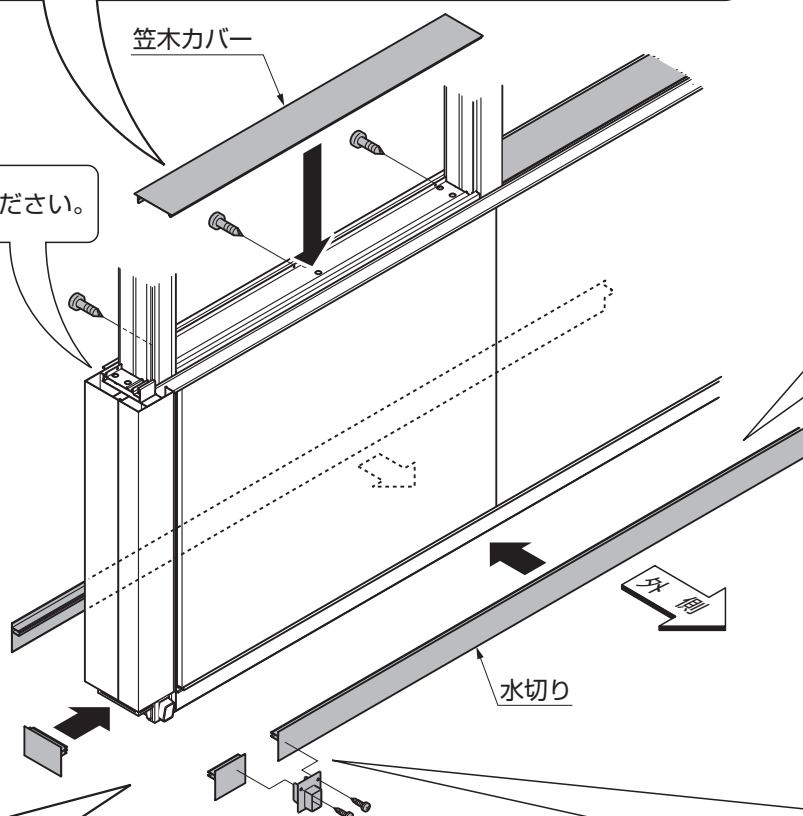
ポイント

- 腰壁ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。

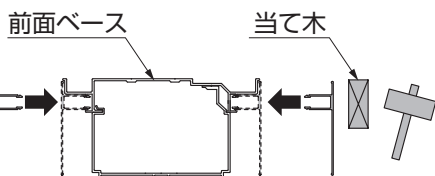
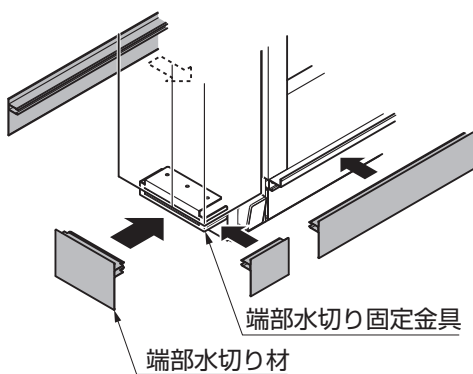


ポイント

- 端部の笠木カバーは、まだ取付けないでください。



※シャイングレー : 生地色
アイボリーホワイト : ホワイト色



- 当て木を当て、ハンマーで叩き込んで入れてください。

ポイント

- 部材を加工の際は、「■水切りの加工」の切断寸法を目安に、各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

【笠木カバーの取付け】

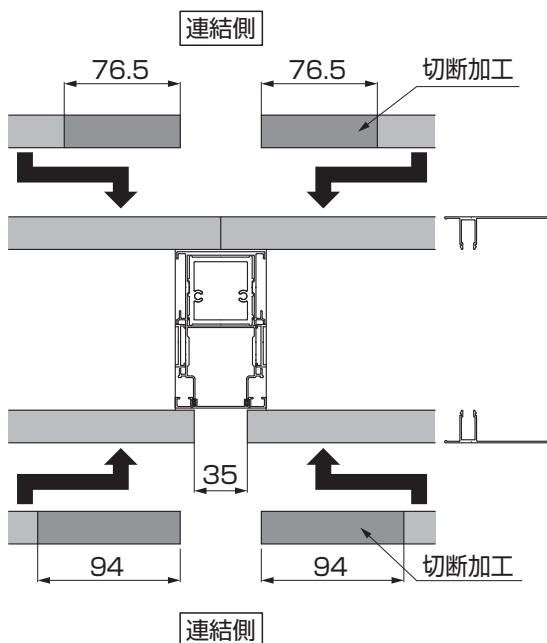
- ①笠木カバーを腰壁ベース材に【1-7】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
			

ポイント

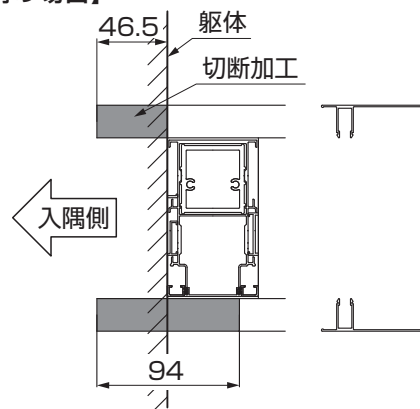
■ 水切りの加工

【連棟の場合】



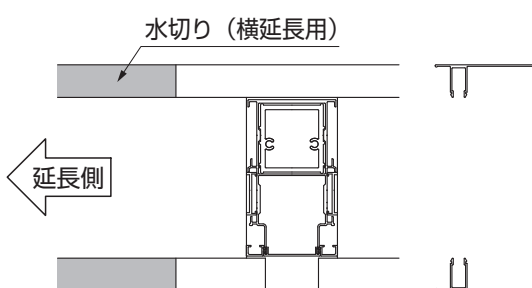
- 内側の水切りを76.5mmずつ、外側の水切りを94mmずつ切断して取付けます。

【入隅の場合】



- 内側、外側の水切りをそれぞれ切断加工して取付けます。

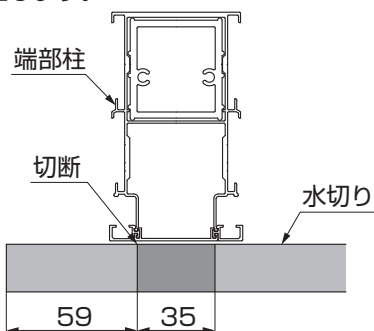
【横延長の場合】



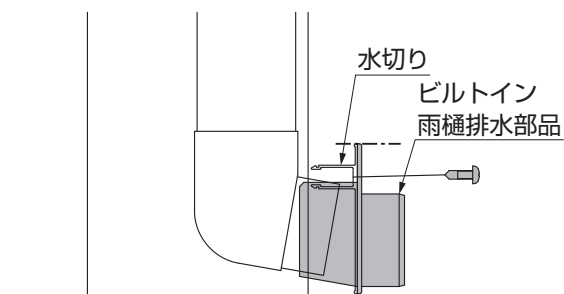
- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

ポイント

- ビルトイン雨樋排水部品を取付けるため、端部柱の部分は35mm切断加工します。



- 水切りの高さに合わせてビルトイン雨樋排水部品を取付けてください。



【水切りの取付け】

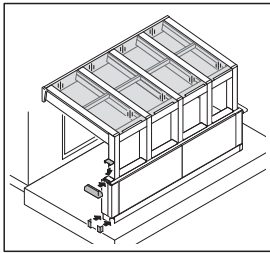
- ①水切りを前面ベースに取付けてください。
- ②端部水切り材を端部水切り固定金具にはめ込んでください。
- ③ビルトイン雨樋排水部品を水切りに【1-7】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
 前			

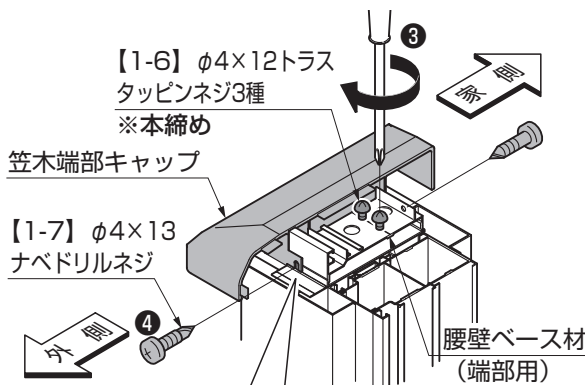
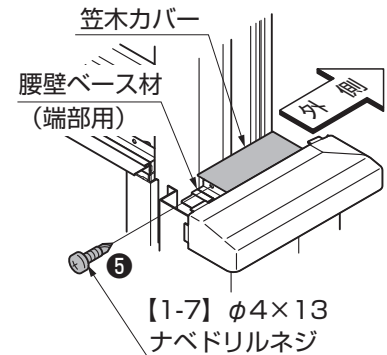
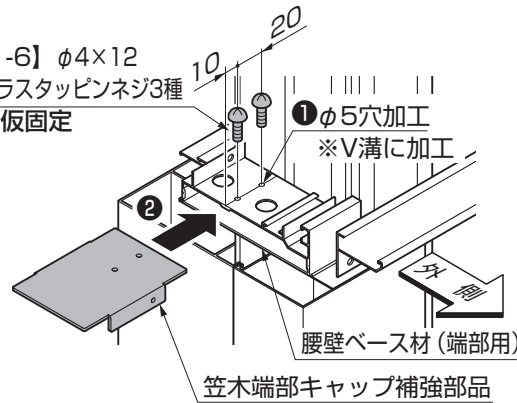
7. 笠木端部キャップの取付け

ポイント

- ネジの締めすぎに注意してください。

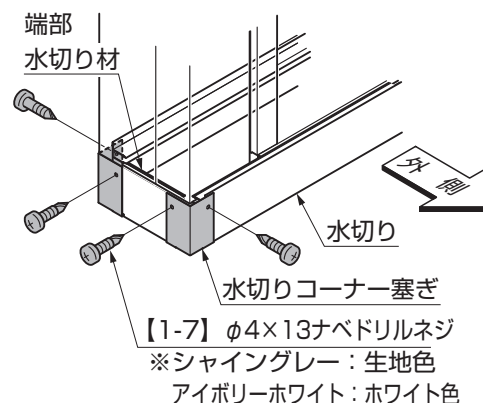
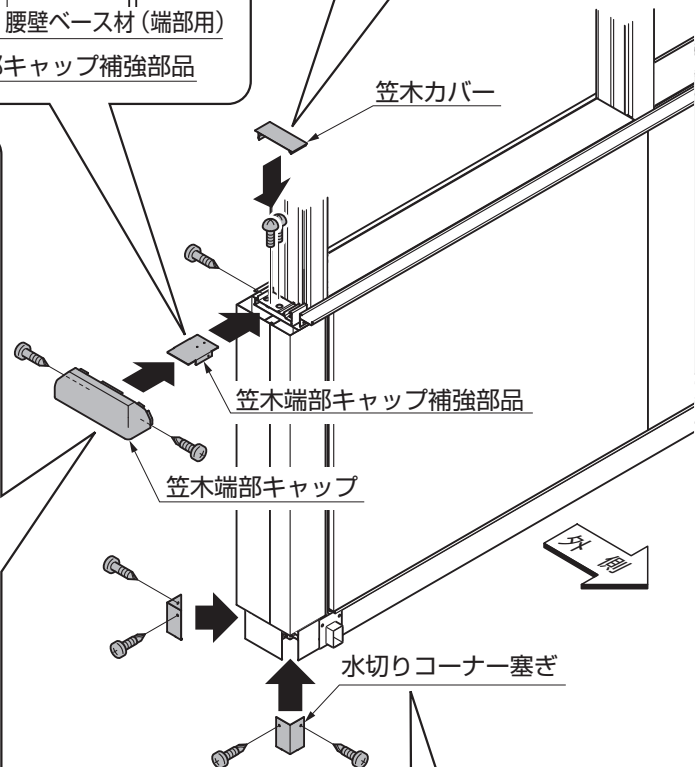
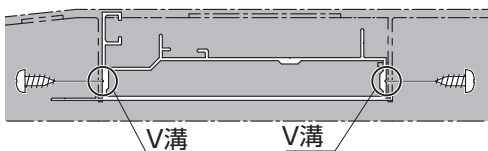


【1-6】φ4×12
トラスタッピンネジ3種
※仮固定



ポイント

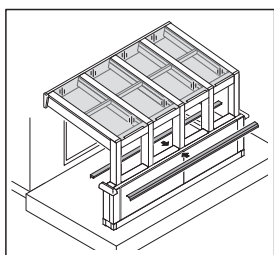
- 笠木端部キャップは浮き上がりのないようにV溝にネジ固定してください。笠木端部キャップが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に笠木端部キャップと段差が生じるおそれがあります。



- ①腰壁ベース材 (端部用) にφ5の穴加工をしてください。
- ②笠木端部キャップ補強部品を腰壁ベース材 (端部用) に挿入し、【1-6】で仮固定してください。
- ③笠木端部キャップを腰壁ベース材 (端部用) に差込み、【1-6】を本締めしてください。
- ④笠木端部キャップを腰壁ベース材 (端部用) に【1-7】で固定してください。
- ⑤笠木カバーを腰壁ベース材 (端部用) に【1-7】で取付けてください。
- ⑥水切りコーナー塞ぎを水切りに【1-7】で取付けてください。

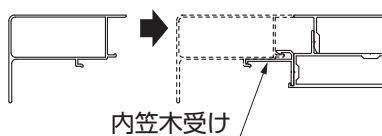
腰壁	土間	柱固定	地域
前			

8. 笠木の取付け



ポイント

- 内笠木受けに差し込むようにして取付けてください。



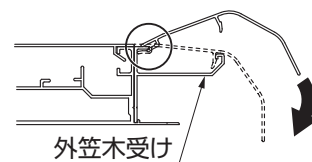
内笠木受け

内笠木

外笠木

ポイント

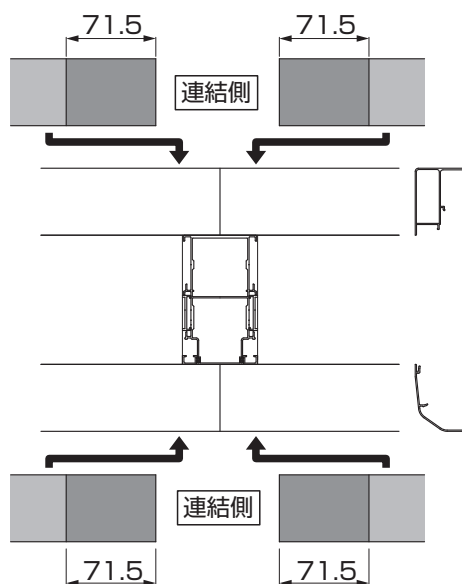
- 外笠木受けに引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



外笠木受け

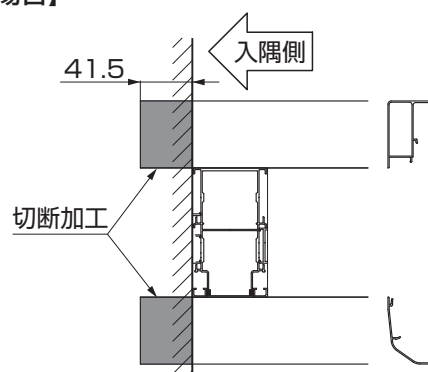
ポイント

【連棟の場合】



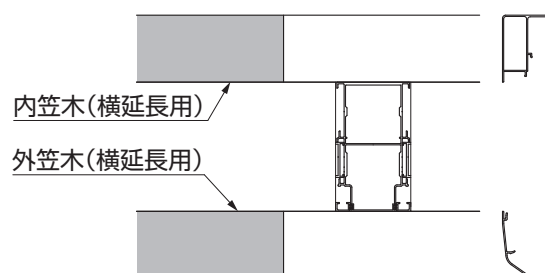
- 内笠木、外笠木を71.5mmずつ切断して取付けます。

【入隅の場合】



- 内笠木、外笠木は41.5mmずつ切断して取付けます。

【横延長の場合】

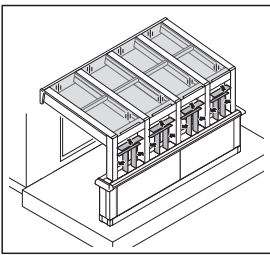


- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

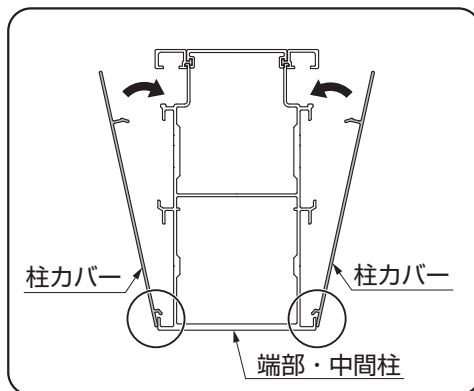
①笠木を笠木受けに取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
			

9. 柱カバー、テラス用上枠の取付け



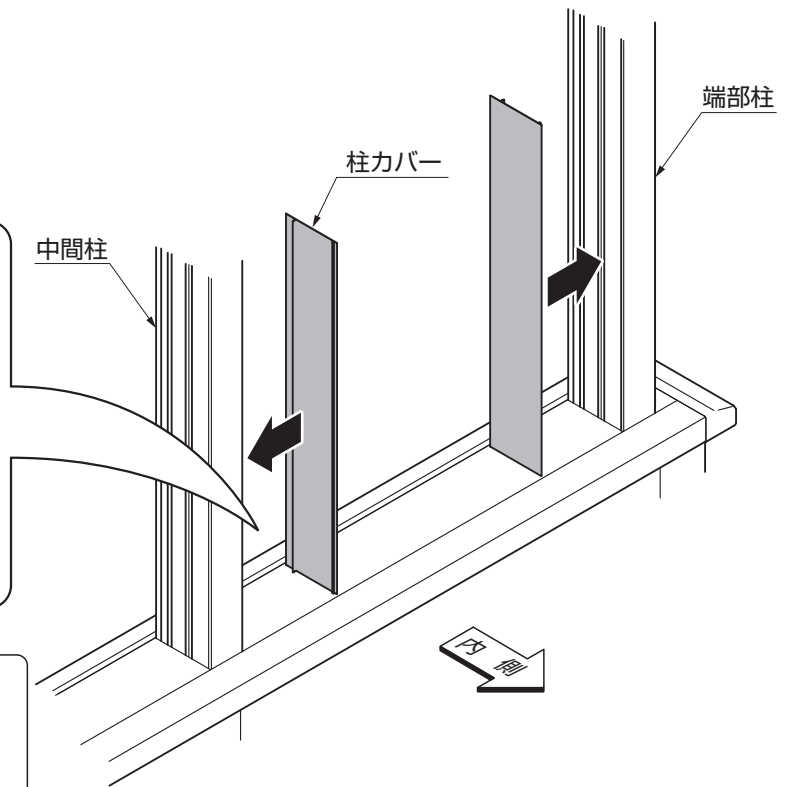
9-1 柱カバーの取付け



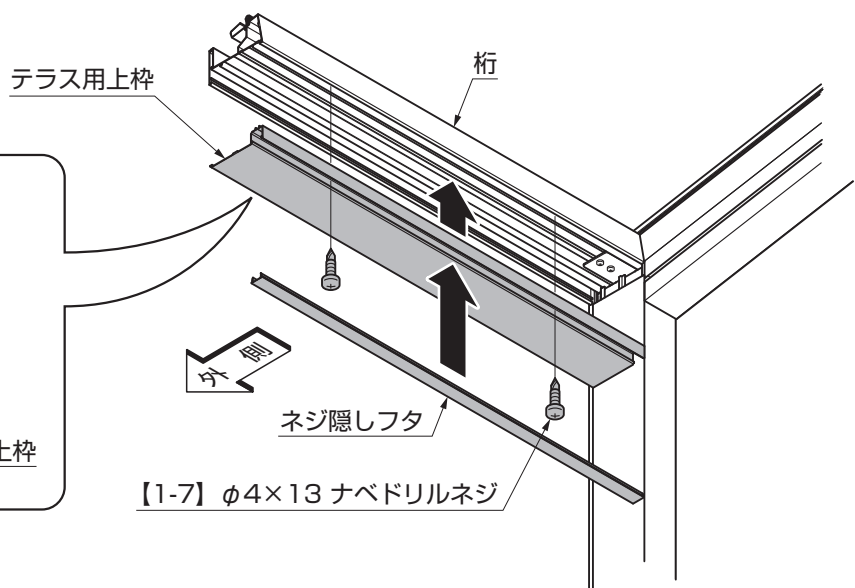
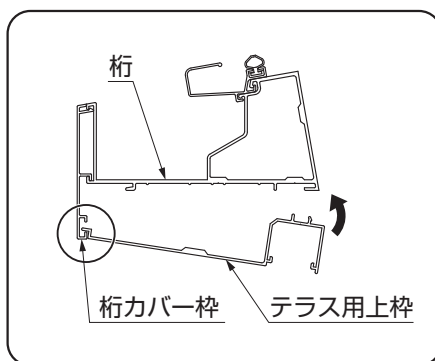
ポイント

【前面スクリーンを取付ける場合】
「E389 前面スクリーン取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。

①柱カバーを柱にはめ込んでください。



9-2 テラス用上枠、ネジ隠しフタの取付け



- ①テラス用上枠を桁に【1-7】で取付けてください。
- ②ネジ隠しフタをテラス用上枠にはめ込んでください。

15 L字腰壁の施工

本取付説明書の見方

腰壁	土間	柱固定	地域
			

ポイント

- L字腰壁の取付け手順は、左側にL字腰壁を施工する図を記載しています。
- 右側にL字腰壁を施工する場合は左右対称になります。
- 取付説明書の図記号は下記の内容を示します。

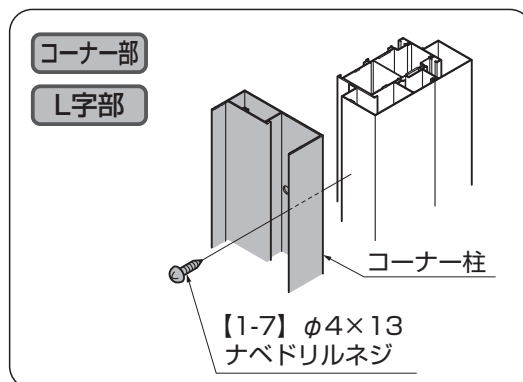
L字部 = 「L字腰壁側」の内容

コーナー部 = 「コーナー部」の内容

前面部 = 「前面腰壁側」の内容

共通 = 「L字側腰壁」「前面腰壁側」共通の内容

例：



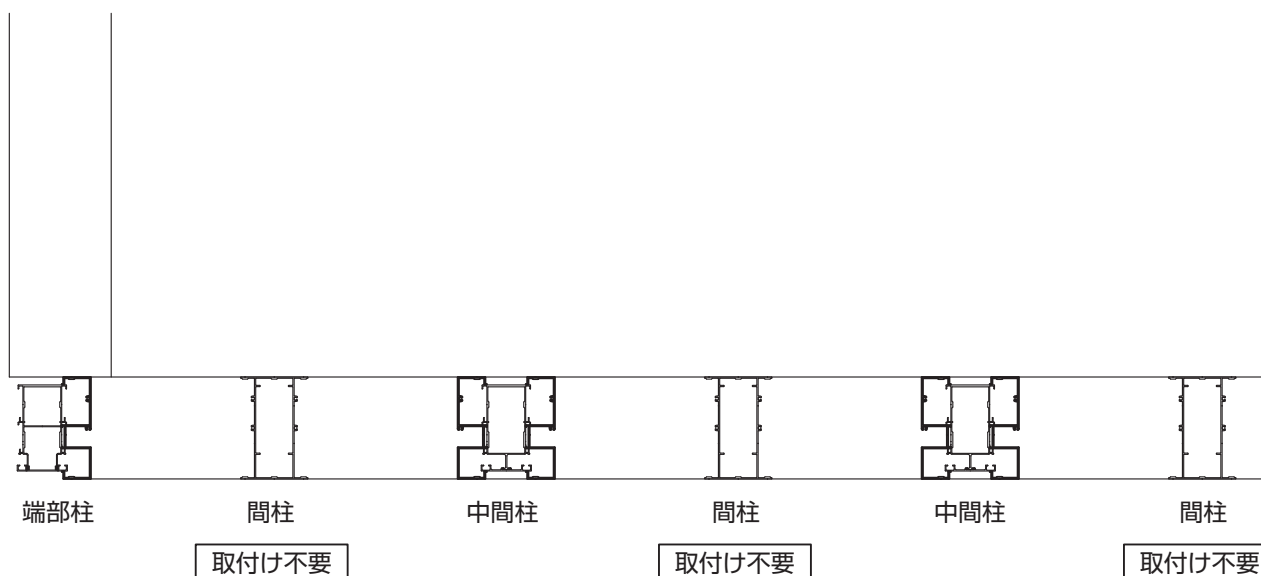
図はコーナー部のL字側の内容を示します。

1. 柱スペーサー（中間用）の取付け

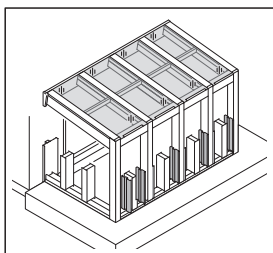
1-1 取付け位置の確認

ポイント

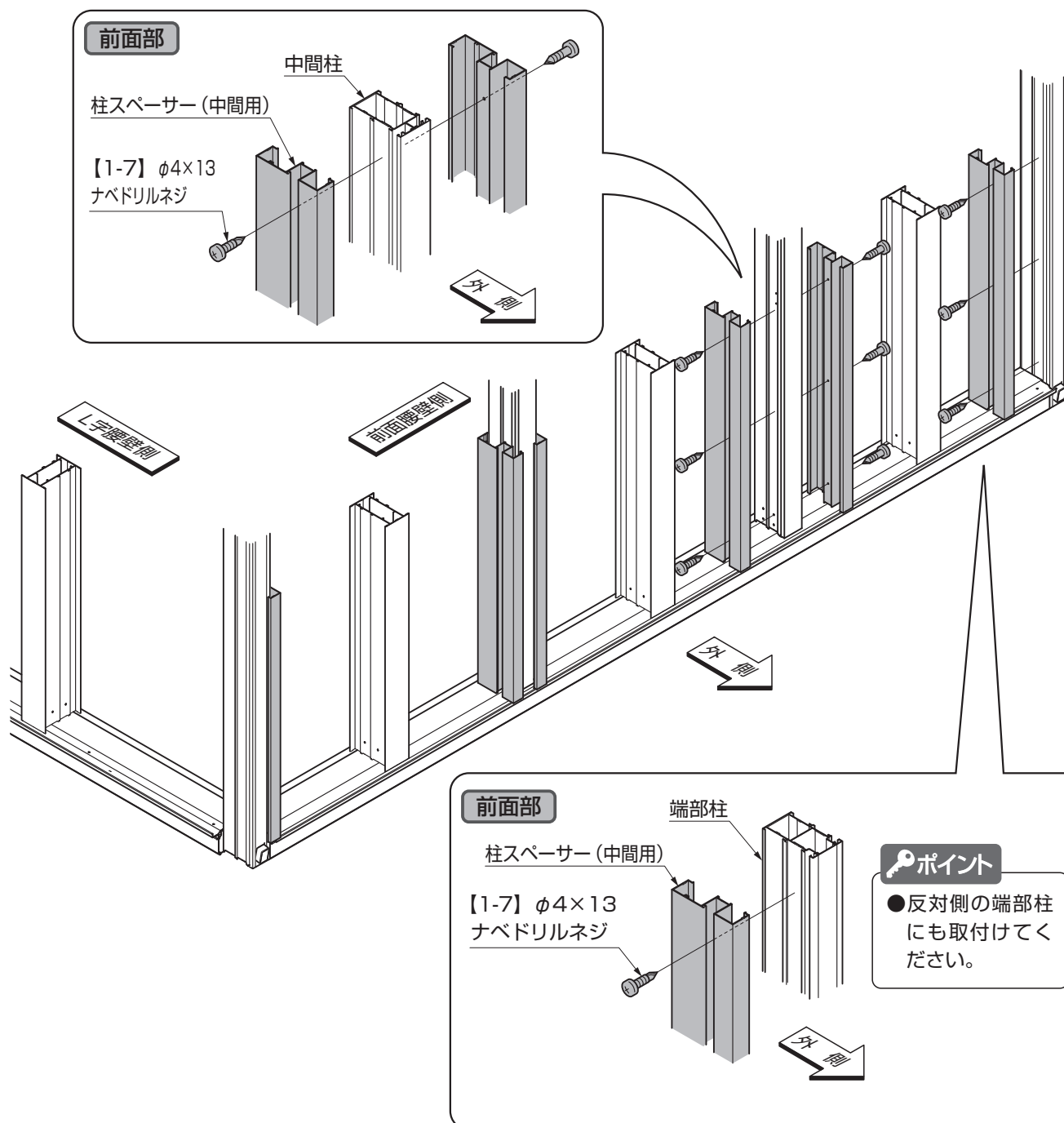
- 柱スペーサーは前面側の端部柱、中間柱に取付けてください。（間柱には不要です。）
- 柱スペーサーの取付向きに注意して取付けてください。



1. (つづき)



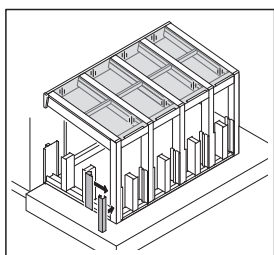
1-2 柱スペーサー（中間用）の取付け



①柱スペーサー（中間用）を端部柱、中間柱に【1-7】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
			

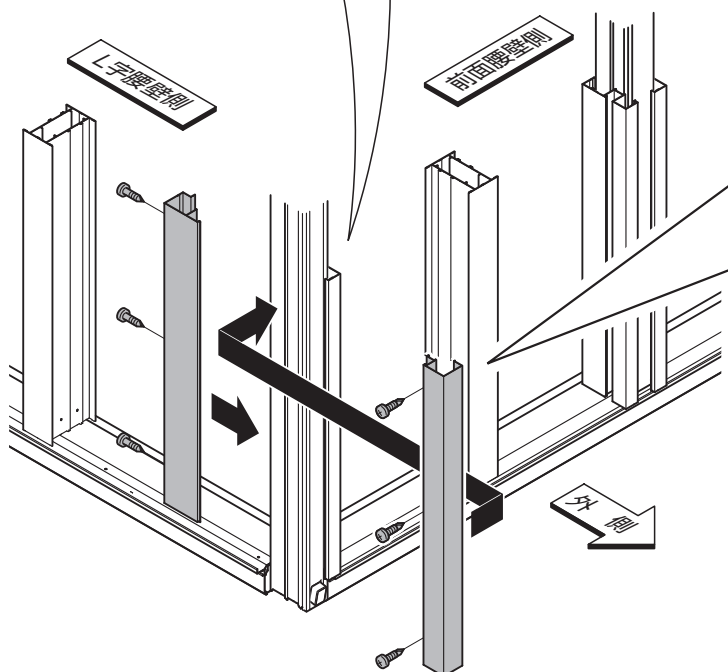
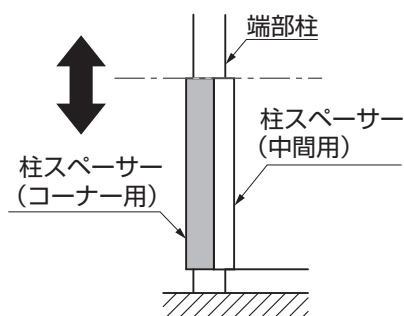
2. 柱スペーサー、コーナー柱の取付け



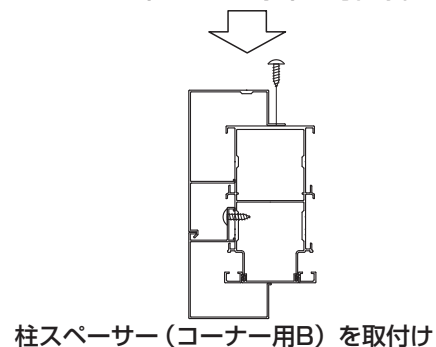
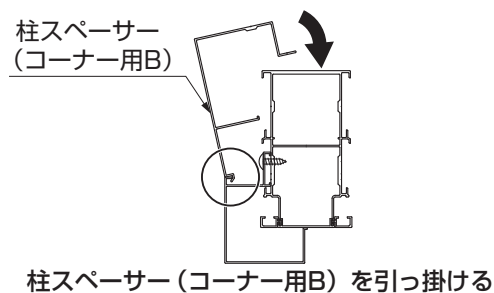
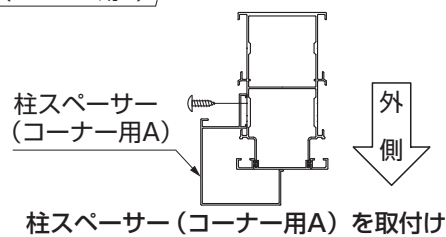
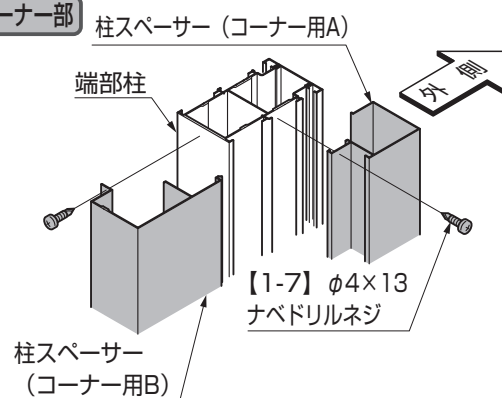
2-1 柱スペーサー（コーナー用）の取付け

ポイント

- 柱スペーサー（中間用）の高さ位置に合わせて取付けてください。

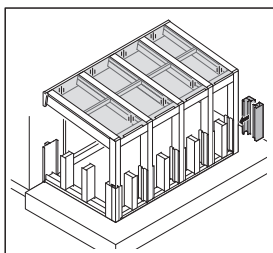


コーナー部



- ① 柱スペーサー（コーナー用A）を端部柱に【1-7】で取付けてください。
- ② 柱スペーサー（コーナー用B）を端部柱に【1-7】で取付けてください。

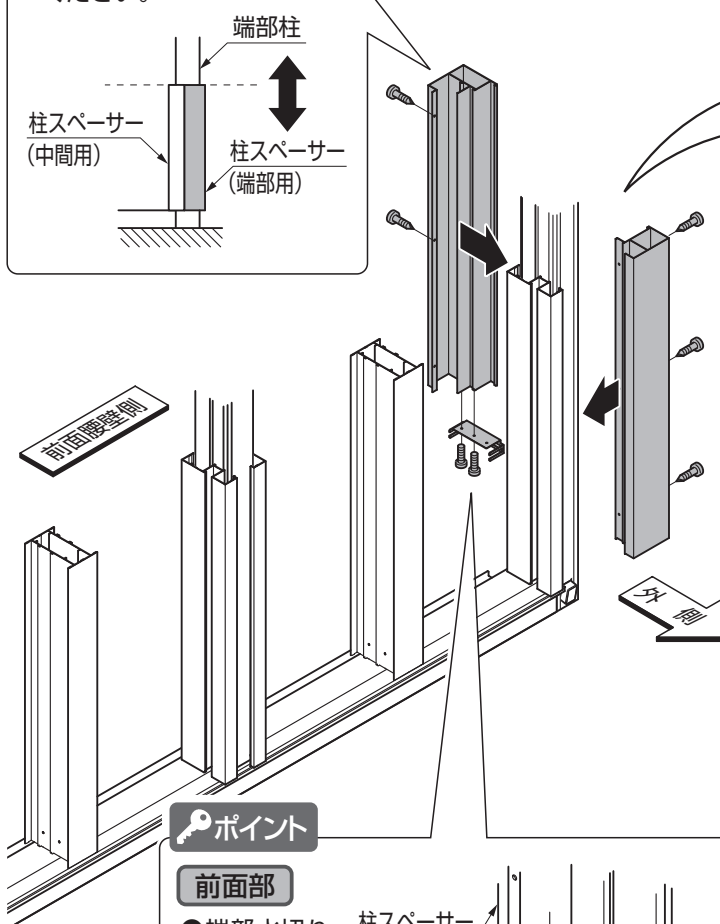
2. (つづき)



2-2 柱スペーサー（端部用）の取付け

ポイント

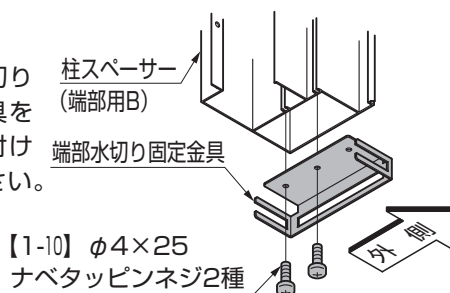
- 柱スペーサー（中間用）の高さ位置に合わせて取付けてください。



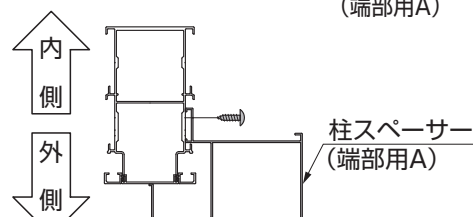
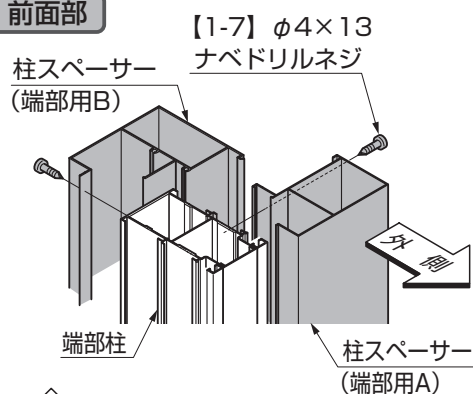
ポイント

前面部

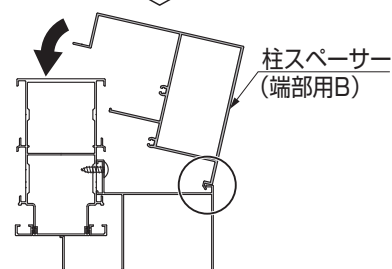
- 端部水切り固定金具を先に取付けてください。



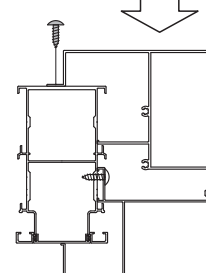
前面部



柱スペーサー（端部用A）を取付け

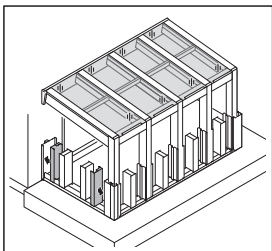


柱スペーサー（端部用B）を引っ掛ける

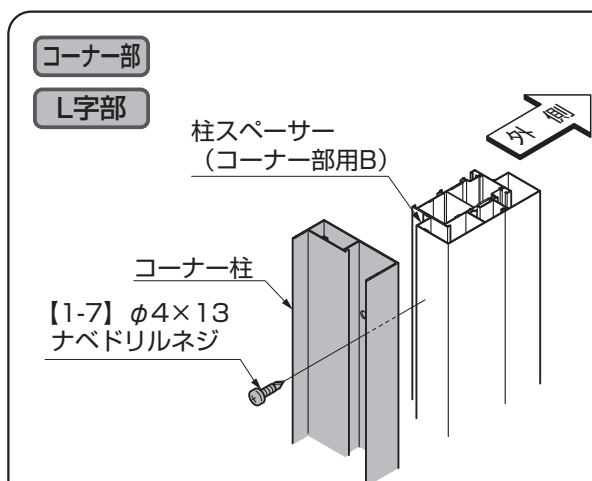
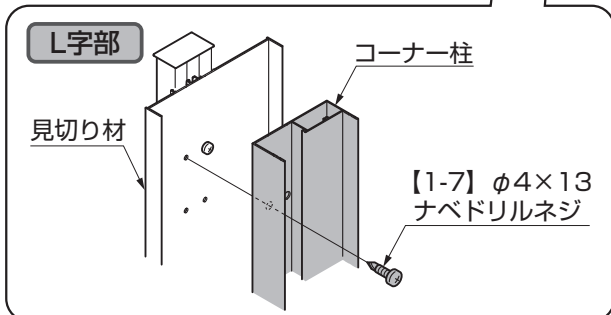
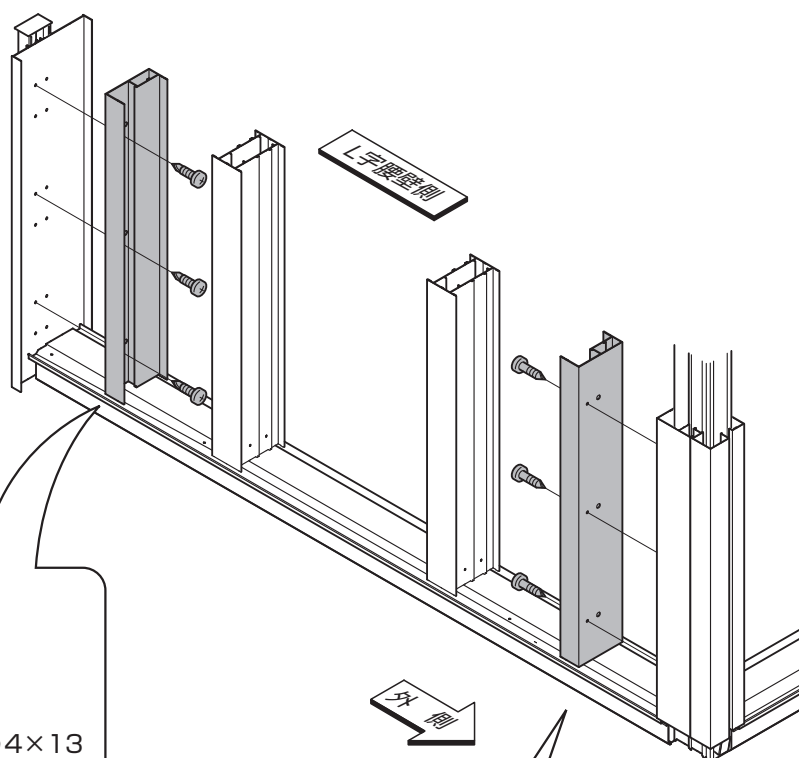


柱スペーサー（端部用B）を取付け

- ① 柱スペーサー（端部用A）を端部柱に【1-7】で取付けてください。
- ② 端部水切り固定金具を柱スペーサー（端部用B）に【1-10】で取付けてください。
- ③ 柱スペーサー（端部用B）を端部柱に【1-7】で取付けてください。

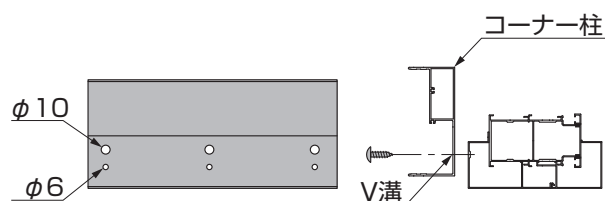


2-3 コーナー柱の取付け



ポイント

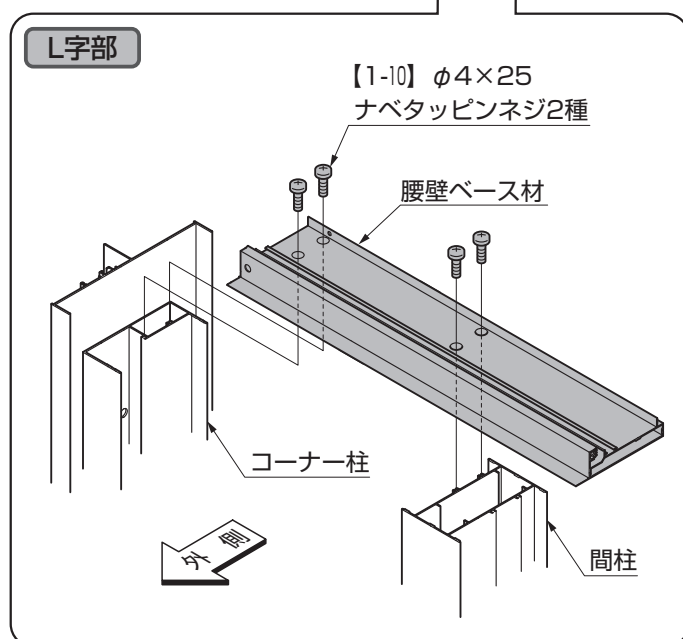
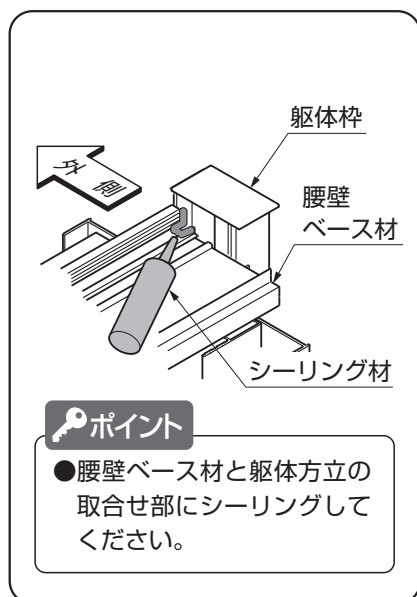
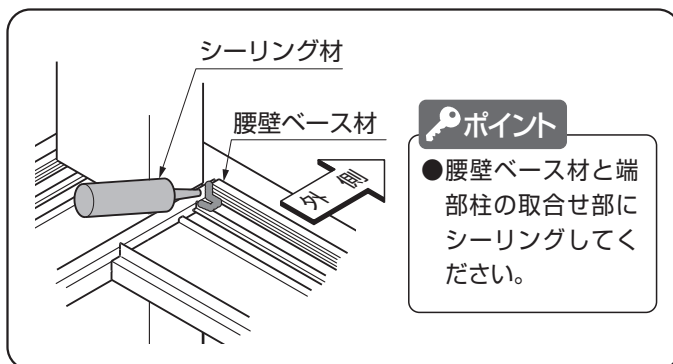
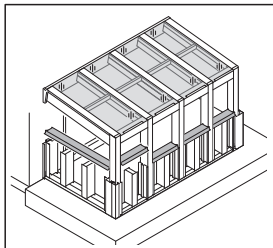
- 小さな穴 ($\phi 6$) を介し、柱スペーサー (コーナー部用B) のV溝に取付けてください。



① コーナー柱を柱スペーサー (コーナー用B)、見切り材に【1-7】で取付けてください。

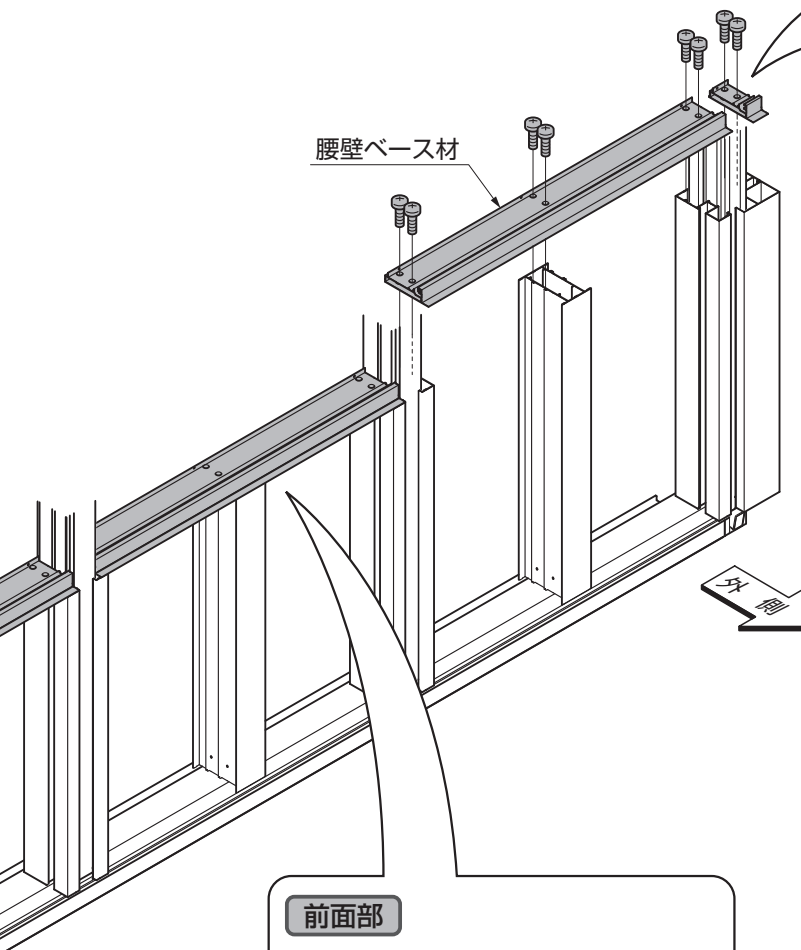
3. 腰壁ベース材の取付け

3-1 腰壁ベース材の取付け



①腰壁ベース材を柱スペーサー、間柱、コーナー柱に【1-10】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
			



前面部

【1-10】 $\phi 4 \times 25$
ナベタッピンネジ2種

腰壁ベース材 (端部用)

端部柱

柱スペーサー
(端部用B)

外側

外側右

ポイント

- 端部用の腰壁ベース材には左右がありますので、いずれかを取付けてください。



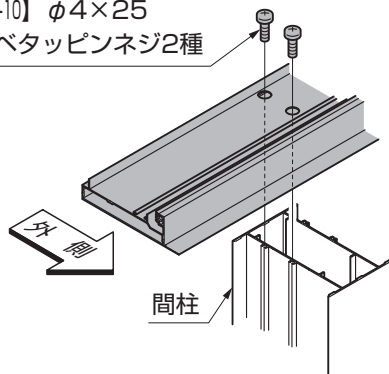
外観左用



外観右用

前面部

【1-10】 $\phi 4 \times 25$
ナベタッピンネジ2種

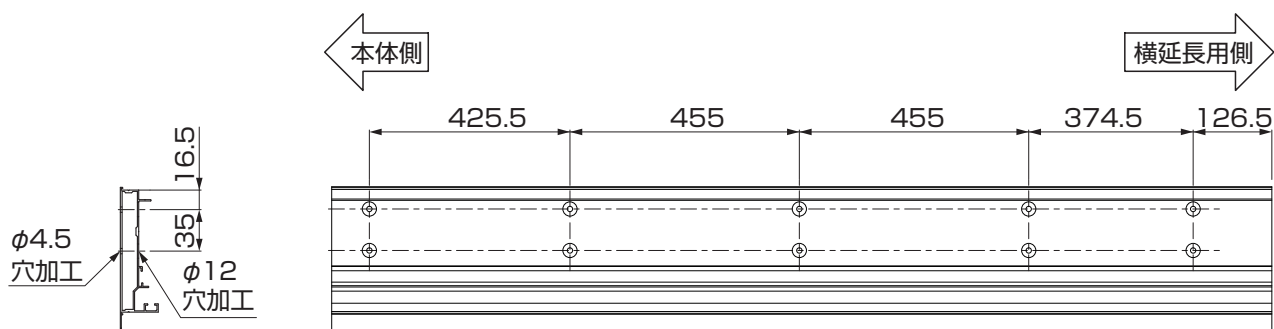


3. (つづき)

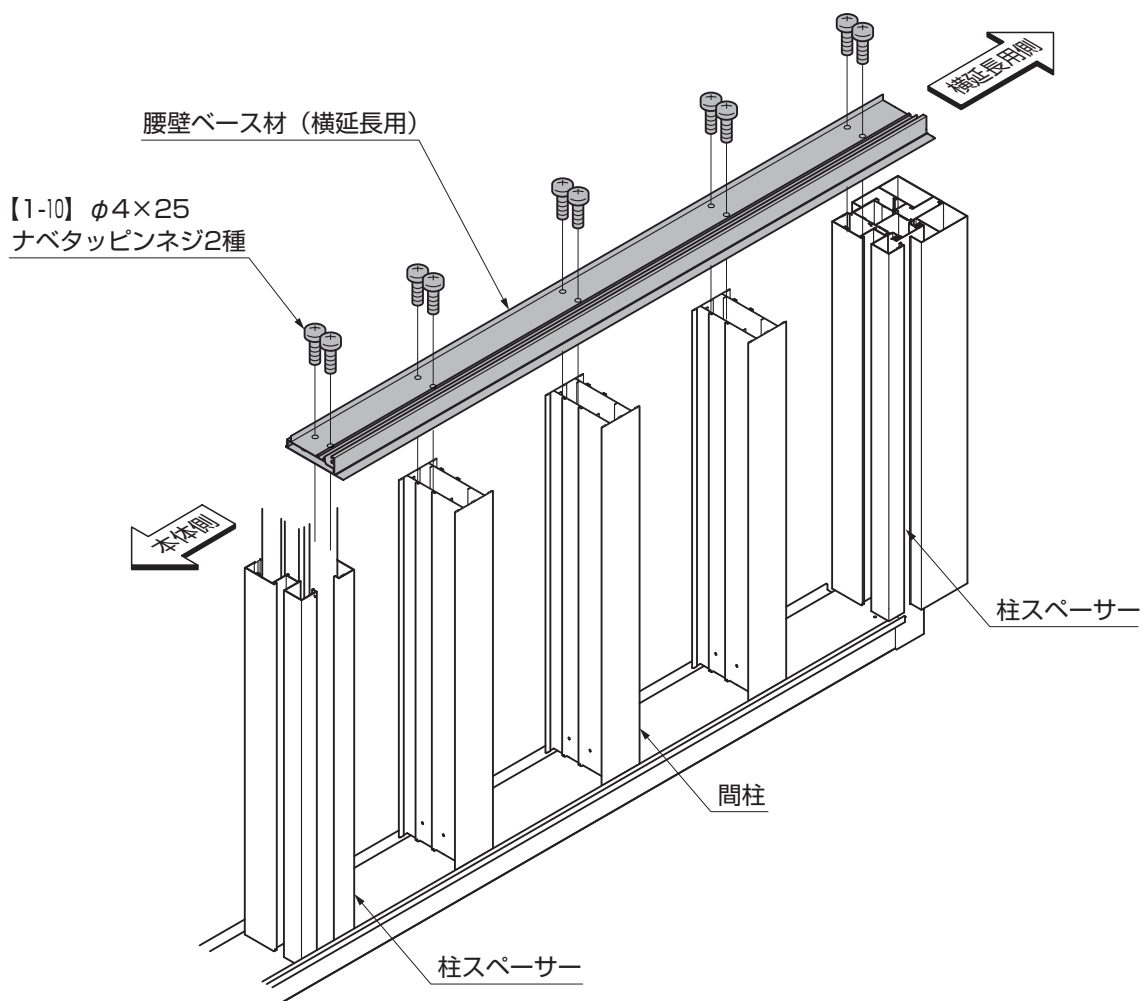
3-2 横延長

(1) 腰壁ベース材（横延長用）の加工

※本図（外観右側に横延長）と反対側に延長する場合は、対称の穴加工をしてください。



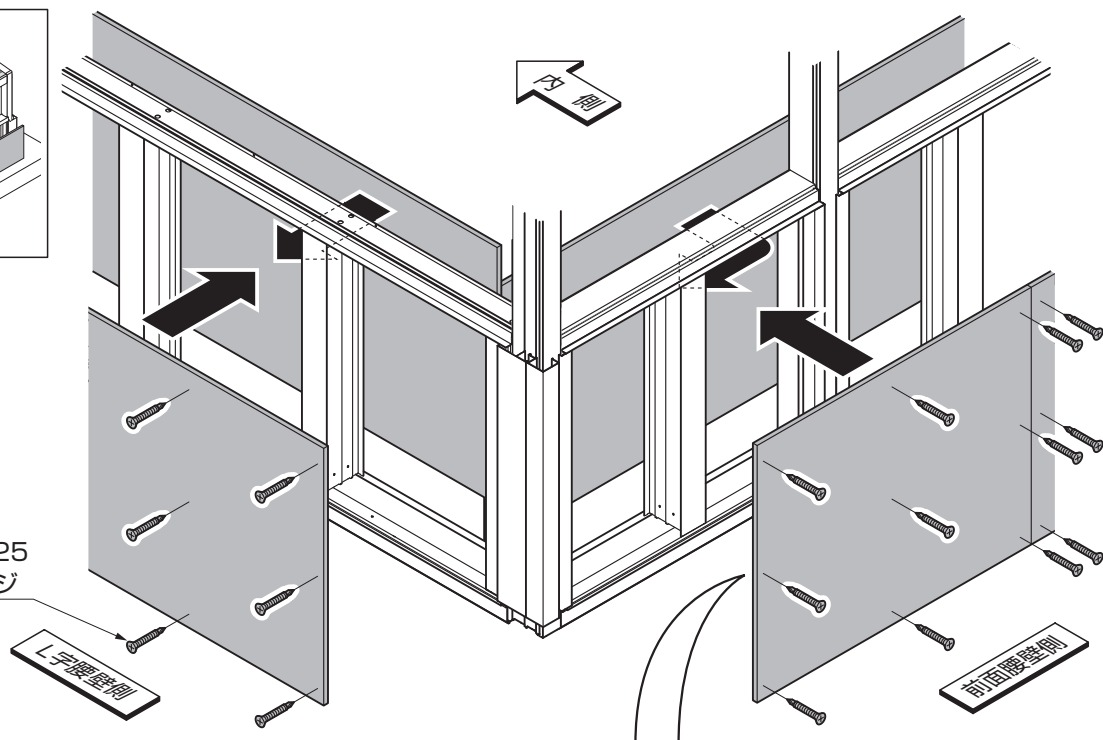
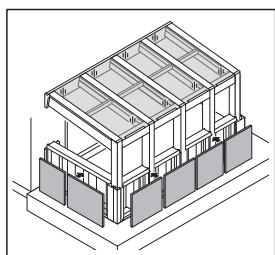
(2) 腰壁ベース材（横延長用）の取付け



①腰壁ベース材（横延長用）を柱スペーサー、間柱に【1-10】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域
			

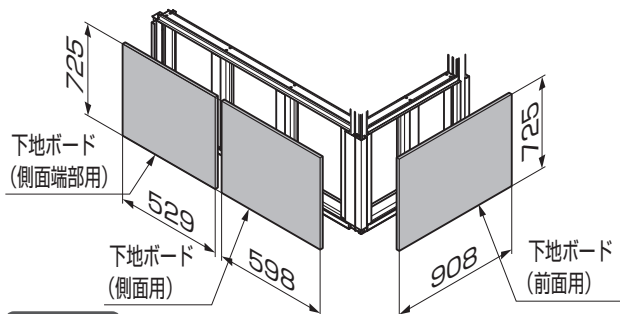
4. 下地ボードの取付け



ポイント

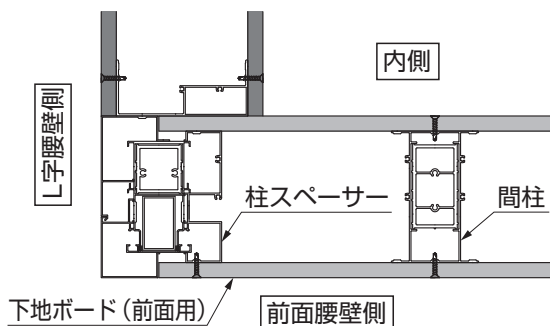
共通

- 下地ボードのサイズを確認して、それぞれの面に取付けてください。

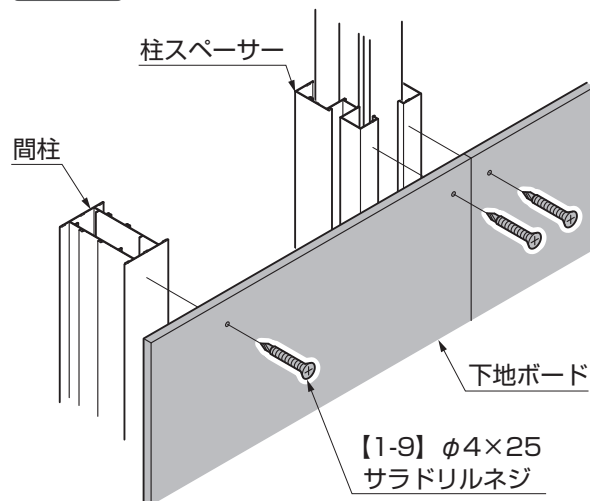


コーナー部

- 内側の下地ボードは前面側を先に取付けてからL字腰壁側を取付けてください。

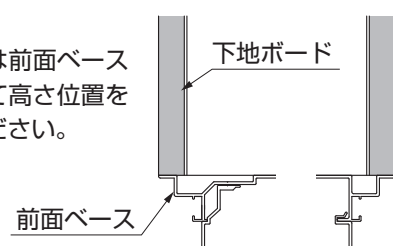


共通



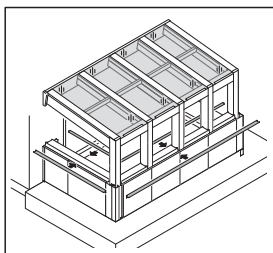
ポイント

- 下地ボードは前面ベースの上に乗せて高さ位置を合わせてください。



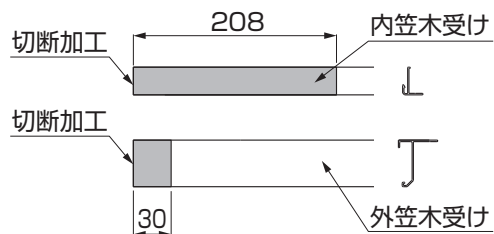
①柱スペーサー、間柱に下地ボードを仮当てし、下地ボードを柱スペーサー、間柱に【1-9】で取付けてください。

5. 笠木受けの取付け



ポイント

コーナー部

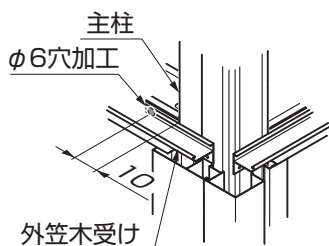


●コーナー部の場合、前面用の部材（笠木受け）を切断加工します。

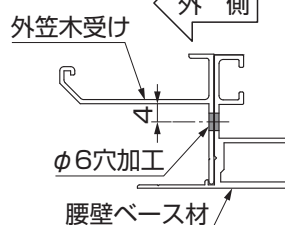
【1-7】 $\phi 4 \times 13$
ナベドリルネジ

ポイント

●笠木受け取付け後、外笠木受けと腰壁ベース材に $\phi 6$ の穴加工をしてください。



外側

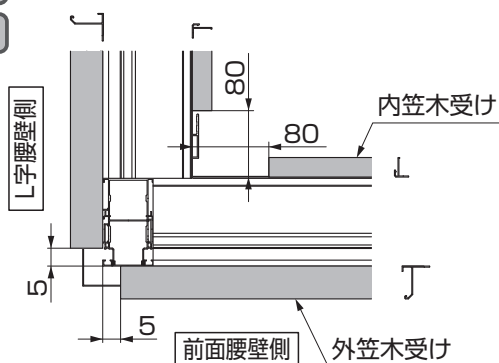


ポイント

コーナー部

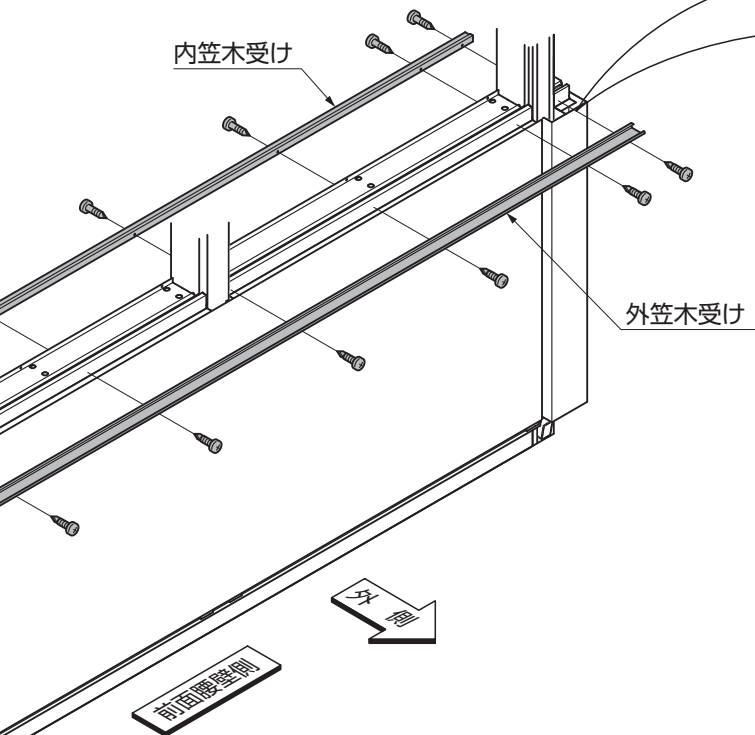
共通

●コーナー部は、下記のように取付けます。



① 笠木受けを腰壁ベース材に【1-7】で取付けてください。

腰壁	土間	柱固定	地域

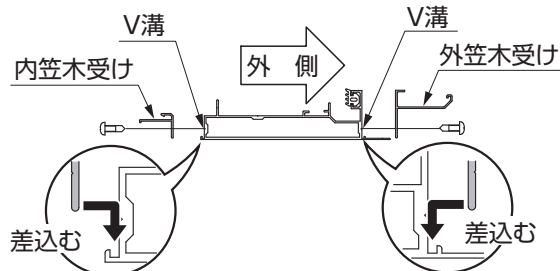


ポイント

- L字の場合、コーナー部直近のネジは、固定しないでください。

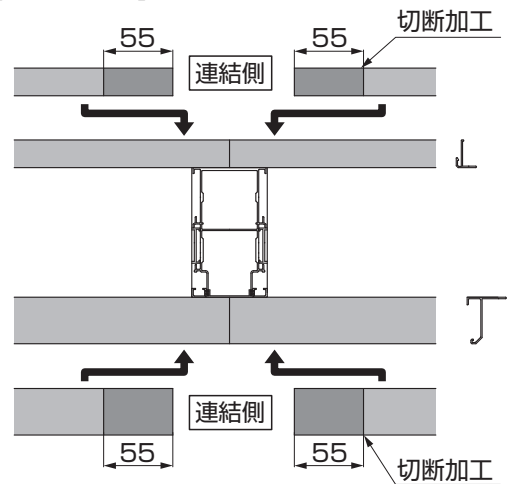
ポイント

- 笠木受けは内外で部材が異なります。
- 笠木受けは腰壁ベース材のV溝に合わせて取付けてください。笠木受けが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に段差が生じるおそれがあります。



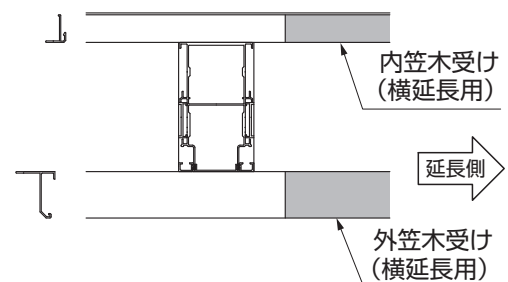
ポイント

【連棟の場合】



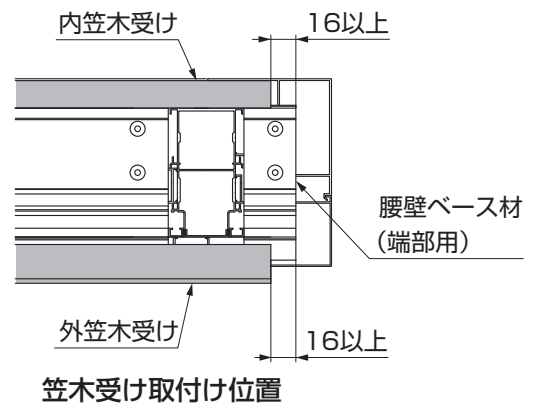
- 内笠木受け、外笠木受けを55mmずつ切断して取付けます。

【横延長の場合】

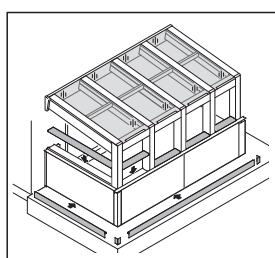


- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

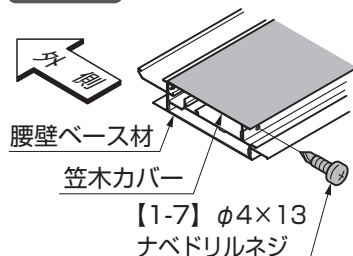
- 笠木受け取付け位置を確認してください。



6. 笠木カバーと水切りの取付け

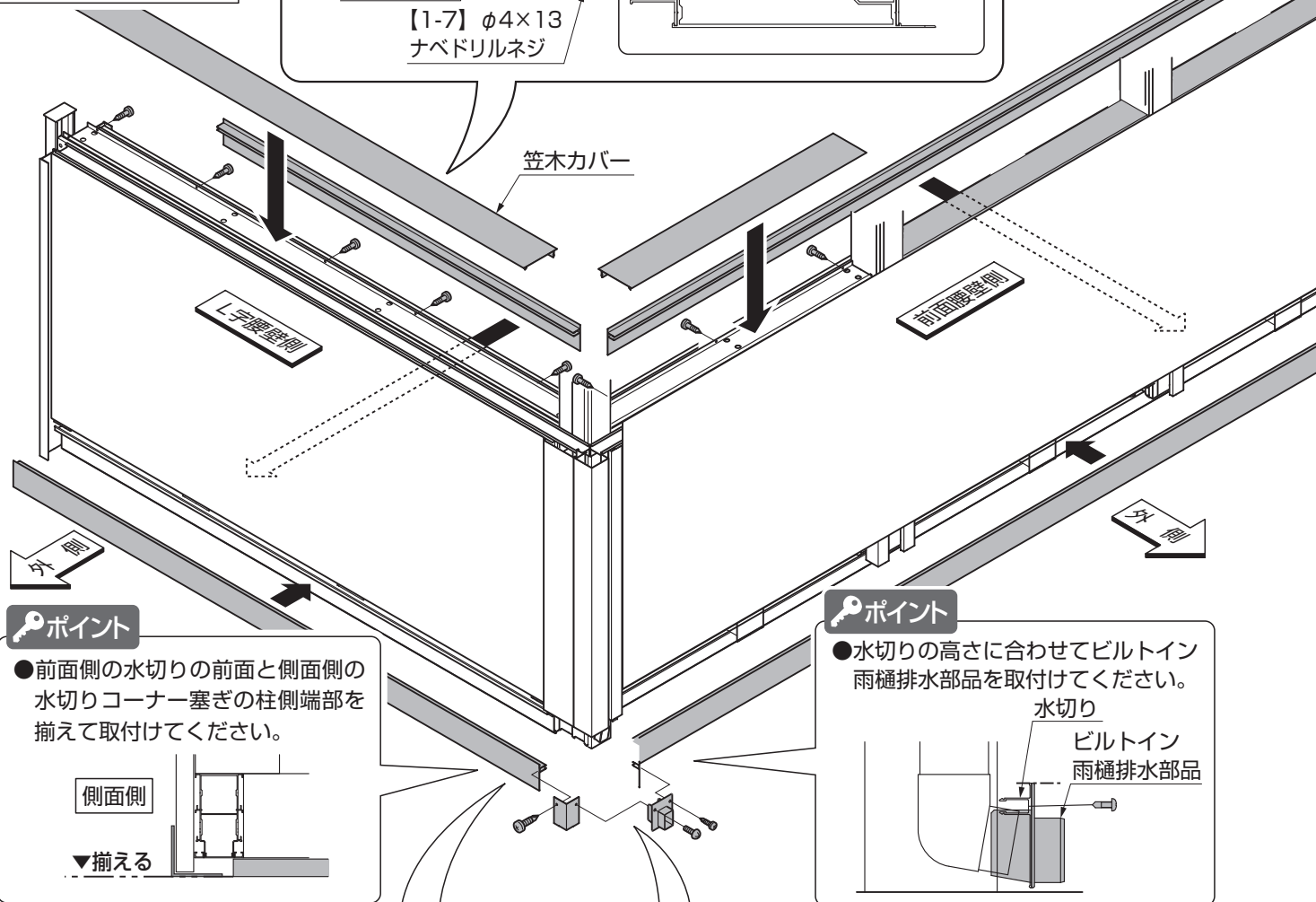
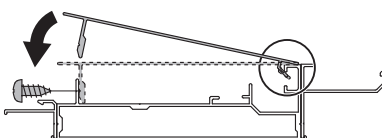


共通



ポイント

●腰壁ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。

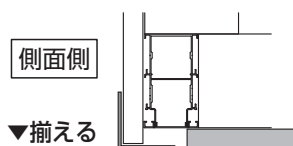


ポイント

●前面側の水切りの前面と側面側の水切りコーナー塞ぎの柱側端部を揃えて取付けてください。

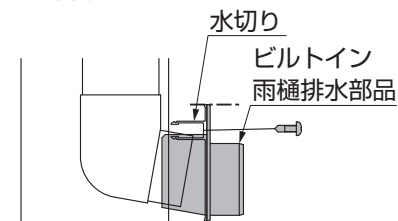
側面側

▼揃える

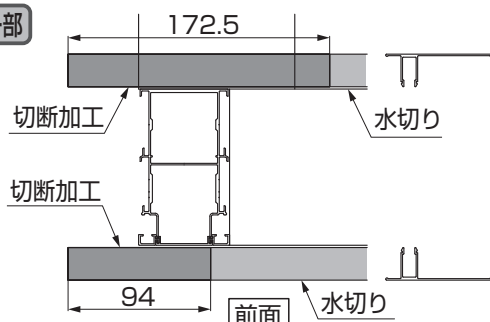


ポイント

●水切りの高さに合わせてビルトイン雨樋排水部品を取付けてください。



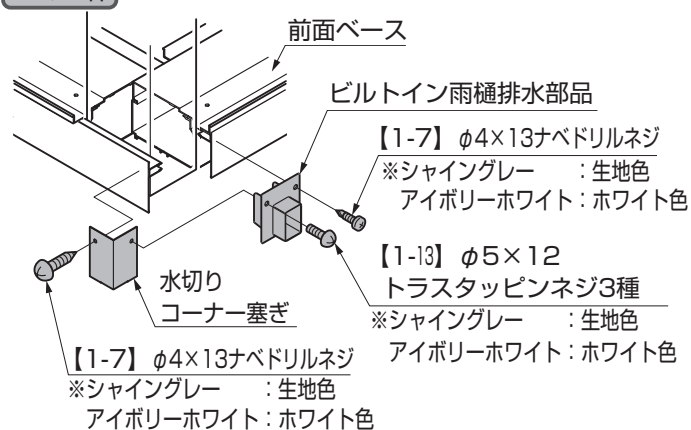
コーナー部



ポイント

●切断寸法を目安に各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

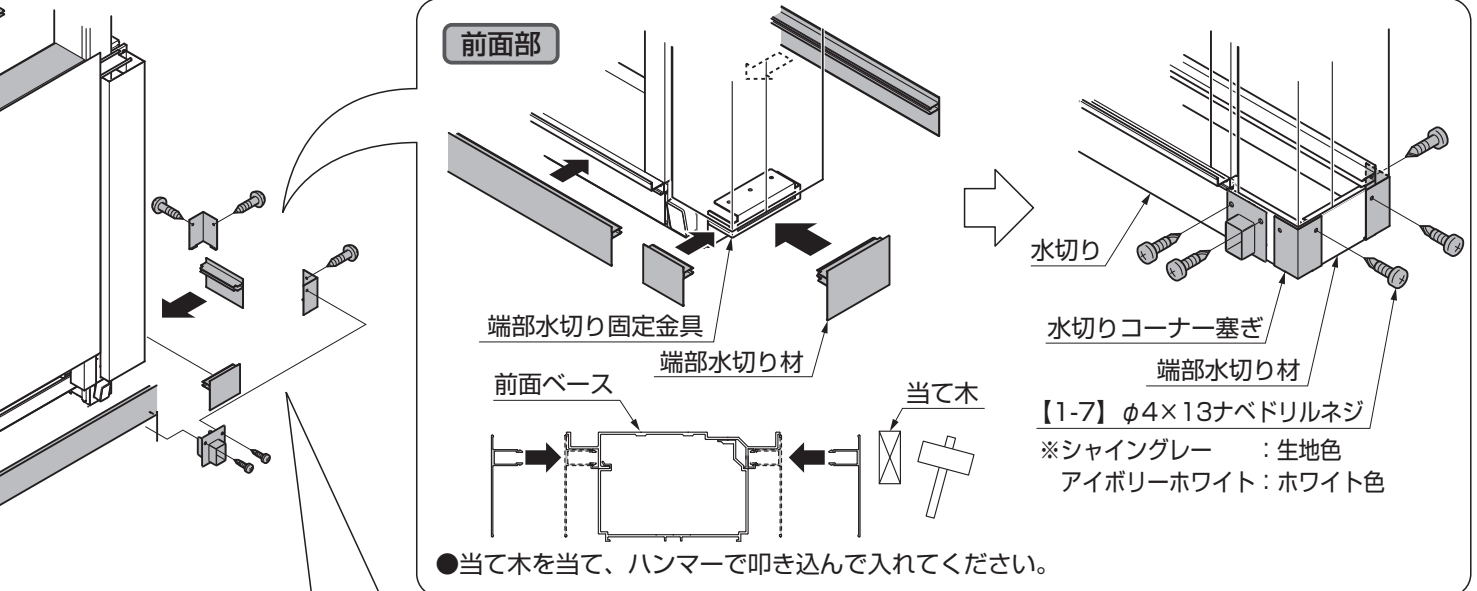
コーナー部



腰壁	土間	柱固定	地域

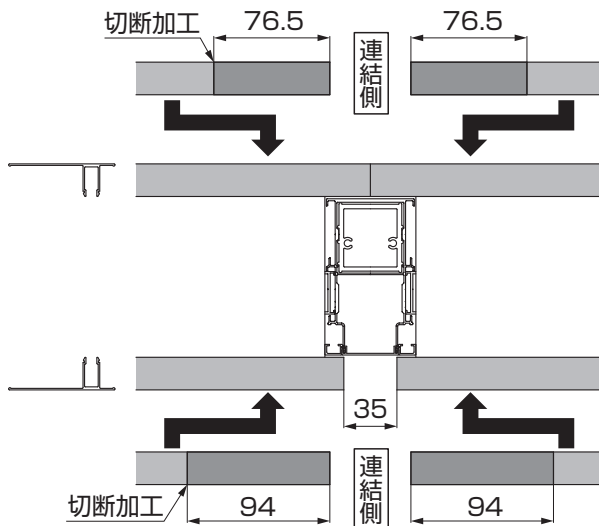
ポイント

- 内側の水切りは前面腰壁側→L字腰壁側の順に取付けてください。



【連棟の場合】

- 内側の水切りを76.5mmずつ、外側の水切りを94mmずつ切断して取付けます。

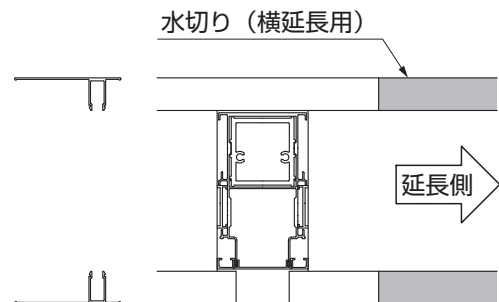


ポイント

- 切断寸法を目安に各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

【横延長の場合】

- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。



【腰壁笠木カバーの取付け】

- ①笠木カバーを腰壁ベース材に【1-7】で取付けてください。

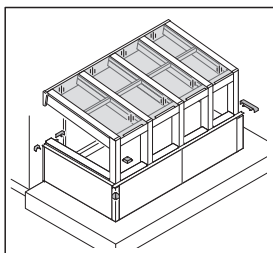
【水切りの取付け】

- ①水切りを前面ベースに、端部水切り材を端部水切り固定金具に取付けてください。
- ②水切りコーナー塞ぎを水切りに【1-7】で取付けてください。
- ③ビルトイン雨樋排水部品を水切りと水切りコーナー塞ぎに【1-7】【1-13】で取付けてください。

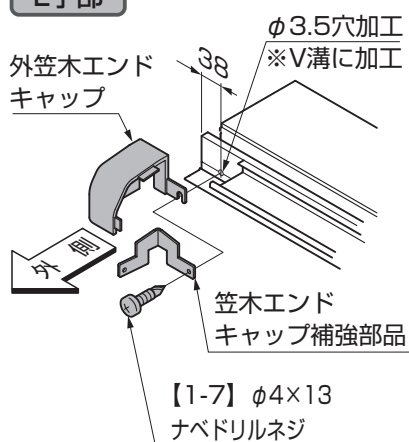
7. キャップ類の取付け

ポイント

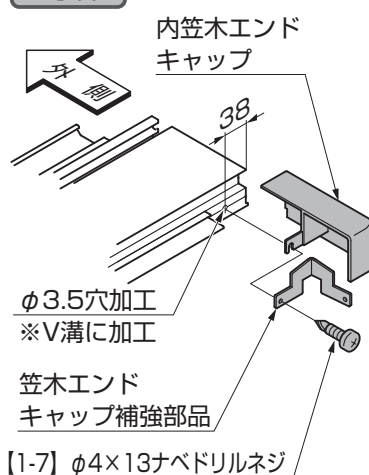
●ネジの締めすぎに注意してください。



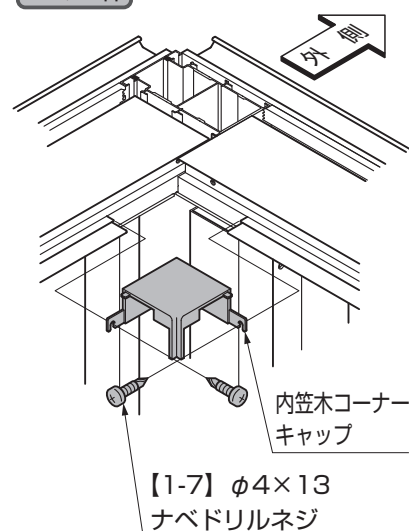
L字部



L字部



コーナー部



【笠木エンドキャップの取付け】

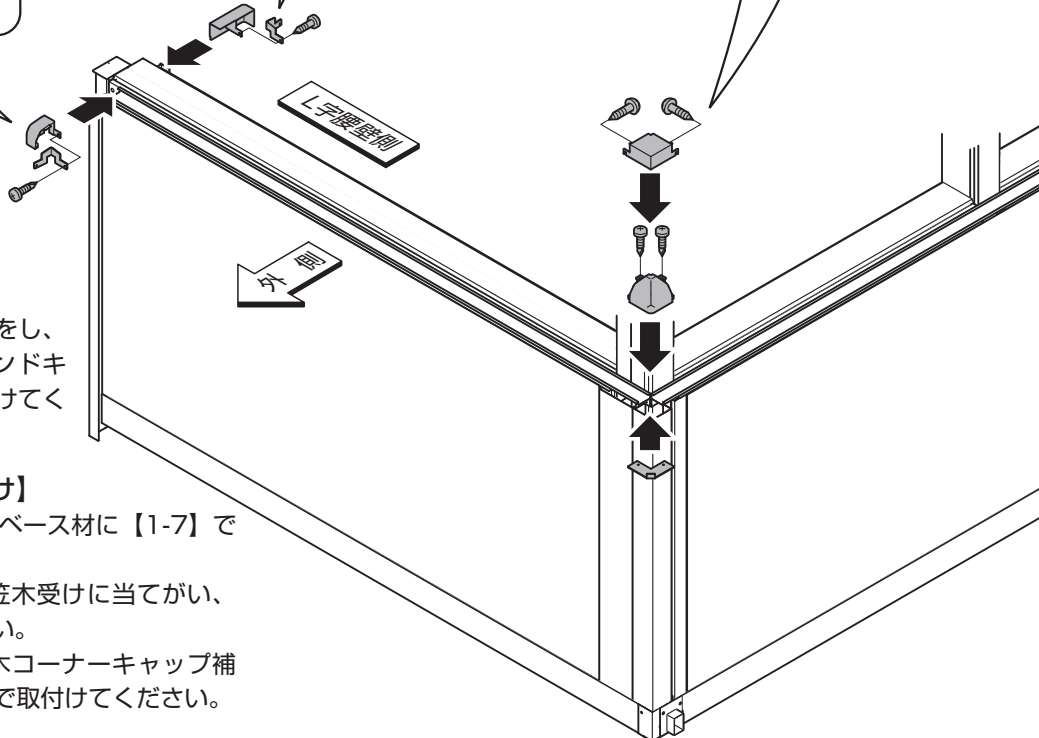
- ①腰壁ベース材にφ3.5の穴加工をし、笠木エンドキャップと笠木エンドキャップ補強材を【1-7】で取付けてください。

【笠木コーナーキャップの取付け】

- ①内笠木コーナーキャップを腰壁ベース材に【1-7】で取付けてください。
- ②外笠木コーナーキャップを外笠木受けに当てがい、φ5の写し穴加工をしてください。
- ③外笠木コーナーキャップと笠木コーナーキャップ補強部品を外笠木受けに【1-6】で取付けてください。

【笠木端部キャップの取付け】

- ①腰壁ベース材（端部用）にφ5の穴加工をしてください。
- ②笠木端部キャップ補強部品を腰壁ベース材（端部用）に挿入し、【1-6】で仮固定してください。
- ③笠木端部キャップを腰壁ベース材（端部用）に差込み、【1-6】を本締めしてください。
- ④笠木端部キャップを腰壁ベース材（端部用）に【1-7】で固定してください。
- ⑤笠木カバーを腰壁ベース材（端部用）に【1-7】で取付けてください。

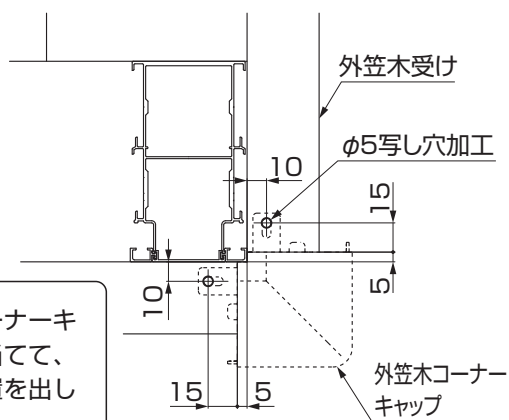


腰壁	土間	柱固定	地域

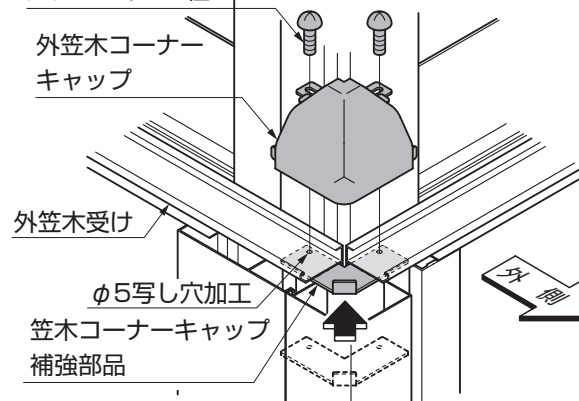
コーナー部

ポイント

- 外笠木コーナーキャップを当てて、穴加工位置を出してください。



【1-6】φ4×12トラス タッピンネジ3種



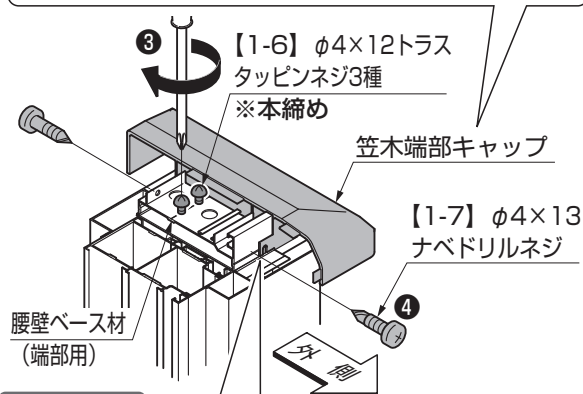
腰壁ベース材

前面腰壁側



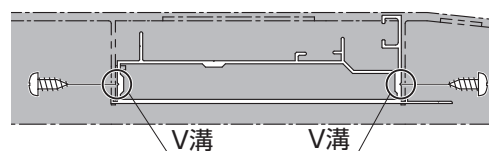
ポイント

- 笠木端部キャップは腰壁ベース材（端部用）につき当てて取付けてください。

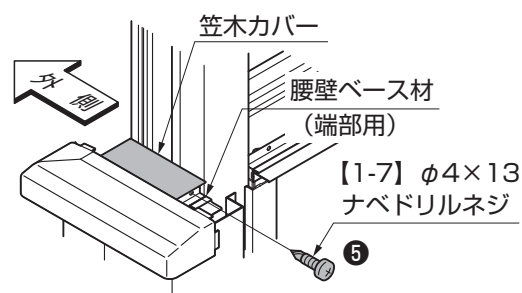
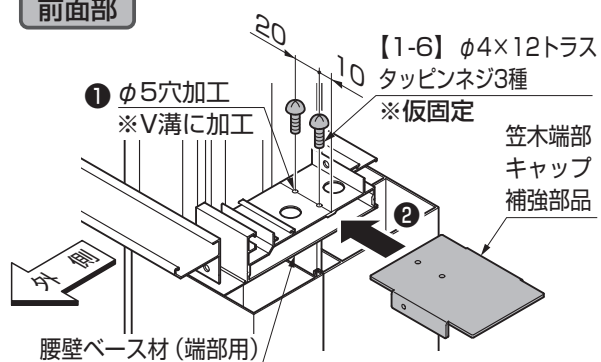


ポイント

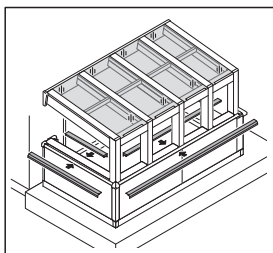
- 笠木端部キャップは浮き上がりのないようにV溝にネジ固定してください。笠木端部キャップが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に笠木端部キャップと段差が生じるおそれがあります。



前面部



8. 笠木の取付け



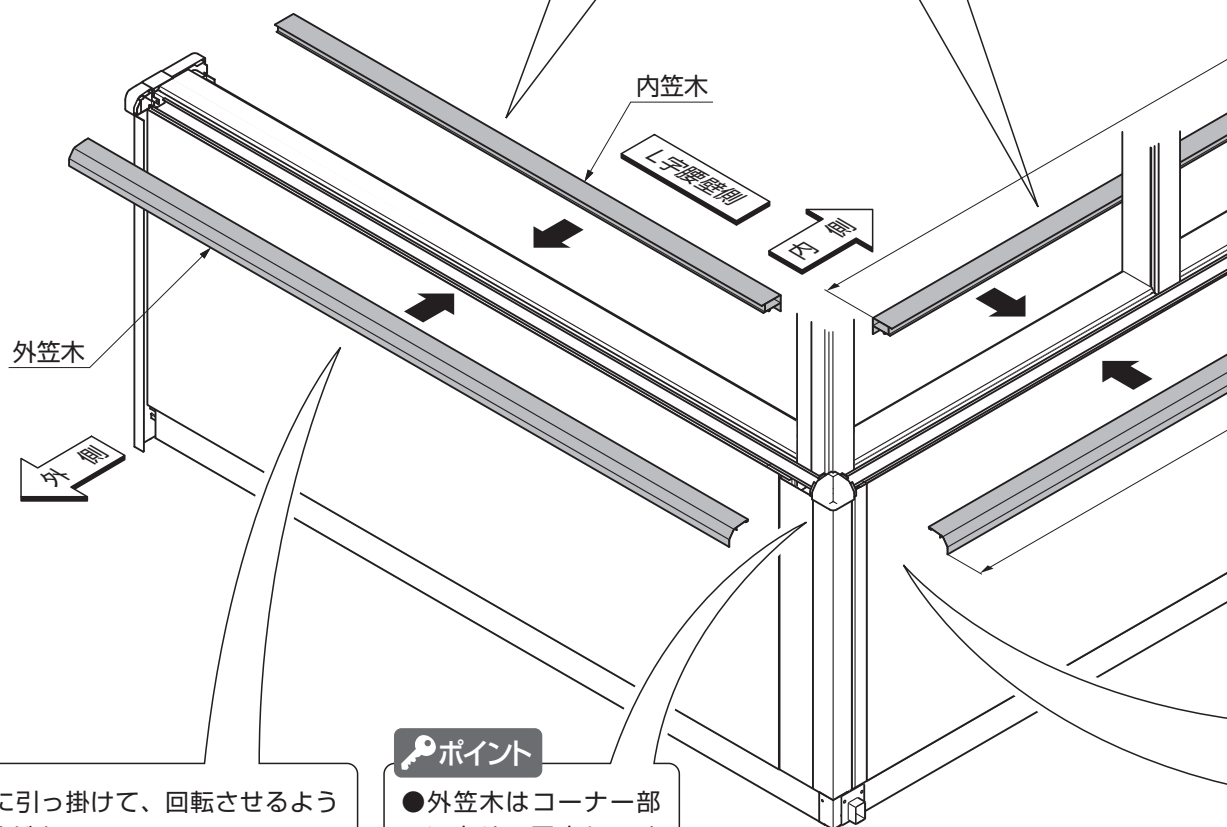
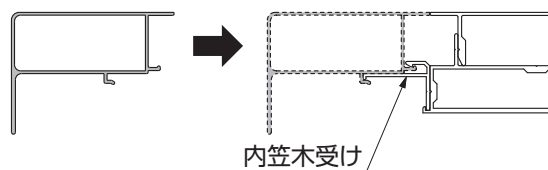
ポイント

- 部材を加工の際は、本ページの切断寸法を目安に各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

ポイント

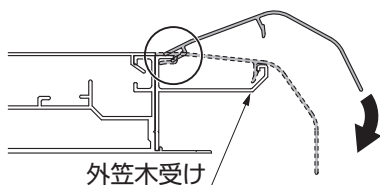
共通

- 内笠木受けに差し込むようにして取付けてください。



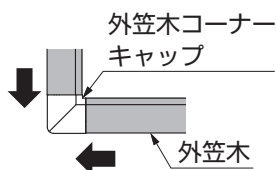
ポイント

- 外笠木受けに引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



ポイント

- 外笠木はコーナー部に寄せて固定してください。

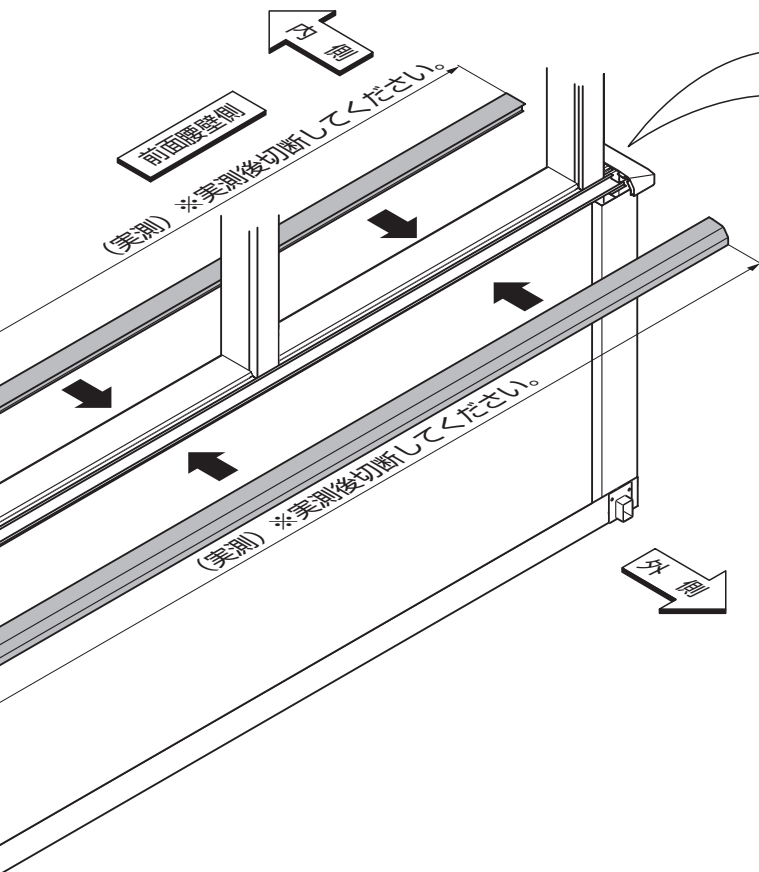


ポイント

- シーリングを塗布する際はマスキングテープを使用し、平滑になるようヘラなどを使用して仕上げてください。

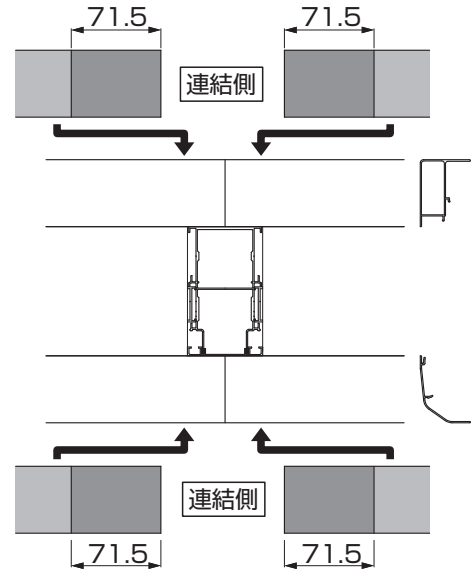
- ①笠木を笠木受けに取付けてください。
- ②指定の箇所にシーリングをしてください。

腰壁	土間	柱固定	地域



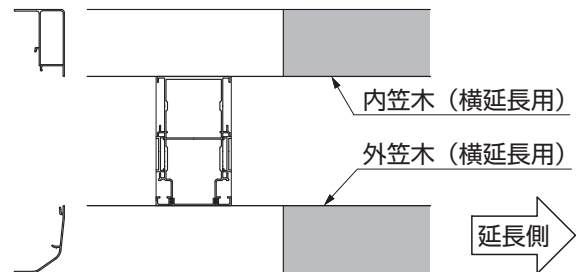
ポイント

【連棟の場合】



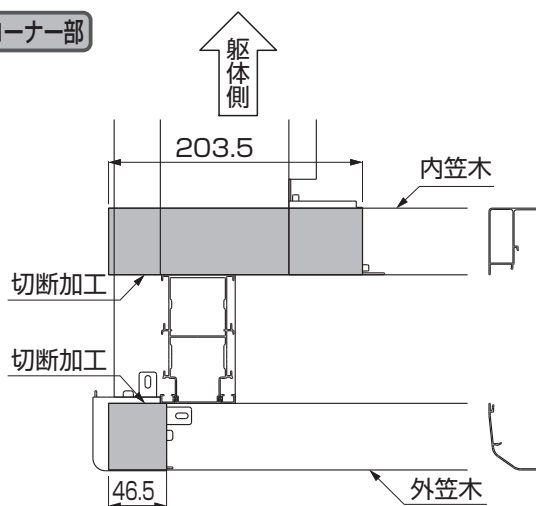
●内笠木、外笠木を71.5mmずつ切断して取付けます。

【横延長の場合】

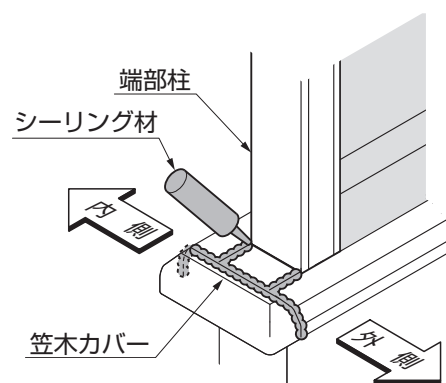


●単体の部材に継ぎ足して取付けます。

コーナー部

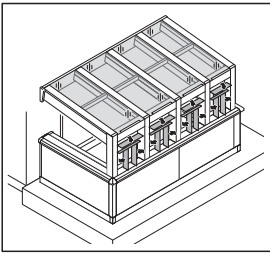


前面部

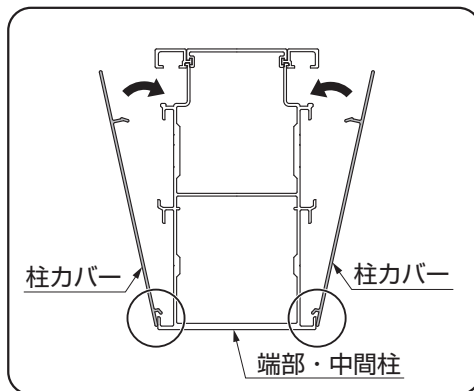


腰壁	土間	柱固定	地域

9. 柱カバー、テラス用上枠の取付け



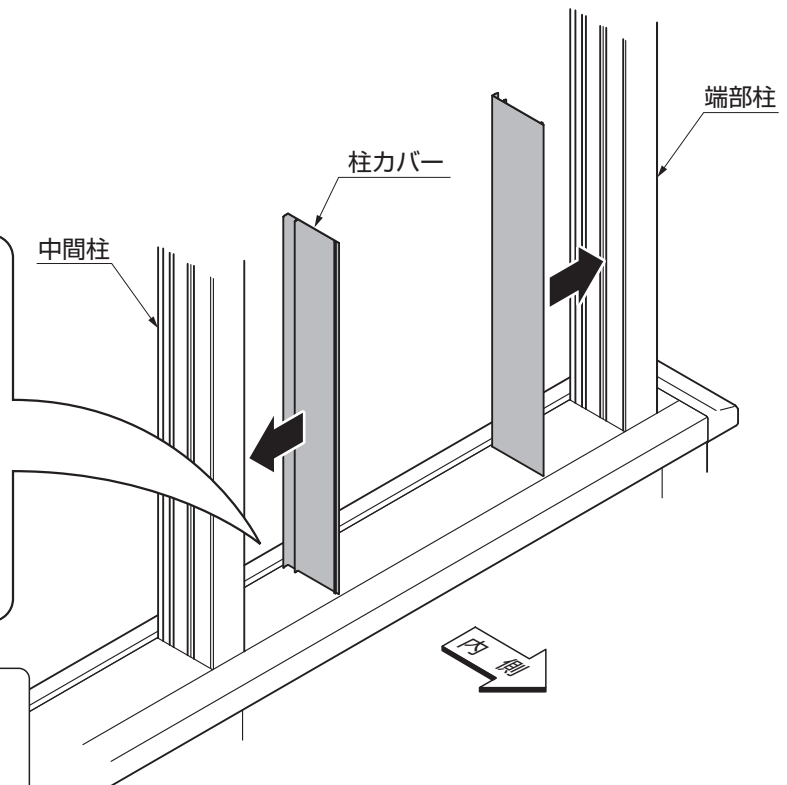
9-1 柱カバーの取付け



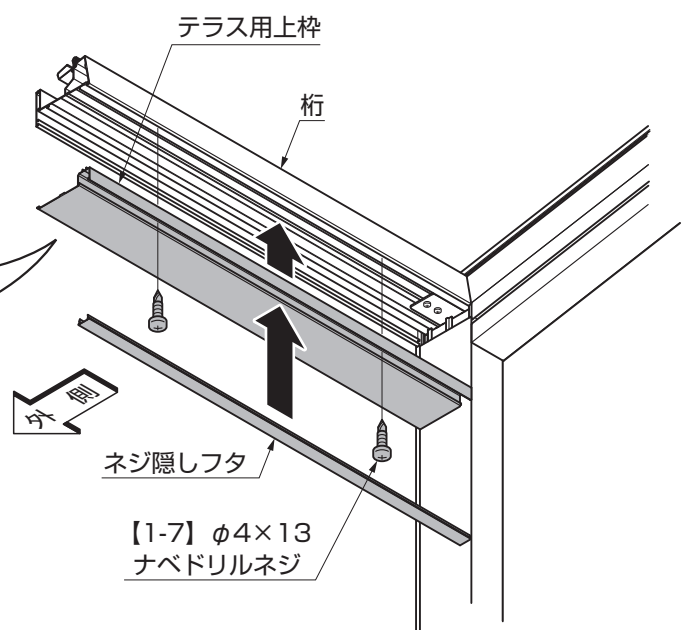
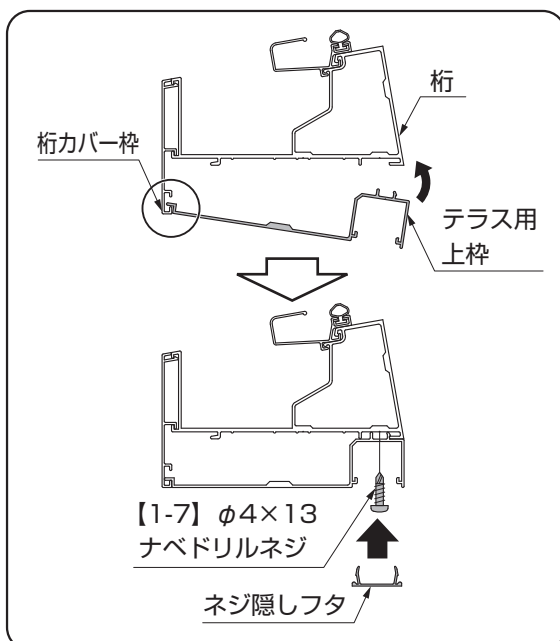
ポイント

【前面スクリーンを取付ける場合】
「E389 前面スクリーン取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。

①柱カバーを柱にはめ込んでください。



9-2 テラス用上枠、ネジ隠しフタの取付け



- ①テラス用上枠を桁に【1-7】で取付けてください。
- ②ネジ隠しフタをテラス用上枠にはめ込んでください。

16 タイルの張付け

ポイント

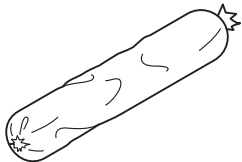
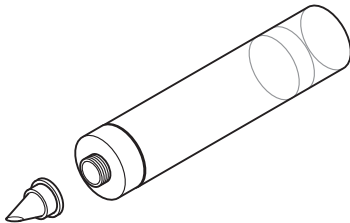
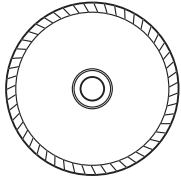
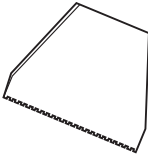
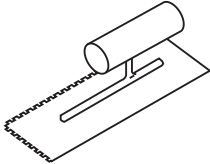
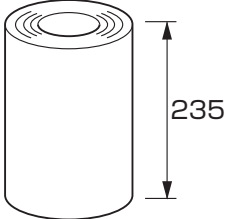
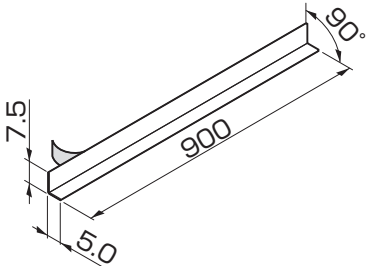
【カウンターテーブルを取付ける場合】

「E378 カウンターテーブル取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。

1. 梱包明細表 ※寸法は目地共寸法です。(調整用平のみ実寸法)

商品名	標準平ユニット	出幅用平ユニット	小口面ユニット	調整用平
ルミノス 目地幅 縦：2mm 横：3mm				
商品コード 8KBG08W□, 8KBG11W□	商品コード 8KBG13W□, 8KBG15W□	商品コード 8KBG26W□	商品コード 8KBG27W□	
寂雅楽(さびうた)Ⅱ 目地幅 縦：2mm 横：2.5mm				
商品コード 8KBC08W□, 8KBC09W□	商品コード 8KBC10W□, 8KBC11W□	商品コード 8KBC27W□	商品コード 8KBC28W□	
細割りボーダー (標準剖面) 目地幅 縦：2mm 横：2.1mm				
商品コード 8KBD10W□, 8KBD13W□	商品コード 8KBD14W□, 8KBD16W□	商品コード 8KBD25W□	商品コード 8KBD26W□	
サイモン 目地幅 縦：2mm 横：2.5mm				
商品コード 8KBE09W□, 8KBE12W□	商品コード 8KBE13W□, 8KBE17W□	商品コード 8KBE24W□	商品コード 8KBE25W□	
メルヴィオコリーナ 目地幅 縦：4mm 横：3mm				
商品コード 8KBH08W□, 8KBH11W□	商品コード 8KBH15W□, 8KBH18W□	商品コード 8KBH23W□	商品コード 8KBH24W□	
セラヴィオR 目地幅 縦：3mm 横：3mm				
商品コード 8KBJ09W□, 8KBJ12W□	商品コード 8KBJ13W□, 8KBJ14W□	商品コード 8KBJ22W□	商品コード 8KBJ24W□	

施工部材形状一覧

商品名	外装用弾性接着剤	接着剤用アダプターノズルセット	タイル用切断刃 (105F)
商品コード	8KBQ01ZZ	8KBQ05ZZ	8KBQ10ZZ
材質	変成シリコン系 1kgアルミパック	PE	直径：φ105
形状			
商品名	3mmクシ目ヘラ	3mmクシ目コテ	ジョイントテープ (幅235)
商品コード	8KBQ06ZZ	8KBQ07ZZ	8KBQ08ZZ
材質	PE	ステンレス	ブチルゴム系
形状			
商品名	ガイド定規		
商品コード	8KBQ14ZZ		
材質	ガルバニウム鋼板 (ブチルゴム系両面テープ付)		
形状			

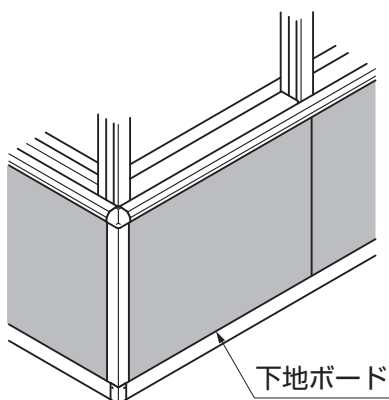
2. 施工面の確認



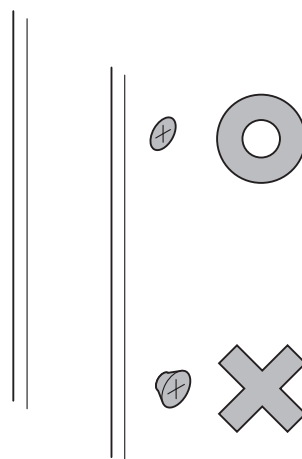
ポイント

- 下地ボードが下記の条件になっているか確認してください。
確認できたら ☒ を入れてください。

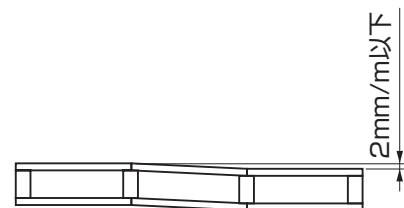
- ☐ 所定の下地ボードが取付いているか？



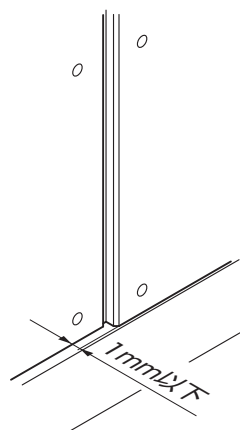
- ☐ 取付ネジ頭が突出していないか？



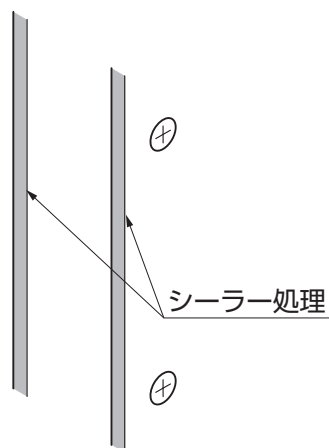
- ☐ 表面の不陸は2mm/m以下か？



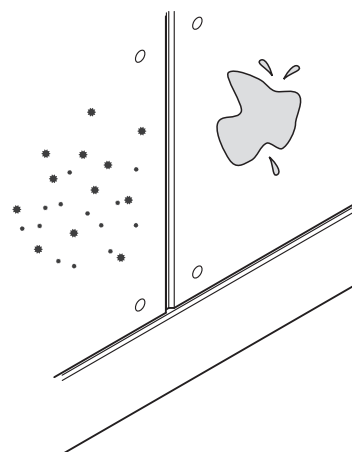
- ☐ 下地ボード間の段差は1mm以下か？



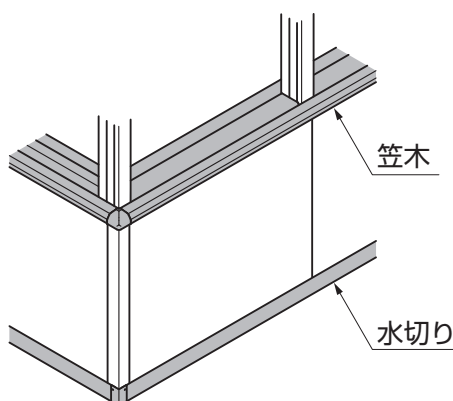
- ☐ 切断小口面はシーラー処理されているか？
※下地ボードを現場切断した場合のみ



- ☐ 表面にゴミやホコリ、水濡れはないか？



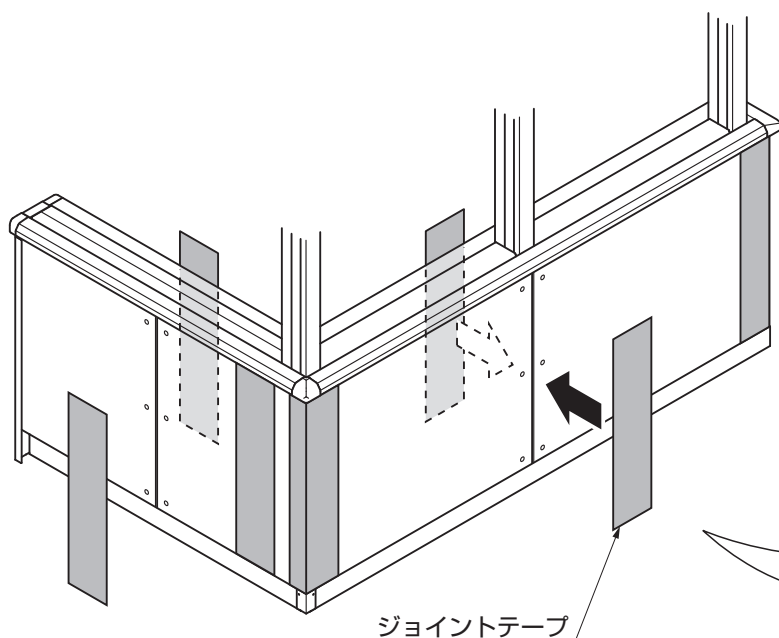
- ☐ 取付け部品の施工が完了しているか？
(笠木、土台水切りなど)



3. ジョイントテープの貼付け

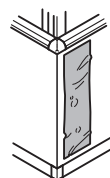


3-1 ジョイントテープ貼付け前の確認

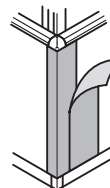


ポイント

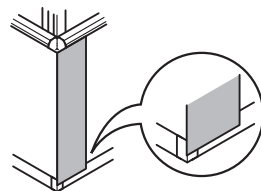
●貼付けの際は、シワや空気が入らないようにしてください。



●テープ同士を重ねて貼付けしないでください。



●下地ボードからはみ出さないように貼付けてください。



補足

●あらかじめ高さに合わせてカットしておくとう作業しやすいです。

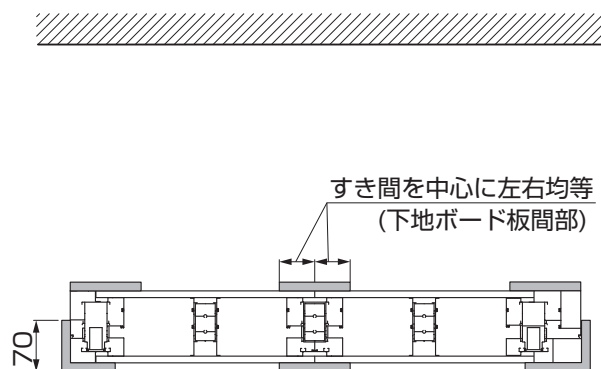
表3-1 テープ必要数量一覧

(単位：mm)

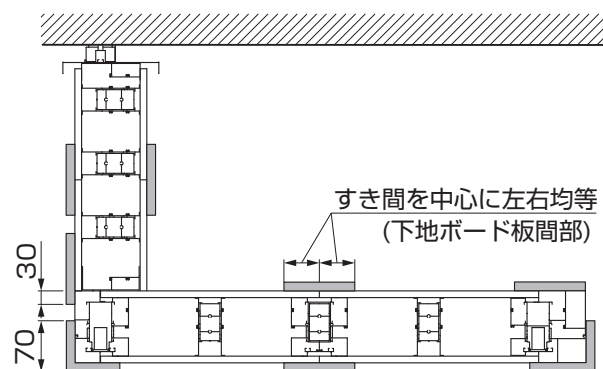
	出幅			間口				
				1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
前面腰壁仕様 (基本タイプ)	4尺～ 10尺		必要長さ	4350	5800	7250	8700	10150
			カット枚数	725×6枚	725×8枚	725×10枚	725×12枚	725×14枚
前面腰壁仕様 (入隅タイプ)	4尺～ 10尺		必要長さ	2900	4350	5800	7250	8700
			カット枚数	725×4枚	725×6枚	725×8枚	725×10枚	725×12枚
L字腰壁仕様	4尺		必要長さ	5800	7250	8700	10150	11600
			カット枚数	725×8枚	725×10枚	725×12枚	725×14枚	725×16枚
	6尺		必要長さ	7250	8700	10150	11600	13050
			カット枚数	725×10枚	725×12枚	725×14枚	725×16枚	725×18枚
	8尺		必要長さ	8700	10150	11600	13050	14500
			カット枚数	725×12枚	725×14枚	725×16枚	725×18枚	725×20枚
	10尺		必要長さ	10150	11600	13050	14500	15950
			カット枚数	725×14枚	725×16枚	725×18枚	725×20枚	725×22枚

3-2 ジョイントテープ貼付け位置

前面腰壁仕様



L字腰壁仕様



①ジョイントテープを貼付けてください。

4. はるかベタタイルの施工



4-1 ガイド定規取付位置の墨出し

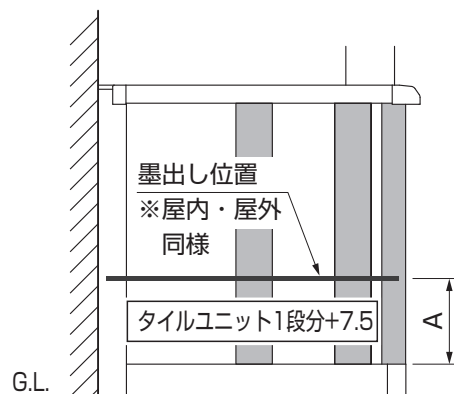


図4-1 L字

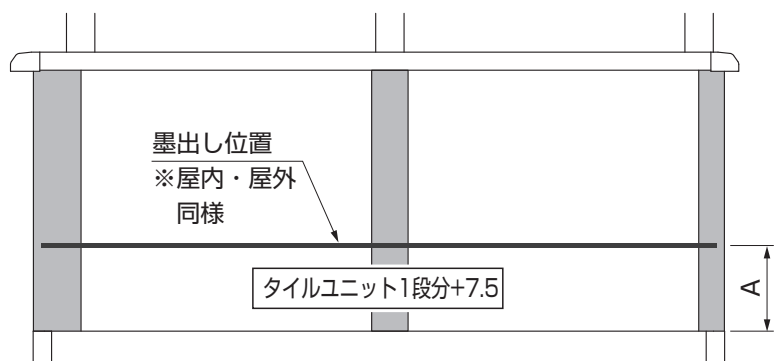


図4-2 前面

表4-1 墨出し位置

	A		A
ルミノス	307.5	サイモン	307.5
寂雅楽Ⅱ	342.5	メルヴィオ コリーナ	312.5
細割ボーダー	315.5	セラヴィオR	307.5

①下地ボードに墨出ししてください。

補足

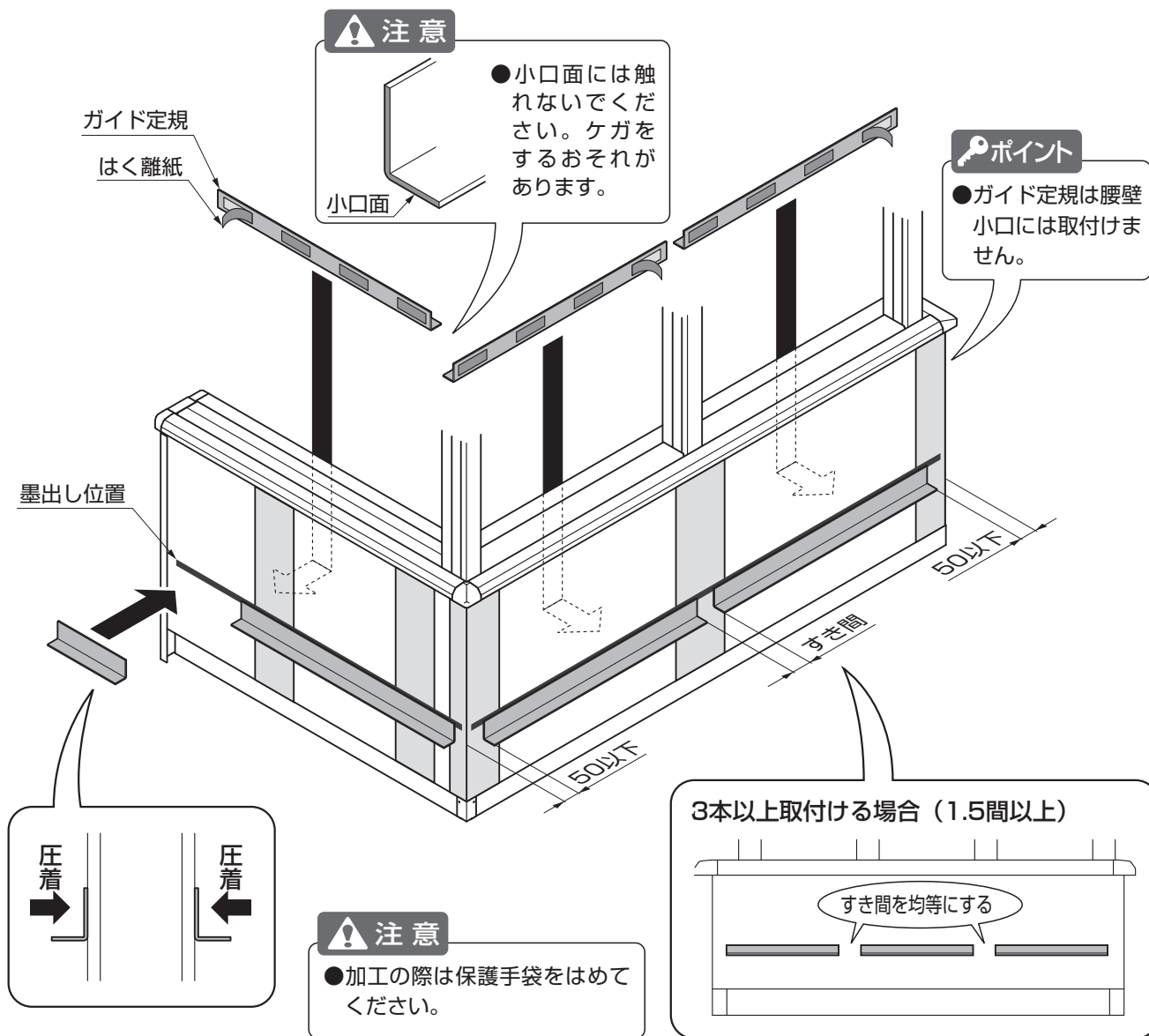
●ガイド定規を使用しない場合は、A寸法を以下の数値で墨出しをしてください。

表4-2 墨出し位置(ガイド定規を使用しない場合)

	A		A
ルミノス	300	サイモン	300
寂雅楽Ⅱ	335	メルヴィオ コリーナ	305
細割ボーダー	308	セラヴィオR	300

4. (つづき)

4-2 ガイド定規の取付け

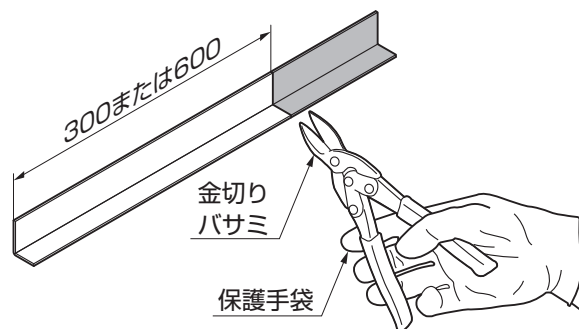


補足

●L字腰壁仕様の出幅には以下の本数を取付けてください。

表4-3 ガイド定規取付本数

	屋外側	屋内側
4尺	1本+300mm加工品	1本
6尺	2本	1本+600mm加工品
8尺	2本+600mm加工品	2本+300mm加工品
10尺	3本+300mm加工品	3本



①ガイド定規を下地ボードに張付けてください。

4-3 タイルの割付確認

①「6. タイル切断寸法一覧」を参照し、各タイルの張り位置を確認してください。

4-4 部材の養生

①接着剤が笠木等の部材に付着しないように養生してください。

4-5 タイルの張付け

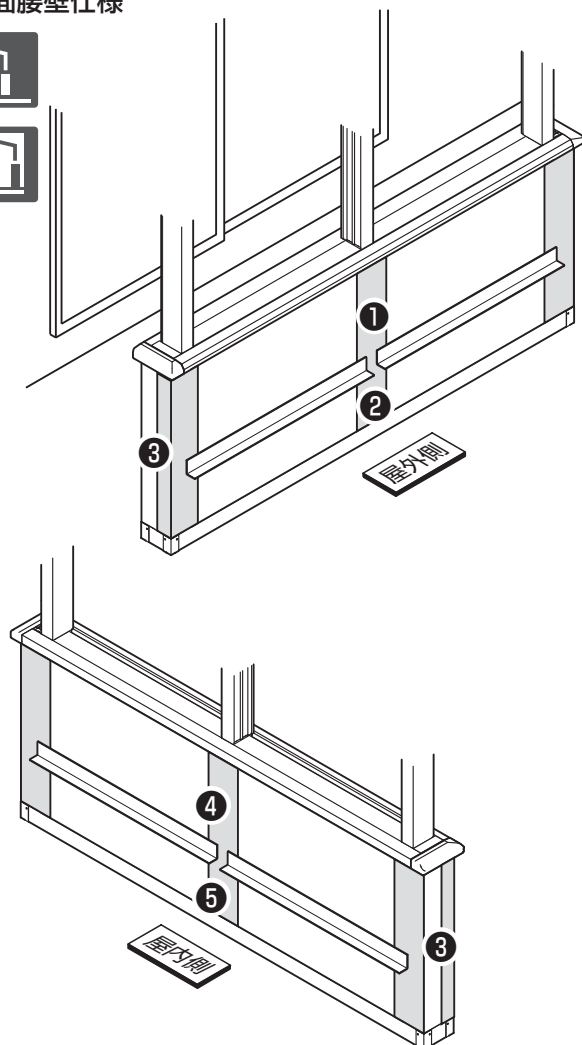
(1) 接着剤塗布～タイル張付け順序の確認

ポイント

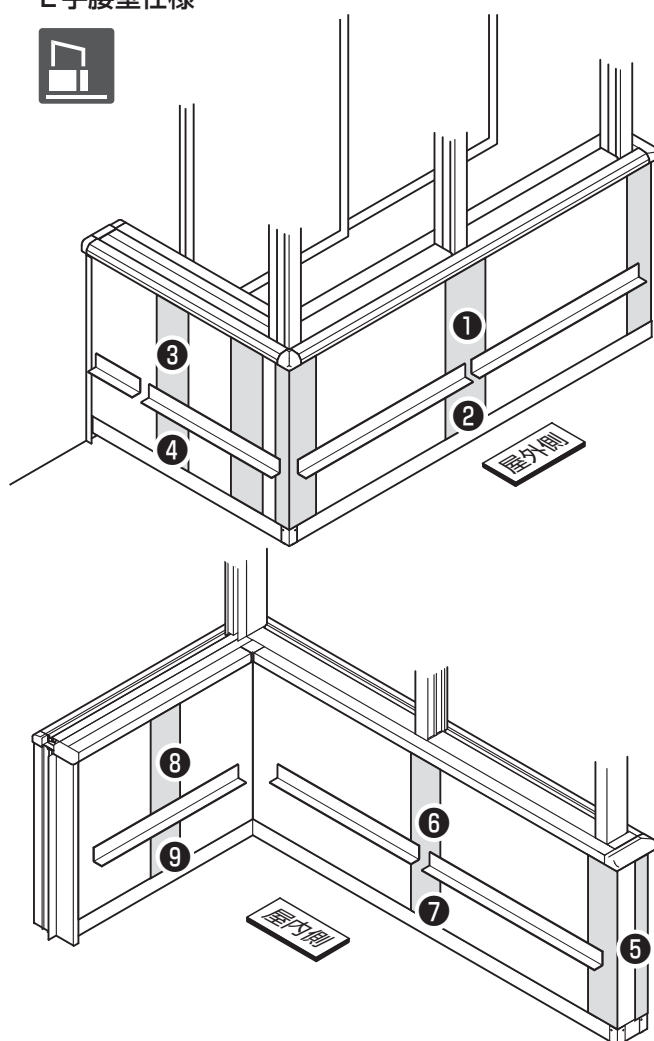
●記載されている順番ごとに「接着剤の塗布」～「タイルの張付け」を行ないます。

順 番	①	②		⑨	参照ページ
工 程	接着剤塗布	接着剤塗布		接着剤塗布	「(3) 接着剤塗布：壁面塗付け」(P.129) 「(4) 接着剤塗布：クシ目立て」(P.130)
	タイルの切断加工	タイルの切断加工		タイルの切断加工	「(5) タイルの切断加工」(P.130)
	タイル張付け	タイル張付け		タイル張付け	「(6) タイルの張付け」(P.131)

前面腰壁仕様



L字腰壁仕様



4. (つづき)

4-5 つづき

(2) 接着剤塗布～タイル張付け・目地直しまでの作業時間

ポイント

- 接着剤を塗布してからタイルの張付け・目地直しまでの作業は下記の時間内に行なってください。
- 作業時間は、環境条件により変動する場合があります。
- 冬季の作業は5℃以上で行なうようにしてください。5℃を下回る環境では接着剤の硬化が遅くなります。

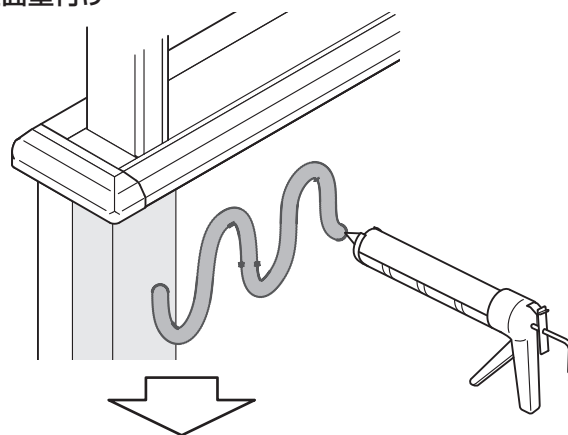


30min

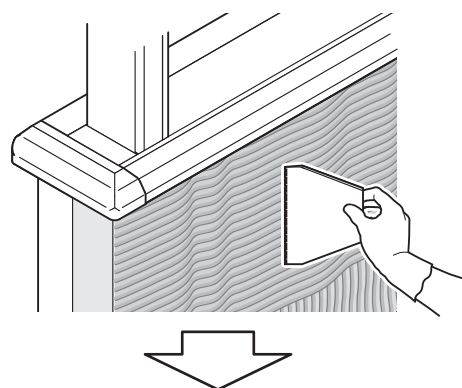


60min

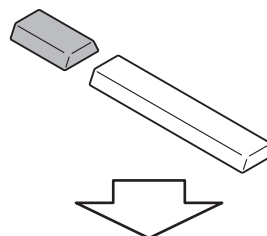
接着剤塗布：壁面塗付け



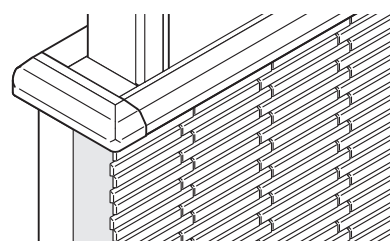
接着剤塗布：クシ目立て



タイルの切断加工（必要に応じて）



タイルの張付け・目地直し



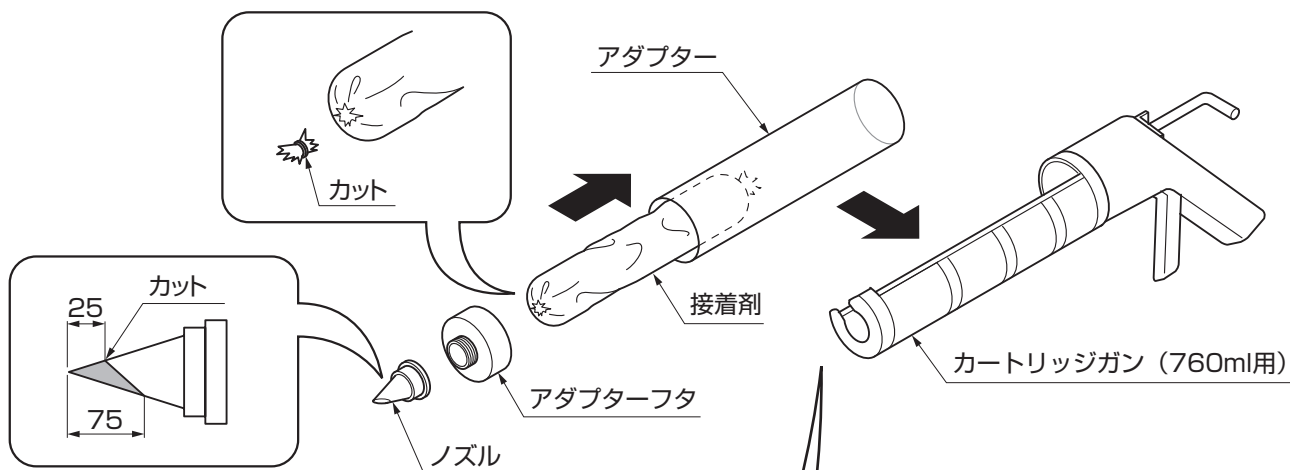
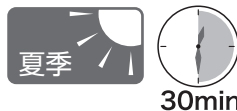
(3) 接着剤塗布：壁面塗付け

⚠ 注意

- 作業時には、手袋・長袖等を着用して皮膚を保護してください。
※本接着剤は体質によっては、まれにかぶれる場合があります。

🔑ポイント

- 接着剤塗布からタイルを張付け終えるまでの時間が、指定の作業時間内に納まるよう接着剤塗布の範囲を区切りながら作業を行なってください。

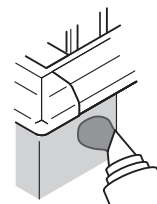


✎ 補足

- 作業を中断する場合、ノズル先端の接着剤をふき取り、ビニールテープなどで覆ってください。

🔑ポイント

- ビード状に塗布してください。
・使用量目安：
0.75㎡/本(1.5kg/㎡)
- ノズルの開口面を壁面に密着させながら接着剤を塗布してください。



- ①ノズルの先端をカットしてください。
- ②接着剤の先端をカットして、アダプターに挿入し、アダプターフタとノズルをはめてください。
- ③アダプターをカートリッジガンに取付けてください。
- ④接着剤を下地ボードに塗布してください。(以降②～④を繰り返してください。)

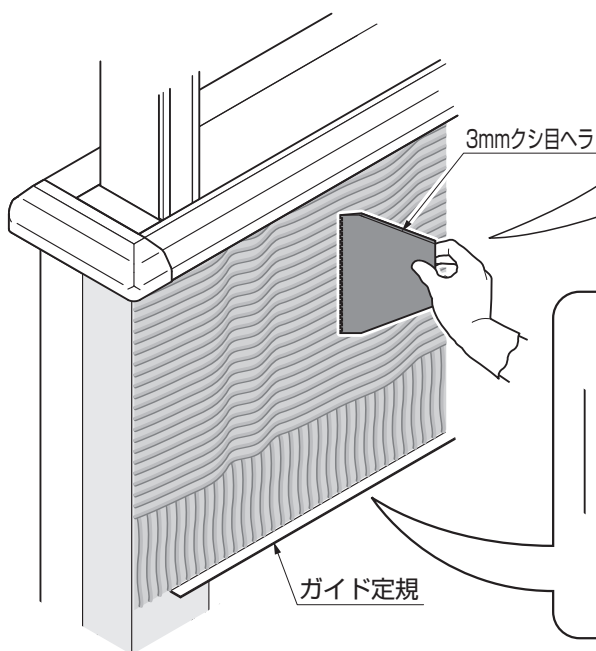
4. (つづき)

4-5 つづき

(4) 接着剤塗布：クシ目立て

ポイント

- 他部材に接着剤が付着した場合、すぐにふき取ってください。



ポイント

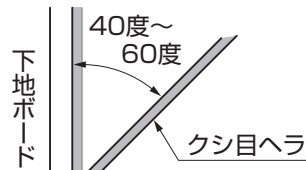


図4-3 ガイド定規上側

図4-4 ガイド定規下側

- ①3mmクシ目ヘラ（または3mmクシ目コテ）を使用し、接着剤面にクシ目を立ててください。

ポイント

- かき取りはヘラを40度～60度程度に傾けて、下地が透けない程度にかき取ってください。

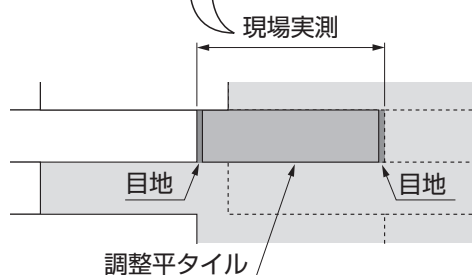
(5) タイルの切断加工 ※加工が必要な場合の作業です。

ポイント

- 「6. タイル切断寸法一覧」も併せて参照してください。

ポイント

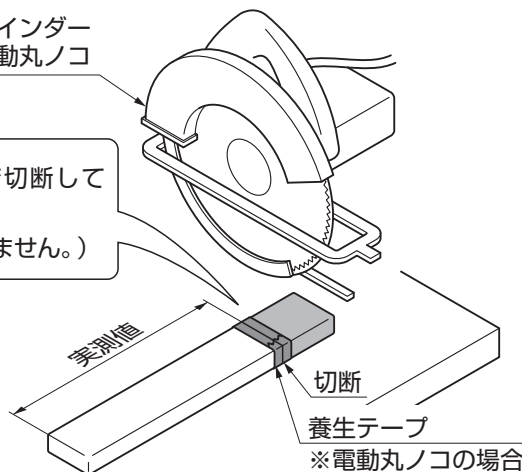
- タイル同士の目地幅、他部材とのすき間（1～2mm）を含め実測してください。



電動グラインダー
または電動丸ノコ

ポイント

- 乾式切断で切断してください。（水湿しはしません。）



注意

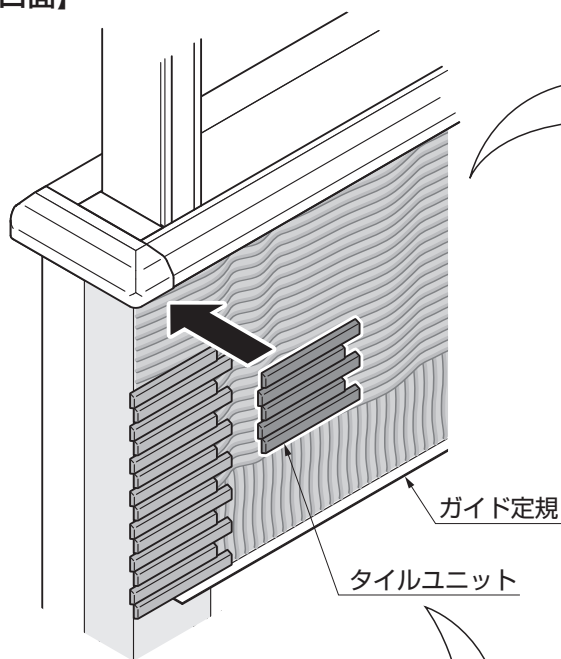
- タイルの切断面は鋭利になっているので触れないでください。ケガをするおそれがあります。

- ①加工が必要な場合はタイルを切断してください。

(6) タイルの張付け

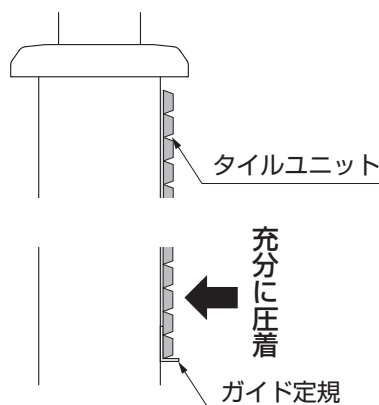
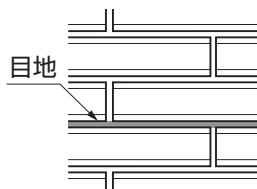
※各仕様における各タイルの割付けについては「6. タイル切断寸法一覧」を参照してください。

【腰壁間口面】



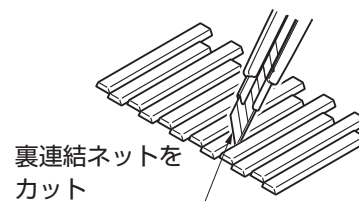
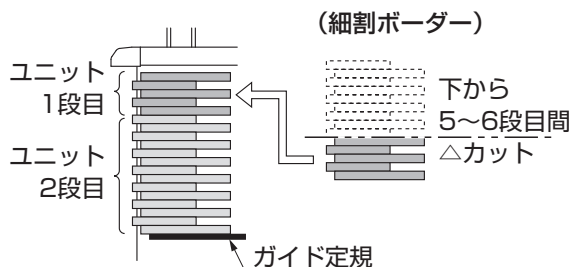
ポイント

- タイルユニットごとに目地幅を確保して張付けてください。

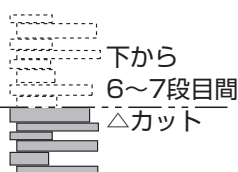


補足

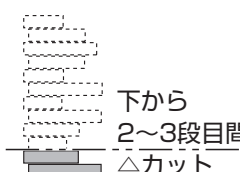
- 笠木の下に取付けるタイルユニット（1段目）はカットしてから張付けます。



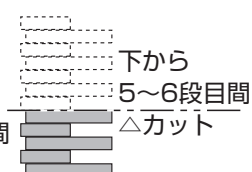
(ルミノス)



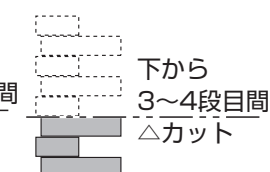
(寂雅楽Ⅱ)



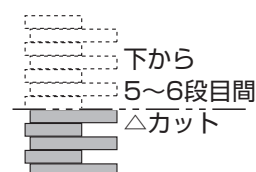
(サイモン)



(メルヴィオコリーナ)



(セラヴィオR)



①タイルユニットを張付けてください。

ポイント

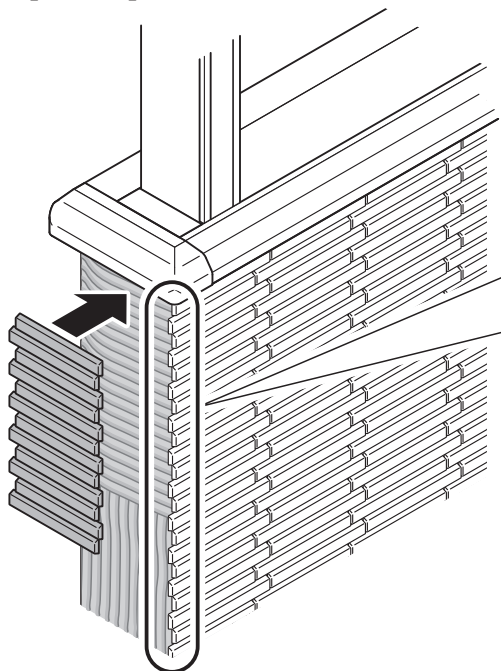
- タイルは1枚ずつ十分に圧着してください。（十分に圧着しないとタイルがずれる場合があります。）
- タイル目地部から接着剤がはみ出す場合は接着剤の塗りすぎであるため、再度クシ目ヘラ（コテ）でかき取ってください。
- やむを得ずタイル張りを中断する場合は、接着剤を塗布した範囲を張り終えてから中断してください。
- ガイド定規を使用してP.121記載の推奨品以外のタイルを施工する場合、厚さの小さいタイルではガイド定規付近で不陸が目立つ場合がありますので、施工の際には接着剤の塗り厚や圧着方法に十分注意してください。

4. (つづき)

4-5 つづき

(6) つづき

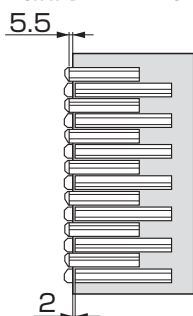
【出隅部】



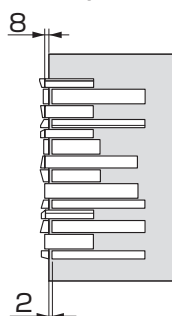
補足

●タイルが突き付けとならないように目地幅を確保して張付けてください。

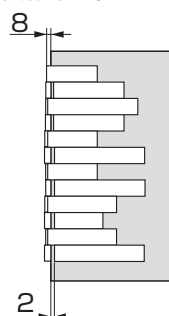
(細割ボーダー)



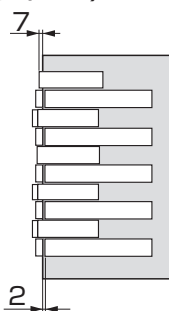
(ルミノス)



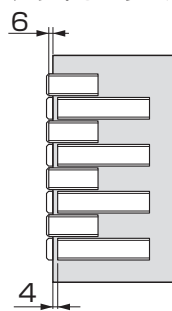
(寂雅楽Ⅱ)



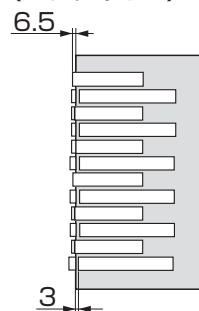
(サイモン)



(メルヴィオコリーナ)



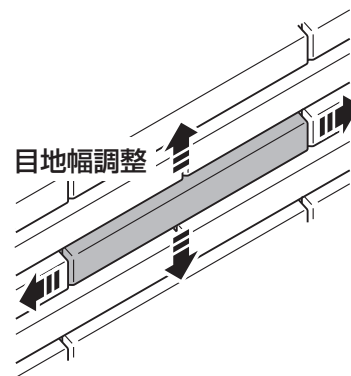
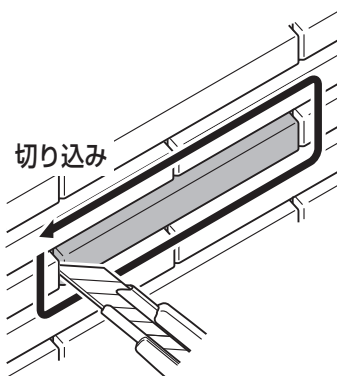
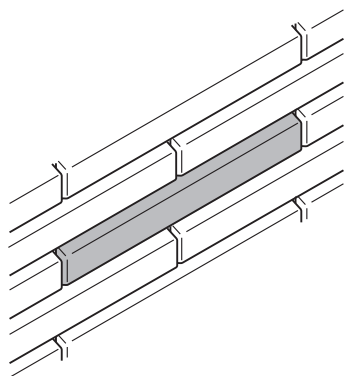
(セラヴィオR)



(7) 目地直し

ポイント

●指定の作業時間内で作業を完了させてください。



- ①タイル周囲の目地に切り込みを入れてください。
- ②タイルの目地幅を調整してください。

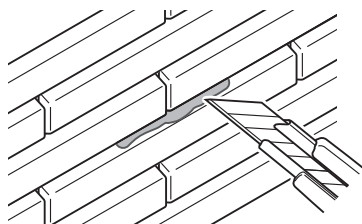
5. 点検・仕上げ



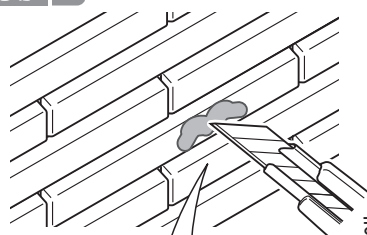
ポイント

- 接着剤が硬化後、仕上りの点検を行なってください。

- タイル目地部からの接着剤のはみ出しを除去する



- 表面に付着した接着剤を除去する



砂消しゴム

または

取れない場合は…



溶剤
(アセトン、シンナー)

ポイント

- 表面をキズ付けないようにしてください。

ポイント

- 他部材に使用する際は、事前に変色・変質確認をしてください。

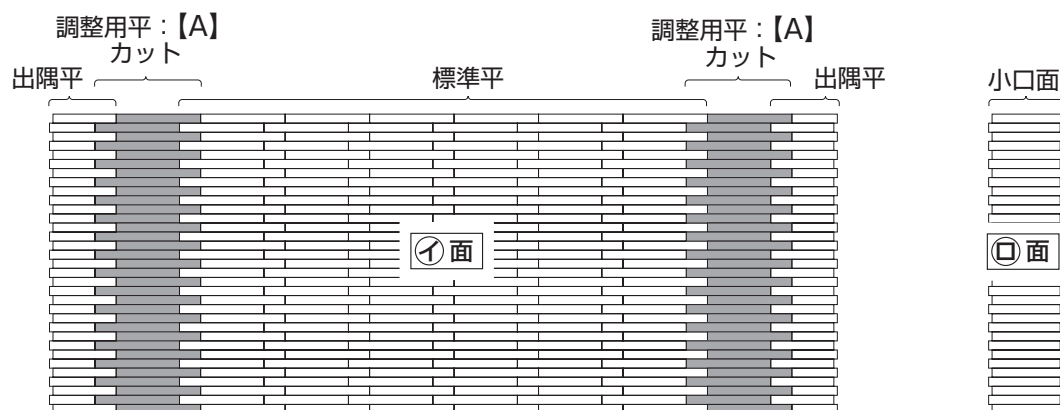
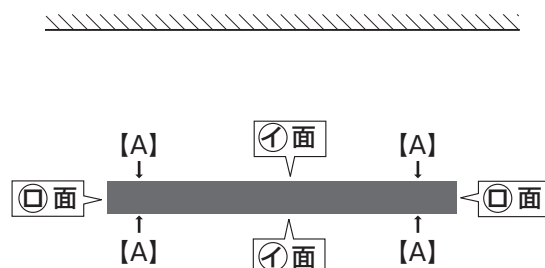
6. タイル切断寸法一覧

※図は「細割ボーダー」を代表例として記載しています。

6-1 前面腰壁

ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。

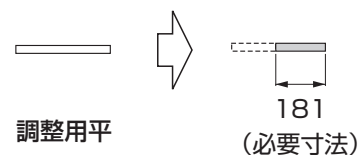


間口面	1.0間 〔A〕	1.5間 〔A〕	2.0間 〔A〕	2.5間 〔A〕	3.0間 〔A〕
ルミノス	182	163	144	125	225
寂雅歌Ⅱ	184	165	146	127	226
細割ボーダー	181	162	143	124	223
サイモン	181	162	143	124	223
コリーナ	202	197	192	187	182
セラヴィオR	130	135	140	145	75

ポイント

- 記載の表では必要寸法を示します。

例：1.0間 細割ボーダー
「〔A〕箇所」の場合



6-2 L字腰壁

ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。

標準平
ユニット



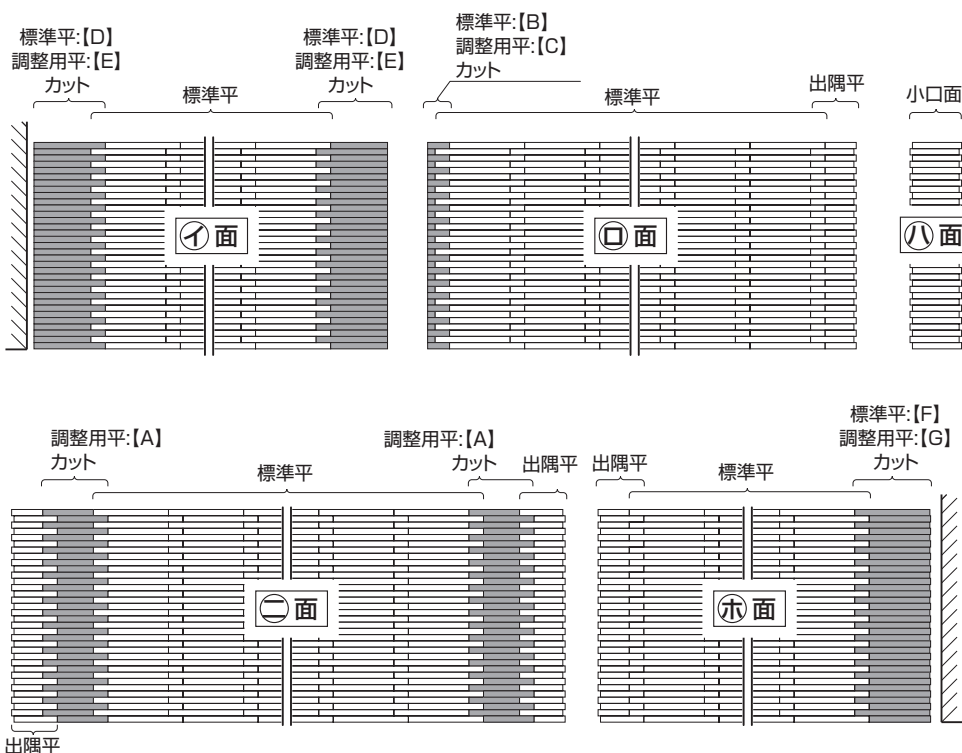
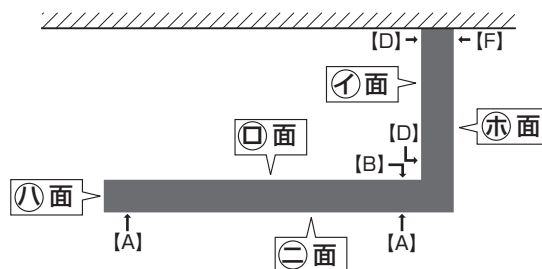
出隅用平
ユニット



調整用平



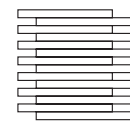
小口面
ユニット



ポイント

- 記載の表では必要寸法を示します。

例：①面 1.0間 細割
ボーダー「[D] 箇所」
の場合



標準平ユニット



223
(必要寸法)

間口面	1.0間			1.5間			2.0間			2.5間			3.0間		
	屋外側		屋内側	屋外側		屋内側	屋外側		屋内側	屋外側		屋内側	屋外側		屋内側
	[A]	[B]		[A]	[B]		[A]	[B]		[A]	[B]		[A]	[B]	
ルミノス	159	—	5/15/88	140	287	40/50	121	249	12	102	211	—	201	173	—
寂雅歌Ⅱ	160	—	8/18/43/53/78/88	141	287	5/15/40/50	122	249	12	222	211	—	203	173	—
細割ボーダー	158	—	23/68	139	267	30	120	229	—	219	191	—	200	153	—
サイモン	157	—	10/80	138	279	42	119	241	—	219	203	—	200	165	—
コリーナ	178	134	—	173	—	46/124	168	—	36/114	163	—	26/104	158	—	16/94
セラヴィオR	107	218	—	112	228	—	117	238	—	122	248	—	127	258	—

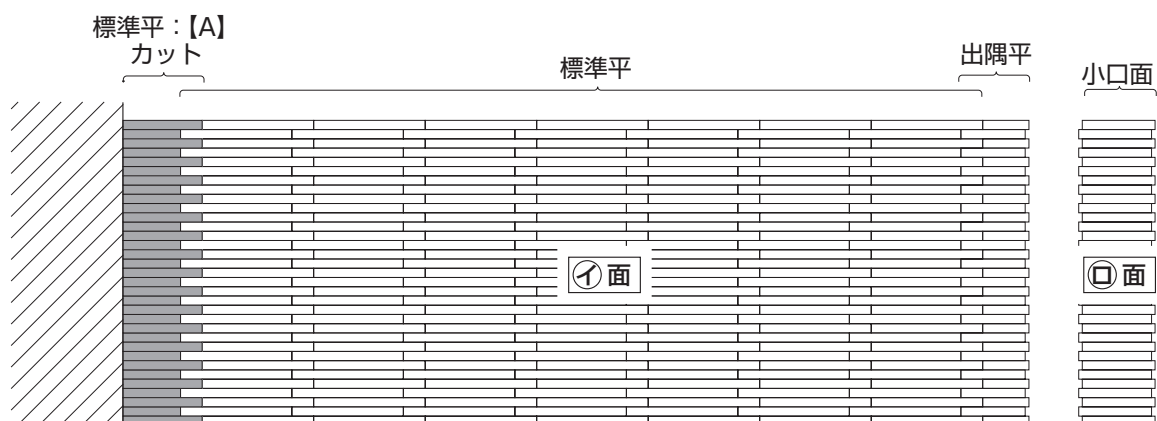
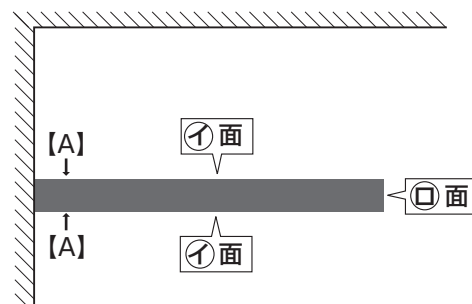
出幅面	4尺				6尺			8尺				10尺			
	屋内側		屋外側		屋内側	屋外側		屋内側		屋外側		屋内側		屋外側	
	[D]	[E]	[F]	[G]	[D]	[F]	[G]	[D]	[E]	[F]	[G]	[D]	[E]	[F]	[G]
ルミノス	143	18/28/101	257	10/18	159/211	146	－	143	33/43/116	272	25/35	159/226	－	161	－
寂雅歌Ⅱ	140	27/37/62/72/97/107	257	10/20	186	146	－	131	－	270	25/35	194	－	161	－
細割ボーダー	223	－	237	－	167	126	－	230	－	252	15	175	－	141	－
サイモン	235	－	249	12	180	138	－	125	－	264	27	188	－	153	－
コリーナ	134	－	282	52	204	192	－	159	－	－	24/102	－	36/114	242	12
セラヴィオR	131	－	276	－	131	276	－	131	－	276	－	131	－	276	－

6. (つづき)

6-3 入隅腰壁

ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。



間口面	1.0間 [A]	1.5間 [A]	2.0間 [A]	2.5間 [A]	3.0間 [A]
ルミノス	185	147	—	308	270
寂雅歌Ⅱ	185	147	—	308	270
細割ボーダー	167	129	—	—	250
サイモン	177	139	—	300	262
コリーナ	226	221	211	201	191
セラヴィオR	315	325	335	345	—

ポイント

- 記載の表では必要寸法を示します。

例：①面 1.0間 細割ボーダー
「[A] 箇所」の場合

